

未婚と結婚の分かれ目

—社会環境調査Ⅰ・社会環境調査Ⅱ実施報告書—

2011年3月

広島大学総合科学部社会文化プログラム

はじめに

広島大学総合科学部社会文化プログラムでは毎年、社会調査士の資格取得に関係した実習的科目を2コマ（4単位）開講しています。「社会環境調査Ⅰ」と「社会環境調査Ⅱ」がそれです。この授業では毎年、担当者がテーマを設定し、それに関係した社会調査を実施することになっています。平成22年度の授業では「結婚難」をテーマとして社会調査を企画し、アンケート調査とインタビュー調査を実施しました。本書はその報告書です。

近年、我が国では晩婚化が進行するとともに結婚しない人が増えています。中にはかなり高い年齢になっても結婚の予定がない人も増えています。たとえば、50歳時の平均未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれますが、それは2005年の国勢調査の結果では男性15.65%、女性7.05%に跳ね上がっています。生涯未婚率は今後も上昇が予想されます。厚生労働省の部会報告は、このままの傾向が続くと、近い将来には男女ともに4人に1人が一生結婚しないことになると指摘しています。

成人男女の間に広まる「結婚離れ」。そこには二つのトレンドをみることができます。一つは結婚を希望しない人が増えていることです。これは「非婚化」の流れです。もう一つは、いずれ結婚したいと考えているが、その希望を実現できない人が増えていることです。これは「結婚難」の深刻化と言うべき現象です。

もちろん、このような時代の中でも、比較的若い年齢で結婚する人も数多くいます。晩婚化が進行しているとはいえ、一定の年齢層になると男女ともに結婚している人の数が結婚していない数を上回っています。しかし、その一方でどの年齢層でも結婚していない人の割合は着実に増えています。結局、今の世の中では、人びとは結婚したい人と結婚したくない人に分かれ、さらに結婚したい人は簡単に結婚する人となかなか結婚できない人に分かれていくように見えます。

この分かれ目がどのようにできるのか。結婚した人はどのように結婚したのか。簡単に結婚していく人がいる一方で、結婚したくても結婚できない人がいるのはなぜなのか。結婚できる人と結婚できない人では、一体どのような違いがあるのか。

その答えを求めて私たちは研究を開始し、この調査を企画しました。結婚したい人がその希望を実現できないのはやはり残念なことだと思います。だから、私たちは、この調査研究によって得られる知見を結婚難の緩和のために役立てたいと考えています。

結婚する、しないは個人の自由です。しかし、このことを認めると、結婚しない人が増えているのは個人の判断の結果であり、どうしようもないと考えられるかもしれません。実際、アンケート調査の回答者の中にはそのような意見を寄せられる方がいました。これはもっともな意見です。結婚しない人が増えたからといって、何か悪い社会現象が発生したとみなすことはできません。さらに結婚は優れて私生活の領域に属する問題です。結婚の実現が難しくなったからといって、私生活の領域に対して政策的

な介入が直ちに必要にはならないと思います。

しかし、個人の選択を尊重する前提に立つのであれば、未婚化対策を国や自治体が立案してもいっこうに差し支えないと私たちは考えます。ただしその場合には、政策担当者はそのような対策をとる理由を国民や住民に対しきちんと説明し、その理解を得る責任があります。国民や市民から預かったお金を使用する以上、それは当然のことです。つまり、説明責任を果たす義務を負うということです。

さらに、国や自治体の政策を離れて、個人の立場で物事を考えればどうでしょうか。たとえば、結婚問題で悩んでいる人がいるとします。この人を見かねてその友人が相談相手になることはよくないことでしょうか。もちろん、その人の意思に反して余計な世話を焼くことはよくないことです。この場合を別にすれば、相談相手になってはいけないという人はいないでしょう。だから、少々お節介なことかもしれないが、困っている人の立場に立ち、その力になりたいと考えて行動するのであればとくに非難されることはないと考えます。私たちがこのような調査研究を企画し、結婚難の緩和に役立つような知見を見出したいと願うのはそのような発想に立ってのことです。

調査の手順としては、東広島市選挙管理委員会に赴き、選挙人名簿を用いて調査対象者のサンプリングをおこないました。その後、「社会環境調査Ⅰ」の授業で作成した調査票を用い、2010年9月に郵送調査を実施しました。この調査では1350の調査票を配布し、このうち605の有効票を回収しました（回収率44.8%）。「社会環境調査Ⅱ」の授業では調査票に記された回答をコンピュータに入力し、統計ソフトを用いて集計しました。また2011年1月と2月にはボランティアで「見合い」の仲介をしている方に対しインタビュー調査をおこない、近年の結婚事情を聴取しました。

この報告書はこれらの調査の分析結果です。しかし、これはあくまで第1段階の分析結果です。その次の段階ではこの結果と集計の仕方を見直し、結婚過程について学術的に意義のある分析と説明を組み立てていくことが大きな課題です。

近年、郵送によるアンケート調査は回収率が低下し、この方法での学術調査はますます困難になっています。とくに今回の調査は優れてプライベートな問題を取り扱うため、どれだけの数の回答が返送されるのかを当初、大変不安に思いました。しかし、幸いにして多くの方々から協力が得られ、必要十分な数を超える有効票を確保できました。ご多用の中で貴重な時間を割いていただき、質問に回答してくださった方には心から感謝したいと思います。またインタビュー調査にご協力をいただいた方々にも改めてお礼を申し上げます。

この報告書は「社会環境調査Ⅰ」と「社会環境調査Ⅱ」に参加した学生との共同作業の成果です。私たちの今後のさらなる学習と研究の発展のために、ご意見やご感想をいただければ幸いです。

2011年3月10日

広島大学大学院総合科学研究科 材木和雄

未婚と結婚の分かれ目

—社会環境調査Ⅰ・社会環境調査Ⅱ実施報告書—

目次

はじめに

第1章 未婚者の結婚観と異性との交際状況5

第2章 既婚者の結婚前の結婚観と異性との交際状況47

第3章 既婚者の配偶者選択と結婚の過程99

第4章 未婚者と既婚者の結婚観・家族観181

回答者のプロフィール209

聞き取り調査の記録219

アンケート調査票223

調査のメンバー 234

第1章 未婚者の結婚観と異性との交際状況

はじめに

我々の調査は広島県の一地域で実施された調査である。だから、その結果を日本全体での傾向と同一視することはできない。しかし、日本人の結婚観や結婚過程に関しては、幸いにして非常に代表性と信頼性が高い全国規模の標本調査がある。それは、国立社会保障・人口問題研究所が定期的に行う「出生動向基本調査」である。同研究所は1980年に実施した第8回調査から、夫婦を対象とする調査に加えて、独身者を対象とする調査を実施している¹。このうち、現時点で参照できる最新の調査は2005年に実施された第13回の調査である。その結果は、『平成17年・わが国独身層の結婚観と家族観—第13回出生動向基本調査』（未婚者を対象にした調査報告書）と『平成17年・わが国夫婦の結婚過程と出生力—第13回出生動向基本調査』（夫婦を対象とした調査報告書）として刊行されている。これらは我々にとってきわめて重要な先行研究である。全国的な動向を知り、我々の調査の結果と比較するためにこれらを適宜参照したい。なお以下の記述で「全国調査」と呼ぶものはとくに断りのない限り、2005年に実施の「出生動向基本調査」を指している。

1. 生涯の結婚に対する意欲

全国調査の中でもっともよく引用される項目は「生涯の結婚に対する意欲」の調査結果である。この調査では、未婚者に対して、「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のどれですか」と尋ね、「いずれ結婚するつもりか、それとも「一生結婚するつもりはない」のかを二者択一することを求めている。その割合を示した結果が表1-1-1である。

男性(%)						
	1982	1987	1992	1997	2002	2005
いずれ結婚するつもり	95.9	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0
一生結婚するつもりはない	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1
不詳	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9
女性(%)						
	1982	1987	1992	1997	2002	2005
いずれ結婚するつもり	94.2	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
一生結婚するつもりはない	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
不詳	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3

資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2007a)
設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のどれですか。」
: 1. いずれ結婚するつもり、 2. 一生結婚するつもりはない」
注: 対象は18-34歳の未婚者

この結果についてもっとも注目されてきた点は、大多数の未婚者が将来に結婚したいと回答していることである。調査報告書は次のように述べている。これまでの調査によれば、いずれは結婚しようとする未婚者の割合は近年わずかず減る傾向にあったが、前回調査（2002年）以降は下げ止まりが見られ、今回の調査でも男女とも9割前後で推移している。逆に「一生結婚するつもりはない」と回答する未婚者は男性でやや増えて7%台となったが、女性では5%台にとどまっている。この割合は1990年代からずっと際だった増加がみられず、今回の調査では男性でやや増えたとはいえ、近年の青年層における著しい未婚化を考えるとはっきりと非婚を標榜する未婚者がほとんど増えていないことは特筆すべきことである（国立社会保障・人口問題研究所、2007年、pp.12-13）。

我々もこれを参考に同様の質問をした。その集計結果が表1-1-2である。なお我々の調査では「婚約中の未婚者」は結婚相手がすでに決まっているため、既婚者と同じ質問項目で回答を求めた。したがって、我々の調査でいう未婚者とは「具体的に結婚の予定のない未婚者」を指している。

表1-1-2 「年齢」と「生涯の結婚意欲」とのクロス

生涯の結婚意欲		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	いずれ結婚するつもり	20	15	13	10	8	2	68
		90.9%	83.3%	81.3%	83.3%	80.0%	50.0%	82.9%
	一生結婚するつもりはない	2	1	3	2	2	0	10
		9.1%	5.6%	18.8%	16.7%	20.0%	.0%	12.2%
	無回答	0	2	0	0	0	2	4
.0%		11.1%	.0%	.0%	.0%	50.0%	4.9%	
合計	22	18	16	12	10	4	82	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	いずれ結婚するつもり	32	26	6	5	5		74
		88.9%	100.0%	100.0%	83.3%	71.4%		91.4%
	一生結婚するつもりはない	2	0	0	0	1		3
		5.6%	.0%	.0%	.0%	14.3%		3.7%
	無回答	2	0	0	1	1		4
5.6%		.0%	.0%	16.7%	14.3%		4.9%	
合計	36	26	6	6	7		81	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

性別でみると、男性の場合、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合は82.9%であった。反対に、「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合は12.2%であった。女性の場合、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合は91.4%だった。反対に「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合は3.7%であった。

この結果を全国調査の結果（18-34歳の未婚者を対象）と比較してみよう。我々の調査では20歳から34歳の独身者の回答では、男性の場合、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合は85.7%であり、「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合は10.7%であった。女性の場合には、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合は94.1%であり、「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合

は 2.9%であった。表 1-2-1 の全国調査の結果と比較すると、我々の調査の回答者は、男性では全国調査の傾向と同じ程度、女性では全国の傾向よりもやや高い結婚の意欲が示されている。

年齢別でみると、我々の調査では、男性の場合、「いずれ結婚するつもり」と回答した者は 20-24 歳層でもっとも多く、その割合は 90.9%だった。しかし、この割合は、25-29 歳以上の層では 80%台前半に低下する。全国調査の結果（下の表 1-1-3）をみると、この割合が 80%台前半に低下するのは 30-34 歳層からである。これと比較すると、我々の調査では男性の回答者はやや若い年齢で結婚の意欲が低下するように見える。これに対して、我々の調査では女性の回答者の結婚意欲は全国調査に比べて高い。

「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合は、25-29 歳と 30-34 歳で 100%に達し、35 歳以上の年齢層でも全国調査の結果をかなり上回っている。たとえば、「いずれ結婚するつもり」と回答した者は 40-44 歳でも 71.4%であった。

表1-1-3 (全国調査)調査年・年齢別にみた「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者

男性(%)

年齢	1982	1987	1992	1997	2002	2005
18-19	96.0	90.0	87.5	85.5	88.4	88.4
20-24	97.1	92.6	90.9	86.7	88.3	87.7
25-29	95.8	93.9	92.0	87.1	86.3	88.0
30-34	92.4	86.9	87.0	80.9	83.8	83.7
35-39			80.5	80.1	81.1	81.8
40-44			66.7	71.4	74.1	70.0
45-49			50.0	51.4	63.4	53.6

女性(%)

年齢	1982	1987	1992	1997	2002	2005
18-19	95.5	93.5	88.8	87.6	85.8	89.5
20-24	97.5	95.1	92.0	90.7	90.9	91.5
25-29	92.5	91.8	89.9	87.1	87.7	91.8
30-34	72.7	75.6	83.8	88.7	85.1	84.3
35-39			63.0	69.1	76.8	73.3
40-44			42.9	46.7	52.9	57.8
45-49			27.8	36.4	38.1	45.6

資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2007a)。1982年と1987年は35歳以上を調査していない。

2. 結婚に対するこだわり方（年齢重視か理想重視か）

全国調査は先の質問で「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚男女に対し、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」なのか、それとも「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えるのかという質問をしている。それによって、結婚の意欲をもつ未婚者が、「結婚すること自体を重視する必然型（年齢重視派）」なのか、あるいは「結婚の内容にこだわる選択型（理想重視派）」なのかを見分けるためである（同書、p.15）。その結果が表 1-2-1 である。

性別で見ると、男性では、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と回答した割合は 52.8%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は 45.8%であった。女性では、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と回答した者の割合は 56.4%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は 39.7%であった。

男性(%)					
	1987	1992	1997	2002	2005
ある程度の年齢までには結婚するつもり	60.4	52.8	48.6	48.1	51.9
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	37.5	45.5	50.1	50.5	46.7
不詳	2.1	1.6	1.3	1.4	1.3
女性(%)					
	1987	1992	1997	2002	2005
ある程度の年齢までには結婚するつもり	54.1	49.2	42.9	43.6	49.5
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	44.5	49.6	56.1	55.2	49.0
不詳	1.3	1.3	1.1	1.3	1.4

資料: 同上。

我々の調査でもこれにならって同じ質問を設定した。その結果が表 1-2-2 である。この結果を表 1-2-1 の全国調査の結果と比較してみよう。我々の調査では 20 歳から 34 歳の独身者の回答に限定すると、男性の場合、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と回答した者の割合は 58.0%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と回答した者は 40.0%であった。女性の場合には、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と回答した者の割合は 57.6%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と回答した者は 42.4%であった。全国調査の結果と比較すると、我々の調査の回答者は男女ともに「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と回答した年齢重視派の割合が高くなっている。

表 1-2-1 で全国調査の結果を年次別にみると、年齢重視派の割合は 1997 年調査まで減少する傾向にあり、逆に理想重視派が増えていた。結婚することを必然と考えるよりは、内容によって結婚を選択しようとする考えが広がっていたとみられたのである。ところが、2002 年の調査ではこれらの回答の構成変化が止まった。2005 年の調査に至ると男女ともに「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が挽回し、「理想の相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」を再び逆転した。男性では前者の割合は過半数にまで挽回し、女性でも五分五分の構成にまで戻っていることが指摘されていた(同書、pp.15-16)。我々の調査で男女ともに「ある程度の年齢までには結婚するつもり」の割合が「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」の割合を明確に上回ったことは、理想よりも結婚年齢にこだわる未婚者の増加という全国調査での傾向がより鮮明に現れたとみることができるのかもしれない。

我々の調査を年齢別にみると、男性の場合には、35-39 歳以上の層で理想重視派が年齢重視派を上回る。全国調査の結果では 30-34 歳で理想重視派が年齢重視派を上回るようになるので、我々の調査での男性の回答者は比較的高い年齢になるまで年齢重視の傾向が強いと言える。しかし、女性の場合にはややイレギュラーな結果が出ている。すなわち、30-34 歳では理想重視派が 83.3%と年齢重視派を大きく上回るのに対して、35-39 歳では理想重視派と年齢重視派はともに 33.3%と同率になっている。全国調査の結果では、女性の場合、30-34 歳以上の層で理想重視派が年齢重視派を大きく上回るようになるので、我々の調査はこのような傾向とかけ離れた傾向を示している。

表1-2-2 「年齢」と「結婚に対する考え方」とのクロス

結婚に対する考え方		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	ある程度の年齢までには結婚するつもり	12 60.0%	10 58.8%	7 53.8%	4 40.0%	4 50.0%	1 25.0%	38 52.8%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	8 40.0%	6 35.3%	6 46.2%	6 60.0%	4 50.0%	3 75.0%	33 45.8%
	無回答	0 .0%	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%
	合計	20 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	10 100.0%	8 100.0%	4 100.0%	72 100.0%
女性	ある程度の年齢までには結婚するつもり	19 55.9%	18 69.2%	1 16.7%	4 66.7%	2 33.3%		44 56.4%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	15 44.1%	8 30.8%	5 83.3%	1 16.7%	2 33.3%		31 39.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	2 33.3%		3 3.8%
	合計	34 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%		78 100.0%

3. 異性との交際状況

結婚の成立には結婚相手の存在が不可欠の要件である。そうした結婚の候補者を獲得するための過程として、全国調査は未婚者の異性交際の状況を調べている。我々の調査でもこれにならって同様の質問を設定した。その回答結果が表 1-3-1 である。

性別でみると、男性の場合には「交際している異性がない」と回答した者は 75.6%であり、交際している異性がいる者は 24.4%であった。その内訳は、「友人として交際している異性がいる」者が 8.5%、「恋人として交際している」異性がいる者が 15.9%であった。女性の場合には、「交際している異性はない」と回答した者は 54.3%であり、交際している異性がいる者は 45.7%であった。このうち、友人として交際する異性がいる者が 13.6%、恋人として交際している異性がいる者が 32.1%であった。

全国調査の結果は未婚男女の異性との交際は各年次ともに低調なまま推移していることを明らかにしている。最新の調査結果（2005年）では、調査の時点で「交際している異性はない」と回答した者の割合は男性の場合では 52.2%であり、女性の場合では 44.7%であった。男女ともに半数前後の未婚者は友人を含めて異性の交際相手をもっていない。全国調査の結果と比較すると、我々の調査の回答者における異性との交際の低調さはいっそう鮮明になった。すなわち、我々の調査の結果では 20歳から 34歳の未婚者の回答では「交際している異性はない」と回答した者は男性の場合では 73.2%、女性の場合には 50.0%に達していた。

表1-3-1 「年齢」と「異性との交際状況」とのクロス

異性との交際状況		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	交際している異性はない	12 54.5%	17 94.4%	12 75.0%	9 75.0%	8 80.0%	4 100.0%	62 75.6%
	友人として交際している異性がいる	2 9.1%	0 .0%	1 6.3%	2 16.7%	2 20.0%	0 .0%	7 8.5%
	恋人として交際している異性がいる	8 36.4%	1 5.6%	3 18.8%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	13 15.9%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	交際している異性はない	17 47.2%	14 53.8%	3 50.0%	4 66.7%	6 85.7%		44 54.3%
女性	友人として交際している異性がいる	4 11.1%	5 19.2%	2 33.3%	0 .0%	0 .0%		11 13.6%
	恋人として交際している異性がいる	15 41.7%	7 26.9%	1 16.7%	2 33.3%	1 14.3%		26 32.1%
	合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%

表 1-3-1 は我々の調査の結果を、35歳以上を含めて性別・年齢別のクロス集計表にまとめたものである。年齢別では男女ともに交際している異性がいる割合は 20-24歳がもっとも多い。これより高い年齢

では交際している異性がいる割合は少なくなる。我々の調査では、男性の場合、「交際している異性はいない」は20-24歳で54.5%であるのに対し、25-29歳になると「交際している異性はいない」は94.4%と著しく大きくなる。女性の場合も25-29歳で「交際している異性はいない」と回答した者が過半数を上回り、それは35-39歳層以上でとくに大きくなる。

全国調査は結婚の意欲と異性との交際状況との間に相関関係があることを明らかにしている。たとえば、2005年の調査結果では「一生結婚するつもりはない」とする生涯独身を志向する者の間で異性の交際相手がない者が男性で82.5%、女性で76.7%と非常に高くなっている（同書、p.33）。これと比較するために我々も結婚の意欲と異性交際とのクロス集計を試みた。その結果が表1-3-2である。それによると、「一生結婚するつもりはない」と回答した者の中で「交際している異性はいない」と回答した者は男性で90.0%、女性では100.0%に達していた。これは全国調査の傾向と一致する。

生涯独身を志向する者の間で異性との交際相手がない者が多いことは当然のことだと考えられるかもしれない。しかし、我々はそのようには考えない。生涯独身（ないし「非婚」）を志向する者が友人にせよ、恋人にせよ異性の交際相手をもっているにもかかわらずおかしくないはずである。現代社会ではそのようなライフスタイルもあってよいと我々は考える。ところが、調査の回答者の間ではそのようなライフスタイルを志向する人はほとんどいない。このことの方を注目すべきことだと我々は考える。さらに、表1-3-1については別の側面に注目したい。それは、結婚の意欲がある者の間で交際相手がない者が多いことである。すなわち、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の間で「交際している異性はいない」と回答した者は男性で72.1%、女性で51.4%に達していた。つまり、結婚の意思がある者の間でも異性交際は不活発な状況にあることが示されている。とくに結婚の意欲のある男性の7割以上が異性の交際相手をもっていない。このことは結婚難の一側面を暗示している可能性がある、注目すべきデータのように思われる。

表1-3-2 「結婚の意欲」と「異性との交際状況」

異性との交際状況		結婚の意欲			合計
		いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	無回答	
男性	交際している異性はいない	49 72.1%	9 90.0%	4 100.0%	62 75.6%
	友人として交際している異性がある	6 8.8%	1 10.0%	0 .0%	7 8.5%
	恋人として交際している異性がある	13 19.1%	0 .0%	0 .0%	13 15.9%
	合計	68 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
女性	交際している異性はいない	38 51.4%	3 100.0%	3 75.0%	44 54.3%
	友人として交際している異性がある	11 14.9%	0 .0%	0 .0%	11 13.6%
	恋人として交際している異性がある	25 33.8%	0 .0%	1 25.0%	26 32.1%
	合計	74 100.0%	3 100.0%	4 100.0%	81 100.0%

4. 交際相手との結婚の希望

全国調査は、異性と交際している未婚者に対して、その交際相手と結婚したいと考えているのかを尋ねている。2005年の調査結果によれば、「恋人として交際している異性」については、男性の65.5%（2002年の調査結果では58.9%）、女性の66.6%（同66.1%）が相手との結婚を希望していた。（この結果について、調査報告書は「逆に言えば男女とも3分の1の者は恋人との結婚を望んでいない」ととらえ、「恋愛と結婚との分離」を暗黙裏に強調している）。また「友人として交際している異性」については、相手との結婚を希望していた者は男性では12.7%（同14.1%）、女性では11.9%（同16.8%）であった。

我々の調査でも同様の質問を用意した。その結果が表1-4-1である。それによると、「恋人として交際している異性」については、男性の92.3%が交際相手との結婚を希望していた。全国調査の結果と比較すると、我々の調査では恋人としての交際している場合には交際相手に対する男性の結婚希望率が著しく高い。これを敷衍して言えば、我々の調査の男性回答者については「恋愛と結婚の一致」を志向する者が非常に多いということになる。

これに対して、女性では「恋人として交際している異性」に対して結婚したいと思っている者は69.2%であった。この割合は全国的な傾向とほぼ同じ程度である。逆にみれば、女性の場合には4分の1程度が恋人として交際している相手との結婚を考えていない。

また「友人として交際している異性」については、男性の28.6%、女性の18.2%が交際相手との結婚を希望していた。全国的な調査の結果と比較すると、「友人としての交際」でも我々の調査の男性回答者はより高い結婚希望率を示している。

交際相手との結婚希望		異性との交際状況		合計
		友人として交際している異性がいる	恋人として交際している異性がいる	
男性	結婚したいと思っている	2 28.6%	12 92.3%	14 70.0%
	結婚は考えていない	4 57.1%	0 .0%	4 20.0%
	無回答	1 14.3%	1 7.7%	2 10.0%
	合計	7 100.0%	13 100.0%	20 100.0%
女性	結婚したいと思っている	2 18.2%	18 69.2%	20 54.1%
	結婚は考えていない	9 81.8%	7 26.9%	16 43.2%
	無回答	0 .0%	1 3.8%	1 2.7%
	合計	11 100.0%	26 100.0%	37 100.0%

5. 交際相手と知り合ったきっかけ

全国調査は、異性の交際相手がいる場合について、どのようなきっかけで相手と知り合ったのかを尋ねている。その結果が表 1-5-1 である。調査報告書の記述によると、その傾向は 1982 年の調査以降ほとんど変化がなく、「職場や仕事の関係で」「学校で」「友人・兄弟姉妹を通じて」の合計が 7 割弱を占めるといふ構成が続いている。このことから「やはり男女の出会いには日常的な場がもっとも多いという結果になっている」と報告書は総括する（同書、p.35）。ただし、我々のみるところでは、その内訳の構成にはいくつかの変化が認められる。すなわち、第 1 に男女ともに「学校で」知り合った者の割合が徐々に小さくなってきたことである。第 2 に「職場や仕事の関係で」知り合った者は男性の場合にはほぼ同じ程度であるが、女性の場合に近年、減少がみられることである。これは女性にとって交際相手を得るきっかけとして「職縁」のウエイトが低下していることを示している。第 3 に男女ともに「友人・兄弟姉妹を通じて」の割合が徐々に増加してきたことである。

表1-5-1 (全国調査)調査年別にみた「交際相手と知り合ったきっかけ」

男性(%)

調査年	学校で	職場や 仕事で	幼なじみ ・隣人	サークル・クラブ ・習い事で	友人・兄弟 姉妹を通じて	街中や 旅先で	アルバイト 先で	見合い・結婚 相談所で	その他	不詳
1982年	30.9	22.0	5.9	13.2	18.2	13.2		2.3	0.6	3.2
1987年	21.9	29.7	2.5	9.9	16.1	8.9		1.5	1.8	7.7
1992年	22.9	26.0	2.2	9.0	16.9	5.8	7.9	1.5	1.8	5.3
1997年	22.1	23.0	2.8	9.2	21.4	7.7	5.8	1.2	2.7	4.1
2002年	20.5	22.7	2.3	7.1	21.9	5.6	7.9	0.6	5.2	6.2
2005年	18.7	24.5	2.2	8.0	22.5	4.6	6.7	0.8	4.3	7.7

女性(%)

調査年	学校で	職場や 仕事で	幼なじみ ・隣人	サークル・クラブ ・習い事で	友人・兄弟 姉妹を通じて	街中や 旅先で	アルバイト 先で	見合い・結婚 相談所で	その他	不詳
1982年	29.1	32.5	5.7	12.7	16.8	9.3		2.7	1.1	3.1
1987年	21.3	30.7	2.2	9.1	19.8	6.9		2.3	1.6	6.1
1992年	19.6	29.6	2.4	8.4	18.9	5.0	8.4	1.5	2.5	3.6
1997年	21.0	28.6	1.9	7.8	20.2	6.5	7.3	1.3	2.1	3.2
2002年	17.0	25.2	1.3	7.1	26.0	4.9	8.7	1.2	5.0	3.7
2005年	20.9	24.2	2.6	6.1	24.0	5.0	6.4	0.6	4.9	5.4

資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2007a)。

注: 1982年と1987年の調査では「アルバイト」は選択肢に含まれていない。1982年の調査では複数の相手についての回答を許容しているため、合計が100%にならない。各調査とも対象は異性の交際相手がいると回答した18-34歳未婚者。

表1-5-2 「年齢」と「交際相手と知り合ったきっかけ」とのクロス

		年齢					合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	学校で	4 40.0%	1 100.0%	2 50.0%	0 .0%	0 .0%	7 35.0%
	学校以外の活動・習い事で	2 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 10.0%
	職場や仕事の関係で	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	1 33.3%	1 50.0%	3 15.0%
	アルバイト先で	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.0%
	友人・知人の紹介で	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	2 66.7%	0 .0%	3 15.0%
	合コンで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 5.0%
	インターネットや携帯のサイトで	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.0%
	無回答	2 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 10.0%
	合計	10 100.0%	1 100.0%	4 100.0%	3 100.0%	2 100.0%	20 100.0%
	女性	学校で	10 52.6%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
学校以外の活動・習い事で		0 .0%	1 8.3%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	2 5.4%
幼なじみ・隣人関係		1 5.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.7%
職場や仕事の関係で		0 .0%	3 25.0%	1 33.3%	0 .0%	1 100.0%	5 13.5%
アルバイト先で		1 5.3%	2 16.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	4 10.8%
街中や旅先の出会いで		0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.7%
友人・知人の紹介で		4 21.1%	2 16.7%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	7 18.9%
合コンで		1 5.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.7%
インターネットや携帯のサイトで		1 5.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 5.4%
無回答		1 5.3%	1 8.3%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	3 8.1%
合計	19 100.0%	12 100.0%	3 100.0%	2 100.0%	1 100.0%	37 100.0%	

我々の調査結果は表1-5-2である。全体では、「交際相手と知り合ったきっかけ」について、第1番目に数が多かった項目は「学校で」あり、31.6%であった。第2位は「友人・知人の紹介で」の17.5%、第3位は「職場や仕事の関係で」の14.0%であった。上位3項目で63.1%となり、6割を超える。それ以外の項目は、それぞれ10%以下であった。

性別でみると、男女ともに、「学校で」と「友人・知人の紹介で」が交際相手と知り合う主要なきっかけとなっている。男性では、第1番目に割合が多かった項目は「学校で」(35.0%)であった。第2位は「職場や仕事の関係で」と「友人・知人の紹介で」であり、ともに15.0%であった。また、女性についても第1番目に割合が多かった項目は、「学校で」であった(29.7%)。第2位は「友人・知人の紹介で」であり(18.9%)、第3位は、「職場や仕事の関係で」(13.5%)と続いた。

全国調査では「職場や仕事の関係で」および「学校で」知り合う者の割合は年齢によって大きく違ってくるのが指摘されている。すなわち、若い年齢層では「学校で」交際相手と知り合う者がもっとも多いが、その割合は年齢が上がるとともに急速に減少し、これに代わって「職場や仕事の関係で」交際相手と知り合う者の割合が年齢とともに増加する。

我々の調査結果でも若年層で交際相手と「学校で」と知り合った者が多いことは同様である。すなわち、年齢別では、20-24歳層では、交際相手と「学校で」知り合った者は男性で40.0%、女性で52.6%であった。しかし、25-29歳以降ではやや異なった様相を指摘できる。たとえば、男性では25-29歳層より上の年齢ではそもそも交際相手と出会った者が少ない。我々の調査の回答者では男性で異性の交際相手を有する者は20-24歳までの年齢層が過半数を占めていた。25-29歳層以上で知り合った者についてそのきっかけをみると、「学校で」「職場や仕事の関係で」「友人・知人の紹介で」がそれぞれ30%であり、「合コンで」が10%であった。

女性の場合には30-34歳以上の年齢では交際相手を有する者は少なくなる(16.2%)。逆に言えば、我々の調査の回答者については女性で異性の交際相手をもつ者はその83.8%が20-24歳および25-29歳層であった。知り合ったきっかけについては、25-29歳以上の層では「学校で」の割合は低下し、「職場や仕事の関係で」や「アルバイト先で」「友人・知人の紹介で」の割合が多くなる。

なお我々の調査結果では、「兄弟姉妹の紹介で」「お見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)」「結婚相談所や結婚情報サービスで」で交際相手と知り合った者は男女ともに皆無であった。

6. 異性の交際相手がない理由

全国調査においても同様の傾向がみられたが、我々の調査結果においても独身男女の異性との交際状況は著しく低調で不活発な状態にあることが明らかになった。しかし、全国調査ではその理由を調べていない。そこで我々は「異性の交際相手がない」者について、その最大の理由は何かをたずねる設問を用意した。その結果が表1-6-1である。

この表からまず言えることは、男女ともに「異性との交際に興味がない」と答えた者はきわめて少ないことである。その割合は、男性で6.3%、女性で2.2%であった。逆に言えば大多数の回答者は異性との交際の可能性を排除していないし、もっと積極的に言えば異性との交際に興味をもっていると考えられる。それにもかかわらず「交際相手がない最大の理由」の第1位は、男性では「異性との出会いがない」であり(33.3%)、女性では「異性との出会いはあるが適当な相手に巡り会えない」(40.2%)であった。第2位は男性で「異性との出会いはあるが適当な相手に巡り会えない」(25.4%)、女性で「異性との出会いがない」(35.6%)であった。順位に違いはあるが、男女ともに「異性との出会いがない」と「適当な相手に巡り会えない」との2つで過半数を超える回答率を示している。

その上で若干の男女差も認められる。女性の場合には「異性との出会いがない」と「適当な相手に巡り会えない」の二つの理由が大半の割合を占める(75.6%)が、男性の場合にはこれらの二要因は58.7%

とやや少ない。逆の側面からみると、男性の場合にはこれら二つ以外の理由の割合も比較的多い。たとえば、男性では「異性との出会いがあるが、異性との会話や交際が苦手である」が 15.9%、「経済的な余裕がない」が 11.1%と比較的多い割合を示している。これらは当事者のパーソナリティや彼らの境遇に関する要因であり、そのような要因によって異性との交際に困難を感じている回答者が男性の中に比較的多いことはやはり注目に値する。

表1-6-1 「年齢」と「交際相手がない最大の理由」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	異性との出会いがない	1 7.7%	8 44.4%	6 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 50.0%	21 33.3%
	異性との出会いはあるが、適当な相手に巡り会えない	4 30.8%	4 22.2%	1 8.3%	3 37.5%	3 37.5%	1 25.0%	16 25.4%
	異性との出会いがあるが、異性との会話や交際が苦手である	4 30.8%	2 11.1%	2 16.7%	1 12.5%	0 .0%	1 25.0%	10 15.9%
	時間的余裕がない	0 .0%	2 11.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%
	経済的余裕がない	3 23.1%	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	2 25.0%	0 .0%	7 11.1%
	異性との交際に興味がない	0 .0%	1 5.6%	1 8.3%	1 12.5%	1 12.5%	0 .0%	4 6.3%
	その他	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%
	無回答	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%
	合計	13 100.0%	18 100.0%	12 100.0%	8 100.0%	8 100.0%	4 100.0%	63 100.0%
女性	異性との出会いがない	7 41.2%	4 28.6%	0 .0%	2 40.0%	3 50.0%		16 35.6%
	異性との出会いはあるが、適当な相手に巡り会えない	5 29.4%	9 64.3%	3 100.0%	1 20.0%	0 .0%		18 40.0%
	異性との出会いがあるが、異性との会話や交際が苦手である	2 11.8%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	0 .0%		3 6.7%
	時間的余裕がない	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%		3 6.7%
	経済的余裕がない	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%		1 2.2%
	異性との交際に興味がない	2 11.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 4.4%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	0 .0%		1 2.2%
	無回答	0 .0%	1 7.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 2.2%
合計	17 100.0%	14 100.0%	3 100.0%	5 100.0%	6 100.0%		45 100.0%	

7. 独身にとどまっている理由（全国調査の結果）

一般に「いずれは結婚したい」と考えている未婚者がまだ独身でいることには、二つの状況が考えられる。一つは当面、結婚する意思がないために独身にとどまっていることである。もう一つは結婚の意欲はあるが、何らかの障害があり、独身にとどまっていることである。全国調査は前者に分類される要因を「結婚しない」要因と呼び、後者に係る要因を「結婚できない」要因と呼んだ上で、どちらがどの程度の大きさで作用しているのかをとらえようと試みた。具体的には「結婚しない理由」ないし「結婚できない理由」に分類される 10 の選択項目を提示し、独身にとどまっている理由を複数回答で尋ねた。その選択項目と分類を示したものが表 1-7-1 である。

選択項目	分類	
1.結婚するにはまだ若すぎるから	結婚の必然性の希薄さ	「結婚しない」理由
2.結婚する必然性をまだ感じないから		
3.今は仕事(学業)にうちこみたいから	結婚と競合するものの存在	
4.今は趣味や娯楽を楽しみたいから		
5.独身の自由や気楽さを失いたくないから		
6.適当な相手にまだめぐり会わないから	結婚相手の欠如	「結婚できない」理由
7.異性とうまくつき合えないから		
8.結婚資金が足りないから	結婚の障害の存在	
9.結婚生活のための住居のめどがたたないから		
10.親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から		
11.その他	その他	

資料：国立社会保障・人口問題研究所(2007a)

質問：あなたが独身にとどまっている理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最も当てはまると思われる理由を最大三つまで選んで、右の回答欄に番号を記入して下さい(すでに結婚が決まっている方は「最大の理由」の欄に11を記入して下さい)。

表 1-7-2 はこの分類にしたがって、各分類カテゴリーを選択した対象者の各年齢階級内の未婚者中に占める割合を、調査年別・男女別に示している。

年齢階級別にみると、20 歳代前半では、独身にとどまっている理由として、男女ともに 75-80%の未婚者が何らかの「結婚しない」理由を選択している。表は省略するが、「結婚しない」理由を選択する割合は 18-19 歳の未婚者では男女ともにもっと高い割合を示し、おおむね 8 割を超えている。これに対して、何らかの「結婚できない」理由を選択する割合は、20 歳代前半では男性で 55%前後、女性で 60%前後である。したがって、20 歳代前半までの未婚者では、独身にとどまっている理由としては、男女ともに「結婚できない」理由よりも「結婚しない」理由の方が明らかに優勢である。

表1-7-2 (全国調査)独身にとどまっている理由とその分類

年齢	理由の分類	男性				女性			
		1992	1997	2002	2005	1992	1997	2002	2005
20-24	「結婚しない」理由	81.1	76.2	77.4	75.9	79.0	77.6	77.5	80.6
	必然性希薄	69.2	63.3	62.6	56.8	62.8	61.1	61.2	62.4
	競合の存在	61.8	57.8	60.9	63.5	61.8	64.1	64.3	67.4
	「結婚できない」理由	55.0	55.7	51.5	56.1	62.3	60.3	58.0	61.5
	相手の欠如	32.2	34.2	32.0	34.2	39.9	39.3	37.7	39.6
	障害の存在	30.2	29.6	26.8	32.1	28.9	27.1	24.9	27.4
25-29	「結婚しない」理由	66.4	64.8	64.8	67.8	62.1	60.9	61.4	62.8
	必然性希薄	41.3	42.0	42.3	38.2	33.2	37.8	37.3	35.5
	競合の存在	53.2	54.3	55.6	57.2	54.9	54.2	54.1	56.0
	「結婚できない」理由	68.1	61.8	59.5	64.8	65.8	63.7	62.8	62.5
	相手の欠如	51.9	45.5	42.6	44.4	53.7	49.6	46.9	47.1
	障害の存在	31.7	29.2	28.5	33.3	18.9	21.9	22.6	23.6
30-34	「結婚しない」理由	52.4	49.9	56.0	58.3	55.5	57.8	54.5	54.2
	必然性希薄	22.9	28.0	27.6	30.1	26.7	29.7	31.4	27.7
	競合の存在	46.4	42.9	48.2	49.3	49.0	52.0	48.7	47.4
	「結婚できない」理由	69.4	63.3	64.2	66.4	70.4	70.1	66.4	62.9
	相手の欠如	60.9	55.0	54.2	53.2	65.2	64.2	56.5	55.0
	障害の存在	23.5	19.8	26.1	28.2	15.0	11.9	16.5	13.5
35-39	「結婚しない」理由	45.3	44.3	49.8	49.0	45.7	46.3	43.6	45.5
	必然性希薄	18.6	22.3	21.1	17.8	19.6	24.1	23.2	19.2
	競合の存在	38.0	38.0	44.3	32.6	43.5	43.6	34.6	40.4
	「結婚できない」理由	68.2	67.6	67.2	68.4	56.5	58.4	58.8	61.2
	相手の欠如	64.5	61.8	61.3	56.3	52.1	53.0	56.9	54.5
	障害の存在	17.6	19.5	23.5	15.6	7.2	10.7	10.4	12.2
40-44	「結婚しない」理由	36.8	35.4	39.7	37.0	24.6	31.4	35.3	38.5
	必然性希薄	18.9	16.7	16.4	17.8	11.9	22.9	14.7	22.4
	競合の存在	32.9	28.6	35.3	35.6	21.4	25.7	33.8	32.9
	「結婚できない」理由	53.5	60.8	64.6	59.6	32.5	36.2	45.6	53.4
	相手の欠如	51.3	57.7	61.6	56.3	30.1	22.9	41.9	50.9
	障害の存在	12.3	15.4	17.2	15.6	4.0	4.8	7.4	9.3
45-49	「結婚しない」理由	22.2	26.9	32.4	29.3	15.2	22.7	17.5	22.3
	必然性希薄	11.1	10.3	10.8	8.8	10.1	15.9	13.4	9.7
	競合の存在	20.0	23.4	29.1	27.6	15.2	18.2	15.5	21.4
	「結婚できない」理由	37.8	41.1	55.9	47.5	15.2	27.3	20.6	40.8
	相手の欠如	36.7	38.9	49.2	44.8	13.9	23.9	18.6	39.8
	障害の存在	7.8	8.0	19.2	13.3	2.5	5.7	3.1	5.8

資料：同上。

注：男女各年齢階級内の全未婚者に占める分類カテゴリーの項目を選択した者の割合を示す。同一の対象者が同じ分類カテゴリー内の項目を複数重複して選択していたとしても、重複してカウントしない。したがって、各数値は男女・年齢階級別に、そのカテゴリーの項目を選択した者の全未婚者中の割合を示す。

しかし、年齢が高くなるにつれて、独身にとどまっている理由として、「結婚しない」理由を選択する割合は男女ともに低下し、「結婚できない」理由を選択する割合が上昇する。まず20歳代後半で、男女ともに、「結婚しない」理由の割合と「結婚できない」理由の割合とがほぼ拮抗する。そして、30歳代前半では、独身にとどまっている理由としては、「結婚しない」理由よりも「結婚できない」理由の方が明らかに優勢になる。この傾向は、男性の場合には30歳代後半と40歳代前半で、女性の場合には30歳代後半でもっとも顕著に現れている。さらに子細にみると、女性の場合、1997年までの調査では40歳代前半になると「結婚できない」理由を選択する割合は30%台まで低下していたが、2002年の調査では40%台に上昇し、2005年の調査では50%を超えている。

次に「結婚しない」理由と「結婚できない」理由の内容をみると、20歳代後半では「結婚しない」理由の内容としては、「結婚の必然性の希薄さ」と「結婚と競合するものの存在」が男女ともにほぼ拮抗した数字になっている。しかし、30歳代前半以降の年齢層では、「結婚しない」理由として「結婚の必然性の希薄さ」を選択する割合は減少し、代わって「結婚と競合するものの存在」を選択する割合が男女ともに顕著に増加する。また「結婚できない」理由の内容では、男女ともに20歳代後半で「結婚相手の欠如」の割合が「結婚の障害の存在」の割合を大きく上回るようになる。「結婚相手の欠如」を選択する割合は男性の場合には30歳代前半から40歳代前半の年齢層で、女性の場合には30歳代前半と30歳代後半の年齢層で顕著に大きくなり、それぞれの年齢層において過半数を超える未婚者がこれを選択している。なお2002年と2005年の調査では、女性の場合には40歳代前半の年齢層でも、独身にとどまっている理由として、「結婚相手の欠如」を選択する割合が高くなっている。

独身にとどまっている理由を尋ねた質問に対する未婚者の回答の内容は、男女ともに20歳代後半以降の年齢層で「結婚できない」という意識が強まっていることを示している。このことはこの年齢層に属する未婚者の多くが結婚難に陥っていることを窺わせる。その場合に男女ともに結婚できない主要な理由は「結婚相手の欠如」である。

8. 独身にとどまっている最大の理由（我々の調査結果）

我々の調査でも全国調査の設問を参考に質問を作り、独身にとどまっている理由を尋ねた。ただし「結婚しない理由」に関する選択肢に「現在の生活レベルを落とすたくないから」を加え、「結婚できない理由」に関する選択肢については「結婚資金が足りないから」と「結婚生活のための住居のめどがたないから」を外し、「経済力がないから」を入れた。そして、「最大の理由」、「第二の理由」、「第三の理由」をそれぞれ選択してもらうという形にした。

このうち、独身にとどまっている「最大の理由」をまとめたのが表1-8-1である。

性別にみると、男女ともにもっとも多い回答は「適当な相手にまだ巡り会わないから」であり、男性で32.9%、女性で39.5%がこれを選択していた。しかし、第2位に多い回答には男女差があった。男性ではそれは「経済力がないから」の22.0%であったが、女性ではそれは「今は仕事（学業）に専念したいから」の18.5%であった。さらに「結婚しない」理由と「結婚できない」理由のいずれが強いのかをみると、男女ともに「結婚できない」理由が「結婚しない」理由を上回っている。男性では「結婚できない理由」を選択する者の割合は58.6%であり、女性ではそれは59.3%であった。

全国調査の結果では、20歳代前半では、独身にとどまっている理由として、男女ともに大多数の未婚

者が何らかの「結婚しない」理由を選択し、年齢が高まるとともに「結婚できない理由」を選択する割合が高まるという傾向が示されていた。我々の調査結果でも同様の傾向が示されており、20-24 歳層では「結婚しない」理由を選択する者は、男性で 59.1%、女性で 47.3%であった。しかし、全国調査の結果と比較すると、我々の調査では 20-24 歳層で「結婚できない」理由を選択する者も比較的多く、男性で 40.9%、女性で 41.7%を数える。とくに男性で「経済力がない」を選択する者が 36.4%もいるのは注目される。さらに全国調査では 25-29 歳層は独身にとどまっている理由として「結婚しない理由」の割合と「結婚できない理由」の割合が拮抗していたが、我々の調査では「結婚できない理由」の割合が「結婚しない理由」の割合を大きく上回る結果が示されている。すなわち、我々の調査では 25-29 歳層で独身にとどまっている理由として「結婚できない理由」を選択する者は男性で 61.4%、女性で 57.6%であるのに対し、「結婚しない理由」を選択する者は男性で 39.1%、女性で 26.8%となっていた。全国調査と比べると、我々の調査の回答者は「結婚難」を感じている者が多いということになるのかもしれない。

9. 独身にとどまっている第二、第三の理由（我々の調査結果）

我々の調査では、独身にとどまっている理由について、「第二の理由」と「第三の理由」を回答してもらった。これについて結果をみてみよう。表 1-9-1 と表 1-9-2 である。

独身にとどまっている「第二の理由」を性別にみると、男性では「結婚できない理由」(51.2%)が「結婚しない理由」(42.8%)を上回り、女性では「結婚しない理由」(49.3%)が「結婚できない理由」(38.3%)を上回った。

年齢別にみると、20-24 歳層では男女ともに「結婚しない理由」の割合が「結婚できない理由」の割合を上回る。しかし、男女ともにその差はそれほど大きくない。「結婚しない理由」を選択する者は男性で 54.5%、女性で 49.9%であり、「結婚できない理由」を選択する者は男性で 45.4%、女性で 44.5%であった。25-29 歳層では男性では「結婚できない理由」を選択する者(55.3%)が「結婚しない理由」を選択する者(44.6%)を上回るが、女性では依然として「結婚しない理由」(46.1%)が「結婚できない理由」(38.3%)を上回った。

独身にとどまっている「第三の理由」を性別にみると、男女ともに「結婚しない理由」の割合が「結婚できない理由」の割合を上回っている。「結婚しない理由」を選択した者は男性で 45.1%、女性で 55.6%であり、「結婚できない理由」を選択した者は男性で 40.3%、女性で 29.6%であった。

年齢別にみると、20-24 歳層と 25-29 歳層で男女ともに「結婚しない理由」の割合が「結婚できない理由」の割合を上回っている。すなわち、20-24 歳層では「結婚しない理由」を選択する者は男性で 59.0%、女性で 59.0%であり、「結婚できない理由」を選択する者は男性で 36.3%、女性で 26.9%であった。また 25-29 歳層では「結婚しない理由」を選択する者は男性で 55.6%、女性で 57.6%であり、「結婚できない理由」を選択する者は男性で 38.9%、女性で 34.6%であった。

以上をまとめると、独身にとどまっている理由では、男女ともに「最大の理由」としては「結婚できない理由」を選択する者が多いが、「第二の理由」、「第三の理由」となると、「結婚しない理由」を選択する者が多くなるようである。

表1-8-1 「年齢」と「独身でいる最大の理由」とのクロス

最大の理由		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	結婚するにはまだ若すぎるから	6 27.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 7.3%
	結婚する必要性を感じないから	2 9.1%	3 16.7%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	7 8.5%
	今は仕事(学業)に専念したいから	2 9.1%	1 5.6%	1 6.3%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	5 6.1%
	今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから	1 4.5%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	3 3.7%
	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	2 9.1%	2 11.1%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	10 12.2%
	適当な相手にまだめぐり合わないから	0 .0%	7 38.9%	8 50.0%	4 33.3%	6 60.0%	2 50.0%	27 32.9%
	異性とうまくつきあえないから	1 4.5%	0 .0%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	3 3.7%
	経済力がないから	8 36.4%	4 22.2%	1 6.3%	4 33.3%	1 10.0%	0 .0%	18 22.0%
	現在の生活レベルを落としたいから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	1 1.2%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	2 2.4%
合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
女性	結婚するにはまだ若すぎるから	2 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%
	結婚する必要性を感じないから	2 5.6%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		4 4.9%
	今は仕事(学業)に専念したいから	12 33.3%	3 11.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		15 18.5%
	今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから	2 5.6%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		4 4.9%
	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	1 2.8%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	2 28.6%		5 6.2%
	適当な相手にまだめぐり合わないから	10 27.8%	13 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	4 57.1%		32 39.5%
	異性とうまくつきあえないから	2 5.6%	1 3.8%	0 .0%	2 33.3%	0 .0%		5 6.2%
	経済力がないから	3 8.3%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%		5 6.2%
	現在の生活レベルを落としたいから	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		1 1.2%
	その他	1 2.8%	3 11.5%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%		6 7.4%
無回答	1 2.8%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%	
合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%	

表1-9-1 「年齢」と「独身でいる第二の理由」とのクロス

第二の理由		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	結婚するにはまだ若すぎるから	2 9.1%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 3.7%
	結婚する必要性を感じないから	2 9.1%	0 .0%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	4 4.9%
	今は仕事(学業)に専念したいから	3 13.6%	1 5.6%	2 12.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 7.3%
	今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから	3 13.6%	1 5.6%	1 6.3%	3 25.0%	0 .0%	0 .0%	8 9.8%
	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	0 .0%	5 27.8%	3 18.8%	0 .0%	2 20.0%	0 .0%	10 12.2%
	適当な相手にまだめぐり会わないから	5 22.7%	2 11.1%	1 6.3%	4 33.3%	1 10.0%	1 25.0%	14 17.1%
	異性とうまくつきあえないから	0 .0%	4 22.2%	4 25.0%	1 8.3%	2 20.0%	1 25.0%	12 14.6%
	経済力がないから	5 22.7%	4 22.2%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	15 18.3%
	現在の生活レベルを落としたいから	2 9.1%	0 .0%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	4 4.9%
	親や周囲が結婚に同意しないから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	1 1.2%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 30.0%	2 50.0%	5 6.1%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎるから	8 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
結婚する必要性を感じないから		3 8.3%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		5 6.2%
今は仕事(学業)に専念したいから		3 8.3%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		5 6.2%
今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから		3 8.3%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%	1 14.3%		6 7.4%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから		1 2.8%	8 30.8%	2 33.3%	1 16.7%	1 14.3%		13 16.0%
適当な相手にまだめぐり会わないから		4 11.1%	3 11.5%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%		9 11.1%
異性とうまくつきあえないから		3 8.3%	3 11.5%	1 16.7%	0 .0%	2 28.6%		9 11.1%
経済力がないから		8 22.2%	3 11.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		11 13.6%
現在の生活レベルを落としたいから		0 .0%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	1 14.3%		3 3.7%
親や周囲が結婚に同意しないから		1 2.8%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%
その他		0 .0%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	2 28.6%		4 4.9%
無回答		2 5.6%	3 11.5%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		6 7.4%
合計		36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%

表1-9-2 「年齢」と「独身でいる第三の理由」とのクロス

第三の理由		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚するにはまだ若すぎるから	6 27.3%	2 11.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	8 9.8%
	結婚する必要性を感じないから	1 4.5%	2 11.1%	2 12.5%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	7 8.5%
	今は仕事(学業)に専念したいから	2 9.1%	1 5.6%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	5 6.1%
	今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから	3 13.6%	4 22.2%	2 12.5%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	10 12.2%
	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	3 25.0%	1 10.0%	0 .0%	5 6.1%
	適当な相手にまだめぐり会わないから	3 13.6%	4 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	8 9.8%
	異性とうまくつきあえないから	0 .0%	1 5.6%	2 12.5%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	4 4.9%
	経済力がないから	3 13.6%	2 11.1%	5 31.3%	1 8.3%	5 50.0%	1 25.0%	17 20.7%
	現在の生活レベルを落としたいくないから	1 4.5%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.4%
	親や周囲が結婚に同意しないから	2 9.1%	0 .0%	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	4 4.9%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	1 8.3%	1 10.0%	0 .0%	3 3.7%
	無回答	1 4.5%	1 5.6%	2 12.5%	0 .0%	3 30.0%	2 50.0%	9 11.0%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎるから	2 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
結婚する必要性を感じないから		1 2.8%	3 11.5%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		5 6.2%
今は仕事(学業)に専念したいから		5 13.9%	3 11.5%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		9 11.1%
今はまだ趣味や娯楽を楽しみたいから		5 13.9%	6 23.1%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		12 14.8%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから		4 11.1%	1 3.8%	2 33.3%	1 16.7%	1 14.3%		9 11.1%
適当な相手にまだめぐり会わないから		4 11.1%	3 11.5%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		8 9.9%
異性とうまくつきあえないから		1 2.8%	2 7.7%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		4 4.9%
経済力がないから		6 16.7%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	2 28.6%		10 12.3%
現在の生活レベルを落としたいくないから		4 11.1%	2 7.7%	0 .0%	1 16.7%	1 14.3%		8 9.9%
親や周囲が結婚に同意しないから		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	1 14.3%		2 2.5%
その他		1 2.8%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%
無回答		3 8.3%	3 11.5%	0 .0%	2 33.3%	2 28.6%		10 12.3%
合計		36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%

10. 希望する結婚年齢

一般に未婚者が結婚したいと思う年齢は現在の年齢によって異なってくるが、全国調査の結果ではこれまでどの年齢層でも希望する結婚年齢の上昇が続いていた。しかし、最新（2005年）の調査結果ではその上昇はおおむね頭打ち傾向が見られ、男性ではわずかに下がる傾向があると指摘されている。2005年の調査結果では、未婚者が結婚したいと思う平均年齢は男性の場合に20-24歳で27.9歳、25-29歳で30.7歳、30-34歳で35.1歳であった。女性の場合には20-24歳で26.5歳、25-29歳で29.7歳、30-34歳で34.2歳であった（同書、p.52）。

全国調査の結果によれば、調査時点から希望結婚年齢までの年数（結婚までの希望待ち年数）は本人の年齢が上がるとともに短くなる。2005年の調査結果では、男性の場合、20-24歳で5.5年、25-29歳で3.4歳、30-34歳で3.0歳であり、女性の場合、20-24歳で4.2歳、25-29歳で2.4歳、30-34歳で2.4歳であった。

全国調査と比較するため、我々は結婚希望年齢に関する調査データについて、性別・年齢別のクロス集計表を作成した。その結果が表1-10-1である。これをみると、男性ではおおむね現在の年齢層よりも一つ上の年齢層に結婚希望年齢が集中していることが分かる。全国調査の傾向と比べると、我々の調査の回答者の男性は結婚までの希望待ち年数はやや長いように思われる。つまり、それだけ結婚についてより近い将来に実現の見通しが無いということになるのだろうか。

これに対し、女性では20-24歳では一つ上の25-29歳層に結婚希望年齢が集中しているが、25-29歳より上の年齢層では同じ年齢層に回答が集中する傾向がある。つまり、25-29歳よりも上の年齢層では現在年齢により近い年齢での結婚を望んでいるということである。これは全国調査で見出された傾向と一致している。

希望する結婚年齢には本人の年齢だけでなく、結婚相手に希望する年齢もある。全国調査の傾向をみると、2005年の調査結果では結婚相手に希望する平均年齢は、男性の場合、20-24歳で26.3歳、25-29歳で28.1歳、30-34歳で29.9歳であり、女性の場合に20-24歳で28.8歳、25-29歳で31.6歳、30-34歳で35.5歳であった。全国調査での傾向をもう少し調査年を遡ってみてみると、一昔前の傾向は、男性の場合には本人の年齢が上がっても結婚相手に比較的若い年齢を望む傾向があり、女性の場合は自分と比較的近い年齢を希望する傾向があった。たとえば、1997年の調査結果では男性の場合、結婚相手に希望する年齢は20-24歳で24.3歳、25-29歳で24.9歳、30-34歳で26.5歳であった。つまり、男性の場合には本人の年齢に関係なく、25歳前後の女性を結婚相手として望んでいた。これに対し、女性の場合には結婚相手に希望する年齢は20-24歳で28.8歳、25-29歳で31.6歳、30-34歳で35.5歳であった。この時期と比べると同じ年齢層で比較した場合、男性の場合には最近の調査ほど結婚相手に希望する年齢は高くなっている。しかし、それでも若い年齢を結婚相手に望む傾向は残っている。一方、女性の場合では、相手に望む年齢は、30歳代前半で若干上昇している以外はこの間にほとんど変化がみられないと調査報告書は指摘している（同書、p.53）。

結婚相手に希望する年齢についての我々の調査結果は表1-10-2である。それによると、男性の場合には20-24歳で25-29歳の相手を望む割合が65.0%と最も多い。30-34歳も20.0%であるから、20-24歳では85.0%の回答者が結婚相手に自分よりも高い年齢を望んでいることになる。我々の調査では男性の20-24歳は年上の女性を結婚相手に望む傾向が強く表れている。男性の25-29歳では同じ年齢層の25-29歳を結婚相手に望む割合が最も多い（58.8%）が、一つ年上の年齢層である30-34歳を望む

割合も3割ほどいる(29.4%)ことも注目される。30-34歳より上の年齢層では自分の年齢と同じかそれよりも若い年齢を望む割合が多い。これは全国調査での傾向と一致する。

女性の場合には全国調査での傾向と異なり、自分の年齢よりも少し上の年齢を望む傾向がある。たとえば、20-24歳では25-29歳を望む者が55.9%、30-34歳を望む者が32.4%であり、併せて94.2%が自分よりも年上の年齢層を結婚相手に望んでいる。この傾向は25-29歳でも同様である。女性の場合、25-29歳では61.5%が30-34歳を望み、26.9%が35-39歳を望んでいた。30-34歳では66.7%が35-39歳を結婚相手に望み、35-39歳では50.0%が40-44歳を望み、16.7%が45-49歳を望んでいた。ただ40-44歳では結婚相手に望む年齢については半数が無回答であった。これはこの年齢層になるとそれだけ具体的に結婚の見通しをもてない人が多くなるため、希望する結婚年齢について回答できないことになるのかもしれない。

表1-10-1 「年齢」と「結婚希望年齢」とのクロス

希望年齢		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	25-29	13 65.0%	3 17.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	16 22.9%
	30-34	6 30.0%	13 76.5%	1 7.7%	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	21 30.0%
	35-39	0 .0%	0 .0%	7 53.8%	3 33.3%	0 .0%	0 .0%	10 14.3%
	40-44	0 .0%	0 .0%	2 15.4%	4 44.4%	1 12.5%	0 .0%	7 10.0%
	45-49	0 .0%	0 .0%	1 7.7%	0 .0%	2 25.0%	0 .0%	3 4.3%
	50以上	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	2 2.9%
	無回答	1 5.0%	1 5.9%	2 15.4%	2 22.2%	4 50.0%	1 33.3%	11 15.7%
	合計	20 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	9 100.0%	8 100.0%	3 100.0%	70 100.0%
女性	20-24	3 8.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		3 3.8%
	25-29	28 82.4%	13 50.0%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		42 53.8%
	30-34	2 5.9%	12 46.2%	2 33.3%	0 .0%	0 .0%		16 20.5%
	35-39	0 .0%	1 3.8%	3 50.0%	3 50.0%	0 .0%		7 9.0%
	40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%	3 50.0%		5 6.4%
	無回答	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	3 50.0%		5 6.4%
	合計	34 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%		78 100.0%

表1-10-2 「年齢」と「結婚相手に希望する年齢」とのクロス

相手に望む年齢		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	20-24	2 10.0%	0 .0%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.4%
	25-29	13 65.0%	10 58.8%	3 23.1%	1 11.1%	1 14.3%	0 .0%	28 41.2%
	30-34	4 20.0%	5 29.4%	6 46.2%	3 33.3%	2 28.6%	0 .0%	20 29.4%
	35-39	0 .0%	1 5.9%	1 7.7%	2 22.2%	1 14.3%	1 50.0%	6 8.8%
	40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	1 50.0%	2 2.9%
	無回答	1 5.0%	1 5.9%	2 15.4%	2 22.2%	3 42.9%	0 .0%	9 13.2%
	合計	20 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	9 100.0%	7 100.0%	2 100.0%	68 100.0%
女性	20-24	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 1.3%
	25-29	19 55.9%	2 7.7%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		22 28.2%
	30-34	11 32.4%	16 61.5%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%		29 37.2%
	35-39	2 5.9%	7 26.9%	4 66.7%	0 .0%	0 .0%		13 16.7%
	40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 50.0%	2 33.3%		5 6.4%
	45-49	0 .0%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	1 16.7%		3 3.8%
	無回答	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	3 50.0%		5 6.4%
合計	34 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%		78 100.0%	

11. 結婚相手に求める条件

未婚者はどのような属性を有する相手と結婚したいと考えているのだろうか。それは未婚者が求める結婚像を探るためには欠かせない調査項目である。全国調査はかつて結婚相手に求める条件の解明を重要な研究課題と位置づけ、質問項目を設定していた。ところが最近（2005年）の全国調査はなぜかこれを調査項目から外している。しかし、我々はやはりこの問題は重要な研究課題だと考え、調査票の中に17の選択肢を用意し、結婚相手に求める条件として重視する要素を複数回答で選択してもらった。

これまで（2002年まで）の全国調査の結果は表 1-11-1 にまとめられている。そこで明らかにされてきたことは次のような事柄である。第一に結婚相手の条件として重視する項目は、近年では男女とも相手の「人柄」「家事・育児に対する能力や姿勢」「自分の仕事に対する理解と協力」がこの順で大きな割合を示している。第二に女性では相手の「経済力」「共通の趣味」「職業」、男性では「共通の趣味」「容姿」を重視している。第三に女性では結婚相手の条件として多くの項目を重視ないし考慮しているのに対し、男性では相手の「学歴」「職業」「経済力」を重視する人は少なく、考慮する人も4割以下にとどまっている。第四に男女とも「学歴」を重視ないし考慮する割合が一貫して低下する一方で、「家事・育児に対する能力や姿勢」を重視する割合が上昇した。第五に女性では「仕事に対する理解と協力」を相手の条件として重視する割合も増えている（国立社会保障・人口問題研究所、2004年）。

結婚相手に求める条件に関する我々の調査の集計結果は表 1-11-2 と表 1-11-3 である。表 1-11-2 からまず言えることは男女ともに「性格・人柄がよい」を選択する割合がもっとも大きいことである。これは全国調査での結果と一致する傾向であるが、我々の調査では男性の場合の選択率が90.1%と女性の場合の選択率80.8%を上回っていることが特徴的である。しかし、この共通性の上にさらに何を相手に求めるかという点で男女の相違がある。

男性の場合に二番目に選択率が高い項目は「一緒にいると楽しい」の79.2%であり、三番目に高い項目は「趣味や価値観が合う」の62.5%である。全国調査で「人柄」に次いで重視される「家事・育児に対する能力や姿勢」と「自分の仕事に対する理解と協力」は我々の調査結果では40%程度の選択率であり、それほど大きなウェイトを占めているようには見えない。我々の調査では男性の場合に「年齢が若い」「年齢が離れている」「学歴・教養があること」「安定した職業に就いている」「経済力がある」は選択率がきわめて低く、重要視されない要素だといえよう。全体的には我々の調査では男性の回答者は「性格・人柄がよい」「一緒にいると楽しい」「趣味や価値観が合う」の三要素を結婚相手に求める条件として非常に重要視していることになる。このことから浮かび上がる男性の求める結婚相手はやはり「自分の心の傷や疲れを癒してくれる人」ということになるのかもしれない。

女性の場合には二番目に選択率が高い項目は「趣味や価値観が合う」の73.1%であり、三番目に高い項目は「安定した職業に就いている」の67.9%である。次いで「家事・育児の能力や協力的な姿勢がある」(65.4%)、「一緒にいると楽しい」(64.1%)、「経済力がある」(53.8%)、「健康である」(53.8%)が過半数を超える選択率を示している。また過半数には届かなかったが、「相手に対し自分がプラスになれる」も比較的多く、48.7%であった。

全国調査でも示されている傾向であるが、男性に比べて女性はより多くの項目にチェックを入れる傾向があり、その意味で結婚相手に求める条件は多岐にわたる。その上で女性のチェック項目を見渡した場合に認められる顕著な特徴は、単に情緒的な一体感や満足感だけでなく、適当な水準で結婚生活に満足感や意義を与えてくれることを結婚相手に強く求める傾向があることである。たとえば、「安定した仕

事に就いている」「家事・育児の能力や協力的な姿勢がある」「経済力がある」「健康である」「相手に対し自分がプラスになれる」といった項目の選択率の高さからは、相応の水準で結婚生活を安定的かつ有意義に共同運営できる資質を結婚相手に求めていることが窺える。女性は実際の結婚生活を見据えて安心して自分の人生を託せるパートナーを選ぼうとする姿勢があり、この点で女性は男性に比べてより現実的な考え方を有していると言えるだろう。

表1-11-1 (全国調査)調査年別にみた結婚相手の条件

		1992		1997		2002	
		重視する	重視・考慮する	重視する	重視・考慮する	重視する	重視・考慮する
男性	学歴	2.8	29.8	2.2	23.5	1.9	21.0
	職業	4.4	39.4	3.0	35.8	3.4	37.1
	経済力	3.4	26.7	2.8	30.8	3.2	29.4
	人柄	79.6	94.1	82.9	95.1	73.4	92.8
	容姿	22.2	79.7	19.8	74.0	20.2	76.8
	共通の趣味			22.0	70.4	22.7	75.2
	自分の仕事に対する理解と協力			42.5	88.3	43.3	88.1
	家事・育児に対する能力や姿勢			34.9	86.6	44.0	89.9
女性	学歴	9.0	54.6	7.7	49.7	5.8	43.9
	職業	22.5	78.0	21.8	77.9	22.6	79.2
	経済力	33.6	88.7	33.5	90.9	33.9	91.1
	人柄	89.3	97.3	92.2	97.8	90.1	98.1
	容姿	12.9	67.6	12.8	67.2	14.1	73.2
	共通の趣味			30.4	78.9	28.2	81.4
	自分の仕事に対する理解と協力			46.5	88.4	51.2	92.4
	家事・育児に対する能力や姿勢			43.6	89.7	58.7	95.0

資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2004)

注: 対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。数字は「重視する」と答えた者の割合、および「重視する」と「考慮する」と答えた者の合計の割合。

表1-11-3 年齢別にみた女性の「結婚相手に求める条件(複数回答)」

	年齢					合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
性格・人柄がよい	28 82.4%	22 84.6%	5 83.3%	5 83.3%	3 50.0%	63 80.8%
一緒にいると楽しい	29 85.3%	12 46.2%	4 66.7%	3 50.0%	2 33.3%	50 64.1%
趣味や価値観が合う	27 79.4%	19 73.1%	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	57 73.1%
相手に対し自分がプラスになれる	20 58.8%	10 38.5%	4 66.7%	1 16.7%	3 50.0%	38 48.7%
年齢が若い	0 .0%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%	2 2.6%
年齢が離れていない	3 8.8%	2 7.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	9 11.5%
好みの容姿・ルックスである	11 32.4%	7 26.9%	4 66.7%	1 16.7%	0 .0%	23 29.5%
健康である	19 55.9%	14 53.8%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	42 53.8%
学歴・教養がある	7 20.6%	5 19.2%	3 50.0%	1 16.7%	0 .0%	16 20.5%
安定した職業に就いている	25 73.5%	18 69.2%	4 66.7%	4 66.7%	2 33.3%	53 67.9%
経済力がある	22 64.7%	17 65.4%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	45 57.7%
必要以上に束縛や干渉をしない	17 50.0%	10 38.5%	4 66.7%	3 50.0%	2 33.3%	36 46.2%
自分の親の賛成がある	10 29.4%	9 34.6%	2 33.3%	1 16.7%	0 .0%	22 28.2%
自分の親を気遣ってくれる	13 38.2%	13 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 .0%	30 38.5%
相手の親が好意的である	18 52.9%	8 30.8%	1 16.7%	0 .0%	1 16.7%	28 35.9%
自分の仕事に理解と協力がある	19 55.9%	6 23.1%	3 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	32 41.0%
家事・育児の能力や協力的な姿勢がある	25 73.5%	20 76.9%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	51 65.4%
その他	1 2.9%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	1 25.0%	3 3.8%
	34	26	6	6	6	78

パーセントと合計はこの設問に対する応答者を基に算出されている。

表1-11-4 性別・年齢別にみた「外せない最大の結婚の条件」

	年齢						合計	
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	性格・人柄がよい	6 30.0%	9 52.9%	8 61.5%	5 50.0%	5 55.6%	2 50.0%	35 47.9%
	一緒にいると楽しい	8 40.0%	1 5.9%	2 15.4%	2 20.0%	3 33.3%	1 25.0%	17 23.3%
	趣味や価値観が合う	2 10.0%	2 11.8%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	5 6.8%
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	1 5.9%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%
	年齢が離れていない	0 .0%	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%
	好みの容姿・ルックスである	0 .0%	2 11.8%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.1%
	健康である	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	2 20.0%	0 .0%	0 .0%	3 4.1%
	経済力がある	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	1 1.4%
	必要以上に束縛や干渉をしない	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%
	自分の仕事を理解し協力してくれる	1 5.0%	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%
	家事・育児の能力や協力的な姿勢がある	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 7.7%	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%
	合計	20 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	10 100.0%	9 100.0%	4 100.0%	73 100.0%
	女性	性格・人柄がよい	11 32.4%	8 30.8%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	
一緒にいると楽しい		8 23.5%	3 11.5%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%		15 19.2%
趣味や価値観が合う		5 14.7%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		7 9.0%
相手に対し自分がプラスになれる		1 2.9%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		3 3.8%
好みの容姿・ルックスである		1 2.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 1.3%
健康である		1 2.9%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.6%
安定した仕事に就いている		4 11.8%	3 11.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		7 9.0%
経済力がある		2 5.9%	4 15.4%	0 .0%	2 33.3%	0 .0%		8 10.3%
必要以上に束縛や干渉をしない		0 .0%	1 3.8%	2 33.3%	0 .0%	0 .0%		3 3.8%
自分の親の賛成		0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 1.3%
自分の親を気遣ってくれる		0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 1.3%
自分の仕事を理解し協力してくれる		1 2.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 1.3%
家事・育児の能力や協力的な姿勢がある		0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%		2 2.6%
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	2 33.3%		3 3.8%
合計	34 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%		78 100.0%	

なお我々の調査では様々な結婚相手に求める条件のうち、「これは外せない」と考える要素は何かを順位を付けて3つ選んでもらった。そのうち、最大の要素を集計した結果が表 1-11-4 である。これによっても上で述べた傾向を確認できる。すなわち、男女ともに「性格・人柄がよい」と回答する割合がもつとも大きい点では共通している。しかし、二番目以降にどのような要素が多くなっているかをみることによって男女の考え方の違いを認めることができる。男性の場合には二番目に多い回答は「一緒にいると楽しい」であり、それに続いて多い回答はいずれもきわめて少ない割合にとどまっている。これに対し、女性の場合には「一緒にいると楽しい」が二番手である点では共通するが、これに続く要素にも比較的選択率の高い項目がある。とくに「安定した仕事に就いている」と「経済力がある」を併せると 19.3% となり、第一位の「性格・人柄がよい」に次ぐ大きな割合になることが注目される。要するに全体的な傾向として、男性はもっぱら情緒的な満足感や癒しを与えてくれることを外せない結婚の条件と考えているに対し、女性はそれに加えて適当な水準で日常生活を継続的に実現できることを結婚の外せない条件とみている。

12. 希望するライフコース（全国調査で示された傾向）

全国調査では 1987 年の調査から未婚者の希望するライフコースについて尋ねている。ライフコースとは文字通りに翻訳すると人生行路であり、個人が生まれてから死ぬまでの間にたどる人生の道筋のことを指す。似たような言葉として「ライフサイクル」があるが、これは時間を基軸に規則的ないし画一的なパターンが展開していくようなイメージを想起させる。しかし、通常、人びとの人生の道筋は、就学、就職、転勤、結婚、出産などいわゆる節目となる機会での意思決定の結果によって多様な経路をたどっていくものである。ライフコースとはそのような個人の選択によって様々に分かれていく人生行路に着目する概念である。このうち、結婚に関する全国調査は、女性を中心に結婚・出産・子育てと就業の関係をライフコースの上でどのように組み立てていくかについて、理想とするライフコースと実際になりそうなライフコースを調べている。

全国調査はどのようなライフコースを女性が選択しようとしているのかを探るため、結婚・出産・子育てと就業との関係を軸に 5 つのライフコースを設定し、次のように名付けている。①専業主婦コース＝結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもちない。②再就職コース＝結婚し子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ。③両立コース＝結婚し子どもをもつが、仕事も一生継続する。④DINKS コース＝結婚するが子どもをもたず、仕事を一生続ける。⑤非婚就業コース＝結婚せず、仕事を一生続ける。その上で全国調査は女性には理想とするライフコースと実際に実現しそうなライフコースについて尋ね、男性には配偶者となる女性に対して希望するライフコースを尋ねた。

これまでの全国調査の結果は表 1-12-1、表 1-12-2、表 1-12-3 にまとめられている。これによって明らかになったことは次のような事柄である。まず未婚女性が理想とするライフコースについては、1987 年の調査では専業主婦コースの割合がもっとも多く、33.6%の選択率を示していた。次いで多かったのが再就職コースの 31.1%であり、以下に両立コース 18.5%、DINKS コース 2.5%、非婚就業コース 3.7%と続いた。しかし、専業主婦コースの選択率は 10 年後の 1997 年の調査で 20.8%と大きく減少し、2005 年の調査では 19.0%となった。これに代わって第一位に躍り出たのは再就職コースであり、2002 年の

調査では 36.7%にまで上昇した。ただ 2005 年の調査ではそれはやや減少して 33.3%である。他方、継続して増加を続けているのは両立コースである。それは 2005 年の調査では 30.3%となり、再就職コースに迫る選択率を示した。DINKS コースと非婚就業コースはこの 18 年間に微増であり、2005 年の調査ではそれぞれ 4.1%と 5.1%であった。

次に実際に実現しそうなライフコースについては、1987 年の調査では再就職コースの割合がもっとも多く、42.2%の選択率を示した。次いで多かったのは専業主婦コースの 23.9%であり、以下両立コース 15.3%、非婚就業コース 7.1%、DINKS コース 1.4%であった。再就職コースは 1992 年の調査で 45.8%にまで増加したが、その後は漸減し、2005 年の調査では 37.1%となった。専業主婦コースはその後の 18 年間に継続して減少し、2005 年の調査では 11.7%となった。両立コースは 2002 年の調査から増加傾向となり、2005 年の調査では第二位の 20.9%となった。非婚就業コースも 2002 年の調査から増加傾向となり、2005 年の調査では 15.5%と、専業主婦コースを抜いて第三位になった。DINKS コースは微増ではあるが、2005 年の調査で 3.2%にとどまる。

男性が配偶者となる女性に対して望むライフコースについては、1987 年の調査では再就職コースの割合がもっとも多く、38.3%の選択率であった。ただし、専業主婦コースの割合も再就職コースとほぼ同じ程度あり、37.9%の選択率を示していた。これはこの当時の男性の 4 割近くが自分の仕事の稼ぎで妻子を養えると考えていたことを意味する。それはこの時期には日本の経済が安定成長期にあり、終身雇用と年功賃金が堅持されていたことを反映しているのであろう。しかし、専業主婦コースはその後に一貫して減少を続け、2005 年の調査では 12.5%にまで減少した。最近の男性の中では自分の仕事の稼ぎだけで妻子を養えると考える者はそれだけ少なくなったことを意味している。他方、再就職コースは首位の座を維持し、2002 年の調査では 46.8%の選択率を示したが、2005 年の調査では 38.7%とやや大きな減少を示した。これに対して近年顕著に増加したのが両立コースである。両立コースを将来の配偶者に望む未婚男性は 2005 年の調査で 28.2%に達した。DINKS コースと非婚就業コースはこの 18 年間に微増しているが、2005 年の調査でそれぞれ 2.8%と 3.0%ときわめて少ない。

表1-12-1 (全国調査)未婚女性の理想のライフコース(%)

調査年	未婚女性の理想のライフコース				
	専業主婦コース	再就職コース	両立コース	DINKSコース	非婚就業コース
1987	33.6	31.1	18.5	2.5	3.7
1992	32.5	29.7	19.3	4.1	3.3
1997	20.8	34.3	27.5	4.4	4.4
2002	18.9	36.7	27.6	4.0	5.3
2005	19.0	33.3	30.3	4.1	5.1

資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2007a)

表1-12-2 (全国調査) 実際実現しそうな未婚女性のライフコース(%)

調査年	実際実現しそうな未婚女性のライフコース				
	専業主婦コース	再就職コース	両立コース	DINKSコース	非婚就業コース
1987	23.9	42.2	15.3	1.4	7.1
1992	19.2	45.8	14.7	2.6	9.5
1997	17.8	42.9	15.6	3.0	9.3
2002	13.7	41.8	17.7	4.0	12.5
2005	11.7	37.1	20.9	3.2	15.6

資料: 同上

表1-12-3 (全国調査) 未婚男性が妻となる女性に望むライフコース(%)

調査年	未婚男性が妻となる女性に望むライフコース				
	専業主婦コース	再就職コース	両立コース	DINKSコース	非婚就業コース
1987	37.9	38.3	10.5	0.7	0.8
1992	30.4	44.2	10.8	0.9	0.6
1997	20.7	43.4	17.1	1.5	1.0
2002	18.2	46.8	18.7	1.4	1.6
2005	12.5	38.7	28.2	2.8	3.0

資料: 同上

13. 希望するライフコース (我々の調査結果)

我々の調査では、この調査の参加者の間での議論の結果、全国調査で設定された5つのライフコースに加えて、3つのライフコースを新たに設定した。その結果、質問の際には次の8つのライフコースを選択肢として回答者に提示した。①専業主婦コース＝結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもたない。②再就職コース＝結婚し子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ。③両立コース＝結婚し子どもをもつが、仕事も一生続ける。④DINKSコース＝結婚するが子どもをもたず、仕事を一生続ける。⑤非婚就業コース＝結婚せず、仕事を一生続ける。⑥シングルマザー就業コース＝結婚せずに子どもをもち、仕事を続ける。⑦無子専業主婦コース＝結婚するが子どもをもたず、結婚の機会に専業主婦になり、その後も仕事をもたない。⑧非婚非就業コース＝結婚せず、仕事もしない。その集計結果が表 1-13-1、表 1-13-2、表 1-13-3 である。

まず未婚女性の理想のライフコースについては、表 1-13-1 にまとめられている。我々の調査でもっとも多かった回答は再就職コースの 37.0%であった。次いで二番目に多かった回答は両立コースの 34.6%であり、三番目に多かった回答は専業主婦コースの 22.2%であった。全国調査の結果と比較すると、ほぼ同じような傾向が現れていると言えるが、上位 3 つのコースの割合はそれぞれ全国調査の結果よりも高い。総体的に未婚女性の就業意欲はかなり高いと言えるが、他方で専業主婦コースを理想のライフコースと回答する者も無視できない割合である。言い換えると、専業主婦コースは無子専業主婦コースを含めると 23.4%となり、4人に1人近くが理想のライフコースだと考えていることが注目される。また我々の調査ではシングルマザー就業コースを理想のライフコースと回答する未婚女性は1人いたが、非婚就業コースや非婚非就業コースを理想のライフコースだと考える未婚女性は皆無であった。

次に実際に実現しそうな未婚女性のライフコースについては、表 1-13-2 にまとめられている。我々の調査では再就職コースの割合がもっとも多く、32.1%であった。次いで多かったものは両立コースの 28.4%、三番目に多かったものは非婚就業コースの 27.2%であった。上位 3 つのコースの順位は全国調査の結果と同様であるが、我々の調査では再就職コースの割合は全国調査の結果よりも少なく、両立コースと非婚就業コースの割合は全国調査の結果よりも大きく上回っている。とくに非婚就業コースの 27.2%は全国調査の 15.6%を大きく上回る数字である。

先に述べた理想のライフコースの回答と照合すると、非婚就業コースを理想と考える未婚女性は皆無であったが、4分の1以上の未婚女性は実際に実現しそうなライフコースとして非婚就業を選択すると考えていることになる。表 1-13-2-1 は、結婚の意欲と実際に実現しそうな未婚女性のライフコースをクロス集計した結果である。これによると、非婚就業コースを実際に実現しそうなライフコースと回答した未婚女性の 77.3%は「いずれ結婚するつもり」と回答していた。そこからは未婚女性の一部は結婚の意思を明確にもっているが、実際には結婚は実現しそうにないと考えていることが窺われる。結婚難の一つの側面を暗示すると言えるのかもしれない。

最後に男性が将来の配偶者に望むライフコースをまとめたものが、表 1-13-1 である。これによるともっとも回答が多かったのは再就職コースであり、48.8%と半数に近かった。2番目に多かったのは両立コースの 37.8%、3番目に多かったのは専業主婦コースであり、無子専業主婦コースと併せると 10.9%であった。上位 3 コースの順位は全国調査の結果と同様であるが、我々の調査結果では上位 2 コースの割合は全国調査での結果よりも大きい。すなわち、再就職コースと両立コースを合計した割合は我々の調査では 86.6%を占め、全国調査の結果の 66.9%を大きく上回っている。つまり、我々の調査の男性未婚者にはそれだけ将来の配偶者に仕事をしてもらいたいと考える者が多いということになる。これは言い換えれば、我々の調査の男性未婚者には自分ひとりの仕事の稼ぎだけでは家族を養えそうにないと考えている者が多いということでもある。

表1-13-1 未婚女性の理想のライフコース

ライフコース	年齢					合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
非婚就業コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
シングルマザー就業コース	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%
DINKSコース	2 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	3 3.7%
両立コース	7 19.4%	10 38.5%	5 83.3%	2 33.3%	4 57.1%	28 34.6%
再就職コース	16 44.4%	11 42.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 14.3%	30 37.0%
専業主婦コース	10 27.8%	5 19.2%	0 .0%	3 50.0%	0 .0%	18 22.2%
無子専業主婦コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	1 1.2%
非婚非就業コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	81 100.0%

表1-13-2 実際に実現しそうな未婚女性のライフコース

ライフコース	年齢					合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
非婚就業コース	9 25.0%	5 19.2%	1 16.7%	3 50.0%	4 57.1%	22 27.2%
シングルマザー就業コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
DINKSコース	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	2 2.5%
両立コース	10 27.8%	8 30.8%	4 66.7%	0 .0%	1 14.3%	23 28.4%
再就職コース	12 33.3%	12 46.2%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%	26 32.1%
専業主婦コース	4 11.1%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	6 7.4%
無子専業主婦コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	1 1.2%
非婚非就業コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	1 1.2%
合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	81 100.0%

表1-13-2-1 「結婚の意欲」と「実際に実現しそうな未婚女性のライフコース」とのクロス

結婚の意欲	実際に実現しそうな未婚女性のライフコース							合計
	非婚就業コース	DINKSコース	両立コース	再就職コース	専業主婦コース	無子専業主婦コース	非婚非就業コース	
いずれ結婚するつもり	17	2	23	25	6	0	1	74
	77.3%	100.0%	100.0%	96.2%	100.0%	.0%	100.0%	91.4%
一生結婚するつもりはない	2	0	0	0	0	1	0	3
	9.1%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%	.0%	3.7%
無回答	3	0	0	1	0	0	0	4
	13.6%	.0%	.0%	3.8%	.0%	.0%	.0%	4.9%
合計	22	2	23	26	6	1	1	81
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-13-3 未婚男性が将来の配偶者に望むライフコース

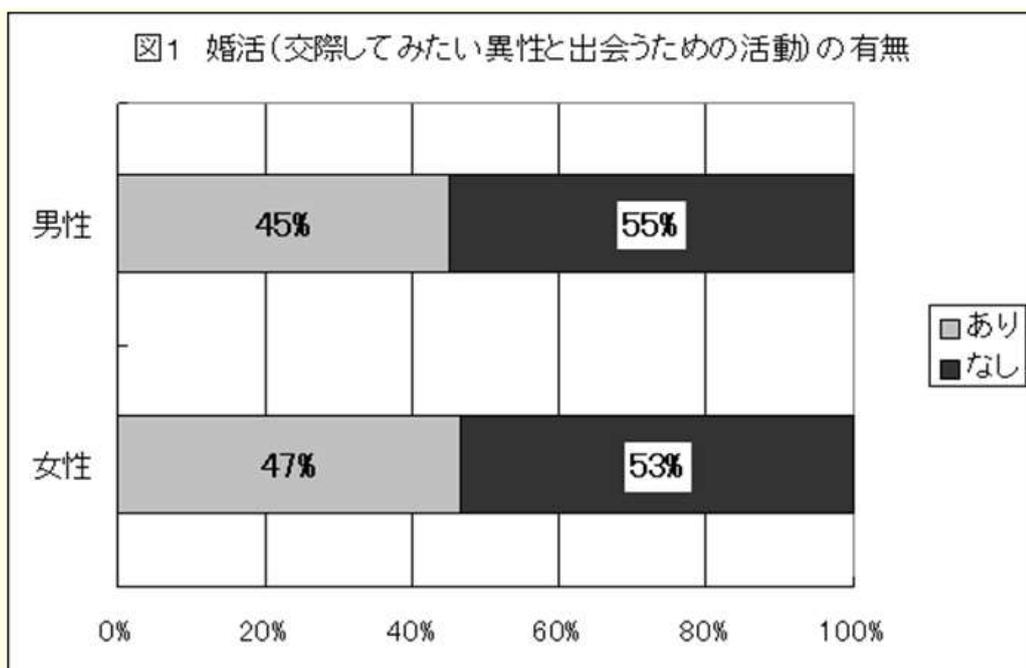
ライフコース	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
非婚就業コース	0	0	0	0	0	0	0
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
シングルマザー就業コース	0	0	0	0	0	0	0
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
DINKSコース	0	0	0	1	0	0	1
	.0%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	1.2%
両立コース	9	7	6	6	2	1	31
	40.9%	38.9%	37.5%	50.0%	20.0%	25.0%	37.8%
再就職コース	11	9	7	4	7	2	40
	50.0%	50.0%	43.8%	33.3%	70.0%	50.0%	48.8%
専業主婦コース	2	2	1	1	0	1	7
	9.1%	11.1%	6.3%	8.3%	.0%	25.0%	8.5%
無子専業主婦コース	0	0	2	0	0	0	2
	.0%	.0%	12.5%	.0%	.0%	.0%	2.4%
非婚非就業コース	0	0	0	0	0	0	0
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
無回答	0	0	0	0	1	0	1
	.0%	.0%	.0%	.0%	10.0%	.0%	1.2%
合計	22	18	16	12	10	4	82
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

14. 交際相手を見つけるための活動（「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」の結果）

近年、結婚相手と巡り会うためにはただ受動的にチャンスが訪れるのを待っているだけでは駄目であり、むしろ独身者自身が積極的・意図的な活動をおこなうことが必要だと主張されている。いわゆる結婚活動（婚活）の必要性である。よく知られているように、その必要性を最初に説いたのは、山田昌弘と白河桃子の共著（『「婚活」時代』、2008年）である。「婚活」は2008年に流行語となり、結婚相手との出会いをめざした独身男女の様々な活動がマスコミのスポットライトを浴びた。しかし、結婚活動は独身男女の間にどの程度の広まりを見せているのだろうか。その効果はどのようなものなのか。よくわかっていないことは多い。独身男女の結婚活動のあり方は全国調査では取り上げられていないテーマであり、我々は独自に質問項目を設定してこれを調べようとした。

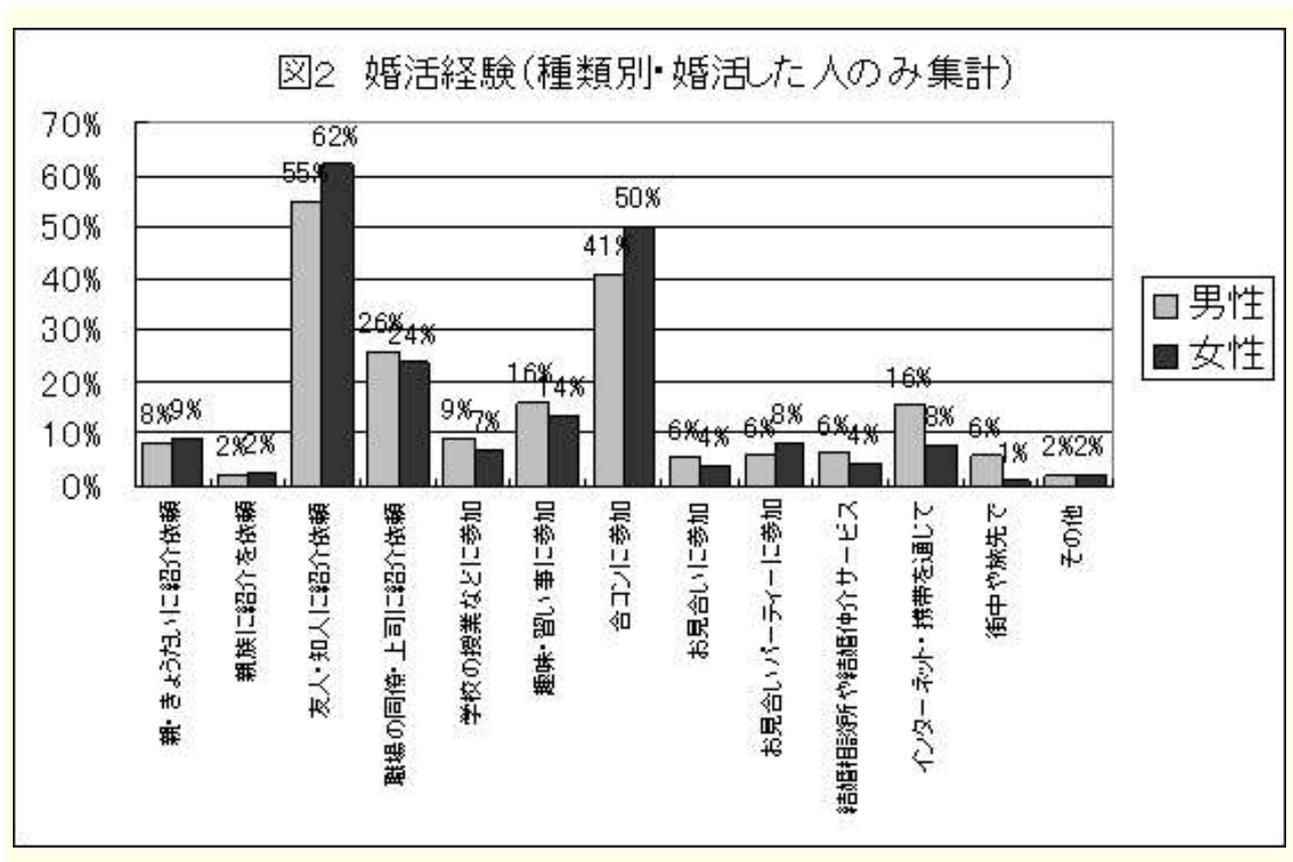
もともと、この問題に関して我々が最初に調査をおこなったわけではない。重要な先行研究が一つある。それは、2007年から3年間にわたって東京大学社会科学研究所のスタッフが実施してきた「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」である。これは、同一の調査対象者を毎年追跡調査する「パネル調査」である。同研究所によれば、この方法には「同一個人を追跡することによって、個人の行動や意識の変化を跡付けることができる強みがある」とされる。この調査の中に結婚活動の実態と効果を調べた部分がある。

この調査は非常に意義深い。それは学術的に信頼に足る手法を採用し、若年世代の婚活の実態を全国規模で調査しているためである。すなわち、今、どれだけの人が婚活をしているのか。その婚活はどのようなものか。婚活をすると相手を見つけやすいのか。それらについて、この調査は学術的に信頼できるデータを提供する。最新の分析対象は2009年の調査の時点で日本全国に居住する22歳～42歳の未婚の男女である²。集計の結果を紹介しつつ、我々の見方を述べたい³。

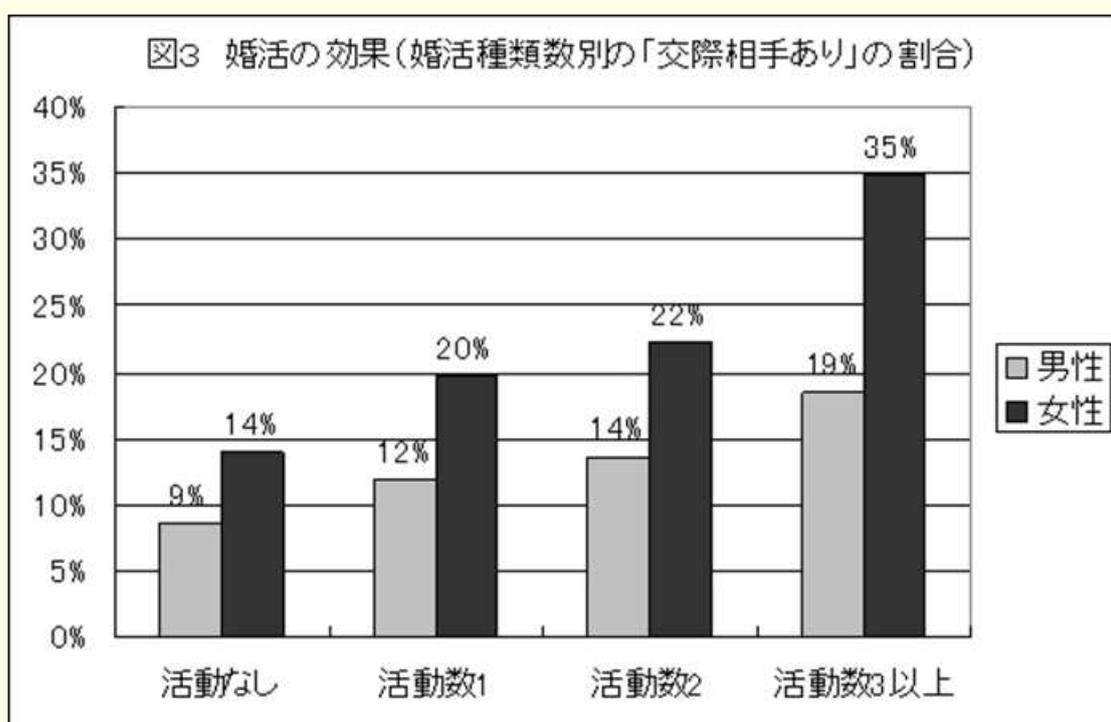


2008年から2009年にかけて婚活すなわち「交際してみたい異性と出会うために活動」を経験した未婚者は、男性45%、女性47%であり、男女で大きな違いはなかった(図1)。この結果についてこの調査の報告要旨は「婚活ブームだからといって全員が活動をしているわけではない」と述べている。婚活がブームになっていると言われることに対して、調査の担当者はやや否定的な見方を示しているようだ。しかしながら、半数近い対象者が婚活を経験したことは、未婚者の間に婚活が相当広まっていると解釈することもできるのではないだろうか。しかも、婚活をおこなった者は1年前の調査結果(2008年に男性39%、女性36%)と比べ男女ともに増加している。このことも近年の婚活の広まりを示し、婚活に対する未婚者の関心の高まりを示唆する数字として見逃すことができないように思われる。

注目したいのは活動の内容である(図2)。その内訳でもっとも多いのは「友人・知人・幼なじみに紹介を依頼」である。それは男性で55%、女性で62%に達した。ちなみにこの順位は2008年調査の結果と同じであり、このときには男性55%、女性59%が「友人・知人・幼なじみに紹介を依頼」と答えていた。二番目に多いのは「合コンに参加」であり、男性41%、女性50%であった。それも2008年調査時と同じ順位であり、男性45%、女性44%であった。かなり差が開いて三番目に多いものは「同僚・上司に紹介を依頼」であり、男性26%、女性24%であった。「親・きょうだいに紹介を依頼」「親・きょうだい以外の親族に紹介を依頼」「お見合いに参加」「結婚相談所や結婚仲介サービスに登録」は男女ともに10%未満にとどまる。それよりも、「趣味・習い事に参加」(男性16%、女性14%)が「インターネット・携帯を通して探す」(男性16%、女性8%)と並んで多いのが興味深い。いずれにせよ、婚活をおこなった者の間でのメインの活動は、最近注目度が高い結婚相談所の利用やお見合いパーティへの参加ではないことははっきりしている。主要な活動は友人・知人に相手の紹介を依頼することと合コンへの参加である。このことをまずしっかりと押さえておきたい。

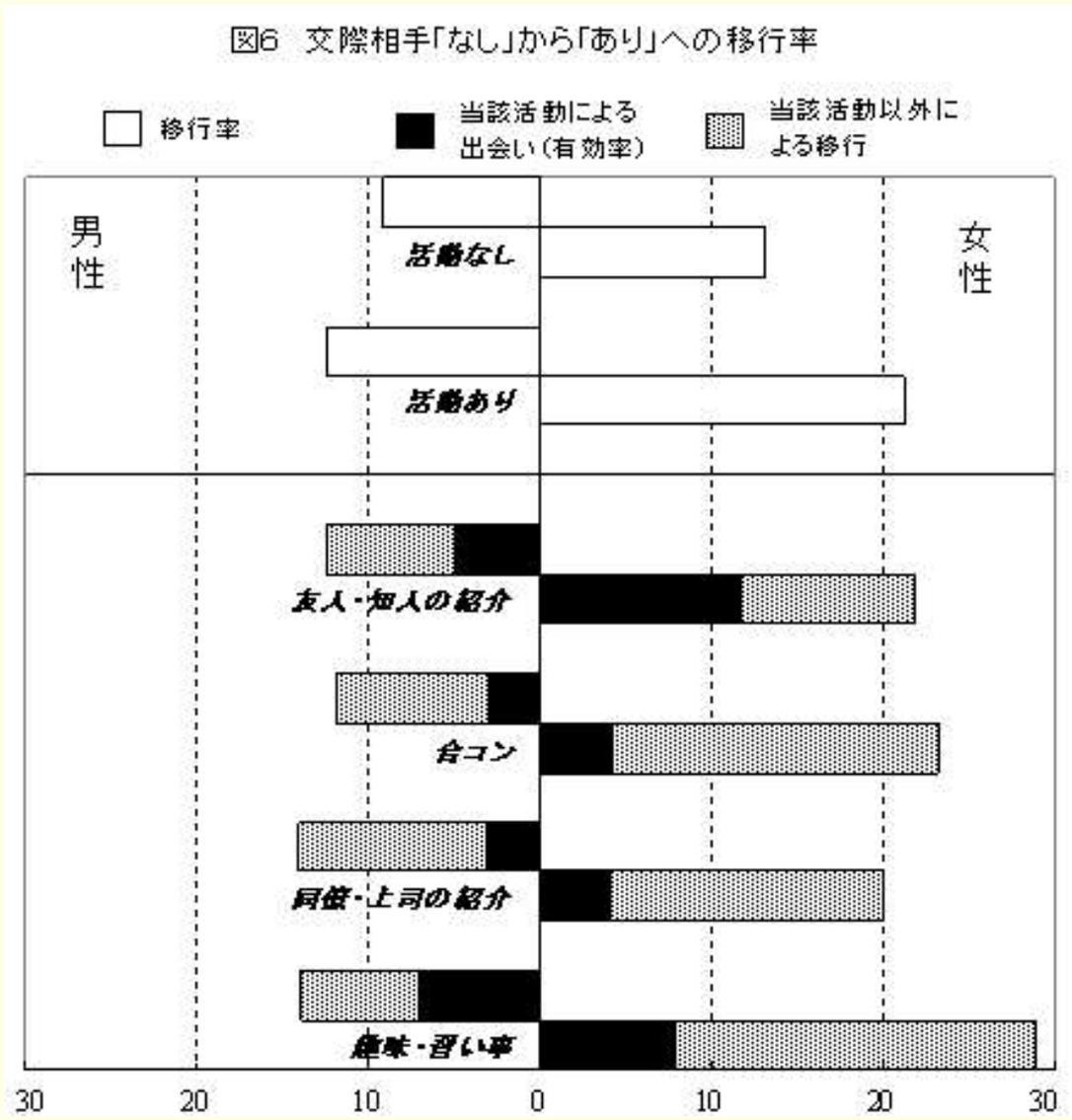


果たして婚活は効果が上がっているのか。この点について調査の担当者は活動種類数別に「交際相手なし」から「交際相手あり」に移行した割合を算出している。図3は2008～2009年の活動種類数別にみた2009年調査時点で交際相手がいる人の割合である。活動なしとはまったく活動をしなかった人である。活動数1とは、この調査で設定された13種類の活動を1つだけ経験したことをさす。図3から分かることは、婚活をした方が相手を見つけやすいということである。なかでも、活動数が増えるほど交際相手ができやすい。しかも、男性よりも女性の方に大きな効果がある。これらの点をとらえて、調査の担当者は婚活の効果を強調する。「活動数が多いほうが相手が見つかりやすいという図3の結果はどのように理解できるだろうか。一つには、活動数の多さは活動の多様性と見なすことができる。狭い範囲のなかで相手を探すよりも、合コンにいったり、習い事に参加したり、ネットワークを駆使してさまざまな活動をすることで出会いの機会が増え、相手が見つかりやすいと考えられる」。



確かにそのような解釈も成り立つと我々も考える。ただし、それは婚活の効果を活動種類数と見比べた場合に言えることである。しかし、「交際相手なし」から「交際相手あり」への移行率に着目した場合はどうだろうか。確かに「活動なし」に比べて、「活動あり」の方が移行率は高く、活動種類数が増えるほど移行率は高くなる。しかし、その場合の移行率の変化は大きいと言えるのだろうか。そのような眼でデータを見直すと、活動種類数が増えても移行率にはそれほど大きな変化がないように見える。とくに活動数1や活動数2くらいでは顕著な変化があるとは言えない。さらに前年、つまり2008年の調査結果の分析では、交際相手「なし」から「あり」への移行率について、「当該活動による出会い(有効率)」と「当該活動以外による移行」に分けて集計をしている(図6)。どういうことかと言えば、「交際相手なし」で婚活をおこなった者が「交際相手あり」に移行した場合、その活動をおこなった結果として交際相手ができたと、その活動以外で発生した出会いによって交際相手ができたとが

考えられる。前者の場合が婚活の直接の効果であり、これを前年の報告は「有効率」として算出している。その結果をみると、有効率はどの活動でも高くない。つまり、その活動をおこなったことによって交際相手ができる確率はあまり大きくないといことである。



これらのことから、全国調査のデータが示す婚活の効果については、我々は次のような見方を示したい。すなわち、婚活には確かに一定の効果を確認することができる。しかし、婚活をおこなったからといってそれほど大きな効果を期待できない。とくに婚活の直接の効果はあまり大きくない。しかし、交際相手ができる場合には当該活動以外の出会いによる交際相手の獲得があり、そこには婚活の間接的な効果があると想定できるかもしれない。このような間接的な効果を含めて考えると、確かに婚活をした場合には婚活をしなかった場合に比べて交際相手ができる可能性は高いと言えることができる。しかし、全体的には婚活に顕著な効果はなく、その効果は「しないよりもした方がまだ」という程度にしか見えない。したがって、これは婚活でよい結果を出すことの難しさを全国調査のデータは裏付けている。そのように我々には読めるのである。

15. 交際相手を見つけるための活動（我々の調査結果）

結婚活動について我々の調査では4つの質問を用意した。その第一は最近1年間に交際相手を見つけるために何か積極的な活動をしたかという問である。

その集計結果が表 1-15-1 である。

我々の調査では交際相手を見つけるために積極的な活動をしたと回答した者は男性では 22.0%、女性では 33.3%であった。先に見たように 2009 年の全国調査では交際相手を見つけるために積極的な活動をした者は男性では 45%、女性では 47%（その前年は男性 39%、女性 36%）であったから、我々の調査の回答者は男女ともにこれを大幅に下回っている。とくに男性の活動の低調さは際だっている。年齢別にみると男性の 35-39 歳（50.0%）と女性の 30-34 歳（66.7%）は過半数を上回る回答率を示しており、それぞれ男女で唯一の活発な年齢層だと言える。

表1-15-1 交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	した	3 13.6%	3 16.7%	4 25.0%	6 50.0%	2 20.0%	0 .0%	18 22.0%
	しなかった	18 81.8%	15 83.3%	11 68.8%	6 50.0%	8 80.0%	4 100.0%	62 75.6%
	無回答	1 4.5%	0 .0%	1 6.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.4%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
女性	した	10 27.8%	11 42.3%	4 66.7%	1 16.7%	1 14.3%		27 33.3%
	しなかった	24 66.7%	13 50.0%	2 33.3%	4 66.7%	4 57.1%		47 58.0%
	無回答	2 5.6%	2 7.7%	0 .0%	1 16.7%	2 28.6%		7 8.6%
	合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
男女計	した	13 22.4%	14 31.8%	8 36.4%	7 38.9%	3 17.6%	0 .0%	45 27.6%
	しなかった	42 72.4%	28 63.6%	13 59.1%	10 55.6%	12 70.6%	4 100.0%	109 66.9%
	無回答	3 5.2%	2 4.5%	1 4.5%	1 5.6%	2 11.8%	0 .0%	9 5.5%
	合計	58 100.0%	44 100.0%	22 100.0%	18 100.0%	17 100.0%	4 100.0%	163 100.0%

表1-15-2 結婚活動の活動内容（複数回答）

活動内容		年齢					合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	サークル活動に参加	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 11.1%
	街中や旅先で機会を探す	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 6.1%
	友人・知人に紹介を依頼	0 .0%	1 33.3%	3 75.0%	3 50.0%	1 50.0%	8 44.4%
	同僚・上司に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	1 6.1%
	合コンに参加	0 .0%	1 33.3%	2 50.0%	1 16.7%	1 50.0%	5 27.7%
	親や親族に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	1 6.1%
	お見合い	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	1 16.7%	0 .0%	2 11.1%
	結婚相談所や結婚情報サービスを利用	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%	0 .0%	2 11.2%
	インターネットや携帯のサイトを利用	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	2 11.2%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	1 6.1%
	合計	3	3	4	6	2	18
女性	趣味の活動や習い事に参加	1 10.0%	2 18.2%	2 50.0%	0 .0%	0 .0%	5 18.5%
	サークル活動に参加	0 .0%	2 18.2%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	3 11.1%
	街中や旅先で機会を探す	1 10.0%	1 9.1%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	3 11.1%
	友人・知人に紹介を依頼	6 60.0%	9 81.8%	3 75.0%	0 .0%	1 100.0%	19 70.3%
	兄弟姉妹に紹介を依頼	1 10.0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	2 7.4%
	同僚・上司に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	2 50.0%	0 .0%	0 .0%	2 7.4%
	合コンに参加	6 60.0%	6 54.5%	3 75.0%	1 100.0%	0 .0%	16 59.2%
	親や親族に紹介を依頼	0 .0%	3 27.3%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	4 14.8%
	お見合いパーティに参加	0 .0%	2 18.2%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	3 11.1%
	お見合い	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%
	結婚相談所や結婚情報サービスを利用	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%
	インターネットや携帯のサイトを利用	1 10.0%	2 18.2%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	4 14.8%
	その他	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%
	合計	10	11	4	1	1	27

パーセンテージと合計は設問に対する応答者数を基に計算されている。

第二に「活動をした」と回答した者に対し、その活動の内容を複数回答で尋ねた。その集計結果が表1-15-2である。我々の調査では具体的な活動内容としてもっとも多かったのは男女ともに「友人・知人に紹介を依頼」であり、それは男性で44.4%、女性で70.3%の選択率であった。次いで多かったのは男女ともに「合コンに参加」であり、男性で27.7%、女性で59.2%の選択率であった。最近注目されている結婚相談所や結婚情報サービスを利用した者は男女ともにきわめて少なく、また男性でお見合いパーティに参加したと答えた者は皆無であった。婚活をおこなった者の間では主要な活動内容は「友人・知人に相手の紹介を依頼すること」と「合コンへの参加」であり、結婚相談所や結婚情報サービスの利用は少ない。このことは全国調査での結果と一致する傾向である。

表1-15-3 結婚活動の効果

活動の効果		年齢					合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	その活動による出会いで交際相手ができる	2 66.7%	0 .0%	1 25.0%	2 33.3%	1 50.0%	6 33.3%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	1 5.6%
	交際相手はできなかった	1 33.3%	3 100.0%	3 75.0%	3 50.0%	1 50.0%	11 61.1%
	合計	3 100.0%	3 100.0%	4 100.0%	6 100.0%	2 100.0%	18 100.0%
女性	その活動による出会いで交際相手ができる	4 40.0%	4 36.4%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	9 33.3%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	1 10.0%	2 18.2%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	4 14.8%
	交際相手はできなかった	5 50.0%	5 45.5%	2 50.0%	1 100.0%	1 100.0%	14 51.9%
	合計	10 100.0%	11 100.0%	4 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	27 100.0%
男女計	その活動による出会いで交際相手ができる	6 46.2%	4 28.6%	2 25.0%	2 28.6%	1 33.3%	15 33.3%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	1 7.7%	2 14.3%	1 12.5%	1 14.3%	0 .0%	5 11.1%
	交際相手はできなかった	6 46.2%	8 57.1%	5 62.5%	4 57.1%	2 66.7%	25 55.6%
	合計	13 100.0%	14 100.0%	8 100.0%	7 100.0%	3 100.0%	45 100.0%

第三に我々は結婚活動の効果、つまり結婚活動によって交際相手ができるかどうかを尋ねた。その集計結果が表1-15-3である。結婚活動によって交際相手ができる者の割合は男女ともに33.3%であった。逆に交際相手はできなかった者は男性で61.1%、女性で51.9%であった。この結果をどのようにみるかは少し難しい問題であり、見方によって意見が分かれるかもしれない。それでも確実に言えることの一つは、婚活をしたからといって直ちに交際相手を見つけることはできないことである。しかし、全国調

査の傾向と比較すると、我々の調査の回答者の場合、3人に1人は交際相手ができたとすることはそれなりの効果を認めてはよいのではないだろうか。とくに間接的な効果（その活動による出会いではないが、交際相手はできた）を含めて考えると、結婚活動によって交際相手を見つけた者は男性で38.9%、女性で48.1%になる。我々の調査の回答者については男性で4割近く、女性で5割近い者が交際相手を見つけることができた。これはかなりの成功率と考えられるのではないだろうか。

第四に我々は「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」と尋ねた。その集計結果が表1-15-4である。我々は先行研究で示された婚活の効果や婚活の困難を伝える様々なメディアの記事を知っているので、婚活で成果を出すことに困難を表明する者が多いだろうと予想していた。今回の我々の調査で「そう感じる」と回答した者は男性で66.7%、女性で63.0%であった。これは予想通りの結果である。しかし、そうであるからこそ、むしろ男女ともに3分の1が「そうは感じない」と回答していることを意外に多いと我々は受け止めた。

表1-15-4 婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか

		年齢					合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	そう感じる	1 33.3%	1 33.3%	4 100.0%	4 66.7%	2 100.0%	12 66.7%
	そうは感じない	2 66.7%	2 66.7%	0 .0%	2 33.3%	0 .0%	6 33.3%
	合計	3 100.0%	3 100.0%	4 100.0%	6 100.0%	2 100.0%	18 100.0%
女性	そう感じる	5 50.0%	6 54.5%	4 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	17 63.0%
	そうは感じない	5 50.0%	5 45.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	10 37.0%
	合計	10 100.0%	11 100.0%	4 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	27 100.0%
男女計	そう感じる	6 46.2%	7 50.0%	8 100.0%	5 71.4%	3 100.0%	29 64.4%
	そうは感じない	7 53.8%	7 50.0%	0 .0%	2 28.6%	0 .0%	16 35.6%
	合計	13 100.0%	14 100.0%	8 100.0%	7 100.0%	3 100.0%	45 100.0%

16. 異性との交際の問題を相談できる人

未婚者を対象とする調査の部分に関して、我々は先行研究にはない独自の質問項目を設定した。それは、「もし異性との交際に関する悩みや問題を他の人に相談するとしたら、あなたが相談できる人は誰でしょうか」という質問であり、複数回答で回答をしてもらった。

我々がこのような設問を作ったことには特別の理由がある。それは配偶者選択の過程では第三者のサポートが重要な貢献をなすのではないかと想定していることである。

表1-16-1 異性との交際に関する悩みや問題を相談できる人（複数回答）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	友人・知人	18 81.8%	15 83.3%	10 62.5%	7 58.3%	5 50.0%	2 50.0%	57 69.5%
	職場の同僚や上司	2 9.1%	4 22.2%	3 18.8%	3 25.0%	0 .0%	0 .0%	12 14.6%
	兄弟姉妹	3 13.6%	2 11.1%	3 18.8%	1 8.3%	2 20.0%	1 25.0%	12 14.6%
	親	4 18.2%	2 11.1%	5 31.3%	3 25.0%	2 20.0%	1 25.0%	17 20.7%
	その他の親族	0 .0%	0 .0%	3 18.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 3.7%
	相談できる人は誰もいない	2 9.1%	2 11.1%	1 6.3%	2 16.7%	3 30.0%	2 50.0%	12 14.6%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	女性	友人・知人	33 94.3%	23 88.5%	4 66.7%	5 83.3%	4 66.7%	
職場の同僚や上司	7 20.0%	4 15.4%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%		15 19.0%	
兄弟姉妹	11 31.4%	5 19.2%	0 .0%	3 50.0%	1 16.7%		20 25.3%	
親	10 28.6%	7 26.9%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%		19 24.0%	
その他の親族	2 5.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%	
相談できる人は誰もいない	2 5.7%	1 3.8%	2 33.3%	0 .0%	0 .0%		5 6.3%	
合計	35 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%		79 100.0%	

パーセンテージと合計は設問に対する応答者数を基に計算されている。

配偶者選択の過程で第三者のサポートが重要な役割を果たしていることは先行研究の結果からも示唆される。第一に先に見た全国調査で明らかになっているように、結婚活動をおこなう場合にもっとも頻度が高い方法は「友人・知人・幼なじみに紹介を依頼」である。この点では我々の調査においても同様の傾向が見出された。第二に後の既婚者の調査結果の分析で述べることであるが、近年に結婚した夫婦の出会いのきっかけでも「友人・兄弟姉妹を通じて」の割合が第一位になっていることである。第三に常識的に考えて、誰にも相談せずに独力で交際相手を見つけて結婚する人も中にはいるだろうが、他方で誰かの助けを借りて交際相手と出会い、また交際の過程で誰かに相談に乗ってもらったり、助言を受けたりして成婚に至る人も少なからずいると考えられるからである。

我々の調査での集計結果は表 1-16-1 である。この結果についてはまず、異性との交際に関する悩みや問題を「相談できる人は誰もいない」と回答した者は男女ともに非常に少なかったことに注目したい。それは男性で 14.6%、女性で 6.3%であった。逆に言えば、大多数の回答者は相談できる人をもっていることになる。次に誰に相談できる場合がもっとも多いのかといえば、それは「友人・知人」であることが圧倒的に多い。それは男性で 69.5%、女性で 87.3%の選択率に達した。第二位はずっと割合は少なくなつて、男性で「親」の 20.7%、女性で兄弟姉妹の 25.3%であった。

この結果から言えることは、我々の調査の回答者はそれなりにサポートの提供者をもっており、その意味で社会関係上の資源をもっていることである。このことは彼らが孤立した存在ではないことを示唆する。それだけ今後配偶者選択の過程が進展する可能性も大きいと期待できる。ただ、男女を比べた場合、男性は女性に比べて相談できる人の数が少ないことが気かりな点ではある。

参照文献

国立社会保障・人口問題研究所 (2007a)、「平成 17 年・わが国夫婦の結婚過程と出生力―第 13 回出生動向基本調査」、厚生統計協会。

国立社会保障・人口問題研究所 (2007b)、「平成 17 年・わが国独身層の結婚観と家族観―第 13 回出生動向基本調査」、厚生統計協会

注

¹ この調査は、全国の 18 歳以上 50 歳未満の独身者を対象とした標本調査であり、最新の第 13 回調査は 2005 年 6 月 1 日現在の事実について調べた。調査標本数（調査票配布数）は 12482 人、回収票数は 9900 票、有効票数は 8734 票（有効回収率 70.0%）であった。この調査で対象とされた独身者には未婚者だけでなく、配偶者との離別者および死別者が含まれる。しかし、一般に結婚や出産に関する意識や行動は離死別経験者と未婚者とでは大きく異なるという理由から、これらの人びとを別に扱うことが妥当であるとし、報告書は未婚の男女についての分析に限定している（社会保障・人口問題研究所 2007、p.6）。それゆえ、この「独身者調査」は「未婚者調査」と読み替えてよいだろう。

² 2009 年の第 3 回調査は 2009 年 1 月から 3 月に実施された。2007 年の調査時点で 20-34 歳の者を対象とする若年調査は 2443 名（アタック数の 79%）、35-40 歳の者を対象とする壮年調査は 1164 名（同 86%）の対象者から追跡調査の回答を得た。集計では若年調査と壮年調査を合体している。2009 年調査の対象が 22-42 歳となったのは 2 年が経過し、その分だけ対象者の年齢が上がったためである。

³ 以下の記述は、東京大学社会科学研究所が調査結果をプレスリリースした際に添付した二つの報告要旨に基づく。（東京大学社会科学研究所、「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査 2009」集計結果、2009 年 12 月 16 日発表、<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/panel/youthandmiddle/PR.html>、「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査 2008」集計結果、2008 年 12 月 12 日発表、http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/panel/youthandmiddle/PR_old.html）。

第2章 既婚者の結婚前の結婚観と異性との交際状況

1. 結婚した年齢と結婚相手の年齢

これは回答者のプロフィール（属性）に関する質問であるが、我々の調査では既婚者に対し結婚した時の年齢を尋ねた。その平均値を算出すると、男性 27.82 歳、女性 25.59 歳であった。

厚生労働省が毎年発表している『人口動態統計』によると、2009 年の全国平均の初婚年齢は男性 30.4 歳、女性 28.6 歳であった。広島県について言えば、平均初婚年齢は男性 29.8 歳、女性 27.9 歳となっている。これと比較すると、我々の調査の回答者の平均結婚年齢は全国平均および広島県の平均よりもかなり若いことがわかる。それは広島県の平均と比べると、男女ともに 2 歳程度若い。

表2-1-1 「年齢」と「結婚した年齢」とのクロス

結婚年齢		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	20-24	3 100.0%	6 50.0%	3 12.5%	5 14.3%	11 25.0%	2 6.3%	30 20.0%
	25-29	0 .0%	6 50.0%	14 58.3%	16 45.7%	20 45.5%	21 65.6%	77 51.3%
	30-34	0 .0%	0 .0%	7 29.2%	11 31.4%	8 18.2%	5 15.6%	31 20.7%
	35-39	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 8.6%	4 9.1%	3 9.4%	10 6.7%
	40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	2 1.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	女性	16-19	0 .0%	2 6.9%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%
20-24	5 100.0%	13 44.8%	16 28.6%	29 43.9%	27 37.0%	30 47.6%	120 41.1%	
25-29	0 .0%	14 48.3%	32 57.1%	22 33.3%	33 45.2%	25 39.7%	126 43.2%	
30-34	0 .0%	0 .0%	7 12.5%	10 15.2%	6 8.2%	3 4.8%	26 8.9%	
35-39	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 7.6%	4 5.5%	2 3.2%	11 3.8%	
40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.1%	2 3.2%	5 1.7%	
合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表 2-1-1 は、回答者の性別・年齢と結婚した年齢のクロス集計である。全体では男性の場合には 20 歳代で結婚した者が 71.3%、女性の場合には 84.3%を占める。これに対して、国勢調査によると、男性

の場合には20歳代後半の未婚率はすでに1980年に55.1%に達し、2005年の調査ではそれは72.6%にまで上昇している。女性の場合には20歳代後半の未婚率は2000年に54.0%となり、2005年の調査ではそれは59.9%であった。つまり、全国平均をみると、20歳代で結婚する者は男女ともに少数派であり、未婚者が圧倒的な多数派である。このような動向に反して、我々の調査の回答者では20歳代で結婚した者が男女ともに圧倒的な多数派を構成する。言い換えると、全般的な晩婚化のトレンドに反して、我々の調査の回答者には比較的早く結婚した者が多い。このことは以下で調査のデータをみていくときに留意しておくべきことである。

次に我々は結婚相手の当時の年齢を尋ねた。これを性別・年齢別に集計したものが表2-1-2である。結婚相手の年齢では男女ともに20歳代が圧倒的に多い。20歳代の相手と結婚した者は男性の場合には77.3%、女性の場合には65.7%となっている。

表2-1-2 「年齢」と「結婚相手の年齢」とのクロス

結婚相手の年齢		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	20-24	3 100.0%	5 41.7%	6 25.0%	9 25.7%	17 38.6%	7 21.9%	47 31.3%
	25-29	0 .0%	7 58.3%	9 37.5%	17 48.6%	16 36.4%	20 62.5%	69 46.0%
	30-34	0 .0%	0 .0%	6 25.0%	8 22.9%	7 15.9%	4 12.5%	25 16.7%
	35-39	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	0 .0%	4 9.1%	1 3.1%	8 5.3%
	40-44	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	16-19	0 .0%	2 6.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	3 1.0%
	20-24	2 40.0%	5 17.2%	8 14.3%	14 21.2%	11 15.1%	12 19.0%	52 17.8%
	25-29	1 20.0%	18 62.1%	31 55.4%	31 47.0%	32 43.8%	27 42.9%	140 47.9%
	30-34	2 40.0%	3 10.3%	12 21.4%	10 15.2%	20 27.4%	15 23.8%	62 21.2%
	35-39	0 .0%	1 3.4%	3 5.4%	9 13.6%	7 9.6%	5 7.9%	25 8.6%
	40-44	0 .0%	0 .0%	2 3.6%	2 3.0%	2 2.7%	2 3.2%	8 2.7%
	45-49	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	1 .3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

現在の年齢と結婚した年齢によって結婚した時期を推定できる。これを5年区分で性別・年齢別に集計したものが表2-1-3である。これによると、2000年以降に結婚した者が男性で48%、女性で45.2%と相対的に多数を占めている。

表2-1-3 「年齢」と「結婚した年代」

結婚した年代		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	1989年以前	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	13 40.6%	14 9.3%
	1990-1994	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	20 45.5%	14 43.8%	37 24.7%
	1995-1999	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	9 25.7%	13 29.5%	4 12.5%	27 18.0%
	2000-2004	0 .0%	1 8.3%	6 25.0%	15 42.9%	4 9.1%	1 3.1%	27 18.0%
	2005年以降	3 100.0%	11 91.7%	16 66.7%	9 25.7%	6 13.6%	0 .0%	45 30.0%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	1989年以前	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	10 13.7%	42 66.7%	52 17.8%
	1990-1994	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 7.6%	37 50.7%	13 20.6%	55 18.8%
	1995-1999	0 .0%	1 3.4%	4 7.1%	27 40.9%	15 20.5%	6 9.5%	53 18.2%
	2000-2004	0 .0%	5 17.2%	28 50.0%	21 31.8%	5 6.8%	1 1.6%	60 20.5%
	2005年以降	5 100.0%	23 79.3%	24 42.9%	13 19.7%	6 8.2%	1 1.6%	72 24.7%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

回答者が結婚した年齢と結婚相手の年齢のクロス集計をとったものが表 2-1-4 である。これによると、男女の年齢の組み合わせでは 20 歳代同士での結婚が圧倒的に多い。全体的には比較的年齢の近い男女の結婚が多く、10 歳以上年齢が離れた組み合わせの結婚はきわめて少ない。

表2-1-4 「結婚した年齢」と「結婚相手の年齢」のクロス

結婚相手の年齢		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	20-24		25 83.3%	20 26.0%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	47 31.3%
	25-29		5 16.7%	49 63.6%	15 48.4%	0 .0%	0 .0%	69 46.0%
	30-34		0 .0%	6 7.8%	13 41.9%	6 60.0%	0 .0%	25 16.7%
	35-39		0 .0%	2 2.6%	1 3.2%	3 30.0%	2 100.0%	8 5.3%
	40-44		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	1 .7%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	16-19	3 75.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
	20-24	1 25.0%	39 32.5%	12 9.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	52 17.8%
	25-29	0 .0%	60 50.0%	74 58.7%	4 15.4%	2 18.2%	0 .0%	140 47.9%
	30-34	0 .0%	19 15.8%	27 21.4%	13 50.0%	1 9.1%	2 40.0%	62 21.2%
	35-39	0 .0%	2 1.7%	9 7.1%	7 26.9%	6 54.5%	1 20.0%	25 8.6%
	40-44	0 .0%	0 .0%	3 2.4%	2 7.7%	2 18.2%	1 20.0%	8 2.7%
	45-49	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 .3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

2. 交際の開始から婚約までの期間

夫婦世帯を対象とした 2005 年の全国調査によると、結婚した男女の平均交際期間は 3.8 年、平均婚約期間は 0.6 年となっていた。この調査では「交際期間には婚約期間を含む」とされるので、男女が出会ってから婚約に至るまでの期間は 3.2 年ということになる。全国調査の報告書によると、男女が初めて「出会ってから結婚するまでの交際期間は引き続き延長傾向が見られ、18 年前（第 9 回調査）に比べると 1.2 年（48%）も長くなった」と述べられている（国立社会保障・人口問題研究所、2007、p.12）。

我々の調査の回答者について、「交際の開始から婚約までの期間」を性別・年齢別に集計したものが表2-2-1である。これによると、男性の場合には交際の開始後1年以内に婚約した者が36.6%、2年以内に婚約した者では62.6%、3年以内にするると78.6%になる。交際の開始から婚約までに3年以上を要した者は21.3%であった。女性の場合には交際の開始後1年以内に婚約した者は38.1%、2年以内に婚約した者では58.6%、3年以内にするると73.0%になる。交際の開始から婚約までに3年以上を要した者は26.7%であった。したがって、男女ともに大半の者は交際の開始から3年以内に婚約に至っている。性別・年齢別にみた場合、男女ともに25-29歳から30-34歳の年齢層の間で交際の開始から婚約までに3年以上を要した者が比較的多い。

表2-2-1 「年齢」と「交際の開始から婚約までの期間」とのクロス

交際開始から婚約までの期間		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	1ヶ月未満	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	2 4.5%	1 3.1%	5 3.3%
	2-3ヶ月	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	3 6.8%	1 3.1%	5 3.3%
	3-6ヶ月	1 33.3%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	5 11.4%	3 9.4%	13 8.7%
	半年-1年	0 .0%	1 8.3%	7 29.2%	10 28.6%	12 27.3%	5 15.6%	35 23.3%
	1-2年	0 .0%	4 33.3%	5 20.8%	10 28.6%	11 25.0%	9 28.1%	39 26.0%
	2-3年	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	6 17.1%	3 6.8%	6 18.8%	21 14.0%
	3-5年	0 .0%	2 16.7%	3 12.5%	3 8.6%	5 11.4%	2 6.3%	15 10.0%
	5年以上	1 33.3%	3 25.0%	3 12.5%	2 5.7%	3 6.8%	5 15.6%	17 11.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	1ヶ月未満	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%	3 4.1%	1 1.6%	6 2.1%
	2-3ヶ月	1 20.0%	2 6.9%	3 5.4%	7 10.6%	6 8.2%	4 6.3%	23 7.9%
	3-6ヶ月	0 .0%	1 3.4%	7 12.5%	3 4.5%	4 5.5%	11 17.5%	26 8.9%
	半年-1年	3 60.0%	9 31.0%	8 14.3%	10 15.2%	17 23.3%	9 14.3%	56 19.2%
	1-2年	0 .0%	4 13.8%	8 14.3%	18 27.3%	17 23.3%	13 20.6%	60 20.5%
	2-3年	0 .0%	7 24.1%	10 17.9%	7 10.6%	8 11.0%	10 15.9%	42 14.4%
	3-5年	0 .0%	5 17.2%	13 23.2%	9 13.6%	9 12.3%	11 17.5%	47 16.1%
	5年以上	0 .0%	1 3.4%	7 12.5%	10 15.2%	9 12.3%	4 6.3%	31 10.6%
	無回答	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表 2-2-2 は回答者が「結婚した年齢」と「交際の開始から婚約までの期間」とを性別にクロス集計したものである。これをみると、とくに目立った傾向はないが、男女ともに 30-34 歳で結婚した者の間で交際の開始から婚約までの期間が短い者が比較的が多い。たとえば、男性の 30-34 歳では交際の開始後 1 年以内に婚約した者が 48.4%であり、女性の 30-34 歳ではそれは 57.6%である。

表2-2-2 「結婚した年齢」と「交際の開始から婚約までの期間」とのクロス

交際開始から婚約までの期間		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	1ヶ月未満		1 3.3%	2 2.6%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	5 3.3%
	2-3ヶ月		0 .0%	3 3.9%	1 3.2%	1 10.0%	0 .0%	5 3.3%
	3-6ヶ月		2 6.7%	8 10.4%	1 3.2%	2 20.0%	0 .0%	13 8.7%
	半年-1年		6 20.0%	16 20.8%	11 35.5%	1 10.0%	1 50.0%	35 23.3%
	1-2年		10 33.3%	20 26.0%	8 25.8%	1 10.0%	0 .0%	39 26.0%
	2-3年		4 13.3%	11 14.3%	4 12.9%	2 20.0%	0 .0%	21 14.0%
	3-5年		2 6.7%	10 13.0%	2 6.5%	1 10.0%	0 .0%	15 10.0%
	5年以上		5 16.7%	7 9.1%	2 6.5%	2 20.0%	1 50.0%	17 11.3%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	1ヶ月未満	0 .0%	2 1.7%	3 2.4%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	6 2.1%
	2-3ヶ月	0 .0%	8 6.7%	11 8.7%	3 11.5%	1 9.1%	0 .0%	23 7.9%
	3-6ヶ月	2 50.0%	7 5.8%	10 7.9%	7 26.9%	0 .0%	0 .0%	26 8.9%
	半年-1年	0 .0%	23 19.2%	25 19.8%	5 19.2%	3 27.3%	1 20.0%	57 19.5%
	1-2年	0 .0%	32 26.7%	23 18.3%	3 11.5%	0 .0%	1 20.0%	59 20.2%
	2-3年	2 50.0%	22 18.3%	15 11.9%	0 .0%	3 27.3%	0 .0%	42 14.4%
	3-5年	0 .0%	20 16.7%	20 15.9%	4 15.4%	2 18.2%	1 20.0%	47 16.1%
	5年以上	0 .0%	5 4.2%	19 15.1%	4 15.4%	1 9.1%	2 40.0%	31 10.6%
	無回答	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表 2-2-3 は回答者の「結婚した年代」と「交際の開始後から婚約までの期間」をクロス集計したものである。これもとくに目立った傾向はないが、2000-2004年に結婚した者の間では交際の開始から婚約までの期間が長い者が比較的に多い。たとえば、男性では5年以上を要した者が18.5%であり、女性でも3年以上を要した者が36.7%を数える。

表2-2-3 「結婚した年代」と「交際の開始から婚約までの期間」とのクロス

交際開始から婚約までの期間		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	1ヶ月未満	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	2 7.4%	1 2.2%	5 3.3%
	2-3ヶ月	0 .0%	2 5.4%	2 7.4%	0 .0%	1 2.2%	5 3.3%
	3-6ヶ月	1 7.1%	4 10.8%	2 7.4%	4 14.8%	2 4.4%	13 8.7%
	半年-1年	2 14.3%	9 24.3%	8 29.6%	8 29.6%	8 17.8%	35 23.3%
	1-2年	7 50.0%	11 29.7%	3 11.1%	4 14.8%	14 31.1%	39 26.0%
	2-3年	1 7.1%	6 16.2%	4 14.8%	2 7.4%	8 17.8%	21 14.0%
	3-5年	1 7.1%	2 5.4%	5 18.5%	2 7.4%	5 11.1%	15 10.0%
	5年以上	2 14.3%	2 5.4%	2 7.4%	5 18.5%	6 13.3%	17 11.3%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	1ヶ月未満	2 3.8%	0 .0%	2 3.8%	1 1.7%	1 1.4%
2-3ヶ月		4 7.7%	3 5.5%	5 9.4%	3 5.0%	8 11.1%	23 7.9%
3-6ヶ月		7 13.5%	4 7.3%	5 9.4%	3 5.0%	7 9.7%	26 8.9%
半年-1年		9 17.3%	11 20.0%	7 13.2%	12 20.0%	18 25.0%	57 19.5%
1-2年		10 19.2%	18 32.7%	13 24.5%	9 15.0%	9 12.5%	59 20.2%
2-3年		11 21.2%	4 7.3%	7 13.2%	10 16.7%	10 13.9%	42 14.4%
3-5年		6 11.5%	9 16.4%	9 17.0%	15 25.0%	8 11.1%	47 16.1%
5年以上		3 5.8%	6 10.9%	5 9.4%	7 11.7%	10 13.9%	31 10.6%
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 .3%
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

3. 結婚相手と交際する前の結婚の意欲

未婚者の調査データの分析の部分で指摘したように、未婚者を対象とする全国調査の結果の中でもっとも頻繁に参照される項目は「生涯の結婚に対する意欲」である。ところが、夫婦世帯を対象とする全国調査はすでに結婚した者が独身時代にどのような結婚観をもっていたのかを調べていない。既婚者が結婚をする前に生涯の結婚に対してどのような考えをもっていたのかを尋ねることは、未婚者の結婚観との比較をおこなうために必要な作業だと我々は考える。そこで我々は調査票の中に結婚相手と交際する前の結婚観を尋ねる質問を入れた。

表 2-3-1 は回答者が結婚相手と交際する前に有していた生涯の結婚に対する意欲を性別・年齢別に集計したものである。これによると、「いずれ結婚するつもり」と考えていた者が男女ともに 90%を超えている。未婚者を対象とした 2005 年の全国調査の結果と比較すると、「いずれ結婚するつもり」は男性の場合には全国調査の結果（87.0%）よりもやや高い割合（92.0%）を示し、女性の場合には同程度の割合である。他方、「一生結婚するつもりはない」は男性では全国調査と同程度の割合であるが、女性の場合には全国調査（5.6%）よりもやや高い割合（9.6%）を示している。

この設問ではすでに結婚した者に対して結婚の意欲を尋ねているのであるから、「いずれ結婚するつもり」であった者が圧倒的に多いことは当然の結果である。しかし、ここで注目すべきことは男女ともに「一生結婚するつもりはない」と回答した者が 1 割弱ほどいることである。彼らは独身時代には結婚をする意思はなかったが、結局何らかの事情でこれを覆し、結婚するに至った。このことは、仮にある時点で未婚者が「非婚の意思」を有していたとしても、それは絶対不変なものではなく、状況次第で変更される可能性があることを意味している。性別・年齢別では「一生結婚するつもりはない」と回答した者は女性の 30-34 歳（12.5%）と 35-39 歳（16.7%）に比較的多い。

表2-3-1 「年齢」と「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」とのクロス

結婚の意欲		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	いずれ結婚するつもり	2 66.7%	12 100.0%	22 91.7%	33 94.3%	40 90.9%	29 90.6%	138 92.0%
	一生結婚するつもりはない	1 33.3%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	4 9.1%	3 9.4%	12 8.0%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	いずれ結婚するつもり	5 100.0%	26 89.7%	49 87.5%	55 83.3%	72 98.6%	57 90.5%	264 90.4%
	一生結婚するつもりはない	0 .0%	3 10.3%	7 12.5%	11 16.7%	1 1.4%	6 9.5%	28 9.6%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表 2-3-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性ではいずれの結婚年齢でも結婚の意欲をもっていた者が圧倒的に多く、結婚の時期が遅くなった者の間でも「非婚の意思」を固めていた者はほとんどいない。これに対して、女性では「一生結婚するつもりはない」は 30-34 歳で 15.4%、35-39 歳で 36.4%、40-44 歳で 40.0%と次第に高くなっている。つまり、女性の場合には結婚の時期が遅れた者ほど「非婚の意思」を固めていた者が比較的多くなる。彼らは何らかの事情でこれを翻意し、結婚に至ったとみられる。

表2-3-2 「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」とのクロス

結婚の意欲		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	いずれ結婚するつもり		26	70	31	9	2	138
			86.7%	90.9%	100.0%	90.0%	100.0%	92.0%
	一生結婚するつもりはない		4	7	0	1	0	12
			13.3%	9.1%	.0%	10.0%	.0%	8.0%
	合計		30	77	31	10	2	150
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	いずれ結婚するつもり	3	112	117	22	7	3	264
		75.0%	93.3%	92.9%	84.6%	63.6%	60.0%	90.4%
	一生結婚するつもりはない	1	8	9	4	4	2	28
		25.0%	6.7%	7.1%	15.4%	36.4%	40.0%	9.6%
	合計	4	120	126	26	11	5	292
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 2-3-3 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」を性別にクロス集計した結果である。ここで注目されるのは最近結婚した者の間の男女差である。男性の場合、2005 年以降に結婚した者には「いずれ結婚するつもり」が 95.6%と一段と多くなっているが、逆に女性の場合にはそれは 80.6%と他の年代に比べて際だって少なくなっている。これは何を意味しているのだろうか。このデータだけからは確定したことは言えない。しかし、一つ言えることは、最近結婚した男性の中には「結婚の意欲」を強くもっていた者が多いということである。逆に最近結婚した女性には非婚の意思を覆して結婚した者が比較的多いということになる。その理由はここでは推察できないが、女性の場合の「非婚の意思」は可変的な余地が大きいと言える。

表2-3-3 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」とのクロス

結婚の意欲		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	いずれ結婚するつもり	12 85.7%	33 89.2%	25 92.6%	25 92.6%	43 95.6%	138 92.0%
	一生結婚するつもりはない	2 14.3%	4 10.8%	2 7.4%	2 7.4%	2 4.4%	12 8.0%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
女性	いずれ結婚するつもり	49 94.2%	54 98.2%	49 92.5%	54 90.0%	58 80.6%	264 90.4%
	一生結婚するつもりはない	3 5.8%	1 1.8%	4 7.5%	6 10.0%	14 19.4%	28 9.6%
	合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

4. 結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方

次に我々は結婚の意欲をもっていた者について、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」であったのか、それとも「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えていたのかを調べた。これも未婚者を対象とした調査の結果との比較をおこなうためである。

表 2-4-1 は回答者の「年齢」と「結婚に対する考え方」を性別にクロス集計した結果である。未婚者を対象として 2005 年に実施された全国調査の結果では、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」は男性で 51.9%、女性で 49.5%であった。他方、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は男性で 46.7%、女性で 49.0%であった。全国調査の結果では「年齢重視派」と「理想重視派」は男女ともに拮抗した割合になっている。これに対し、我々の調査では、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」は男性で 65.9%、女性で 69.7%であり、男女ともに3分の2前後の者は「年齢重視派」であった。他方、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は男性で 34.1%、女性で 30.3%であった。したがって、全国調査の結果と比較すると、我々の調査の回答者には男女ともに理想の相手にこだわる者はかなり少ないと言える。

表 2-4-2 は「結婚した年齢」と「結婚に対する考え方」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに結婚した年齢が高くなると「理想重視派」が増える傾向がある。たとえば、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は男性の場合に 35-39 歳で 77.8%、女性の場合には 30-34 歳で 50.0%、35-39 歳で 42.9%となっている。

表 2-4-3 は「結婚した年代」と「結婚に対する考え方」を性別にクロス集計した結果である。これによると、比較的近年に結婚した者の間では「理想重視派」が多くなる傾向がある。たとえば、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」は男性の場合には 2005 年以降で 55.8%、女性の場合には 2000-2004 年で 37.0%、2005 年以降で 37.9%となっている。

表2-4-1 「年齢」と「結婚に対する考え方」とのクロス

結婚に対する考え方		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	ある程度の年齢までに結婚するつもり	2	9	12	21	28	19	91
		100.0%	75.0%	54.5%	63.6%	70.0%	65.5%	65.9%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	0	3	10	12	12	10	47
		.0%	25.0%	45.5%	36.4%	30.0%	34.5%	34.1%
	合計	2	12	22	33	40	29	138
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	ある程度の年齢までに結婚するつもり	4	16	33	33	55	43	184
		80.0%	61.5%	67.3%	60.0%	76.4%	75.4%	69.7%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	1	10	16	22	17	14	80
		20.0%	38.5%	32.7%	40.0%	23.6%	24.6%	30.3%
	合計	5	26	49	55	72	57	264
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-4-2 「結婚した年齢」と「結婚に対する考え方」とのクロス

結婚に対する考え方		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	ある程度の年齢までに結婚するつもり		19	46	22	2	2	91
			73.1%	65.7%	71.0%	22.2%	100.0%	65.9%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない		7	24	9	7	0	47
			26.9%	34.3%	29.0%	77.8%	.0%	34.1%
	合計		26	70	31	9	2	138
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	ある程度の年齢までに結婚するつもり	1	81	85	11	4	2	184
		33.3%	72.3%	72.6%	50.0%	57.1%	66.7%	69.7%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	2	31	32	11	3	1	80
		66.7%	27.7%	27.4%	50.0%	42.9%	33.3%	30.3%
	合計	3	112	117	22	7	3	264
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-4-3 「結婚した年代」と「結婚に対する考え方」とのクロス

結婚に対する考え方		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	ある程度の年齢までに結婚するつもり	8 66.7%	24 72.7%	18 72.0%	17 68.0%	24 55.8%	91 65.9%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	4 33.3%	9 27.3%	7 28.0%	8 32.0%	19 44.2%	47 34.1%
	合計	12 100.0%	33 100.0%	25 100.0%	25 100.0%	43 100.0%	138 100.0%
女性	ある程度の年齢までに結婚するつもり	39 79.6%	40 74.1%	35 71.4%	34 63.0%	36 62.1%	184 69.7%
	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	10 20.4%	14 25.9%	14 28.6%	20 37.0%	22 37.9%	80 30.3%
	合計	49 100.0%	54 100.0%	49 100.0%	54 100.0%	58 100.0%	264 100.0%

5. 結婚相手と交際する前に独身でいた理由

この調査では、結婚相手と交際する前に回答者が独身でいた理由を、順位を付けて3つ選んでもらった。表2-5-1、表2-5-2、表2-5-3はそれぞれの順位の理由を回答者の性別・年齢とクロス集計した結果である。

表2-5-1によると、「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」としてもっとも多かった要因は男女ともに「適当な相手に巡り会わなかったから」であり、次に多かった要因は「結婚するにはまだ若すぎたから」、3番目に「結婚するの必要を感じなかったから」であった。この3つの要因の合計は男性で68.0%、女性で74.7%を占めている。

しかし、ここでは未婚者を対象とした調査データの分析の部分で試みたように、回答者が独身でいたことに対して「結婚しない理由」と「結婚できない理由」のどちらがより大きく作用しているかをみてみたい。その場合に「結婚しない理由」が「結婚できない理由」よりも大きい場合には積極的な理由から独身にとどまっていた者が多いということであり、結婚したくてもできない状況にあった者はそれだけ少ないとみることができる。しかし、「結婚できない理由」が「結婚しない理由」よりも大きい場合には結婚したくても結婚できない者、すなわち結婚難の状況にあった者が多数派を占めていたことになる。なおここでは「結婚するにはまだ若すぎたから」「結婚するの必要性を感じなかったから」「仕事(学業)に専念したかったから」「趣味や娯楽を楽しみたかったから」「独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから」「生活レベルを落とすくなかったから」の6つを「結婚しない理由」とし、「適当な相手に巡り会わなかったから」「異性とうまくつきあえなかったから」「経済力がなかったから」「親や周囲が結婚に

同意しなかったから」の4つを「結婚できない理由」に分類している。

まず「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」については、表 2-5-1 から計算すると、男性の場合には「結婚しない理由」の割合が 49.3%、「結婚できない理由」の割合は 48.7%であり、女性の場合には「結婚しない理由」が 57.4%、「結婚できない理由」が 39.4%であった。

次に「結婚相手と交際する前に独身でいた第二の理由」については、表 2-5-2 から計算すると、男性の場合には「結婚しない理由」の割合が 54.0%、「結婚できない理由」の割合は 39.2%であり、女性の場合には「結婚しない理由」が 63.3%、「結婚できない理由」が 29.8%であった。

また「結婚相手と交際する前に独身でいた第三の理由」を表 2-5-3 から計算すると、男性の場合には「結婚しない理由」の割合が 54.6%、「結婚できない理由」の割合は 35.3%であり、女性の場合には「結婚しない理由」が 56.5%、「結婚できない理由」が 31.8%であった。

以上の結果をまとめると、次のようになる。すなわち、「最大の理由」、「第二の理由」、「第三の理由」のいずれの理由においても、男女ともに「結婚しない理由」の割合が「結婚できない理由」の割合を上回っている。とくに女性の場合には「結婚しない理由」の割合が「結婚できない理由」の割合を大きく上回っている。したがって、このデータをみる限りでは、我々の調査の回答者については結婚難の状況にあった者は男女ともに全体的には少数派であったとみることができる。

表 2-5-4 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚した年齢によって「結婚しない理由」と「結婚できない理由」のバランスは異なってくるのがわかる。男性では結婚した年齢が高い者ほど「結婚できない理由」の割合が大きくなる傾向がある。たとえば、男性の場合には「結婚できない理由」の割合は 25-29 歳は 48.1%であるが、30-34 歳では 58.1%、35-39 歳では 70%に跳ね上がっている。また女性の場合には「結婚できない理由」の割合は 25-29 歳で 47.7%、30-34 歳で 49.9%と目立って大きくなっている。ただし女性の場合には「結婚できない理由」の割合は 35-39 歳では 27.3%と急減し、同じ世代の男性の場合と真逆の傾向を示している。したがって、我々の調査の回答者については、20 歳代後半から 30 歳代前半で結婚した女性には結婚難の状況にあった者が比較的多く、30 代後半で結婚した女性には積極的な理由で独身にとどまっていた者が多かったということになる。

表 2-5-5 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに比較的近年に結婚した者については「結婚できない理由」の割合が大きくなっている。たとえば、男性の場合には「結婚できない理由」の割合は 2000-2004 年に結婚した者で 51.8%、2005 年以降に結婚した者では 53.3%となっている。したがって、男性の場合には 2000 年以降に結婚した者の間では結婚したくてもできない状況にあった者が多数派であったことになる。とくに 2005 年以降に結婚した者の中で「経済力がなかったから」を最大の理由とする者が 17.8%と男性平均の数値の二倍近くの大きさを示していることが注目される。女性の場合でも「結婚できない理由」の割合は 1995-1999 年に結婚した者で 45.3%、2000-2004 年に結婚した者で 43.3%、2005 年以降に結婚した者で 41.7%とやや大きな数値を示している。

表2-5-1 結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚するにはまだ若すぎたから	1 33.3%	5 41.7%	4 16.7%	11 31.4%	8 18.2%	4 12.5%	33 22.0%
	結婚する必要性を感じなかったから	1 33.3%	2 16.7%	0 .0%	5 14.3%	5 11.4%	5 15.6%	18 12.0%
	仕事(学業)に専念したかったから	0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	2 5.7%	3 6.8%	3 9.4%	10 6.7%
	趣味や娯楽を楽しみたかったから	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	1 2.3%	0 .0%	5 3.3%
	独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	0 .0%	4 9.1%	1 3.1%	8 5.3%
	適当な相手に巡り会わなかったから	1 33.3%	1 8.3%	8 33.3%	12 34.3%	17 38.6%	12 37.5%	51 34.0%
	異性とうまくつきあえなかったから	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	2 4.5%	1 3.1%	4 2.7%
	経済力がなかったから	0 .0%	1 8.3%	6 25.0%	2 5.7%	2 4.5%	3 9.4%	14 9.3%
	生活レベルを落とすしかなかったから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	親や周囲が結婚に同意しなかったから	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	1 2.9%	1 2.3%	1 3.1%	4 2.7%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	2 1.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	1 .7%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎたから	0 .0%	8 27.6%	7 12.5%	17 25.8%	20 27.4%	21 33.3%
結婚する必要性を感じなかったから		1 20.0%	4 13.8%	9 16.1%	12 18.2%	10 13.7%	10 15.9%	46 15.8%
仕事(学業)に専念したかったから		1 20.0%	3 10.3%	5 8.9%	3 4.5%	2 2.7%	5 7.9%	19 6.5%
趣味や娯楽を楽しみたかったから		0 .0%	2 6.9%	3 5.4%	3 4.5%	4 5.5%	1 1.6%	13 4.5%
独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		0 .0%	1 3.4%	7 12.5%	1 1.5%	3 4.1%	5 7.9%	17 5.8%
適当な相手に巡り会わなかったから		3 60.0%	8 27.6%	22 39.3%	23 34.8%	22 30.1%	21 33.3%	99 33.9%
異性とうまくつきあえなかったから		0 .0%	1 3.4%	0 .0%	3 4.5%	4 5.5%	0 .0%	8 2.7%
経済力がなかったから		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	0 .0%	3 4.1%	0 .0%	6 2.1%
生活レベルを落とすしかなかったから		0 .0%	1 3.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
親や周囲が結婚に同意しなかったから		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	1 1.4%	0 .0%	2 .7%
その他		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	2 3.0%	4 5.5%	0 .0%	7 2.4%
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表2-5-2 結婚相手と交際する前に独身でいた第二の理由

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	結婚するにはまだ若すぎたから	0 .0%	2 16.7%	3 12.5%	1 2.9%	3 6.8%	6 18.8%	15 10.0%	
	結婚する必要性を感じなかったから	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	6 17.1%	5 11.4%	4 12.5%	21 14.0%	
	仕事(学業)に専念したかったから	1 33.3%	1 8.3%	0 .0%	4 11.4%	4 9.1%	4 12.5%	14 9.3%	
	趣味や娯楽を楽しみたかったから	1 33.3%	0 .0%	2 8.3%	4 11.4%	3 6.8%	2 6.3%	12 8.0%	
	独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから	1 33.3%	2 16.7%	1 4.2%	8 22.9%	6 13.6%	1 3.1%	19 12.7%	
	適当な相手に巡り会わなかったから	0 .0%	3 25.0%	7 29.2%	7 20.0%	11 25.0%	4 12.5%	32 21.3%	
	異性とうまくつきあえなかったから	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	3 6.8%	2 6.3%	8 5.3%	
	経済力がなかったから	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	2 5.7%	6 13.6%	3 9.4%	17 11.3%	
	生活レベルを落とすしかなかったから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
	親や周囲が結婚に同意しなかったから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	0 .0%	3 6.8%	5 15.6%	10 6.7%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	女性	結婚するにはまだ若すぎたから	1 20.0%	2 6.9%	9 16.1%	8 12.1%	8 11.0%	3 4.8%	31 10.6%
		結婚する必要性を感じなかったから	1 20.0%	9 31.0%	6 10.7%	12 18.2%	14 19.2%	14 22.2%	56 19.2%
仕事(学業)に専念したかったから		0 .0%	3 10.3%	2 3.6%	5 7.6%	5 6.8%	13 20.6%	28 9.6%	
趣味や娯楽を楽しみたかったから		0 .0%	0 .0%	6 10.7%	8 12.1%	8 11.0%	5 7.9%	27 9.2%	
独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		2 40.0%	5 17.2%	7 12.5%	8 12.1%	8 11.0%	6 9.5%	36 12.3%	
適当な相手に巡り会わなかったから		1 20.0%	6 20.7%	10 17.9%	9 13.6%	16 21.9%	10 15.9%	52 17.8%	
異性とうまくつきあえなかったから		0 .0%	1 3.4%	4 7.1%	4 6.1%	3 4.1%	0 .0%	12 4.1%	
経済力がなかったから		0 .0%	2 6.9%	6 10.7%	2 3.0%	2 2.7%	2 3.2%	14 4.8%	
生活レベルを落とすしかなかったから		0 .0%	0 .0%	3 5.4%	1 1.5%	1 1.4%	2 3.2%	7 2.4%	
親や周囲が結婚に同意しなかったから		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	2 3.0%	2 2.7%	3 4.8%	9 3.1%	
その他		0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%	1 1.4%	0 .0%	3 1.0%	
無回答		0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	5 7.6%	5 6.8%	5 7.9%	17 5.8%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表2-5-3 結婚相手と交際する前に独身でいた第三の理由

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚するにはまだ若すぎたから	0 .0%	2 16.7%	3 12.5%	0 .0%	5 11.4%	4 12.5%	14 9.3%
	結婚する必要性を感じなかったから	1 33.3%	0 .0%	5 20.8%	6 17.1%	5 11.4%	6 18.8%	23 15.3%
	仕事(学業)に専念したかったから	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	3 8.6%	0 .0%	1 3.1%	7 4.7%
	趣味や娯楽を楽しみたかったから	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	4 11.4%	12 27.3%	0 .0%	17 11.3%
	独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから	0 .0%	2 16.7%	3 12.5%	6 17.1%	7 15.9%	2 6.3%	20 13.3%
	適当な相手に巡り会わなかったから	1 33.3%	2 16.7%	1 4.2%	3 8.6%	4 9.1%	4 12.5%	15 10.0%
	異性とうまくつきあえなかったから	1 33.3%	0 .0%	3 12.5%	1 2.9%	3 6.8%	1 3.1%	9 6.0%
	経済力がなかったから	0 .0%	5 41.7%	3 12.5%	8 22.9%	5 11.4%	5 15.6%	26 17.3%
	生活レベルを落とすしかなかったから	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	親や周囲が結婚に同意しなかったから	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	0 .0%	1 3.1%	3 2.0%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 6.3%	2 1.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	3 6.8%	6 18.8%	13 8.7%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎたから	1 20.0%	1 3.4%	5 8.9%	4 6.1%	7 9.6%	7 11.1%
結婚する必要性を感じなかったから		1 20.0%	4 13.8%	8 14.3%	9 13.6%	9 12.3%	8 12.7%	39 13.4%
仕事(学業)に専念したかったから		0 .0%	2 6.9%	5 8.9%	5 7.6%	5 6.8%	3 4.8%	20 6.8%
趣味や娯楽を楽しみたかったから		0 .0%	9 31.0%	10 17.9%	9 13.6%	10 13.7%	5 7.9%	43 14.7%
独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		0 .0%	5 17.2%	7 12.5%	8 12.1%	6 8.2%	4 6.3%	30 10.3%
適当な相手に巡り会わなかったから		1 20.0%	2 6.9%	5 8.9%	9 13.6%	17 23.3%	14 22.2%	48 16.4%
異性とうまくつきあえなかったから		1 20.0%	0 .0%	8 14.3%	0 .0%	3 4.1%	5 7.9%	17 5.8%
経済力がなかったから		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	6 9.1%	7 9.6%	5 7.9%	21 7.2%
生活レベルを落とすしかなかったから		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	4 6.1%	1 1.4%	0 .0%	8 2.7%
親や周囲が結婚に同意しなかったから		0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	2 3.0%	0 .0%	3 4.8%	7 2.4%
その他		1 20.0%	0 .0%	1 1.8%	3 4.5%	2 2.7%	2 3.2%	9 3.1%
無回答		0 .0%	3 10.3%	2 3.6%	7 10.6%	6 8.2%	7 11.1%	25 8.6%
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表2-5-4「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	結婚するにはまだ若すぎたから		16 53.3%	15 19.5%	1 3.2%	1 10.0%	0 .0%	33 22.0%
	結婚する必要性を感じなかったから		4 13.3%	7 9.1%	6 19.4%	1 10.0%	0 .0%	18 12.0%
	仕事(学業)に専念したかったから		0 .0%	6 7.8%	4 12.9%	0 .0%	0 .0%	10 6.7%
	趣味や娯楽を楽しみたかったから		1 3.3%	3 3.9%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	5 3.3%
	独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		0 .0%	7 9.1%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	8 5.3%
	適当な相手に巡り会わなかったから		6 20.0%	27 35.1%	11 35.5%	6 60.0%	1 50.0%	51 34.0%
	異性とうまくつきあえなかったから		1 3.3%	2 2.6%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
	経済力がなかったから		1 3.3%	8 10.4%	3 9.7%	1 10.0%	1 50.0%	14 9.3%
	生活レベルを落とすしかなかったから							
	親や周囲が結婚に同意しなかったから		1 3.3%	0 .0%	3 9.7%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
	その他		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	2 1.3%
	無回答		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎたから	1 25.0%	52 43.3%	20 15.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
結婚する必要性を感じなかったから		0 .0%	15 12.5%	18 14.3%	7 26.9%	2 18.2%	3 60.0%	45 15.4%
仕事(学業)に専念したかったから		1 25.0%	7 5.8%	8 6.3%	2 7.7%	1 9.1%	0 .0%	19 6.5%
趣味や娯楽を楽しみたかったから		1 25.0%	2 1.7%	5 4.0%	3 11.5%	2 18.2%	0 .0%	13 4.5%
独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		0 .0%	4 3.3%	12 9.5%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	17 5.8%
適当な相手に巡り会わなかったから		0 .0%	34 28.3%	52 41.3%	11 42.3%	2 18.2%	1 20.0%	100 34.2%
異性とうまくつきあえなかったから		0 .0%	2 1.7%	4 3.2%	1 3.8%	1 9.1%	0 .0%	8 2.7%
経済力がなかったから		0 .0%	2 1.7%	4 3.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 2.1%
生活レベルを落とすしかなかったから		1 25.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
親や周囲が結婚に同意しなかったから		0 .0%	1 .8%	0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	2 .7%
その他		0 .0%	1 .8%	2 1.6%	1 3.8%	2 18.2%	1 20.0%	7 2.4%
無回答		0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計		4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表2-5-5 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	結婚するにはまだ若すぎたから	2 14.3%	11 29.7%	8 29.6%	5 18.5%	7 15.6%	33 22.0%
	結婚する必要性を感じなかったから	2 14.3%	4 10.8%	4 14.8%	2 7.4%	6 13.3%	18 12.0%
	仕事(学業)に専念したかったから	0 .0%	3 8.1%	2 7.4%	1 3.7%	4 8.9%	10 6.7%
	趣味や娯楽を楽しみたかったから	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	3 11.1%	1 2.2%	5 3.3%
	独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから	1 7.1%	1 2.7%	3 11.1%	2 7.4%	1 2.2%	8 5.3%
	適当な相手に巡り会わなかったから	7 50.0%	11 29.7%	7 25.9%	11 40.7%	15 33.3%	51 34.0%
	異性とうまくつきあえなかったから	0 .0%	2 5.4%	1 3.7%	0 .0%	1 2.2%	4 2.7%
	経済力がなかったから	1 7.1%	2 5.4%	1 3.7%	2 7.4%	8 17.8%	14 9.3%
	生活レベルを落とすしかなかったから						
	親や周囲が結婚に同意しなかったから	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.7%	1 2.2%	4 2.7%
	その他	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 1.3%
	無回答	1 7.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	結婚するにはまだ若すぎたから	24 46.2%	16 29.1%	17 32.1%	10 16.7%	6 8.3%
結婚する必要性を感じなかったから		5 9.6%	8 14.5%	6 11.3%	11 18.3%	15 20.8%	45 15.4%
仕事(学業)に専念したかったから		2 3.8%	5 9.1%	3 5.7%	2 3.3%	7 9.7%	19 6.5%
趣味や娯楽を楽しみたかったから		0 .0%	2 3.6%	1 1.9%	5 8.3%	5 6.9%	13 4.5%
独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから		4 7.7%	4 7.3%	0 .0%	5 8.3%	4 5.6%	17 5.8%
適当な相手に巡り会わなかったから		16 30.8%	16 29.1%	21 39.6%	20 33.3%	27 37.5%	100 34.2%
異性とうまくつきあえなかったから		1 1.9%	1 1.8%	1 1.9%	4 6.7%	1 1.4%	8 2.7%
経済力がなかったから		0 .0%	2 3.6%	1 1.9%	2 3.3%	1 1.4%	6 2.1%
生活レベルを落とすしかなかったから		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
親や周囲が結婚に同意しなかったから		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	2 .7%
その他		0 .0%	0 .0%	2 3.8%	0 .0%	5 6.9%	7 2.4%
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	0 .0%	1 .3%
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

6. 結婚を決めたときに考えた結婚の利点

未婚者を対象とした全国調査では、回答者にとって結婚することにどのような利点があるかを尋ねている。同様の質問は既婚者に対してもおこなう価値があると我々は考える。それによって、未婚者と既婚者の結婚観の比較が可能になるからである。ところが、既婚者を対象とする全国調査では結婚の利点をどのように考えていたのかを尋ねる質問を設定していない。そこで我々はそのような質問を調査票の中に入れた。すなわち、結婚の決意をしたときに当時の回答者にとって結婚することにはどのような利点があったのかと問い、用意した選択肢の中から3つの利点を順位付けて選んでもらった。

表 2-6-1、表 2-6-2、表 2-6-3 は各順位の理由と回答者の年齢を性別にクロス集計した結果である。これによると、まず「結婚を決めたときに考えた結婚の最大の利点」については、男性の場合にもっとも回答数が多かった項目は「好きな人と一緒に暮らせる」の 36.0%である、次に「精神的な安らぎの場をもてる」の 25.3%、3番目に「自分の子どもや家族をもてる」の 21.3%であった。この上位3つで全体の 82.6%を占めている。女性の場合にはもっとも多かった項目は男性の場合と同様に「好きな人と一緒に暮らせる」の 42.6%であり、次に「精神的な安らぎの場をもてる」の 16.8%、3番目に「自分の子どもや家族をもてる」の 16.1%であった。この上位3つの要因で全体の 75.5%を構成する。年齢別では男女ともに 25-29 歳で「精神的な安らぎの場をもてる」が比較的大きな割合を示していることが一つの特徴である。

次に「結婚を決めたときに考えた結婚の第二の利点」については、男性の場合にもっとも回答数が多かった項目は「自分の子どもや家族をもてる」の 26.2%であり、次いで「好きな人と一緒に暮らせる」の 22.8%、3番目に「精神的な安らぎの場をもてる」の 20.1%であった。上位3つの理由で全体の 69.1%を占めている。女性の場合にもっとも回答数が多かったのは「自分の子どもや家族をもてる」の 23.6%であり、2番目は「精神的な安らぎの場をもてる」の 19.2%、3番目に「好きな人と一緒に暮らせる」の 15.4%であった。ただ女性の場合には4番目に「親や周囲を安心させる」(15.1%)が入っていることが男性の場合と異なる特徴である。年齢別では男女ともに 25-29 歳で「自分の子どもや家族をもてる」が4割前後と比較的大きな割合を示していることと、女性の 30-34 歳で「親や周囲を安心させる」が 19.6%と比較的大きな割合になっていることが目を引く点である。

さらに「結婚を決めたときに考えた結婚の第三の利点」については、男性の場合にもっとも回答数が多かった項目は「親や周囲を安心させる」の 19.1%であり、2番目に「自分の子どもや家族をもてる」の 17.7%、3番目に「新しい人生を開始できる」の 12.9%、4番目に「精神的な安らぎの場をもてる」の 12.2%であった。女性の場合にもっとも回答数が多かった項目は「自分の子どもや家族をもてる」の 18.9%であり、2番目に「新しい人生を開始できる」と「親や周囲を安心させる」がともに 17.2%の同率であった。また女性の場合には4番目に「経済的な安定が得られる」(10.0%)が入っていることが男性の場合と異なる特徴である。

表2-6-1 結婚を決めたときに考えた結婚の最大の利点

	年齢						合計	
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	経済的な安定が得られる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	0 .0%	3 2.0%
	社会的信用が得られる	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	2 5.7%	0 .0%	1 3.1%	4 2.7%
	周囲と対等な意識をもてる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	精神的な安らぎの場をもてる	1 33.3%	5 41.7%	4 16.7%	11 31.4%	9 20.5%	8 25.0%	38 25.3%
	好きな人と一緒に暮らせる	1 33.3%	2 16.7%	8 33.3%	13 37.1%	21 47.7%	9 28.1%	54 36.0%
	自分の子どもや家族をもてる	1 33.3%	4 33.3%	8 33.3%	5 14.3%	7 15.9%	7 21.9%	32 21.3%
	新しい人生を開始できる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	2 4.5%	3 9.4%	8 5.3%
	性的な充足が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	生活の上で便利になる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	1 .7%
	親から独立できる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	2 4.5%	3 9.4%	7 4.7%
	親や周囲を安心させる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	老後に孤独でなくなる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	女性	経済的な安定が得られる	0 .0%	1 3.4%	3 5.4%	4 6.1%	7 9.6%	2 3.2%
社会的信用が得られる		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
周囲と対等な意識をもてる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	3 4.8%	4 1.4%
精神的な安らぎの場をもてる		1 20.0%	9 31.0%	7 12.5%	10 15.2%	10 13.7%	12 19.0%	49 16.8%
好きな人と一緒に暮らせる		4 80.0%	10 34.5%	25 44.6%	30 45.5%	32 43.8%	22 34.9%	123 42.1%
自分の子どもや家族をもてる		0 .0%	5 17.2%	10 17.9%	13 19.7%	10 13.7%	9 14.3%	47 16.1%
新しい人生を開始できる		0 .0%	1 3.4%	4 7.1%	3 4.5%	5 6.8%	6 9.5%	19 6.5%
性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
生活の上で便利になる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
親から独立できる		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	0 .0%	1 1.4%	3 4.8%	7 2.4%
親や周囲を安心させる		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	3 4.5%	5 6.8%	4 6.3%	15 5.1%
老後に孤独でなくなる		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	2 .7%
その他		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 1.5%	3 4.1%	1 1.6%	6 2.1%
無回答		0 .0%	1 3.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表2-6-2 結婚を決めたときに考えた結婚の第二の利点

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	経済的な安定が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%	
	社会的信用が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	2 4.7%	2 6.3%	5 3.4%	
	周囲と対等な意識をもてる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	1 .7%	
	精神的な安らぎの場をもてる	2 66.7%	1 8.3%	8 33.3%	4 11.4%	9 20.9%	6 18.8%	30 20.1%	
	好きな人と一緒に暮らせる	1 33.3%	3 25.0%	7 29.2%	7 20.0%	9 20.9%	7 21.9%	34 22.8%	
	自分の子どもや家族をもてる	0 .0%	5 41.7%	0 .0%	13 37.1%	14 32.6%	7 21.9%	39 26.2%	
	新しい人生を開始できる	0 .0%	3 25.0%	3 12.5%	3 8.6%	1 2.3%	4 12.5%	14 9.4%	
	性的な充足が得られる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	2 4.7%	1 3.1%	6 4.0%	
	生活の上で便利になる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	0 .0%	3 2.0%	
	親から独立できる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	親や周囲を安心させる	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	3 8.6%	3 7.0%	3 9.4%	11 7.4%	
	老後に孤独でなくなる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	43 100.0%	32 100.0%	149 100.0%	
	女性	経済的な安定が得られる	1 20.0%	0 .0%	2 3.6%	1 1.5%	6 8.2%	3 4.8%	13 4.5%
		社会的信用が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.5%	1 1.4%	1 1.6%	5 1.7%
周囲と対等な意識をもてる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%	2 .7%	
精神的な安らぎの場をもてる		1 20.0%	4 13.8%	11 19.6%	15 22.7%	12 16.4%	13 20.6%	56 19.2%	
好きな人と一緒に暮らせる		0 .0%	9 31.0%	9 16.1%	10 15.2%	8 11.0%	9 14.3%	45 15.4%	
自分の子どもや家族をもてる		3 60.0%	11 37.9%	12 21.4%	17 25.8%	18 24.7%	8 12.7%	69 23.6%	
新しい人生を開始できる		0 .0%	0 .0%	4 7.1%	8 12.1%	8 11.0%	10 15.9%	30 10.3%	
性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%	
生活の上で便利になる		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
親から独立できる		0 .0%	0 .0%	4 7.1%	4 6.1%	3 4.1%	1 1.6%	12 4.1%	
親や周囲を安心させる		0 .0%	3 10.3%	11 19.6%	4 6.1%	13 17.8%	13 20.6%	44 15.1%	
老後に孤独でなくなる		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
その他		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	1 .3%	
無回答		0 .0%	2 6.9%	0 .0%	3 4.5%	3 4.1%	2 3.2%	10 3.4%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表2-6-3 結婚を決めたときに考えた結婚の第三の利点

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	経済的な安定が得られる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	2 4.7%	0 .0%	3 2.0%	
	社会的信用が得られる	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	2 5.9%	1 2.3%	4 12.9%	10 6.8%	
	周囲と対等な意識をもてる	0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	3 2.0%	
	精神的な安らぎの場をもてる	0 .0%	2 16.7%	2 8.3%	4 11.8%	7 16.3%	3 9.7%	18 12.2%	
	好きな人と一緒に暮らせる	0 .0%	2 16.7%	1 4.2%	2 5.9%	2 4.7%	3 9.7%	10 6.8%	
	自分の子どもや家族をもてる	1 33.3%	2 16.7%	5 20.8%	4 11.8%	9 20.9%	5 16.1%	26 17.7%	
	新しい人生を開始できる	1 33.3%	1 8.3%	3 12.5%	2 5.9%	8 18.6%	4 12.9%	19 12.9%	
	性的な充足が得られる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	2 6.5%	4 2.7%	
	生活の上で便利になる	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	4 11.8%	3 7.0%	1 3.2%	9 6.1%	
	親から独立できる	0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	2 6.5%	6 4.1%	
	親や周囲を安心させる	1 33.3%	1 8.3%	4 16.7%	12 35.3%	5 11.6%	5 16.1%	28 19.0%	
	老後に孤独でなくなる	0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	3 8.8%	2 4.7%	2 6.5%	9 6.1%	
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	34 100.0%	43 100.0%	31 100.0%	147 100.0%	
	女性	経済的な安定が得られる	2 40.0%	1 3.6%	5 8.9%	5 7.6%	11 15.1%	5 7.9%	29 10.0%
		社会的信用が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%	2 2.7%	3 4.8%	7 2.4%
周囲と対等な意識をもてる		0 .0%	0 .0%	3 5.4%	2 3.0%	3 4.1%	1 1.6%	9 3.1%	
精神的な安らぎの場をもてる		0 .0%	2 7.1%	9 16.1%	6 9.1%	4 5.5%	6 9.5%	27 9.3%	
好きな人と一緒に暮らせる		0 .0%	2 7.1%	2 3.6%	2 3.0%	1 1.4%	2 3.2%	9 3.1%	
自分の子どもや家族をもてる		1 20.0%	7 25.0%	10 17.9%	7 10.6%	13 17.8%	17 27.0%	55 18.9%	
新しい人生を開始できる		0 .0%	7 25.0%	12 21.4%	14 21.2%	10 13.7%	7 11.1%	50 17.2%	
性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
生活の上で便利になる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
親から独立できる		1 20.0%	1 3.6%	4 7.1%	3 4.5%	3 4.1%	5 7.9%	17 5.8%	
親や周囲を安心させる		0 .0%	2 7.1%	8 14.3%	17 25.8%	14 19.2%	9 14.3%	50 17.2%	
老後に孤独でなくなる		1 20.0%	3 10.7%	1 1.8%	3 4.5%	4 5.5%	2 3.2%	14 4.8%	
その他		0 .0%	1 3.6%	1 1.8%	1 1.5%	2 2.7%	1 1.6%	6 2.1%	
無回答		0 .0%	2 7.1%	1 1.8%	3 4.5%	6 8.2%	5 7.9%	17 5.8%	
合計		5 100.0%	28 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	291 100.0%	

表2-6-4「結婚した年齢」と「結婚を決めたときに考えた結婚の最大の利点」とのクロス

		結婚した年齢						合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		
男性	経済的な安定が得られる		1 3.3%	1 1.3%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%	
	社会的信用が得られる		2 6.7%	2 2.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%	
	周囲と対等な意識をもてる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
	精神的な安らぎの場をもてる		9 30.0%	15 19.5%	8 25.8%	6 60.0%	0 .0%	38 25.3%	
	好きな人と一緒に暮らせる		13 43.3%	29 37.7%	9 29.0%	2 20.0%	1 50.0%	54 36.0%	
	自分の子どもや家族をもてる		4 13.3%	18 23.4%	9 29.0%	1 10.0%	0 .0%	32 21.3%	
	新しい人生を開始できる		0 .0%	6 7.8%	1 3.2%	1 10.0%	0 .0%	8 5.3%	
	性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
	生活の上で便利になる		1 3.3%	0 .0%	3 9.7%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%	
	親から独立できる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
	親や周囲を安心させる		0 .0%	3 3.9%	3 9.7%	0 .0%	1 50.0%	7 4.7%	
	老後に孤独でなくなる		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	その他		1 3.3%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%	
	女性	経済的な安定が得られる	0 .0%	4 3.3%	11 8.7%	1 3.8%	1 9.1%	0 .0%	17 5.8%
		社会的信用が得られる	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
周囲と対等な意識をもてる		0 .0%	1 .8%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 1.4%	
精神的な安らぎの場をもてる		1 25.0%	15 12.5%	23 18.3%	5 19.2%	1 9.1%	4 80.0%	49 16.8%	
好きな人と一緒に暮らせる		1 25.0%	62 51.7%	54 42.9%	4 15.4%	3 27.3%	0 .0%	124 42.5%	
自分の子どもや家族をもてる		2 50.0%	18 15.0%	16 12.7%	7 26.9%	3 27.3%	0 .0%	46 15.8%	
新しい人生を開始できる		0 .0%	9 7.5%	6 4.8%	2 7.7%	2 18.2%	0 .0%	19 6.5%	
性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
生活の上で便利になる		0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
親から独立できる		0 .0%	4 3.3%	2 1.6%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	7 2.4%	
親や周囲を安心させる		0 .0%	2 1.7%	7 5.6%	5 19.2%	0 .0%	1 20.0%	15 5.1%	
老後に孤独でなくなる		0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	2 .7%	
その他		0 .0%	4 3.3%	1 .8%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	6 2.1%	
無回答		0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
合計		4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%	

表2-6-5「結婚した年代」と「結婚を決めたときに考えた結婚の最大の利点」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	経済的な安定が得られる	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	0 .0%	1 2.2%	3 2.0%
	社会的信用が得られる	1 7.1%	1 2.7%	0 .0%	1 3.7%	1 2.2%	4 2.7%
	周囲と対等な意識をもてる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	精神的な安らぎの場をもてる	3 21.4%	9 24.3%	6 22.2%	6 22.2%	14 31.1%	38 25.3%
	好きな人と一緒に暮らせる	6 42.9%	15 40.5%	10 37.0%	10 37.0%	13 28.9%	54 36.0%
	自分の子どもや家族をもてる	3 21.4%	5 13.5%	7 25.9%	6 22.2%	11 24.4%	32 21.3%
	新しい人生を開始できる	0 .0%	3 8.1%	1 3.7%	1 3.7%	3 6.7%	8 5.3%
	性的な充足が得られる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	生活の上で便利になる	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.7%	1 2.2%	4 2.7%
	親から独立できる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
	親や周囲を安心させる	0 .0%	2 5.4%	1 3.7%	3 11.1%	1 2.2%	7 4.7%
	老後に孤独でなくなる	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	その他	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 1.3%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	経済的な安定が得られる	2 3.8%	6 10.9%	3 5.7%	2 3.3%	4 5.6%
社会的信用が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 .3%
周囲と対等な意識をもてる		2 3.8%	2 3.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 1.4%
精神的な安らぎの場をもてる		5 9.6%	10 18.2%	6 11.3%	12 20.0%	16 22.2%	49 16.8%
好きな人と一緒に暮らせる		24 46.2%	23 41.8%	26 49.1%	26 43.3%	25 34.7%	124 42.5%
自分の子どもや家族をもてる		7 13.5%	7 12.7%	8 15.1%	10 16.7%	14 19.4%	46 15.8%
新しい人生を開始できる		7 13.5%	2 3.6%	2 3.8%	6 10.0%	2 2.8%	19 6.5%
性的な充足が得られる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
生活の上で便利になる		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
親から独立できる		3 5.8%	1 1.8%	1 1.9%	0 .0%	2 2.8%	7 2.4%
親や周囲を安心させる		1 1.9%	1 1.8%	5 9.4%	4 6.7%	4 5.6%	15 5.1%
老後に孤独でなくなる		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	0 .0%	1 1.4%	2 .7%
その他		1 1.9%	3 5.5%	0 .0%	0 .0%	2 2.8%	6 2.1%
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 .3%
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

また「結婚を決めたときに考えた結婚の最大の利点」については、「結婚した年齢」および「結婚した年代」と性別にクロス集計をとってみた。その結果が表 2-6-4 と表 2-6-5 である。まず表 2-6-4 によって「結婚した年齢」との関係のみてみると、20 歳代前半で結婚した者では男女ともに「好きな人と一緒に暮らせる」が多いのが特徴的である。それは男性の場合に 43.3%、女性の場合には 51.7%とそれぞれ全体の平均値を大きく上回っている。その他では、「精神的な安らぎの場をもてる」が 35-39 歳で結婚した男性（60.0%）と 40-44 歳で結婚した女性（80.0%）の間で多いのが目を引く点である。

次に表 2-6-5 によって「結婚した年代」との関係のみると、全体的には目立った特徴はない。ただ 2005 年以降に結婚した者の間では男女ともに「精神的な安らぎの場をもてる」がやや多くなっていることが注目される点である。それは男性の場合には 31.1%、女性の場合には 22.2%とそれぞれ全体の平均値を上回る数値を示している。

7. 結婚相手と交際する前の異性との交際状況

未婚者を対象とした調査データの分析の部分で述べたように、各年次の全国調査の結果は、未婚男女の異性との交際が低調な状況で推移していることを明らかにしている。最近の調査結果（2005 年）によれば、現在「交際している異性はいない」と回答した者は男性の場合には 52.2%と過半数を超え、女性の場合には 44.7%であった。全国調査の結果と比較すると、我々の調査の回答者における異性との交際の低調さはいっそう鮮明であった。すなわち、我々の調査の結果では 20 歳から 34 歳の未婚者の回答では「交際している異性はいない」と回答した者は男性の場合には 73.2%、女性の場合には 50.0%に達していた。

それではすでに結婚に至った者の独身時代の異性交際についてはどうであろうか。彼らは結婚相手と交際する前に別の交際相手をもっていたのだろうか。残念ながら、全国調査はこのような設問を設定していない。そこで我々は未婚者の異性交際の状況と比較するために、既婚者の独身時代の交際状況を調べることにした。すなわち、結婚相手と交際する前に異性の友人や恋人がいたかを尋ねる質問を調査票の中に入れた。

表 2-7-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合には 58.0%、女性の場合には 74.6%が結婚相手と交際をする前に異性の交際相手をもっていた。つまり、男性の 6 割、女性の 7 割半が友人を含めて異性の交際相手を有していた。逆に「交際している異性はいない」は男性の 4 割、女性では 2 割半にとどまっていた。我々の調査の回答者については、独身時代に異性との交際状況がそれなりに活発であった者が多いとみることができる。このことは未婚者の交際状況の低調さと好対照をなす事実である。ただ年齢別では「交際している異性はいなかった」は男性の場合には 40-44 歳と 45-49 歳で 5 割程度、女性の場合には 40-44 歳で 34.2%と他の年齢層と比べてやや大きな割合を示している。

表 2-7-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合には結婚した年齢が高くなると「交際している異性はいなかった」と回答する者が多くなる傾向がある。しかし、女性の場合にはその逆で結婚した年齢が高くなると、「交際している異性はいなかった」は少なくなり、異性の交際相手をもっていた者が多くなる傾向がある。とくに「恋人として交際している異性がいた」は女性の場合には結婚した年齢が 35-39 歳で 54.5%、40-44 歳で 80%になっていることは注目される。

表2-7-1 「年齢」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	交際している異性はいなかった	0 .0%	3 25.0%	9 37.5%	11 31.4%	23 52.3%	16 50.0%	62 41.3%
	友人として交際している異性がいた	0 .0%	3 25.0%	2 8.3%	6 17.1%	7 15.9%	8 25.0%	26 17.3%
	恋人として交際している異性がいた	3 100.0%	6 50.0%	12 50.0%	18 51.4%	14 31.8%	8 25.0%	61 40.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	交際している異性はいなかった	2 40.0%	3 10.3%	10 17.9%	15 22.7%	25 34.2%	18 28.6%	73 25.0%
	友人として交際している異性がいた	1 20.0%	10 34.5%	7 12.5%	16 24.2%	23 31.5%	17 27.0%	74 25.3%
	恋人として交際している異性がいた	2 40.0%	16 55.2%	38 67.9%	35 53.0%	25 34.2%	28 44.4%	144 49.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表2-7-2 「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」のクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	交際している異性はいなかった		12 40.0%	28 36.4%	16 51.6%	6 60.0%	0 .0%	62 41.3%
	友人として交際している異性がいた		5 16.7%	16 20.8%	3 9.7%	0 .0%	2 100.0%	26 17.3%
	恋人として交際している異性がいた		13 43.3%	32 41.6%	12 38.7%	4 40.0%	0 .0%	61 40.7%
	無回答		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	交際している異性はいなかった	0 .0%	35 29.4%	30 23.8%	6 23.1%	2 18.2%	0 .0%	73 25.0%
	友人として交際している異性がいた	2 50.0%	32 26.9%	28 22.2%	8 30.8%	3 27.3%	1 20.0%	74 25.3%
	恋人として交際している異性がいた	2 50.0%	51 42.9%	68 54.0%	12 46.2%	6 54.5%	4 80.0%	144 49.3%
	無回答	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	119 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表 2-7-3 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、比較的近年に結婚した者については男女ともに異性の交際相手を有していた者が非常に多いことがわかる。異性の交際相手を有していた者は、男性の場合には 2000-2004 年に結婚した者で 70.2%、2005 年以降に結婚した者で 62.7%であった。このうち、「恋人として交際している異性がいた」と回答した者は 2000-2004 年に結婚した者で 55.6%、2005 年以降に結婚した者で 46.7%いた。異性の交際相手を有していた者は、女性の場合には 2000-2004 年に結婚した者で 78.3%、2005 年以降に結婚した者で 84.7%に達している。このうち、「恋人として交際している異性がいた」と回答した者は 2000-2004 年に結婚した者で 60.0%、2005 年以降に結婚した者で 61.1%いた。

表2-7-3 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前の異性との交際状況」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	交際している異性は いなかった	6 42.9%	19 51.4%	13 48.1%	7 25.9%	17 37.8%	62 41.3%
	友人として交際して いる異性がいた	4 28.6%	8 21.6%	3 11.1%	4 14.8%	7 15.6%	26 17.3%
	恋人として交際して いる異性がいた	4 28.6%	10 27.0%	11 40.7%	15 55.6%	21 46.7%	61 40.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	1 .7%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
女性	交際している異性は いなかった	18 34.6%	16 29.1%	16 30.2%	13 21.7%	10 13.9%	73 25.0%
	友人として交際して いる異性がいた	16 30.8%	17 30.9%	13 24.5%	11 18.3%	17 23.6%	74 25.3%
	恋人として交際して いる異性がいた	18 34.6%	22 40.0%	24 45.3%	36 60.0%	44 61.1%	144 49.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 .3%
	合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

8. 結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望

未婚者を対象とした全国調査は、異性と交際している未婚者に対してその交際相手との結婚の希望を尋ねていた。我々の調査でも同様の質問をした。まず友人と恋人と一括して異性の交際相手との結婚の希望をみてみたい。

表 2-8-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の 70.5%、女性の 63.5%は交際相手との結婚を希望していなかった。男女とも大半の者は交際相手との結婚を考えていなかったことがわかる。ただ年齢別にみた場合、男性の 40-44 歳と女性の 35-39 歳で結婚を希望する者が比較的多い。「結婚したいと思っていた」は男性の 40-44 歳で 42.9%、女性の 35-39 歳で 43.1%である。

表2-8-1 「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚したいと思っていた	1 33.3%	2 22.2%	5 33.3%	4 16.7%	9 42.9%	3 18.8%	24 27.3%
	結婚は考えていなかった	2 66.7%	7 77.8%	10 66.7%	20 83.3%	11 52.4%	12 75.0%	62 70.5%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.8%	1 6.3%	2 2.3%
	合計	3	9	15	24	21	16	88
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	結婚したいと思っていた	2 66.7%	9 34.6%	11 23.9%	22 43.1%	13 27.1%	12 26.7%	69 31.5%
	結婚は考えていなかった	1 33.3%	17 65.4%	31 67.4%	25 49.0%	33 68.8%	32 71.1%	139 63.5%
	無回答	0 .0%	0 .0%	4 8.7%	4 7.8%	2 4.2%	1 2.2%	11 5.0%
	合計	3	26	46	51	48	45	219
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 2-8-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに結婚した年齢が 30 歳代前半までの層では交際相手との結婚を考えていなかった者が多い。結婚した年齢が比較的若い層には結婚を考えずに異性と交際していた者が比較的多いということである。しかし、35-39 歳および 40-44 歳で結婚した者については男女で異なった傾向がある。男性の場合では 35-39 歳で結婚した者の中には交際相手との結婚を考えていなかった者が 83.3%と非常に多く、結婚を考えていた者は 16.7%と非常に少ない。しかし、女性の場合には 35-39 歳で結婚した者の中には交際相手との結婚を考えていなかった者がやや少なく、交際相手と結婚したいと思っていた者が比較的多くなっている。40-44 歳で結婚した者については、男性の場合には交際相手との結婚を考えていなかった者はやや少なく、交際相手と結婚したいと思っていた者が比較的多くなっている。しかし、女性の場合には 40-44 歳で結婚した者の中には交際相手との結婚を考えていなかった者が比較的多く、交際相手と結婚したいと思っていた者は比較的少ない。なお 45-49 歳で結婚した者の中には男女ともに交際相手との結婚を考えていなかった者が非常に多く、交際相手と結婚したいと思っていた者は少ない。

表2-8-2 「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚したいと思っていた	1 33.3%	2 22.2%	5 33.3%	4 16.7%	9 42.9%	3 18.8%	24 27.3%
	結婚は考えていなかった	2 66.7%	7 77.8%	10 66.7%	20 83.3%	11 52.4%	12 75.0%	62 70.5%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.8%	1 6.3%	2 2.3%
	合計	3 100.0%	9 100.0%	15 100.0%	24 100.0%	21 100.0%	16 100.0%	88 100.0%
女性	結婚したいと思っていた	2 66.7%	9 34.6%	11 23.9%	22 43.1%	13 27.1%	12 26.7%	69 31.5%
	結婚は考えていなかった	1 33.3%	17 65.4%	31 67.4%	25 49.0%	33 68.8%	32 71.1%	139 63.5%
	無回答	0 .0%	0 .0%	4 8.7%	4 7.8%	2 4.2%	1 2.2%	11 5.0%
	合計	3 100.0%	26 100.0%	46 100.0%	51 100.0%	48 100.0%	45 100.0%	219 100.0%

表 2-8-3 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的にはとくに顕著な傾向は見出せない。ただ男性の場合、2000-2004年に結婚した者の中で結婚を考えていなかった者が非常に多く、結婚したいと思っていた者が非常に少ないことが特徴的である。

表2-8-3 「結婚年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	結婚したいと 思っていた	2 25.0%	7 38.9%	4 28.6%	2 10.5%	9 31.0%	24 27.3%
	結婚は考えて いなかった	6 75.0%	10 55.6%	10 71.4%	17 89.5%	19 65.5%	62 70.5%
	無回答	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	1 3.4%	2 2.3%
	合計	8 100.0%	18 100.0%	14 100.0%	19 100.0%	29 100.0%	88 100.0%
女性	結婚したいと 思っていた	9 26.5%	9 23.1%	14 37.8%	16 34.0%	21 33.9%	69 31.5%
	結婚は考えて いなかった	24 70.6%	28 71.8%	21 56.8%	27 57.4%	39 62.9%	139 63.5%
	無回答	1 2.9%	2 5.1%	2 5.4%	4 8.5%	2 3.2%	11 5.0%
	合計	34 100.0%	39 100.0%	37 100.0%	47 100.0%	62 100.0%	219 100.0%

9. かつて交際していた恋人との結婚の希望

異性との交際という場合、友人として交際している場合と恋人として交際している場合では交際相手との結婚の希望は当然違ってくると考えられる。ここでは恋人として交際している場合について、交際相手との結婚の希望をみてみたい。未婚者を対象とした2005年の全国調査によれば、「恋人として交際している異性」については、男性の65.5%、女性の66.6%が相手との結婚を希望していた。男女ともに3分の2が恋人との結婚を望んでいたことになる。また未婚者を対象とした我々の調査では、男性の92.3%、女性の54.1%が恋人として交際する相手との結婚を希望していた。我々の調査の男性回答者については「恋愛と結婚の一致」を志向する者が非常に多く、女性回答者については「恋愛と結婚の一致」を志向する者は過半数を超えているが、男性の場合よりもずっと少ない。

表 2-9-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに大半の者はかつての恋人との結婚を考えていなかったことになる。結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚を考えていなかった者は、男

性の場合には 68.9%、女性の場合には 58.3%であった。これは未婚者を対象とした全国調査および我々の調査の結果とは真逆の傾向である。

もっとも、これは決して驚くべきことではない。この場合の回答者はかつての恋人と別れて、新たな交際相手と結婚した人びとである。もしかつての恋人との結婚希望が強ければ、その人はその恋人との結婚を選択していた可能性が高くなる。そうなれば現在の配偶者と交際し、結婚することはなかったであろう。だから、新たな交際相手と結婚した者の中でかつての恋人との結婚を考えていなかった者が多いのはある意味では当然の結果である。

もっとも、男女ともに大半の者がかつての恋人との結婚を考えていなかったことは重要な事実であろう。このことから直ちに「恋愛と結婚の分離」の傾向があると主張することはできないが、我々の調査の回答者について言えば、恋愛したから直ちに結婚を考える者、つまり恋愛と結婚が 1対1 で対応していた者は少数派であったことが分かる。

表2-9-1 性別・年齢別にみた「結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚の希望」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	結婚したいと思っていた	1 33.3%	1 16.7%	4 33.3%	4 22.2%	6 42.9%	2 25.0%	18 29.5%
	結婚は考えていなかった	2 66.7%	5 83.3%	8 66.7%	14 77.8%	7 50.0%	6 75.0%	42 68.9%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	0 .0%	1 1.6%
	合計	3 100.0%	6 100.0%	12 100.0%	18 100.0%	14 100.0%	8 100.0%	61 100.0%
女性	結婚したいと思っていた	2 100.0%	7 43.8%	9 23.7%	19 54.3%	11 44.0%	8 28.6%	56 38.9%
	結婚は考えていなかった	0 .0%	9 56.3%	27 71.1%	14 40.0%	14 56.0%	20 71.4%	84 58.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 5.3%	2 5.7%	0 .0%	0 .0%	4 2.8%
	合計	3 100.0%	26 100.0%	46 100.0%	51 100.0%	48 100.0%	45 100.0%	219 100.0%

表 2-9-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年齢が高くなるほどかつての恋人との結婚を考えていた者が多くなる傾向がある。たとえば、男性の場合では 35-39 歳で結婚した者では恋人と結婚したいと思っていた者は 50.0%であり、女性の場合にはそれは 66.7%に達していた。ただ男女ともに結婚した年齢が高くなるほどかつての恋人との結婚を考えていた者が多くなるのは、逆からみれば、結婚を考えていた恋人がいたために独身時代が長くなり、結婚した年齢が高くなったことを意味しているのかもしれない。

表 2-9-3 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、全体的には目立った傾向はないが、男性の場合には

2000-2004年に結婚した者の間ではかつての恋人との結婚を考えていなかった者がとくに多くなっていることが目を引く点である。

表2-9-2 「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた恋人との結婚の希望」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	結婚したいと思っていた		2	9	5	2	18	
			15.4%	28.1%	41.7%	50.0%	29.5%	
	結婚は考えていなかった		11	23	7	1	42	
			84.6%	71.9%	58.3%	25.0%	68.9%	
	無回答		0	0	0	1	1	
			.0%	.0%	.0%	25.0%	1.6%	
	合計		13	32	12	4	61	
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	結婚したいと思っていた	0	18	26	6	4	2	56
		.0%	35.3%	37.7%	50.0%	66.7%	50.0%	38.9%
	結婚は考えていなかった	2	33	39	6	2	2	84
		100.0%	64.7%	56.5%	50.0%	33.3%	50.0%	58.3%
	無回答	0	0	4	0	0	0	4
		.0%	.0%	5.8%	.0%	.0%	.0%	2.8%
	合計	2	51	69	12	6	4	144
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-9-3 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた相手との結婚の希望」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	結婚したいと思っていた	1	4	4	2	7	18
		25.0%	40.0%	36.4%	13.3%	33.3%	29.5%
	結婚は考えていなかった	3	6	7	13	13	42
		75.0%	60.0%	63.6%	86.7%	61.9%	68.9%
	無回答	0	0	0	0	1	1
		.0%	.0%	.0%	.0%	4.8%	1.6%
	合計	4	10	11	15	21	61
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	結婚したいと思っていた	5	8	11	13	19	56
		27.8%	36.4%	45.8%	36.1%	43.2%	38.9%
	結婚は考えていなかった	13	14	12	20	25	84
		72.2%	63.6%	50.0%	55.6%	56.8%	58.3%
	無回答	0	0	1	3	0	4
		.0%	.0%	4.2%	8.3%	.0%	2.8%
	合計	18	22	24	36	44	144
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

10. かつて交際していた友人との結婚の希望

次に友人として交際していた異性についての結婚の希望をみてみたい。表 2-10-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性の友人との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに大半の者は「結婚を考えていなかった」ことが分かる。友人としての交際であるから相手との結婚を考えていなかった者が多いことは当然の結果であろう。むしろここで注目すべきことは男女ともに2割に近い者が「結婚したいと思っていた」と回答していることである。

表2-10-1 性別・年齢別にみた「結婚相手と交際する前に交際していた異性の友人との結婚の希望」とのクロス

		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	結婚したいと思っていた		1 33.3%	0 .0%	0 .0%	3 42.9%	1 12.5%	5 19.2%
	結婚は考えていなかった		2 66.7%	2 100.0%	6 100.0%	4 57.1%	6 75.0%	20 76.9%
	無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 12.5%	1 3.8%
	合計		3 100.0%	2 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	8 100.0%	26 100.0%
女性	結婚したいと思っていた	0 .0%	2 20.0%	1 14.3%	3 18.8%	2 8.7%	4 23.5%	12 16.2%
	結婚は考えていなかった	1 100.0%	8 80.0%	5 71.4%	11 68.8%	19 82.6%	12 70.6%	56 75.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	2 12.5%	2 8.7%	1 5.9%	6 8.1%
	合計	1 100.0%	10 100.0%	7 100.0%	16 100.0%	23 100.0%	17 100.0%	74 100.0%

表 2-10-2 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性の友人との結婚の希望」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、2005 年以降に結婚した者については男女ともに異性の友人との結婚を考えていなかった者が非常に多い。逆に交際していた異性の友人と結婚したいと思っていた者は、男性の場合には 1989 年以前および 1990-1994 年に比較的多い。女性の場合には 1989 年以前に結婚した者と 1995-1999 年に結婚した者の間で比較的多くなっている。

表2-10-2 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性の友人との結婚の希望」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	結婚したいと思っていた	1 25.0%	3 37.5%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	5 19.2%
	結婚は考えていなかった	3 75.0%	4 50.0%	3 100.0%	4 100.0%	6 85.7%	20 76.9%
	無回答	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.8%
	合計	4 100.0%	8 100.0%	3 100.0%	4 100.0%	7 100.0%	26 100.0%
女性	結婚したいと思っていた	4 25.0%	1 5.9%	3 23.1%	2 18.2%	2 11.8%	12 16.2%
	結婚は考えていなかった	11 68.8%	14 82.4%	9 69.2%	8 72.7%	14 82.4%	56 75.7%
	無回答	1 6.3%	2 11.8%	1 7.7%	1 9.1%	1 5.9%	6 8.1%
	合計	16 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	11 100.0%	17 100.0%	74 100.0%

11. 結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ

結婚相手と交際する前に交際している異性がいた人はどのようなきっかけでその人と知り合ったのだろうか。それを尋ねた結果が表 2-11-1、表 2-11-2、表 2-11-3 である。

表 2-11-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。まず男性の場合に主要なきっかけを順に述べると、もっとも回答が多かった項目は「学校で」の 24.7%であり、2 番目に「職場や仕事の関係で」の 22.4%、3 番目に「友人・知人の紹介で」の 16.5%、4 番目に「アルバイト先で」の 10.6%となっている。年齢別では男性の場合には 20-24 歳と 25-29 歳では「学校で」が非常に多く、3 分の 2 を占めている。しかし、男性の場合 30-34 歳では「友人・知人の紹介で」がもっとも多くなり、35-39 歳と 40-44 歳では「職場や仕事の関係で」がもっとも多くなっている。ただ 45-49 歳では再び「学校で」がもっとも多くなるので年齢が高くなるほど「職場や仕事の関係で」が多くなるわけではない。

女性の場合には全体的にみてもっとも回答が多かった項目は「職場や仕事の関係で」の 29.8%であり、2 番目に「友人・知人の紹介で」の 22.9%、3 番目に「学校で」の 21.1%となっている。女性の場合には男性の場合と異なり、いずれの年齢層でも「職場や仕事の関係で」交際相手と知り合った者がもっとも多くなっていることが特徴的である。

表 2-11-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には 20 歳代で結婚した者の間では「学校で」交際相手と知り合った者がもっとも多い。しかし、30-34 歳で結婚した者の間では「職場や仕事の関係で」交際相手と知り合った者がもっとも多くなっている。女性の場合には、20 歳代と 30 歳代で結婚した者の間ではいずれも「職場や仕事の関係で」交際相手と知り合った者がもっとも多くなっていることが目立った特徴である。

表 2-11-3 は「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には 1989 年以前に結婚した者の間では「学校で」知り合った者がもっとも多い。しかし、1990-1994 年に結婚した者の間では「学校で」と「職場や仕事の関係で」が同率でもっとも多くなり、1995-1999 年に結婚した者と 2000-2004 年に結婚した者の間では「職場や仕事の関係で」がもっとも多くなっている。ところが、2005 年以降に結婚した者の間では再び「学校で」がもっとも多くなっている。

女性の場合には男性の場合と同様に 1989 年以前に結婚した者の間では「学校で」知り合った者がもっとも多い。しかし、1990-1994 年に結婚した者の間では「職場や仕事の関係で」知り合った者がもっとも多くなり、1995-1999 年に結婚した者の間では「友人・知人の紹介で」知り合った者がもっとも多くなっている。ところが 2000-2004 年と 2005 年以降に結婚した者の間では再び「職場や仕事の関係」知り合った者がもっとも多くなっている。

表2-11-1 「年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」とのクロス

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	学校で	2 66.7%	6 66.7%	3 21.4%	1 4.5%	5 23.8%	4 25.0%	21 24.7%	
	学校以外の活動・習い事 で	0 .0%	0 .0%	2 14.3%	2 9.1%	1 4.8%	2 12.5%	7 8.2%	
	幼なじみ・隣人関係	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	1 1.2%	
	職場や仕事の関係で	0 .0%	2 22.2%	1 7.1%	5 22.7%	8 38.1%	3 18.8%	19 22.4%	
	アルバイト先で	1 33.3%	1 11.1%	1 7.1%	3 13.6%	3 14.3%	0 .0%	9 10.6%	
	街中や旅先の出会いで	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	3 13.6%	1 4.8%	2 12.5%	7 8.2%	
	友人・知人の紹介で	0 .0%	0 .0%	5 35.7%	4 18.2%	2 9.5%	3 18.8%	14 16.5%	
	合コンで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.5%	0 .0%	2 12.5%	3 3.5%	
	お見合いで(親や親族・ 上司の紹介を含む)	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%	
	インターネットや携帯 のサイトで	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	2 2.4%	
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%	
	合計	3 100.0%	9 100.0%	14 100.0%	22 100.0%	21 100.0%	16 100.0%	85 100.0%	
	女性	学校で	0 .0%	7 26.9%	8 17.4%	9 18.0%	11 22.9%	11 24.4%	46 21.1%
		学校以外の活動・習い事 で	0 .0%	1 3.8%	3 6.5%	1 2.0%	4 8.3%	6 13.3%	15 6.9%
幼なじみ・隣人関係		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%	
職場や仕事の関係で		1 33.3%	8 30.8%	12 26.1%	14 28.0%	18 37.5%	12 26.7%	65 29.8%	
アルバイト先で		1 33.3%	2 7.7%	4 8.7%	6 12.0%	0 .0%	0 .0%	13 6.0%	
街中や旅先の出会いで		0 .0%	1 3.8%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	3 6.7%	5 2.3%	
友人・知人の紹介で		1 33.3%	5 19.2%	12 26.1%	14 28.0%	11 22.9%	7 15.6%	50 22.9%	
合コンで		0 .0%	1 3.8%	3 6.5%	4 8.0%	4 8.3%	3 6.7%	15 6.9%	
お見合いで(親や親族・ 上司の紹介を含む)		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	1 .5%	
お見合いパーティで		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%	
その他		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	1 2.0%	0 .0%	2 4.4%	4 1.8%	
無回答		0 .0%	1 3.8%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .9%	
合計		3 100.0%	26 100.0%	46 100.0%	50 100.0%	48 100.0%	45 100.0%	218 100.0%	

表2-11-2「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」とのクロス

		結婚した年齢						合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		
男性	学校で		8 44.4%	12 26.1%	1 6.7%	0 .0%	0 .0%	21 24.7%	
	学校以外の活動・習い事 で		1 5.6%	5 10.9%	1 6.7%	0 .0%	0 .0%	7 8.2%	
	幼なじみ・隣人関係		0 .0%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%	
	職場や仕事の関係で		3 16.7%	8 17.4%	6 40.0%	0 .0%	2 100.0%	19 22.4%	
	アルバイト先で		3 16.7%	3 6.5%	3 20.0%	0 .0%	0 .0%	9 10.6%	
	街中や旅先の出会いで		1 5.6%	4 8.7%	1 6.7%	1 25.0%	0 .0%	7 8.2%	
	友人・知人の紹介で		2 11.1%	9 19.6%	2 13.3%	1 25.0%	0 .0%	14 16.5%	
	合コンで		0 .0%	2 4.3%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	3 3.5%	
	お見合いで(親や親族・ 上司の紹介を含む)		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	1 1.2%	
	インターネットや携帯 のサイトで		0 .0%	1 2.2%	1 6.7%	0 .0%	0 .0%	2 2.4%	
	その他		0 .0%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%	
	合計			18 100.0%	46 100.0%	15 100.0%	4 100.0%	2 100.0%	85 100.0%
	女性	学校で	2 50.0%	21 25.0%	19 19.8%	1 5.0%	2 22.2%	1 20.0%	46 21.1%
学校以外の活動・習い事 で		0 .0%	5 6.0%	9 9.4%	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	15 6.9%	
幼なじみ・隣人関係		0 .0%	1 1.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%	
職場や仕事の関係で		0 .0%	23 27.4%	29 30.2%	9 45.0%	3 33.3%	1 20.0%	65 29.8%	
アルバイト先で		0 .0%	6 7.1%	6 6.3%	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	13 6.0%	
街中や旅先の出会いで		0 .0%	3 3.6%	2 2.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 2.3%	
友人・知人の紹介で		1 25.0%	20 23.8%	20 20.8%	5 25.0%	2 22.2%	2 40.0%	50 22.9%	
合コンで		0 .0%	3 3.6%	7 7.3%	2 10.0%	2 22.2%	1 20.0%	15 6.9%	
お見合いで(親や親族・ 上司の紹介を含む)		0 .0%	0 .0%	1 1.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%	
お見合いパーティで		0 .0%	0 .0%	1 1.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%	
その他		0 .0%	1 1.2%	2 2.1%	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	4 1.8%	
無回答		1 25.0%	1 1.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .9%	
合計		4 100.0%	84 100.0%	96 100.0%	20 100.0%	9 100.0%	5 100.0%	218 100.0%	

表2-11-3「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に交際していた異性と知り合ったきっかけ」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	学校で	3 37.5%	4 22.2%	2 14.3%	3 17.6%	9 32.1%	21 24.7%
	学校以外の活動・習い事で	0 .0%	3 16.7%	1 7.1%	2 11.8%	1 3.6%	7 8.2%
	幼なじみ・隣人関係	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%
	職場や仕事の関係で	1 12.5%	4 22.2%	5 35.7%	4 23.5%	5 17.9%	19 22.4%
	アルバイト先で	0 .0%	1 5.6%	3 21.4%	2 11.8%	3 10.7%	9 10.6%
	街中や旅先の出会いで	2 25.0%	1 5.6%	0 .0%	1 5.9%	3 10.7%	7 8.2%
	友人・知人の紹介で	1 12.5%	3 16.7%	3 21.4%	3 17.6%	4 14.3%	14 16.5%
	合コンで	1 12.5%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	1 3.6%	3 3.5%
	お見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.6%	1 1.2%
	インターネットや携帯のサイトで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.9%	1 3.6%	2 2.4%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.9%	0 .0%	1 1.2%
	合計	8 100.0%	18 100.0%	14 100.0%	17 100.0%	28 100.0%	85 100.0%
女性	学校で	11 32.4%	8 20.5%	7 19.4%	6 12.8%	14 22.6%	46 21.1%
	学校以外の活動・習い事で	3 8.8%	5 12.8%	3 8.3%	3 6.4%	1 1.6%	15 6.9%
	幼なじみ・隣人関係	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.1%	0 .0%	1 .5%
	職場や仕事の関係で	9 26.5%	14 35.9%	8 22.2%	16 34.0%	18 29.0%	65 29.8%
	アルバイト先で	0 .0%	1 2.6%	0 .0%	8 17.0%	4 6.5%	13 6.0%
	街中や旅先の出会いで	2 5.9%	1 2.6%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%	5 2.3%
	友人・知人の紹介で	6 17.6%	8 20.5%	11 30.6%	10 21.3%	15 24.2%	50 22.9%
	合コンで	1 2.9%	1 2.6%	5 13.9%	3 6.4%	5 8.1%	15 6.9%
	お見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)	0 .0%	1 2.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .5%
	お見合いパーティで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .5%
	その他	2 5.9%	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	1 1.6%	4 1.8%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	1 1.6%	2 .9%
	合計	34 100.0%	39 100.0%	36 100.0%	47 100.0%	62 100.0%	218 100.0%

12. 結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった理由

これまでに述べてきたのは、結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいた者の交際状況である。しかし、回答者の中には結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった者も一定の割合で存在する。我々の調査の結果では、それは男性の 41.3%、女性の 25.0%であった。それではどのような理由から彼らは異性の交際相手がいなかったのであろうか。我々はそれを質問し、その理由を選択肢の中から順位づけて3つ選択してもらった。

表 2-12-1 は、回答者の「年齢」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体として男女ともにもっとも選択数が多い理由は「異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった」であり、男性の場合には 56.3%、女性の場合には 61.6%がこれを選んでいった。2番目に選択数が多かった理由は「異性との出会いがなかった」であり、男性の場合には 26.6%、女性の場合には 19.2%であった。男女ともに8割を超える者が上位2つの理由を選択し、その他の理由はすべて10%以下の割合にとどまっている。年齢別にみても、男女ともにいずれの年齢層でも「異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった」がもっとも選択率が高い理由になっている。

異性の交際相手をもたない理由については、我々の調査は未婚者を対象とした部分でも質問をおこなっていた。それによると、未婚者にとって「交際相手がいない最大の理由」の第1位は、男性の場合では「異性との出会いがない」であり(33.3%)、第2位は「異性との出会いはあるが適当な相手に巡り会えない」(25.4%)であった。女性の場合では第1位は「異性との出会いはあるが、適当な相手に巡り会えない」(40.2%)であり、第2位は「異性との出会いがない」(35.6%)であった。未婚者の場合と比較すると、既婚者の場合には異性との出会いがなかったことを理由とする者の割合が明らかに小さい。逆に言えば既婚者の場合には異性との出会いに恵まれていた者の割合がずっと大きい。また男性の既婚者の場合には未婚者の男性に比べて、異性の交際相手がいない理由として「異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった」や「経済的余裕がなかった」を回答する者の割合が小さい。言い換えると、既婚者の男性は未婚者の男性に比べて当事者のパーソナリティに関する要因や経済的条件によって異性との交際に困難を感じる者が少ない。これらは重要な相違であり、注目に値する。

表2-12-1「年齢」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	異性との出会いがなかった		0	1	5	9	2	17
			.0%	11.1%	38.5%	39.1%	12.5%	26.6%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった		2	5	7	11	11	36
			66.7%	55.6%	53.8%	47.8%	68.8%	56.3%
	異性との出会いはあったが、異性との会話や交際が苦手であった		1	1	0	2	0	4
			33.3%	11.1%	.0%	8.7%	.0%	6.3%
	時間的余裕がなかった		0	0	1	1	3	5
		.0%	.0%	7.7%	4.3%	18.8%	7.8%	
経済的余裕がなかった		0	1	0	0	0	1	
		.0%	11.1%	.0%	.0%	.0%	1.6%	
異性との交際に興味がなかった		0	1	0	0	0	1	
		.0%	11.1%	.0%	.0%	.0%	1.6%	
合計			3	9	13	23	16	64
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	異性との出会いがなかった	1	0	3	2	5	3	14
		50.0%	.0%	30.0%	12.5%	20.0%	17.6%	19.2%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった	1	2	6	12	13	11	45
		50.0%	66.7%	60.0%	75.0%	52.0%	64.7%	61.6%
	異性との出会いはあったが、異性との会話や交際が苦手であった	0	0	1	0	3	1	5
		.0%	.0%	10.0%	.0%	12.0%	5.9%	6.8%
	時間的余裕がなかった	0	0	0	1	2	1	4
	.0%	.0%	.0%	6.3%	8.0%	5.9%	5.5%	
異性との交際に興味がなかった	0	1	0	1	0	1	3	
	.0%	33.3%	.0%	6.3%	.0%	5.9%	4.1%	
その他	0	0	0	0	2	0	2	
	.0%	.0%	.0%	.0%	8.0%	.0%	2.7%	
合計	2	3	10	16	25	17	73	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 2-12-2 は、「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」を性別にクロス集計した結果である。これによると、とくに顕著な傾向はないが、男女ともに 35-39 歳で結婚した者については異性との出会いがなかったことや適当な相手と巡り会えなかったこと以外の理由を述べる者がやや多いような印象がある。

表2-12-2 「結婚した年齢」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」とのクロス

		結婚した年齢				合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	
男性	異性との出会いがなかった	5 41.7%	9 30.0%	1 6.3%	2 33.3%	17 26.6%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった	6 50.0%	18 60.0%	10 62.5%	2 33.3%	36 56.3%
	異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった	1 8.3%	1 3.3%	1 6.3%	1 16.7%	4 6.3%
	時間的余裕がなかった	0 .0%	1 3.3%	3 18.8%	1 16.7%	5 7.8%
	経済的余裕がなかった	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	0 .0%	1 1.6%
	異性との交際に興味がなかった	0 .0%	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%
	合計	12 100.0%	30 100.0%	16 100.0%	6 100.0%	64 100.0%
女性	異性との出会いがなかった	6 17.1%	6 20.0%	2 33.3%	0 .0%	14 19.2%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった	22 62.9%	20 66.7%	3 50.0%	0 .0%	45 61.6%
	異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった	4 11.4%	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	5 6.8%
	時間的余裕がなかった	1 2.9%	2 6.7%	1 16.7%	0 .0%	4 5.5%
	異性との交際に興味がなかった	2 5.7%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	3 4.1%
	その他	0 .0%	1 3.3%	0 .0%	1 50.0%	2 2.7%
	合計	35 100.0%	30 100.0%	6 100.0%	2 100.0%	73 100.0%

表2-12-3は、「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」を性別にクロス集計した結果である。これによると、2005年以降に結婚した者については、男性の場合には、「異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった」を理由とする者がやや多く、女性の場合には「異性との出会いがなかった」を理由とする者が比較的多くなっている。

表2-12-3 「結婚した年代」と「結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった最大の理由」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	異性との出会いがなかった	1 16.7%	7 36.8%	5 38.5%	2 22.2%	2 11.8%	17 26.6%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった	5 83.3%	10 52.6%	5 38.5%	7 77.8%	9 52.9%	36 56.3%
	異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった	0 .0%	0 .0%	1 7.7%	0 .0%	3 17.6%	4 6.3%
	時間的余裕がなかった	0 .0%	2 10.5%	2 15.4%	0 .0%	1 5.9%	5 7.8%
	経済的余裕がなかった	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.9%	1 1.6%
	異性との交際に興味がなかった	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.9%	1 1.6%
	合計	6 100.0%	19 100.0%	13 100.0%	9 100.0%	17 100.0%	64 100.0%
女性	異性との出会いがなかった	4 22.2%	3 18.8%	2 11.8%	2 15.4%	3 33.3%	14 19.2%
	異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会えなかった	11 61.1%	10 62.5%	10 58.8%	9 69.2%	5 55.6%	45 61.6%
	異性との出会いがあったが、異性との会話や交際が苦手であった	2 11.1%	1 6.3%	1 5.9%	1 7.7%	0 .0%	5 6.8%
	時間的余裕がなかった	1 5.6%	1 6.3%	2 11.8%	0 .0%	0 .0%	4 5.5%
	異性との交際に興味がなかった	0 .0%	0 .0%	2 11.8%	1 7.7%	0 .0%	3 4.1%
	その他	0 .0%	1 6.3%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	2 2.7%
	合計	18 100.0%	16 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	9 100.0%	73 100.0%

13. 結婚相手と交際する前に交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか

我々の調査は未婚者を対象とした部分で、交際相手を見つけるために積極的な活動をしたかを尋ねた。その結果と比較するため、同様の質問を、結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった者に対しておこなった。

表 2-13-1 は、回答者の「年齢」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とをクロス集計した結果である。これによると、「交際相手を見つけるために積極的な活動をした」者は男女ともに少数派であった。それは男性の場合に 18.8%、女性の場合に 23.3%であった。未婚者を対象とした結果では交際相手を見つけるために積極的な活動をしたと回答した者は男性では 22.0%、女性では 33.3%であった。これと比べると既婚者の活動状況はやや低調だといえる。年齢別ではとくに目立った傾向や相違はない。

表2-13-1 「年齢」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	した	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	6 17.6%	11 25.0%	5 15.6%	28 18.8%
	しなかった	3 100.0%	10 83.3%	20 83.3%	28 82.4%	33 75.0%	27 84.4%	121 81.2%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	34 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	149 100.0%
女性	した	0 .0%	4 13.8%	15 26.8%	19 28.8%	15 20.5%	15 23.8%	68 23.3%
	しなかった	5 100.0%	25 86.2%	41 73.2%	47 71.2%	58 79.5%	48 76.2%	224 76.7%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表 2-13-2 は「結婚した年齢」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とをクロス集計した結果である。これによると、男女ともに結婚した年齢が高くなると活動をした者の割合が大きくなる。たとえば、男性では 35-39 歳で結婚した者の 60.0%、女性では 30-34 歳で結婚した者の 42.3%、35-39 歳で結婚した者の 54.5%が交際相手を見つけるために積極的な活動をしたと回答している。

表2-13-2 「結婚した年齢」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	した		6	11	5	6	0	28
			20.0%	14.3%	16.1%	60.0%	.0%	18.7%
	しなかった		24	66	26	4	2	122
			80.0%	85.7%	83.9%	40.0%	100.0%	81.3%
	合計		30	77	31	10	2	150
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	した	1	17	31	11	6	1	67
		25.0%	14.2%	24.6%	42.3%	54.5%	20.0%	22.9%
	しなかった	3	103	95	15	5	4	225
		75.0%	85.8%	75.4%	57.7%	45.5%	80.0%	77.1%
	合計	4	120	126	26	11	5	292
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 2-13-3 は「結婚した年代」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とをクロス集計した結果である。これによると、男女ともに 2005 年以降に結婚した者の間では活動をした者の割合がやや大きくなっている。

表2-13-3 「結婚した年代」と「交際相手を見つけるために積極的な活動をしたか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	した	1	8	3	5	11	28
		7.1%	21.6%	11.1%	18.5%	24.4%	18.7%
	しなかった	13	29	24	22	34	122
		92.9%	78.4%	88.9%	81.5%	75.6%	81.3%
	合計	14	37	27	27	45	150
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	した	11	8	13	13	22	67
		21.2%	14.5%	24.5%	21.7%	30.6%	22.9%
	しなかった	41	47	40	47	50	225
		78.8%	85.5%	75.5%	78.3%	69.4%	77.1%
	合計	52	55	53	60	72	292
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

14. 婚活の内容

我々の調査は未婚者を対象とした部分で、交際相手を見つけるために積極的な活動をしたと回答した者に対し、その活動内容を複数回答で尋ねた。その結果と比較するため、同様の質問を、結婚相手と交際する前に異性の交際相手がいなかった者に対しておこなった。

表 2-14-1 は回答者の「年齢」と「活動内容」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的にもっとも回答数が多かったのは男女ともに「友人・知人に紹介を依頼」である。それは男性の場合に 50.0%、女性の場合に 53.7%であった。2 番目に多かった項目は男女ともに「合コンへの参加」であり、男性の場合には 25.0%、女性の場合には 47.8%であった。3 番目に多かったのは男女ともに「お見合い」であり、男性の場合には 17.9%、女性の場合には 31.3%であった。

昨今話題になっている「婚活」の主要な活動形態は、一般に「お見合い」「お見合いパーティ」「結婚相談所や結婚情報サービス」を利用し、交際相手の紹介を受けることである。我々の調査の回答者の場合、この3つの活動を行った者は男性の場合に 32.1%であり、女性の場合には 59.6%に達している。我々の調査の回答者については、「友人・知人に紹介を依頼」とともに様々な形態で「見合い」を利用していた者が比較的多くなっていることは注目すべき事実である。

表 2-14-2 は「結婚した年齢」と「活動内容」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には結婚した年齢が 30 歳以上になると、「お見合い」「お見合いパーティ」「結婚相談所や結婚情報サービス」を利用する者が増えている。女性の場合には、25 歳以上になると複数の活動形態で交際相手を探そうとする者が増えている。そのなかでも 25-29 歳と 30-34 歳では「合コンへの参加」と様々な形態で「見合い」を利用した者の割合が大きいことが注目される。

表 2-14-3 は「結婚した年代」と「活動内容」を性別にクロス集計した結果である。これによると、2005 年以降に結婚した者の中には複数の活動で交際相手を探そうとしていた者が多い。その中でも男女ともに「合コンへの参加」と様々な形態で「見合い」を利用した者が多いことが特徴的である。

表2-14-1 「年齢」と「婚活の内容」とのクロス

		年齢					合計	
		25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	趣味の活動や習い事に参加	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 18.2%	1 20.0%	3 10.7%	
	サークル活動に参加	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 3.6%	
	街中や旅先で機会を探す	0 .0%	1 25.0%	1 16.7%	1 9.1%	0 .0%	3 10.7%	
	友人・知人に紹介を依頼	2 100.0%	3 75.0%	2 33.3%	5 45.5%	2 40.0%	14 50.0%	
	同僚・上司に紹介を依頼	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	2 7.1%	
	合コンに参加	0 .0%	2 50.0%	2 33.3%	3 27.3%	0 .0%	7 25.0%	
	親や親族に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	3 50.0%	0 .0%	0 .0%	3 10.7%	
	お見合いパーティに参加	0 .0%	0 .0%	2 33.3%	0 .0%	0 .0%	2 7.1%	
	お見合い	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	1 9.1%	3 60.0%	5 17.9%	
	結婚相談所や結婚情報サービスを利用	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	1 9.1%	0 .0%	2 7.1%	
	インターネットや携帯のサイトを利用	1 50.0%	1 25.0%	0 .0%	2 18.2%	0 .0%	4 14.3%	
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	1 20.0%	2 7.1%	
	合計	2 100.0%	4 100.0%	6 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	28 100.0%	
	女性	趣味の活動や習い事に参加	0 .0%	3 20.0%	2 10.5%	4 28.6%	1 6.7%	10 14.9%
		サークル活動に参加	1 25.0%	2 13.3%	2 10.5%	2 14.3%	2 13.3%	9 13.4%
ボランティア活動に参加		0 .0%	1 6.7%	0 .0%	1 7.1%	0 .0%	2 3.0%	
街中や旅先で機会を探す		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	0 .0%	1 1.5%	
友人・知人に紹介を依頼		2 50.0%	9 60.0%	10 52.6%	9 64.3%	6 40.0%	36 53.7%	
兄弟姉妹に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	1 5.3%	1 7.1%	0 .0%	2 3.0%	
同僚・上司に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	1 6.7%	2 3.0%	
合コンに参加		4 100.0%	11 73.3%	7 36.8%	6 42.9%	4 26.7%	32 47.8%	
親や親族に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	2 10.5%	2 14.3%	2 13.3%	6 9.0%	
お見合いパーティに参加		0 .0%	1 6.7%	4 21.1%	5 35.7%	0 .0%	10 14.9%	
お見合い		0 .0%	3 20.0%	4 21.1%	7 50.0%	7 46.7%	21 31.3%	
結婚相談所や結婚情報サービスを利用		0 .0%	1 6.7%	3 15.8%	4 28.6%	1 6.7%	9 13.4%	
インターネットや携帯のサイトを利用		0 .0%	0 .0%	2 10.5%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%	
合計		4 100.0%	15 100.0%	19 100.0%	14 100.0%	15 100.0%	67 100.0%	

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表2-14-2 「結婚した年齢」と「婚活の内容」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	趣味の活動や習い事に参加		0 .0%	2 18.2%	1 20.0%	0 .0%		3 10.7%
	サークル活動に参加		0 .0%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%		1 3.6%
	街中や旅先で機会を探す		1 16.7%	1 9.1%	1 20.0%	0 .0%		3 10.7%
	友人・知人に紹介を依頼		6 100.0%	3 27.3%	2 40.0%	3 50.0%		14 50.0%
	同僚・上司に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 16.7%		2 7.1%
	合コンに参加		2 33.3%	3 27.3%	1 20.0%	1 16.7%		7 25.0%
	親や親族に紹介を依頼		0 .0%	1 9.1%	0 .0%	2 33.3%		3 10.7%
	お見合いパーティに参加		0 .0%	1 9.1%	0 .0%	1 16.7%		2 7.1%
	お見合い		0 .0%	2 18.2%	0 .0%	3 50.0%		5 17.9%
	結婚相談所や結婚情報サービスを利用		0 .0%	0 .0%	2 40.0%	0 .0%		2 7.1%
	インターネットや携帯のサイトを利用		1 16.7%	0 .0%	1 20.0%	2 33.3%		4 14.3%
	その他		0 .0%	2 18.2%	0 .0%	0 .0%		2 7.1%
	合計		6 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	6 100.0%		28 100.0%
	女性	趣味の活動や習い事に参加	0 .0%	1 5.9%	7 22.6%	1 9.1%	1 16.7%	0 .0%
サークル活動に参加		0 .0%	1 5.9%	7 22.6%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	9 13.4%
ボランティア活動に参加		0 .0%	0 .0%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%
街中や旅先で機会を探す		0 .0%	0 .0%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%
友人・知人に紹介を依頼		1 100.0%	12 70.6%	13 41.9%	7 63.6%	2 33.3%	1 100.0%	36 53.7%
兄弟姉妹に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	1 3.2%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%
同僚・上司に紹介を依頼		0 .0%	0 .0%	1 3.2%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%	2 3.0%
合コンに参加		0 .0%	4 23.5%	17 54.8%	8 72.7%	2 33.3%	1 100.0%	32 47.8%
親や親族に紹介を依頼		0 .0%	1 5.9%	3 9.7%	1 9.1%	1 16.7%	0 .0%	6 9.0%
お見合いパーティに参加		0 .0%	2 11.8%	4 12.9%	3 27.3%	1 16.7%	0 .0%	10 14.9%
お見合い		0 .0%	3 17.6%	10 32.3%	6 54.5%	1 16.7%	1 100.0%	21 31.3%
結婚相談所や結婚情報サービスを利用		0 .0%	1 5.9%	3 9.7%	1 9.1%	3 50.0%	1 100.0%	9 13.4%
インターネットや携帯のサイトを利用		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	1 16.7%	0 .0%	2 3.0%
合計		1 100.0%	17 100.0%	31 100.0%	11 100.0%	6 100.0%	1 100.0%	67 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表2-14-3 「結婚した年代」と「婚活の内容」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	趣味の活動や習い事に参加	1 100.0%	0 .0%	1 33.3%	1 20.0%	0 .0%	3 10.7%
	サークル活動に参加	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.6%
	街中や旅先で機会を探す	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	1 20.0%	1 9.1%	3 10.7%
	友人・知人に紹介を依頼	1 100.0%	5 62.5%	0 .0%	2 40.0%	6 54.5%	14 50.0%
	同僚・上司に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 18.2%	2 7.1%
	合コンに参加	0 .0%	2 25.0%	1 33.3%	1 20.0%	3 27.3%	7 25.0%
	親や親族に紹介を依頼	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	2 18.2%	3 10.7%
	お見合いパーティに参加	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 9.1%	2 7.1%
	お見合い	0 .0%	2 25.0%	1 33.3%	0 .0%	2 18.2%	5 17.9%
	結婚相談所や結婚情報サービスを利用	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 9.1%	2 7.1%
	インターネットや携帯のサイトを利用	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 36.4%	4 14.3%
	その他	1 100.0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 7.1%
	合計	1 100.0%	8 100.0%	3 100.0%	5 100.0%	11 100.0%	28 100.0%
	女性	趣味の活動や習い事に参加	0 .0%	3 42.9%	2 15.4%	0 .0%	4 18.2%
サークル活動に参加		1 9.1%	3 42.9%	2 15.4%	1 7.7%	2 9.1%	9 13.4%
ボランティア活動に参加		0 .0%	1 14.3%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%
街中や旅先で機会を探す		0 .0%	1 14.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%
友人・知人に紹介を依頼		5 45.5%	3 42.9%	11 84.6%	6 46.2%	11 50.0%	36 53.7%
兄弟姉妹に紹介を依頼		0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	1 4.5%	2 3.0%
同僚・上司に紹介を依頼		0 .0%	1 14.3%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%
合コンに参加		2 18.2%	2 28.6%	5 38.5%	6 46.2%	17 77.3%	32 47.8%
親や親族に紹介を依頼		2 18.2%	1 14.3%	1 7.7%	0 .0%	2 9.1%	6 9.0%
お見合いパーティに参加		0 .0%	1 14.3%	3 23.1%	2 15.4%	4 18.2%	10 14.9%
お見合い		6 54.5%	2 28.6%	5 38.5%	0 .0%	8 36.4%	21 31.3%
結婚相談所や結婚情報サービスを利用		1 9.1%	1 14.3%	1 7.7%	2 15.4%	4 18.2%	9 13.4%
インターネットや携帯のサイトを利用		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 9.1%	2 3.0%
合計		11 100.0%	7 100.0%	13 100.0%	13 100.0%	22 100.0%	67 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

15. 婚活の効果

それでは婚活の効果はどのようなものであったのだろうか。婚活によって交際相手を見つけることはできたのであろうか。それを確かめるため、交際相手を見つけるために積極的な活動をしたと回答した者に対し、我々はその活動の効果を探った。

表 2-15-1 は回答者の「年齢」と「活動の効果」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに活動の効果はきわめて大きいことが分かる。「その活動による出会いで交際相手ができる」者は男性の場合には 74.1%、女性の場合には 86.6%に達した。「その活動による出会いではないが、交際相手はできた」を加えると、男性の 8 割、女性の 9 割が交際相手を見つけている。これは未婚者を対象とした婚活の効果の調査結果と比べると、極めて高い成功率を示していると言える。もっとも、ここでは結婚した者を対象として婚活の効果を探っているのであるから、非常に高い成功率が示されるのは当然のことであるかもしれない。

表2-15-1 「年齢」と「活動の効果」とのクロス

		年齢					合計
		25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	その活動による出会い で交際相手ができる	1 50.0%	1 33.3%	5 83.3%	9 81.8%	4 80.0%	20 74.1%
	その活動による出会い ではないが、交際相手 はできた	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	2 7.4%
	交際相手はできなかつ た	0 .0%	2 66.7%	1 16.7%	2 18.2%	0 .0%	5 18.5%
	合計	2 100.0%	3 100.0%	6 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	27 100.0%
女性	その活動による出会い で交際相手ができる	3 75.0%	12 80.0%	16 84.2%	14 100.0%	13 86.7%	58 86.6%
	その活動による出会い ではないが、交際相手 はできた	1 25.0%	1 6.7%	1 5.3%	0 .0%	0 .0%	3 4.5%
	交際相手はできなかつ た	0 .0%	2 13.3%	2 10.5%	0 .0%	2 13.3%	6 9.0%
	合計	4 100.0%	15 100.0%	19 100.0%	14 100.0%	15 100.0%	67 100.0%

表 2-15-2 は「結婚した年齢」と「活動の効果」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに結婚した年齢が若い者では活動の効果は大きいようである。30 歳以上の年齢になると、男性では 30-34 歳で、女性では 35-39 歳で活動の効果はやや小さくなり、「交際相手はできなかつた」者がやや大きな割合になっている。

表2-15-2 「結婚した年齢」と「活動の効果」とのクロス

		結婚した年齢					合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	
男性	その活動による出会いで交際相手ができる		4	8	3	5	20
			80.0%	72.7%	60.0%	83.3%	74.1%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた		1	1	0	0	2
			20.0%	9.1%	.0%	.0%	7.4%
女性	交際相手はできなかった		0	2	2	1	5
			.0%	18.2%	40.0%	16.7%	18.5%
	合計		5	11	5	6	27
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性	その活動による出会いで交際相手ができる	1	16	27	9	4	58
		100.0%	94.1%	87.1%	81.8%	66.7%	86.6%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	0	1	1	1	0	3
		.0%	5.9%	3.2%	9.1%	.0%	4.5%
女性	交際相手はできなかった	0	0	3	1	2	6
		.0%	.0%	9.7%	9.1%	33.3%	9.0%
	合計	1	17	31	11	6	67
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 2-15-3 は「結婚した年代」と「活動の効果」を性別にクロス集計した結果である。これによると、2005 年以降に結婚した者の間では、男女ともに活動の効果はやや小さくなり、「交際相手はできなかった」者がやや大きな割合になっている。

表2-15-3 「結婚した年代」と「活動の効果」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	その活動による出会いで交際相手ができる	0	7	3	2	8	20
		.0%	87.5%	100.0%	50.0%	72.7%	74.1%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	1	0	0	1	0	2
		100.0%	.0%	.0%	25.0%	.0%	7.4%
女性	交際相手はできなかった	0	1	0	1	3	5
		.0%	12.5%	.0%	25.0%	27.3%	18.5%
	合計	1	8	3	4	11	27
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性	その活動による出会いで交際相手ができる	10	8	12	12	16	58
		90.9%	100.0%	92.3%	92.3%	72.7%	86.6%
	その活動による出会いではないが、交際相手はできた	0	0	0	1	2	3
		.0%	.0%	.0%	7.7%	9.1%	4.5%
女性	交際相手はできなかった	1	0	1	0	4	6
		9.1%	.0%	7.7%	.0%	18.2%	9.0%
	合計	11	8	13	13	22	67
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

16. 婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか

未婚者を対象とした調査票の部分で、我々は婚活をした者に対し「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」と尋ねた。その結果は「そう感じる」と回答した者は男性で66.7%、女性で63.0%であった。これと比較するために、既婚者に対しても同様の質問を設定した。

表2-16-1は回答者の「年齢」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに大半の者は婚活で交際相手を作ることに困難を感じていなかった。婚活で交際相手を作ることを「難しいと感じない」と答えた者は男性で66.7%、女性で70.1%に達した。難しいと感じなかった者が非常に多かったことは活動の効果が極めて高かったことと表裏一体の結果であろう。つまり、婚活に成功し交際相手を見つけた者が多いので婚活に大きな困難を感じなかった者が多いのではないかということである。

表2-16-1 「年齢」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」とのクロス

		年齢					合計
		25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	そう感じる	0 .0%	1 33.3%	3 50.0%	4 36.4%	1 20.0%	9 33.3%
	そうは感じない	2 100.0%	2 66.7%	3 50.0%	7 63.6%	4 80.0%	18 66.7%
	合計	2 100.0%	3 100.0%	6 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	27 100.0%
女性	そう感じる	1 25.0%	6 40.0%	7 36.8%	5 35.7%	1 6.7%	20 29.9%
	そうは感じない	3 75.0%	9 60.0%	12 63.2%	9 64.3%	14 93.3%	47 70.1%
	合計	4 100.0%	15 100.0%	19 100.0%	14 100.0%	15 100.0%	67 100.0%

表2-16-2は「結婚した年齢」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに30-34歳で「そう感じる」と答えた者の割合が大きく、半分を超えている。これはこの年齢層の男性の場合には婚活によって交際相手ができなかった者が多かったことと関連していると考えられる。しかし、女性の場合には30-34歳の成功率は81.8%と決して低くはない。それにもかかわらず婚活に困難を感じる者が多いことはいささか不思議な現象である。これは交際相手を見つける過程で一定の苦労があったということであろうか。

表2-16-2 「結婚した年齢」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	そう感じる		1 20.0%	3 27.3%	3 60.0%	2 33.3%		9 33.3%
	そうは感じない		4 80.0%	8 72.7%	2 40.0%	4 66.7%		18 66.7%
	合計		5 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	6 100.0%		27 100.0%
女性	そう感じる	0 .0%	5 29.4%	7 22.6%	6 54.5%	2 33.3%	0 .0%	20 29.9%
	そうは感じない	1 100.0%	12 70.6%	24 77.4%	5 45.5%	4 66.7%	1 100.0%	47 70.1%
	合計	1 100.0%	17 100.0%	31 100.0%	11 100.0%	6 100.0%	1 100.0%	67 100.0%

表 2-16-3 は「結婚した年代」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じる」者は男性の場合には 2000-2004 年に結婚した者の間で比較的多く、女性の場合には 2005 年以降に結婚した者の間で比較的多くなっている。

表2-16-3 「結婚した年代」と「婚活で交際相手を作るのは難しいと感じるか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	そう感じる	0 .0%	2 25.0%	1 33.3%	2 50.0%	4 36.4%	9 33.3%
	そうは感じない	1 100.0%	6 75.0%	2 66.7%	2 50.0%	7 63.6%	18 66.7%
	合計	1 100.0%	8 100.0%	3 100.0%	4 100.0%	11 100.0%	27 100.0%
女性	そう感じる	0 .0%	2 25.0%	4 30.8%	3 23.1%	11 50.0%	20 29.9%
	そうは感じない	11 100.0%	6 75.0%	9 69.2%	10 76.9%	11 50.0%	47 70.1%
	合計	11 100.0%	8 100.0%	13 100.0%	13 100.0%	22 100.0%	67 100.0%

第3章 既婚者の配偶者選択と結婚の過程

1. 結婚相手と知り合ったきっかけ

ここからは結婚相手との関係について尋ねた質問の結果をみていきたい。最初は結婚した相手とどのようなきっかけで知り合ったのかについての調査結果である。

全国調査はこの問題を毎回調査している。表 3-1-1 は 2005 年の調査の結果であり、結婚年別に夫と妻が知り合ったきっかけを集計したものである。2005 年総数をみると、全体的にもっとも多い項目は「職場や仕事で」(32.2%) であり、2 番目は「友人・兄弟姉妹を通じて」(24.1%)、3 番目は「見合いで」(12.6%) であった。結婚年別にみた場合、2000 年以降に結婚した者とそれ以前に結婚した者の間には重要な相違がある。それは出会いのきっかけの 1 位と 2 位の要因が入れ替わっていることである。すなわち、1999 年以前に結婚した者の間では「職場や仕事の関係で」の知り合った者がもっとも多かった。しかし、2000 年以降に結婚した者では「友人・兄弟姉妹を通じて」知り合った者が初めて 3 割を超え、首位の座に浮上した。2000 年以降に結婚した者については、三番目に多いきっかけとして存在感を示しているのが「学校で」の出会いである。その一方で伝統的な見合い結婚の減少は著しい。また結婚相談所で出会って結婚した者は全体ではごくわずかである。

表3-1-1 結婚年別にみた夫妻の知り合ったきっかけの割合

結婚年	学校で	職場や仕事で	幼なじみ・隣人	サークル・クラブ・習い事で	友人・兄弟姉妹を通じて	街中や旅先で	アルバイト先で	見合いで	結婚相談所で	その他	不詳
2005年総数	9.4	32.2	1.8	5.7	24.1	4.6	3.5	12.6	0.9	3.5	2.1
1979年以前	5.5	37.0	3.2	8.2	15.5	4.1	3.2	16.9	0.0	2.7	3.7
1980-84年	9.0	30.4	2.7	5.6	19.0	4.4	1.4	21.9	0.1	3.5	2.0
1985-89年	7.3	33.7	1.9	6.3	20.2	4.1	2.9	17.9	0.6	3.1	1.9
1990-94年	9.1	34.1	1.1	5.7	23.5	4.9	3.4	12.4	0.9	2.8	2.2
1995-99年	10.9	31.5	1.8	5.7	25.0	4.8	4.9	8.4	1.7	3.6	1.7
2000年以降	10.8	29.9	1.4	5.2	31.0	4.8	4.2	5.0	1.2	4.5	2.1

資料：国立社会保障・人口問題研究所(2007b)。

表 3-1-2 は我々の調査結果であり、回答者の「年齢」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。全体的にもっとも回答数が多かった項目は男性の場合では「職場や仕事の関係で」の 33.3%であり、2 番目は「友人・知人の紹介で」の 22.2%、3 番目は「学校で」の 14.0%、4 番目に「見合いで」の 10.7%であった。女性の場合にはもっとも多かった項目は「職場や仕事の関係で」の 30.8%であり、2 番目は「友人・知人の紹介で」の 22.9%、3 番目は「学校で」の 10.3%、4 番目に「見合いで」の 9.6%であった。したがって、男女ともに第 1 位から第 4 位までの順序は同じである。この 4 つの要因が主要なきっかけであることは全国調査の結果と一致する。

年齢別では男性の場合、20 歳代では「学校で」知り合った相手と結婚した者が比較的多い。30 歳代では「職場や仕事の関係で」知り合った相手と結婚した者が比較的多くなっている。女性の場合には 25-29 歳と 30-34 歳で「友人・知人の紹介で」が比較的多く、35-39 歳で「職場や仕事の関係で」が比較的多くなっている。

表 3-1-3 は「結婚した年齢」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合、20-24 歳で結婚した者には「学校で」結婚相手と知り合った者が比較的多く、25-28 歳と 30-34 歳で結婚した者では他の年齢層に比べて「見合い」の割合がやや大きい。しかし、35-39 歳で結婚した者では「友人・知人の紹介で」が比較的大きな割合を示している。女性の場合には、20-24 歳で結婚した者では「職場や仕事の関係で」結婚相手と知り合った者が比較的多く、30-34 歳と 35-39 歳で結婚した者の間では「見合いで」ないし「結婚相談所や結婚情報サービス」で結婚相手と知り合った者が他の年齢層に比べて相対的に大きな割合を示している。また 35-39 歳では「友人・知人の紹介で」結婚相手と知り合った者も他の年齢層に比べて相対的に大きな割合を示している。

表 3-1-4 は「結婚した年代」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合には 2000-2004 年と 2005 年以降に結婚した者の間で「友人・知人の紹介で」結婚相手と知り合った者が比較的多くなっている。また 2005 年以降に結婚した者の間では「職場や仕事の関係で」結婚相手と知り合った者の割合がやや小さくなっている。これらは全国調査が明らかにした傾向と一致する。女性の場合には 2005 年以降に結婚した者の間で「職場や仕事の関係で」結婚相手と知り合った者の割合はやや小さくなっている。ただ 2000-2004 年と 2005 年以降に結婚した者の間では「友人・知人の紹介で」結婚相手と知り合った者の割合は若干大きくなっているが、1995-1999 年に結婚した者に比べるとその割合は小さくなっている。むしろ注目すべきことは 2005 年以降に結婚した者の間で「見合い」や「結婚相談所や結婚情報サービス」で結婚相手と知り合った者がやや大きな割合を示していることである。

表3-1-2 「年齢」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」とのクロス

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	学校で	2 66.7%	4 33.3%	0 .0%	2 5.7%	6 13.6%	7 21.9%	21 14.0%	
	職場や仕事の関係で	0 .0%	3 25.0%	11 45.8%	12 34.3%	13 29.5%	11 34.4%	50 33.3%	
	幼なじみ・隣人関係	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%	
	学校以外の活動・習い事で	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	0 .0%	0 .0%	2 6.3%	5 3.3%	
	友人・知人の紹介で	0 .0%	3 25.0%	5 20.8%	12 34.3%	8 18.2%	5 15.6%	33 22.0%	
	見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 5.7%	8 18.2%	6 18.8%	16 10.7%	
	結婚相談所や結婚情報サービスで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%	
	街中や旅先の出会いで	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	3 8.6%	0 .0%	1 3.1%	6 4.0%	
	アルバイト先で	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%	
	インターネットや携帯のサイトで	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	3 6.8%	0 .0%	4 2.7%	
	合コンで(飲み会を含む)	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	2 4.5%	0 .0%	4 2.7%	
	その他	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	1 2.3%	0 .0%	4 2.7%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	女性	学校で	1 20.0%	2 6.9%	3 5.4%	8 12.1%	10 13.7%	6 9.5%	30 10.3%
		職場や仕事の関係で	1 20.0%	8 27.6%	16 28.6%	18 27.3%	28 38.4%	19 30.2%	90 30.8%
幼なじみ・隣人関係		1 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
学校以外の活動・習い事で		0 .0%	2 6.9%	3 5.4%	5 7.6%	1 1.4%	9 14.3%	20 6.8%	
友人・知人の紹介で		0 .0%	10 34.5%	14 25.0%	20 30.3%	13 17.8%	10 15.9%	67 22.9%	
兄弟姉妹の紹介で		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	1 1.5%	1 1.4%	1 1.6%	5 1.7%	
見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	4 6.1%	9 12.3%	13 20.6%	28 9.6%	
結婚相談所や結婚情報サービスで		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	4 6.1%	3 4.1%	0 .0%	8 2.7%	
街中や旅先の出会いで		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	3 4.1%	2 3.2%	7 2.4%	
アルバイト先で		2 40.0%	3 10.3%	4 7.1%	3 4.5%	2 2.7%	2 3.2%	16 5.5%	
インターネットや携帯のサイトで		0 .0%	1 3.4%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
合コンで(飲み会を含む)		0 .0%	2 6.9%	5 8.9%	1 1.5%	2 2.7%	1 1.6%	11 3.8%	
その他		0 .0%	1 3.4%	4 7.1%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	6 2.1%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表3-1-3 「結婚した年齢」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	学校で		10 33.3%	10 13.0%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	21 14.0%
	職場や仕事の関係で		9 30.0%	27 35.1%	10 32.3%	3 30.0%	1 50.0%	50 33.3%
	幼なじみ・隣人関係		1 3.3%	0 .0%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	学校以外の活動・習い事で		0 .0%	5 6.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 3.3%
	友人・知人の紹介で		6 20.0%	16 20.8%	8 25.8%	3 30.0%	0 .0%	33 22.0%
	見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)		0 .0%	10 13.0%	4 12.9%	1 10.0%	1 50.0%	16 10.7%
	結婚相談所や結婚情報サービスで		0 .0%	0 .0%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	街中や旅先の出会いで		2 6.7%	2 2.6%	1 3.2%	1 10.0%	0 .0%	6 4.0%
	アルバイト先で		2 6.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	インターネットや携帯のサイトで		0 .0%	0 .0%	2 6.5%	2 20.0%	0 .0%	4 2.7%
	合コンで(飲み会を含む)		0 .0%	4 5.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
	その他		0 .0%	3 3.9%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
	無回答		0 .0%	0 .0%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
	女性	学校で	1 25.0%	13 10.8%	14 11.1%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%
職場や仕事の関係で		1 25.0%	42 35.0%	38 30.2%	5 19.2%	3 27.3%	1 20.0%	90 30.8%
幼なじみ・隣人関係		0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
学校以外の活動・習い事で		0 .0%	7 5.8%	10 7.9%	2 7.7%	1 9.1%	0 .0%	20 6.8%
友人・知人の紹介で		2 50.0%	28 23.3%	27 21.4%	5 19.2%	4 36.4%	1 20.0%	67 22.9%
兄弟姉妹の紹介で		0 .0%	2 1.7%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 1.7%
見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)		0 .0%	7 5.8%	12 9.5%	9 34.6%	0 .0%	0 .0%	28 9.6%
結婚相談所や結婚情報サービスで		0 .0%	1 .8%	2 1.6%	1 3.8%	3 27.3%	1 20.0%	8 2.7%
街中や旅先の出会いで		0 .0%	2 1.7%	5 4.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	7 2.4%
アルバイト先で		0 .0%	12 10.0%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	16 5.5%
インターネットや携帯のサイトで		0 .0%	1 .8%	0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	2 .7%
合コンで(飲み会を含む)		0 .0%	2 1.7%	7 5.6%	1 3.8%	0 .0%	1 20.0%	11 3.8%
その他		0 .0%	1 .8%	5 4.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 2.1%
無回答		0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計		4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表3-1-4 「結婚した年代」と「結婚相手と知り合ったきっかけ」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	学校で	4 28.6%	7 18.9%	4 14.8%	0 .0%	6 13.3%	21 14.0%
	職場や仕事の関係で	5 35.7%	13 35.1%	10 37.0%	9 33.3%	13 28.9%	50 33.3%
	幼なじみ・隣人関係	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 1.3%
	学校以外の活動・習い事で	0 .0%	2 5.4%	0 .0%	2 7.4%	1 2.2%	5 3.3%
	友人・知人の紹介で	3 21.4%	6 16.2%	4 14.8%	8 29.6%	12 26.7%	33 22.0%
	見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)	2 14.3%	4 10.8%	6 22.2%	3 11.1%	1 2.2%	16 10.7%
	結婚相談所や結婚情報サービスで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	1 2.2%	2 1.3%
	街中や旅先の出会いで	0 .0%	1 2.7%	2 7.4%	2 7.4%	1 2.2%	6 4.0%
	アルバイト先で	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 1.3%
	インターネットや携帯のサイトで	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	3 6.7%	4 2.7%
	合コンで(飲み会を含む)	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	3 6.7%	4 2.7%
	その他	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	0 .0%	2 4.4%	4 2.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	1 .7%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	学校で	4 7.7%	12 21.8%	5 9.4%	4 6.7%	5 6.9%
職場や仕事の関係で		18 34.6%	22 40.0%	12 22.6%	21 35.0%	17 23.6%	90 30.8%
幼なじみ・隣人関係		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 .3%
学校以外の活動・習い事で		7 13.5%	3 5.5%	4 7.5%	2 3.3%	4 5.6%	20 6.8%
友人・知人の紹介で		8 15.4%	6 10.9%	19 35.8%	15 25.0%	19 26.4%	67 22.9%
兄弟姉妹の紹介で		1 1.9%	1 1.8%	1 1.9%	2 3.3%	0 .0%	5 1.7%
見合いで(親や親族・上司の紹介を含む)		11 21.2%	5 9.1%	6 11.3%	1 1.7%	5 6.9%	28 9.6%
結婚相談所や結婚情報サービスで		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	2 3.3%	5 6.9%	8 2.7%
街中や旅先の出会いで		1 1.9%	3 5.5%	1 1.9%	1 1.7%	1 1.4%	7 2.4%
アルバイト先で		1 1.9%	2 3.6%	1 1.9%	6 10.0%	6 8.3%	16 5.5%
インターネットや携帯のサイトで		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.8%	2 .7%
合コンで(飲み会を含む)		1 1.9%	0 .0%	1 1.9%	3 5.0%	6 8.3%	11 3.8%
その他		0 .0%	0 .0%	2 3.8%	3 5.0%	1 1.4%	6 2.1%
無回答		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

2. 結婚相手の学歴

表 3-2-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手の学歴」を性別にクロス集計した結果である。これは回答者の結婚相手のプロフィールに関する情報である。これをみると、我々の調査の回答者については、高学歴者と結婚した者が比較的多い。女性の場合、結婚相手の学歴が「大学」と「大学院」である者を合計すると 43.5%になる。男性の場合には結婚相手の学歴が「大学」または「大学院」である者は 29.7%であるが、「短大」卒を合計すると 51.0%となる。

表 3-2-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手の学歴」を性別にクロス集計した結果である。全体的には男女ともに結婚した年齢が高くなるにつれてより高学歴の者と結婚する者が増加する傾向がある。たとえば、男性の場合には 20-24 歳で結婚した者の間では「高校」卒の相手と結婚した者が比較的大きな割合を占め (46.7%)、25 歳以上では「短大」ないし「大学」卒の相手と結婚した者がより大きな割合を占めている。女性の場合には 25-29 歳で結婚した者の間では「大学」ないし「大学院」が 48.5%、30-34 歳で結婚した者の間では「大学」ないし「大学院」は 65.4%に達する。ただし、35-39 歳で結婚した者では「大学」ないし「大学院」は 45.5%となる。

表 3-2-3 は「回答者の学歴」と「結婚相手の学歴」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに同じ程度の学歴の者と結婚する者の割合が大きくなる傾向がある。とくに女性では回答者の学歴が「大学」である場合に「大学」ないし「大学院」の相手と結婚した者は 69.3%であった。これに対し、男性では回答者の学歴が「大学」である場合に「大学」ないし「大学院」の相手と結婚した者は 42.1%であった。

表3-2-1 「年齢」と「結婚相手の学歴」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	中学校	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%
	高校	1 33.3%	2 16.7%	7 29.2%	11 31.4%	14 31.8%	12 37.5%	47 31.3%
	専門学校	1 33.3%	1 8.3%	2 8.3%	6 17.1%	6 13.6%	3 9.4%	19 12.7%
	短大	0 .0%	0 .0%	4 16.7%	6 17.1%	13 29.5%	9 28.1%	32 21.3%
	高専	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%
	大学	1 33.3%	6 50.0%	10 41.7%	7 20.0%	9 20.5%	6 18.8%	39 26.0%
	大学院	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	2 5.7%	1 2.3%	0 .0%	4 2.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	2 5.7%	0 .0%	2 6.3%	5 3.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	女性	中学校	0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	0 .0%	4 5.5%	0 .0%
高校		1 20.0%	10 34.5%	20 35.7%	21 31.8%	28 38.4%	20 31.7%	100 34.2%
専門学校		1 20.0%	3 10.3%	7 12.5%	8 12.1%	5 6.8%	3 4.8%	27 9.2%
短大		0 .0%	1 3.4%	4 7.1%	2 3.0%	6 8.2%	1 1.6%	14 4.8%
高専		0 .0%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	2 2.7%	2 3.2%	6 2.1%
大学		2 40.0%	11 37.9%	21 37.5%	27 40.9%	27 37.0%	26 41.3%	114 39.0%
大学院		1 20.0%	3 10.3%	0 .0%	3 4.5%	0 .0%	6 9.5%	13 4.5%
その他		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	2 3.2%	3 1.0%
無回答		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	4 6.1%	1 1.4%	3 4.8%	9 3.1%
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表3-2-2 「結婚した年齢」と「結婚相手の学歴」とのクロス

結婚相手の学歴		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	中学校		1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	高校		14 46.7%	20 26.0%	8 25.8%	4 40.0%	1 50.0%	47 31.3%
	専門学校		4 13.3%	11 14.3%	3 9.7%	1 10.0%	0 .0%	19 12.7%
	短大		4 13.3%	16 20.8%	10 32.3%	2 20.0%	0 .0%	32 21.3%
	高専		2 6.7%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%
	大学		4 13.3%	22 28.6%	9 29.0%	3 30.0%	1 50.0%	39 26.0%
	大学院		1 3.3%	3 3.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
	無回答		0 .0%	4 5.2%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	5 3.3%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
	女性	中学校	1 25.0%	1 .8%	1 .8%	1 3.8%	1 9.1%	1 20.0%
高校		3 75.0%	43 35.8%	45 35.7%	4 15.4%	3 27.3%	2 40.0%	100 34.2%
専門学校		0 .0%	12 10.0%	11 8.7%	2 7.7%	2 18.2%	0 .0%	27 9.2%
短大		0 .0%	11 9.2%	2 1.6%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	14 4.8%
高専		0 .0%	5 4.2%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 2.1%
大学		0 .0%	40 33.3%	54 42.9%	15 57.7%	4 36.4%	1 20.0%	114 39.0%
大学院		0 .0%	3 2.5%	7 5.6%	2 7.7%	1 9.1%	0 .0%	13 4.5%
その他		0 .0%	0 .0%	2 1.6%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	3 1.0%
無回答		0 .0%	5 4.2%	3 2.4%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	9 3.1%
合計		4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表3-2-3 「回答者の学歴」と「結婚相手の学歴」とのクロス

結婚相手の学歴		最後に卒業（在学中）の学校							合計	
		中学校	高校	専門学	高専	短大	大学	大学院		無回答
男性	中学校	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	高校	3 60.0%	25 61.0%	7 38.9%	3 50.0%	1 14.3%	6 10.5%	2 13.3%	0 .0%	47 31.3%
	専門学校	1 20.0%	4 9.8%	3 16.7%	0 .0%	2 28.6%	9 15.8%	0 .0%	0 .0%	19 12.7%
	短大	0 .0%	8 19.5%	3 16.7%	0 .0%	3 42.9%	15 26.3%	2 13.3%	1 100.0%	32 21.3%
	高専	0 .0%	0 .0%	2 11.1%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%
	大学	0 .0%	3 7.3%	3 16.7%	2 33.3%	1 14.3%	22 38.6%	8 53.3%	0 .0%	39 26.0%
	大学院	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.5%	2 13.3%	0 .0%	4 2.7%
	無回答	0 .0%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 5.3%	1 6.7%	0 .0%	5 3.3%
	合計	5 100.0%	41 100.0%	18 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	57 100.0%	15 100.0%	1 100.0%	150 100.0%
	女性	中学校	1 100.0%	4 4.0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
高校		0 .0%	52 52.5%	16 32.0%	2 50.0%	20 28.2%	10 15.4%	0 .0%	0 .0%	100 34.2%
専門学校		0 .0%	8 8.1%	11 22.0%	0 .0%	5 7.0%	3 4.6%	0 .0%	0 .0%	27 9.2%
短大		0 .0%	3 3.0%	4 8.0%	0 .0%	4 5.6%	3 4.6%	0 .0%	0 .0%	14 4.8%
高専		0 .0%	4 4.0%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	6 2.1%
大学		0 .0%	23 23.2%	16 32.0%	1 25.0%	35 49.3%	38 58.5%	1 100.0%	0 .0%	114 39.0%
大学院		0 .0%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	5 7.0%	7 10.8%	0 .0%	0 .0%	13 4.5%
その他		0 .0%	2 2.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
無回答		0 .0%	3 3.0%	1 2.0%	0 .0%	2 2.8%	2 3.1%	0 .0%	1 100.0%	9 3.1%
合計		1 100.0%	99 100.0%	50 100.0%	4 100.0%	71 100.0%	65 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	292 100.0%

3. 知り合った当時の結婚相手の就労状況

表 3-3-1 は回答者の「年齢」と「知り合った当時の結婚相手の就労状況」を性別にクロス集計した結果である。これも結婚相手のプロフィールに関する情報である。全体的には男女ともに常勤（正規の職

員・社員)の仕事をしている相手と結婚した者がもっとも多い。とくに女性の場合では常勤の職にある相手と結婚した者は8割に達する。男性の場合には常勤の仕事をしている相手と結婚した者はやや下がって、64.7%である。なお知り合ったときに「無職」であった相手と結婚した者は男女ともに皆無である。これは重大な事実のように思われるが、ここではその意味をとらえることはできない。今後に究明が必要な点である。

表3-3-1 「年齢」と「知り合った当時の結婚相手の就労状況」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	常勤（正規の職員・社員）	0 .0%	7 58.3%	11 45.8%	25 71.4%	31 70.5%	23 71.9%	97 64.7%
	パート・アルバイト	1 33.3%	1 8.3%	7 29.2%	3 8.6%	5 11.4%	3 9.4%	20 13.3%
	派遣・契約	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	2 5.7%	3 6.8%	2 6.3%	10 6.7%
	自営業・家族従業員	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	学生	2 66.7%	4 33.3%	2 8.3%	2 5.7%	5 11.4%	1 3.1%	16 10.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 5.7%	0 .0%	3 9.4%	5 3.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	常勤（正規の職員・社員）	3 60.0%	23 79.3%	44 78.6%	53 80.3%	60 82.2%	49 77.8%	232 79.5%
	パート・アルバイト	0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	3 4.5%	3 4.1%	1 1.6%	10 3.4%
	派遣・契約	0 .0%	2 6.9%	3 5.4%	1 1.5%	0 .0%	1 1.6%	7 2.4%
	自営業・家族従業員	1 20.0%	1 3.4%	3 5.4%	3 4.5%	3 4.1%	4 6.3%	15 5.1%
	学生	1 20.0%	2 6.9%	3 5.4%	4 6.1%	5 6.8%	5 7.9%	20 6.8%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	2 3.0%	2 2.7%	3 4.8%	8 2.7%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表3-3-2は「結婚した年代」と「知り合った当時の結婚相手の就労状況」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、2005年以降に結婚した者の中では男女ともに常勤の職にある相手と結婚した者の割合がそれ以前の年代に比べてやや減少している。これは、男女ともに常勤の仕事に就職することが困難になった最近の雇用情勢を反映しているのであろうか。

非正規の仕事をしている相手と結婚した者に着目すると、男女の間で異なった傾向を見出せる。男性の場合には1995年以降に結婚した者から「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の仕事をしている

相手と結婚した者が 25%前後を占めるようになっていた。これに対し、女性の場合には 1995-1999 年に結婚した者と 2000-2004 年に結婚した者の間では「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の相手と結婚した者はきわめて少なかった。逆に言えば、常勤の職にある相手と結婚した者が非常に大きな割合を保っていた。ところが、2005 年以降に結婚した者では「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の仕事をしている相手と結婚した者は 11.1%と初めて 1 割を超えた。それでも「常勤」の職にある相手と結婚した者の割合は 2000-2004 年に結婚に比べて減少したとはいえ、76.4%と依然大きな割合を保っている。これはやはり注目すべき事実であろう。

表3-3-2 「結婚した年代」と「知り合った当時の結婚相手の就労状況」のクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	常勤（正規の職員・社員）	10 71.4%	28 75.7%	16 59.3%	18 66.7%	25 55.6%	97 64.7%
	パート・アルバイト	1 7.1%	2 5.4%	6 22.2%	5 18.5%	6 13.3%	20 13.3%
	派遣・契約	1 7.1%	1 2.7%	1 3.7%	3 11.1%	4 8.9%	10 6.7%
	自営業・家族従業員	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 4.4%	2 1.3%
	学生	1 7.1%	4 10.8%	3 11.1%	1 3.7%	7 15.6%	16 10.7%
	無回答	1 7.1%	2 5.4%	1 3.7%	0 .0%	1 2.2%	5 3.3%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	常勤（正規の職員・社員）	42 80.8%	41 74.5%	43 81.1%	51 85.0%	55 76.4%
パート・アルバイト	1 1.9%	3 5.5%	2 3.8%	1 1.7%	3 4.2%	10 3.4%	
派遣・契約	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	1 1.7%	5 6.9%	7 2.4%	
自営業・家族従業員	3 5.8%	1 1.8%	4 7.5%	2 3.3%	5 6.9%	15 5.1%	
学生	4 7.7%	5 9.1%	3 5.7%	4 6.7%	4 5.6%	20 6.8%	
無回答	2 3.8%	4 7.3%	1 1.9%	1 1.7%	0 .0%	8 2.7%	
合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%	

4. 回答者の結婚当時の就労状況

表 3-4-1 は回答者の「年齢」と「回答者の結婚当時の就労状況」をクロス集計した結果である。これを見ると、全体的には男女ともに結婚当時の就労状況では常勤の職に就いていた者が圧倒的に多い。とくに男性では 85.3%が結婚したときに常勤の仕事をしていた。「パート・アルバイト」や「派遣・契約」

の仕事をしてきた者は5%程度に過ぎなかった。女性でも結婚当時に常勤の職に就いていた者は74%であるが、「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の仕事をしてきた者は男性の場合よりも多く、16.1%であった。

表3-4-1 「年齢」と「結婚当時の就労状況」とのクロス

		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	常勤（正規の職員・社員）	1 33.3%	11 91.7%	17 70.8%	31 88.6%	38 86.4%	30 93.8%	128 85.3%
	パート・アルバイト	1 33.3%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	0 .0%	4 2.7%
	派遣・契約	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	2 4.5%	0 .0%	4 2.7%
	自営業・家族従業員	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	2 5.7%	1 2.3%	0 .0%	6 4.0%
	学生	1 33.3%	0 .0%	2 8.3%	0 .0%	2 4.5%	1 3.1%	6 4.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	常勤（正規の職員・社員）	2 40.0%	17 58.6%	40 71.4%	52 78.8%	55 75.3%	50 79.4%	216 74.0%
	パート・アルバイト	2 40.0%	5 17.2%	4 7.1%	6 9.1%	10 13.7%	3 4.8%	30 10.3%
	派遣・契約	0 .0%	1 3.4%	7 12.5%	3 4.5%	1 1.4%	5 7.9%	17 5.8%
	自営業・家族従業員	0 .0%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	2 2.7%	1 1.6%	5 1.7%
	学生	0 .0%	0 .0%	3 5.4%	2 3.0%	3 4.1%	2 3.2%	10 3.4%
	無職	1 20.0%	5 17.2%	0 .0%	2 3.0%	2 2.7%	2 3.2%	12 4.1%
	無回答	0 .0%	1 3.4%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	2 .7%
合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表3-4-2は「結婚した年齢」と「回答者の結婚当時の就労状況」をクロス集計した結果である。これを見ると、男性の場合ではいずれの結婚年齢においても常勤の職に就いていた者の割合は圧倒的に大きい。ただ30-34歳で結婚した者については「派遣・契約」の仕事をしてきた者が1割程度いた。女性の場合には30-34歳で結婚した者までは常勤の職に就いていた者が75%前後と非常に多いが、35-39歳ではそれは54.5%とやや大きな減少を見せる。35-39歳で結婚した者では「パート・アルバイト」の仕事をしてきた者は18.2%と他の年齢層に比べてやや大きな割合になっている。

表3-4-2 「結婚した年齢」と「結婚当時の就労状況」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	常勤（正規の職員・社員）		23	68	25	10	2	128
			76.7%	88.3%	80.6%	100.0%	100.0%	85.3%
	パート・アルバイト		3	1	0	0	0	4
			10.0%	1.3%	.0%	.0%	.0%	2.7%
	派遣・契約		0	1	3	0	0	4
			.0%	1.3%	9.7%	.0%	.0%	2.7%
	自営業・家族従業員		1	3	2	0	0	6
			3.3%	3.9%	6.5%	.0%	.0%	4.0%
学生		3	2	1	0	0	6	
		10.0%	2.6%	3.2%	.0%	.0%	4.0%	
無回答		0	2	0	0	0	2	
		.0%	2.6%	.0%	.0%	.0%	1.3%	
合計		30	77	31	10	2	150	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	常勤（正規の職員・社員）	2	90	94	19	6	5	216
		50.0%	75.0%	74.6%	73.1%	54.5%	100.0%	74.0%
	パート・アルバイト	0	9	16	3	2	0	30
		.0%	7.5%	12.7%	11.5%	18.2%	.0%	10.3%
	派遣・契約	0	10	6	1	0	0	17
		.0%	8.3%	4.8%	3.8%	.0%	.0%	5.8%
	自営業・家族従業員	0	1	2	1	1	0	5
		.0%	.8%	1.6%	3.8%	9.1%	.0%	1.7%
学生	0	2	4	2	2	0	10	
	.0%	1.7%	3.2%	7.7%	18.2%	.0%	3.4%	
無職	2	8	2	0	0	0	12	
	50.0%	6.7%	1.6%	.0%	.0%	.0%	4.1%	
無回答	0	0	2	0	0	0	2	
	.0%	.0%	1.6%	.0%	.0%	.0%	.7%	
合計	4	120	126	26	11	5	292	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表3-4-3は「結婚した年代」と「回答者の結婚当時の就労状況」をクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合では2000年以降に結婚した者の間ではそれ以前に比べて結婚したときに常勤の仕事に就いていた者の割合はやや小さくなり、「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の仕事をしている者の割合が増えている。しかし、それでも2005年以降に結婚した者の間でも結婚ときに常勤の仕事をしていた者は8割であり、依然として大きな割合を保っている。なお男性の場合には結婚したときに「無職」であった者は皆無であった。

女性の場合では結婚ときに常勤の職に就いていた者の割合はすでに 1995-1999 年に結婚した者から減少し、代わって、「パート・アルバイト」や「派遣・契約」の仕事をしていた者の割合が 15%になっていた。2000 年以降に結婚した者の間では結婚ときに常勤の職に就いていた者は 7 割であったが、「パート・アルバイト」や「派遣・契約」も 20%を超え、2005 年以降に結婚した者では結婚ときに「無職」であった者も 5.6%いた。

表3-4-3 「結婚した年代」と「結婚当時の就労状況」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	常勤（正規の職員・社員）	13 92.9%	32 86.5%	26 96.3%	21 77.8%	36 80.0%	128 85.3%
	パート・アルバイト	0 .0%	2 5.4%	0 .0%	0 .0%	2 4.4%	4 2.7%
	派遣・契約	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 7.4%	2 4.4%	4 2.7%
	自営業・家族従業員	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	3 11.1%	2 4.4%	6 4.0%
	学生	1 7.1%	2 5.4%	0 .0%	0 .0%	3 6.7%	6 4.0%
	無回答	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	2 1.3%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
	女性	常勤（正規の職員・社員）	40 76.9%	47 85.5%	36 67.9%	43 71.7%	50 69.4%
パート・アルバイト	3 5.8%	4 7.3%	5 9.4%	8 13.3%	10 13.9%	30 10.3%	
派遣・契約	5 9.6%	0 .0%	3 5.7%	4 6.7%	5 6.9%	17 5.8%	
自営業・家族従業員	0 .0%	0 .0%	4 7.5%	1 1.7%	0 .0%	5 1.7%	
学生	1 1.9%	2 3.6%	3 5.7%	2 3.3%	2 2.8%	10 3.4%	
無職	3 5.8%	2 3.6%	2 3.8%	1 1.7%	4 5.6%	12 4.1%	
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	1 1.4%	2 .7%	
合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%	

表 3-4-4 は「結婚当時の回答者の就労状況」と「結婚相手の就労状況」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚ときに常勤の仕事をしていた者は常勤の仕事をしていた相手と結婚している割合が非常に高い。ただし、女性の場合には常勤の仕事をしていなくても常勤の相手と結婚した割合は常勤の仕事をしていた場合に劣らず大きい。これに対し、男性の場合には「派遣・契約」の仕事をしていた場合を除いて、常勤の仕事していないと常勤の仕事をしていた相手と結婚する割合は小さくなる。

表3-4-4 「結婚当時の就労状況」と「結婚相手の就労状況」とのクロス

		結婚当時の就労状況						合計	
		常勤（正規の職員・社員）	パート・アルバイト	派遣・契約	自営業・家族従業員	無職	学生		その他
男性	常勤（正規の職員・社員）	85 66.4%	2 50.0%	4 100.0%	2 33.3%		3 50.0%	1 50.0%	97 64.7%
	パート・アルバイト	14 10.9%	1 25.0%	0 .0%	4 66.7%		0 .0%	1 50.0%	20 13.3%
	派遣・契約	10 7.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		0 .0%	0 .0%	10 6.7%
	自営業・家族従業員	2 1.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	学生	12 9.4%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%		3 50.0%	0 .0%	16 10.7%
	無回答	5 3.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		0 .0%	0 .0%	5 3.3%
	合計	128 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	6 100.0%		6 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
	女性	常勤（正規の職員・社員）	175 81.0%	24 80.0%	12 70.6%	5 100.0%	8 80.0%	6 50.0%	2 100.0%
パート・アルバイト	7 3.2%	2 6.7%	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	10 3.4%
派遣・契約	4 1.9%	0 .0%	2 11.8%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	7 2.4%
自営業・家族従業員	11 5.1%	2 6.7%	1 5.9%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	15 5.1%
学生	14 6.5%	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 41.7%	0 .0%	0 .0%	20 6.8%
無回答	5 2.3%	1 3.3%	1 5.9%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	8 2.7%
合計	216 100.0%	30 100.0%	17 100.0%	5 100.0%	10 100.0%	12 100.0%	2 100.0%	292 100.0%	

5. 結婚を決めたきっかけ

結婚をした人はどのようなきっかけで結婚を決断したのだろうか。これは全国調査が調べていない問題であるが、配偶者選択過程に関わる大変重要なテーマであると我々は考える。それによって、どのような要因が「結婚の決め手」となることが多いのかを探ることができるからである。そこで我々は、結

婚をした者に対して結婚を決めたのはどのようなことがきっかけになったからかと尋ね、複数回答で要因を選択してもらった。

表 3-5-1 は男性の場合について回答者の「年齢」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これによると、全体的にもっとも選択率が高かった要因は「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」であり、3分の2（66.7%）の回答者がこれを選択した。これと比べるとその他の要因はずっと選択率が小さくなるが、10%を超える要因を挙げると次のようになる。すなわち、2番目に「自分の年齢を考えて」の31.3%、3番目に「この機会を逃したくないと思ったので」の28.0%、4番目に「相手の年齢を考えて」の22.7%、5番目に「家族・子どもが欲しくなったので」と「交際期間の長さを考えて」が同率で17.3%、7番目に「子どもができたので」の12.7%であった。

表 3-5-2 は女性の場合について回答者の「年齢」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これをみると、全体的にもっとも選択率が高かった要因は男性の場合と同様に「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」であり、6割（60.8%）の回答者がこれを選択した。2番目の要因は男性の場合と同様に「自分の年齢を考えて」であるが、その割合は40.5%と男性の場合よりも大きな割合を示している。これら2つの要因と比べるとその他の要因は選択率が小さいが、10%を超える要因を挙げると次のようになる。すなわち、3番目に「親が心配しているので」の19.2%、4番目に「家族・子どもが欲しくなったので」と「交際期間の長さを考えて」が同率で18.9%、6番目に「この機会を逃したくないと思ったので」の17.5%、7番目に「子どもができたので」の12.0%であった。これらをみると、順位と割合の大きさに多少の相違はあるが、男女ともに結婚を決めたきっかけとなった主要な要因はほぼ同じだと考えてよいだろう。

表 3-5-3 は男性の場合について「結婚した年齢」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これによると、結婚した年齢に関係なく、「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」の選択率はもっとも高い。このことが第一に注目される特徴である。しかし、その他の要因については結婚した年齢によって若干の相違がある。たとえば、20-24歳で結婚した者では「子どもができたので」の割合が比較的大きく、26.7%となっている。また30-34歳で結婚した者では「相手の年齢を考えて」が35.5%であり、35-39歳で結婚した者では「この機会を逃したくないと思ったので」が50.0%といずれも他の年齢層に比べてやや大きな割合を示している。さらに30歳以上の年齢で結婚した者では「親が心配しているので」の割合が比較的大きくなっている。

表 3-5-4 は女性の場合について「結婚した年齢」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これをみると、女性の場合には男性の場合と異なり、結婚した年齢によって「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」以外の要因がもっとも割合の大きな要因になっている。たとえば、16-19歳で結婚した者では「子どもができたので」がもっとも大きく、30-34歳と40-44歳で結婚した者では「自分の年齢を考えて」がもっとも大きな割合になっている。女性の場合には、25歳以上の年齢で結婚した者については「自分の年齢を考えて」が非常に大きな割合になり、また30歳以上の年齢で結婚した者については「親が心配しているので」の割合が比較的大きく、さらに35-39歳で結婚した者では「この機会を逃したくないと思ったので」と「家族・子どもが欲しくなったので」が50%を超える選択率になっている。このように女性の場合には結婚した年齢によって様々な要因が結婚を決めたきっかけとして浮上している。すでに述べたように、男性の場合には、結婚した年齢に関係なく「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」が結婚を決めたきっかけとしてもっとも大きな割合を占めており、この点で男女の間には大きな相違がある。結婚した年齢でみる限りでは、女性の結婚を決めたきっかけは男性のように単純ではないと言えるのかもしれない。

表 3-5-5 は男性の場合について「結婚した年代」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これによると、結婚した年代に関係なく、「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」の選択率がもっとも高い。このことはまず注目すべき特徴である。ただ 2000-2004 年に結婚した者ではその割合はやや小さくなっている。その他の特徴としては、2005 年以降に結婚した者では比較的多くの要因が結婚を決めたきっかけとして挙げられている。その中でも「この機会を逃したくないと思ったので」が 42.2%、「子どもができたので」が 20.0%とその他の結婚年代に比べて大きな割合を示していることが目を引く点である。

表 3-5-6 は女性の場合について「結婚した年代」と「結婚を決めたきっかけ」をクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合と同様にいずれの年代で結婚した者についても「相手と一緒に暮らしたいと思ったので」の選択率がもっとも高く、50%を超えている。しかし、女性の場合には「結婚した年代」によってその他の様々な要因が比較的大きな割合を示している。その中でも 2005 年以降に結婚した者では、「自分の年齢を考えて」が 47.9%、「家族・子どもが欲しくなったので」が 29.6%、「親が心配しているので」が 22.5%、「親の年齢や健康を考えて」が 14.1%と、他の結婚年代に比べてより大きな割合を示していることが注目される。

表3-5-1 「年齢」と「結婚を決めたきっかけ」とのクロス（男性）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	自分の年齢を考えて	0 .0%	3 25.0%	6 25.0%	8 22.9%	18 40.9%	12 37.5%	47 31.3%
	相手の年齢を考えて	0 .0%	3 25.0%	7 29.2%	4 11.4%	12 27.3%	8 25.0%	34 22.7%
	交際期間の長さを考えて	0 .0%	5 41.7%	3 12.5%	6 17.1%	4 9.1%	8 25.0%	26 17.3%
	相手と一緒に暮らしたいと思ったので	2 66.7%	6 50.0%	16 66.7%	22 62.9%	31 70.5%	23 71.9%	100 66.7%
	ライバルが出現したので	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	2 1.3%
	この機会を逃したくないと思ったので	1 33.3%	5 41.7%	7 29.2%	8 22.9%	14 31.8%	7 21.9%	42 28.0%
	家族・子どもが欲しくなったので	2 66.7%	4 33.3%	4 16.7%	5 14.3%	7 15.9%	4 12.5%	26 17.3%
	友達や仲間の多くが結婚したので	0 .0%	2 16.7%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	3 9.4%	8 5.3%
	友人・知人に薦められて	0 .0%	2 16.7%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	2 6.3%	5 3.3%
	転職・海外赴任が決まったので	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	2 4.5%	1 3.1%	7 4.7%
	相手に結婚を迫られて	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	1 2.9%	1 2.3%	1 3.1%	9 6.0%
	親が心配しているのです	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	1 2.9%	6 13.6%	4 12.5%	14 9.3%
	子どもができたので	2 66.7%	1 8.3%	5 20.8%	5 14.3%	6 13.6%	0 .0%	19 12.7%
	生活に変化が欲しくなったので	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	0 .0%	7 15.9%	2 6.3%	12 8.0%
	経済的に楽になると思ったので	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	3 2.0%
	生活が便利になると思ったので	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 8.6%	4 9.1%	1 3.1%	8 5.3%
	親の年齢や健康を考えて	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	2 5.7%	2 4.5%	1 3.1%	8 5.3%
	その他	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	2 4.5%	0 .0%	4 2.7%
		3	12	24	35	44	32	150

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-5-2 「年齢」と「結婚を決めたきっかけ」とのクロス（女性）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
女性	自分の年齢を考えて	0 .0%	9 32.1%	20 35.7%	28 42.4%	33 45.2%	28 44.4%	118 40.5%
	相手の年齢を考えて	2 40.0%	3 10.7%	6 10.7%	4 6.1%	10 13.7%	5 7.9%	30 10.3%
	交際期間の長さを考えて	0 .0%	3 10.7%	16 28.6%	10 15.2%	17 23.3%	9 14.3%	55 18.9%
	相手と一緒に暮らしたいと思ったので	2 40.0%	14 50.0%	36 64.3%	41 62.1%	48 65.8%	36 57.1%	177 60.8%
	ライバルが出現したので	0 .0%	1 3.6%	0 .0%	2 3.0%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
	この機会を逃したくないと思ったので	2 40.0%	8 28.6%	7 12.5%	11 16.7%	15 20.5%	8 12.7%	51 17.5%
	家族・子どもが欲しくなったので	1 20.0%	6 21.4%	10 17.9%	14 21.2%	16 21.9%	8 12.7%	55 18.9%
	友達や仲間の多くが結婚したので	0 .0%	4 14.3%	1 1.8%	1 1.5%	6 8.2%	6 9.5%	18 6.2%
	友人・知人に薦められて	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.5%	2 2.7%	5 7.9%	10 3.4%
	転職・海外赴任が決まったので	0 .0%	1 3.6%	2 3.6%	3 4.5%	2 2.7%	2 3.2%	10 3.4%
	相手に結婚を迫られて	0 .0%	7 25.0%	3 5.4%	5 7.6%	8 11.0%	10 15.9%	33 11.3%
	親が心配しているのです	0 .0%	3 10.7%	10 17.9%	13 19.7%	18 24.7%	12 19.0%	56 19.2%
	子どもができたので	1 20.0%	9 32.1%	9 16.1%	6 9.1%	6 8.2%	4 6.3%	35 12.0%
	生活に変化が欲しくなったので	0 .0%	2 7.1%	5 8.9%	8 12.1%	4 5.5%	4 6.3%	23 7.9%
	経済的に楽になると思ったので	0 .0%	0 .0%	5 8.9%	4 6.1%	7 9.6%	2 3.2%	18 6.2%
	生活が便利になると思ったので	0 .0%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	3 1.0%
	親の年齢や健康を考えて	0 .0%	1 3.6%	6 10.7%	2 3.0%	6 8.2%	3 4.8%	18 6.2%
	その他	2 40.0%	1 3.6%	1 1.8%	8 12.1%	2 2.7%	4 6.3%	18 6.2%
		5	28	56	66	73	63	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-5-4 「結婚した年齢」と「結婚を決めたきっかけ」とのクロス（女性）

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
女性	自分の年齢を考えて	0 .0%	19 16.0%	70 55.6%	19 73.1%	6 54.5%	4 80.0%	118 40.5%
	相手の年齢を考えて	0 .0%	14 11.8%	10 7.9%	4 15.4%	0 .0%	2 40.0%	30 10.3%
	交際期間の長さを考えて	0 .0%	20 16.8%	28 22.2%	5 19.2%	0 .0%	2 40.0%	55 18.9%
	相手と一緒に暮らしたいと思ったので	2 50.0%	78 65.5%	75 59.5%	12 46.2%	9 81.8%	1 20.0%	177 60.8%
	ライバルが出現したので	0 .0%	0 .0%	1 .8%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
	この機会を逃したくないと思ったので	0 .0%	15 12.6%	27 21.4%	3 11.5%	6 54.5%	0 .0%	51 17.5%
	家族・子どもが欲しくなったので	0 .0%	14 11.8%	26 20.6%	7 26.9%	6 54.5%	2 40.0%	55 18.9%
	友達や仲間の多くが結婚したので	1 25.0%	6 5.0%	10 7.9%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	18 6.2%
	友人・知人に薦められて	0 .0%	4 3.4%	3 2.4%	3 11.5%	0 .0%	0 .0%	10 3.4%
	転勤・海外赴任が決まったので	0 .0%	4 3.4%	5 4.0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	10 3.4%
	相手に結婚を迫られて	0 .0%	14 11.8%	13 10.3%	4 15.4%	1 9.1%	1 20.0%	33 11.3%
	親が心配しているのので	0 .0%	10 8.4%	29 23.0%	11 42.3%	4 36.4%	2 40.0%	56 19.2%
	子どもができたので	3 75.0%	18 15.1%	11 8.7%	2 7.7%	1 9.1%	0 .0%	35 12.0%
	生活に変化が欲しくなったので	0 .0%	9 7.6%	9 7.1%	4 15.4%	1 9.1%	0 .0%	23 7.9%
	経済的に楽になると思ったので	0 .0%	7 5.9%	7 5.6%	1 3.8%	2 18.2%	1 20.0%	18 6.2%
	生活が便利になると思ったので	0 .0%	1 .8%	1 .8%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
	親の年齢や健康を考えて	0 .0%	0 .0%	10 7.9%	5 19.2%	2 18.2%	1 20.0%	18 6.2%
	その他	0 .0%	6 5.0%	5 4.0%	4 15.4%	2 18.2%	1 20.0%	18 6.2%
		4	119	126	26	11	5	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-5-5 「結婚した年代」と「結婚を決めたきっかけ」とのクロス（男性）

	結婚した年代					合計
	89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
自分の年齢を考えて	3	8	11	10	15	47
	21.4%	21.6%	40.7%	37.0%	33.3%	31.3%
相手の年齢を考えて	2	10	6	4	12	34
	14.3%	27.0%	22.2%	14.8%	26.7%	22.7%
交際期間の長さを考えて	3	5	5	3	10	26
	21.4%	13.5%	18.5%	11.1%	22.2%	17.3%
相手と一緒に暮らしたいと思ったので	11	26	19	13	31	100
	78.6%	70.3%	70.4%	48.1%	68.9%	66.7%
ライバルが出現したので	0	0	1	0	1	2
	.0%	.0%	3.7%	.0%	2.2%	1.3%
この機会を逃したくないと思ったので	3	6	7	7	19	42
	21.4%	16.2%	25.9%	25.9%	42.2%	28.0%
家族・子どもが欲しくなったので	2	2	5	4	13	26
	14.3%	5.4%	18.5%	14.8%	28.9%	17.3%
友達や仲間の多くが結婚したので	3	0	0	1	4	8
	21.4%	.0%	.0%	3.7%	8.9%	5.3%
友人・知人に薦められて	1	1	0	0	3	5
	7.1%	2.7%	.0%	.0%	6.7%	3.3%
転職・海外赴任が決まったので	0	1	1	4	1	7
	.0%	2.7%	3.7%	14.8%	2.2%	4.7%
相手に結婚を迫られて	1	1	0	2	5	9
	7.1%	2.7%	.0%	7.4%	11.1%	6.0%
親が心配しているので	1	1	5	2	5	14
	7.1%	2.7%	18.5%	7.4%	11.1%	9.3%
子どもができたので	0	5	1	4	9	19
	.0%	13.5%	3.7%	14.8%	20.0%	12.7%
生活に変化が欲しくなったので	1	2	2	1	6	12
	7.1%	5.4%	7.4%	3.7%	13.3%	8.0%
経済的に楽になると思ったので	0	1	0	0	2	3
	.0%	2.7%	.0%	.0%	4.4%	2.0%
生活が便利になると思ったので	1	2	2	3	0	8
	7.1%	5.4%	7.4%	11.1%	.0%	5.3%
親の年齢や健康を考えて	0	1	1	2	4	8
	.0%	2.7%	3.7%	7.4%	8.9%	5.3%
その他	0	1	1	1	1	4
	.0%	2.7%	3.7%	3.7%	2.2%	2.7%
	14	37	27	27	45	150

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-5-6 「結婚した年代」と「結婚を決めたきっかけ」とのクロス（女性）

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
女性	自分の年齢を考えて	17	24	20	23	34	118
		32.7%	43.6%	37.7%	38.3%	47.9%	40.5%
	相手の年齢を考えて	6	7	2	4	11	30
		11.5%	12.7%	3.8%	6.7%	15.5%	10.3%
	交際期間の長さを考えて	7	14	7	17	10	55
		13.5%	25.5%	13.2%	28.3%	14.1%	18.9%
	相手と一緒に暮らしたい と思ったので	37	30	38	33	39	177
		71.2%	54.5%	71.7%	55.0%	54.9%	60.8%
	ライバルが出現したので	0	0	0	0	3	3
		.0%	.0%	.0%	.0%	4.2%	1.0%
	この機会を逃したくない と思ったので	6	9	13	8	15	51
		11.5%	16.4%	24.5%	13.3%	21.1%	17.5%
	家族・子どもが欲しくなっ たので	6	10	8	10	21	55
		11.5%	18.2%	15.1%	16.7%	29.6%	18.9%
	友達や仲間の多くが結婚 したので	4	7	3	2	2	18
		7.7%	12.7%	5.7%	3.3%	2.8%	6.2%
	友人・知人に薦められて	4	2	1	0	3	10
		7.7%	3.6%	1.9%	.0%	4.2%	3.4%
	転職・海外赴任が決まった ので	1	3	2	2	2	10
		1.9%	5.5%	3.8%	3.3%	2.8%	3.4%
相手に結婚を迫られて	9	4	1	9	10	33	
	17.3%	7.3%	1.9%	15.0%	14.1%	11.3%	
親が心配しているので	8	8	14	10	16	56	
	15.4%	14.5%	26.4%	16.7%	22.5%	19.2%	
子どもができたので	2	5	5	10	13	35	
	3.8%	9.1%	9.4%	16.7%	18.3%	12.0%	
生活に変化が欲しくなっ たので	5	3	2	7	6	23	
	9.6%	5.5%	3.8%	11.7%	8.5%	7.9%	
経済的に楽になると思っ たので	4	3	2	4	5	18	
	7.7%	5.5%	3.8%	6.7%	7.0%	6.2%	
生活が便利になると思っ たので	0	1	0	1	1	3	
	.0%	1.8%	.0%	1.7%	1.4%	1.0%	
親の年齢や健康を考えて	1	2	5	0	10	18	
	1.9%	3.6%	9.4%	.0%	14.1%	6.2%	
その他	3	1	2	3	9	18	
	5.8%	1.8%	3.8%	5.0%	12.7%	6.2%	
		52	55	53	60	71	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

6. 結婚相手の条件

結婚をした人は結婚を決めた当時、交際相手についてどのような要素を重視して結婚を決めたのだろうか。この問題もまた配偶者選択過程に関係する重要なテーマだと我々は考えるが、全国調査はこれを調べていない。そこで我々は、未婚者を対象とした部分でおこなったように、調査票の中に 17 の選択肢を用意し、結婚を決めた当時に重視した要素を複数回答で選択してもらった。

表 3-6-1 は男性の場合について回答者の「年齢」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これによると、全体的にもっとも選択率が高い要素は「性格・人柄がよい」であり、7 割 (71.8%) の男性がこれを選択した。次いで 2 番目に選択率が高かった要素は「一緒にいると楽しい」であり、3 分の 2 (67.8%) の男性がこれを選択した。その他に 20% を超える要素を挙げると次の通りである。すなわち、3 番目に「趣味や価値観が合う」の 43.0%、4 番目に「好みの容姿・ルックスである」の 36.2%、5 番目に「健康である」の 21.5%、6 番目に「自分の仕事に理解と協力がある」の 20.1%であった。

表 3-6-2 は女性の場合について回答者の「年齢」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これによると、女性の場合にも全体的にもっとも選択率が高い要素は「性格・人柄がよい」であり、8 割 (79.7%) がこれを選択した。2 番目に選択率が高かった要素も男性の場合と同様に「一緒にいると楽しい」の 62.2%であった。以下主要な要素を挙げると次の通りである。すなわち、3 番目に「安定した仕事に就いている」の 38.1%、4 番目に「趣味や価値観が合う」の 36.1%、5 番目に「必要以上に束縛や干渉をしない」の 22.3%、6 番目に「経済力がある」の 18.2%が入っている。

結婚を決めた当時に女性が重視した要素の中で「安定した仕事に就いている」と「経済力がある」の割合を合計すると 50.8%になる。男性の場合にはこれらの合計は 10.1%であった。女性の場合には男性の場合と異なり、半数の回答者がこれらの二つの要素を重視していることになる。このことはやはり注目すべき傾向であろう。また女性の場合では男性の場合に比べて「好みの容姿・ルックスである」の割合は 20 ポイントも低く、15.1%である。つまり、女性は男性ほど容姿や容貌を結婚の条件として重視していない。このこともまた見逃すことができない傾向であろう。

表 3-6-3 は男性の場合について「結婚した年齢」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これをみると、結婚した年齢によって結婚を決めた当時に重視された要素に若干の相違があることが分かる。たとえば、20-24 歳で結婚した者ではもっとも選択率が高い要素は「一緒にいると楽しい」の 73.3%であった。30-34 歳で結婚した者の間でも「一緒にいると楽しい」は「性格・人柄がよい」と同率の 70.0%でもっとも選択率が高かった。35-39 歳で結婚した者では「趣味や価値観が合う」が 80.0%と選択率が非常に高く、「好みの容姿・ルックスである」も 70%と他の年齢層で結婚した者に比べて突出して高い選択率になっている。35-39 歳で結婚した男性は「性格・人柄がよい」も 90%の選択率であり、性格や価値観に関する内面的な要素と容姿や容貌に関する外面的な要素の両方をともに非常に重視している結果になっている。35-39 歳で結婚した男性は「一緒にいると楽しい」の選択率がやや低く、この点でもまた他の年齢層で結婚した者と違いを示している。

表 3-6-4 は女性の場合について「結婚した年齢」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これをみると、女性の場合には 16-19 歳で結婚した者を除くと、いずれの年齢層でも「性格・人柄がよい」の割合がもっとも大きい。しかし、その他の要素に着目すると、女性の場合にも結婚した年齢によって結婚を決めた当時に重視された要素に若干の相違があることが見出せる。たとえば、20 歳代と 30

歳代で結婚した女性の間ではいずれの年齢層でも「安定した仕事に就いている」と「経済力がある」を合計した割合は50%を超えているが、20-24歳と25-29歳で結婚した者では「安定した仕事に就いている」の割合が大きく、30-34歳と35-39歳で結婚した者では「経済力がある」の割合がやや大きくなっている。これらの年齢層を比較した限りでは、結婚した年齢が高くなるほど男性の経済力に対する期待が大きくなる傾向がある。また35-39歳で結婚した女性の選択した要素をみると、他の年齢層で結婚した女性に比べて「性格・人柄がよい」と「一緒にいると楽しい」の選択率が非常に高く、「趣味や価値観が合う」の割合も50%を超え、「健康である」「経済力がある」「自分の親を気遣ってくれる」の割合も他の年齢層で結婚した者に比べて比較的大きい。要するに35-39歳で結婚した女性はより多くの要素を考慮して結婚を決めていると言える。この年齢層になると女性もしがらみが多くなり、結婚を決めるに当たってもそれだけ多くの要素を考慮しなければならない人が増えるということかもしれない。

表3-6-5は男性の場合について「結婚した年代」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これをみると、結婚した年代によって結婚を決めた当時に重視された要素に若干の相違があることが分かる。しかし、各年代を比較したときには2005年以降に結婚した者は他の年代に結婚した者と異なった様相を示しているが目を引く点である。すなわち、2005年以降に結婚した者では「性格・人柄がよい」と「一緒にいると楽しい」の選択率がいずれも非常に高く、「趣味や価値観が合う」も62.2%と大きな割合を示している。2005年以降に結婚した者は「自分の親を気遣ってくれる」「相手の親が好意的である」「自分の仕事に理解と協力がある」「家事・育児の能力や協力の姿勢がある」も2割から3割と一定程度の割合を占めている点で他の年代で結婚した者と違いを示している。これは、2005年以降に結婚した者の間では相手との内面的な一体感を求める一方で、その他の要素を考慮して結婚を決めた者が多いということであろうか。

表3-6-6は女性の場合について「結婚した年代」と「結婚相手の条件」をクロス集計した結果である。これをみると、女性の場合にはいずれの年代で結婚した者についても「性格・人柄がよい」がもっとも選択率が高くなっている。しかし、各年代を比較したときには男性の場合と同様に2005年以降に結婚した者が他の年代に結婚した者と異なった様相を示していることが注目される。すなわち、2005年以降に結婚した者では「性格・人柄がよい」と「一緒にいると楽しい」の選択率がいずれも非常に高い一方で、「趣味や価値観が合う」「相手に対し自分がプラスになれる」「好みの容姿・ルックスである」「経済力がある」「必要以上に束縛や干渉をしない」「自分の親を気遣ってくれる」「家事・育児の能力や協力姿勢がある」が他の年代で結婚した者に比べて相対的に大きな割合を示している。2005年以降に結婚した女性には男性の場合と同様により多くの要素を考慮した者が多く、その意味で結婚相手に対する要求水準が高かった者が多いと言える。

表3-6-1 「年齢」と「結婚相手の条件」とのクロス（男性）

	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
性格・人柄がよい	3	9	20	26	27	22	107
	100.0%	75.0%	83.3%	74.3%	62.8%	68.8%	71.8%
一緒にいると楽しい	3	9	19	26	29	15	101
	100.0%	75.0%	79.2%	74.3%	67.4%	46.9%	67.8%
趣味や価値観が合う	2	5	9	22	16	10	64
	66.7%	41.7%	37.5%	62.9%	37.2%	31.3%	43.0%
相手に対し自分がプラスになれる	0	2	3	5	9	1	20
	.0%	16.7%	12.5%	14.3%	20.9%	3.1%	13.4%
年齢が若い	0	0	0	2	2	1	5
	.0%	.0%	.0%	5.7%	4.7%	3.1%	3.4%
年齢が離れていない	0	2	3	4	6	5	20
	.0%	16.7%	12.5%	11.4%	14.0%	15.6%	13.4%
好みの容姿・ルックスである	3	3	6	13	16	13	54
	100.0%	25.0%	25.0%	37.1%	37.2%	40.6%	36.2%
健康である	0	1	3	8	10	10	32
	.0%	8.3%	12.5%	22.9%	23.3%	31.3%	21.5%
学歴・教養がある	1	0	2	2	4	0	9
	33.3%	.0%	8.3%	5.7%	9.3%	.0%	6.0%
安定した仕事に就いている	0	1	0	2	6	1	10
	.0%	8.3%	.0%	5.7%	14.0%	3.1%	6.7%
経済力がある	0	1	0	0	4	0	5
	.0%	8.3%	.0%	.0%	9.3%	.0%	3.4%
必要以上に束縛や干渉をしない	1	3	4	8	8	3	27
	33.3%	25.0%	16.7%	22.9%	18.6%	9.4%	18.1%
自分の親の賛成がある	0	2	4	2	4	2	14
	.0%	16.7%	16.7%	5.7%	9.3%	6.3%	9.4%
自分の親を気遣ってくれる	0	2	5	5	6	1	19
	.0%	16.7%	20.8%	14.3%	14.0%	3.1%	12.8%
相手の親が好意的である	0	2	3	3	6	3	17
	.0%	16.7%	12.5%	8.6%	14.0%	9.4%	11.4%
自分の仕事に理解と協力がある	0	4	6	6	8	6	30
	.0%	33.3%	25.0%	17.1%	18.6%	18.8%	20.1%
家事・育児の能力や協力姿勢がある	1	3	2	6	3	2	17
	33.3%	25.0%	8.3%	17.1%	7.0%	6.3%	11.4%
その他	0	0	1	1	2	1	5
	.0%	.0%	4.2%	2.9%	4.7%	3.1%	3.4%
	3	12	24	35	43	32	149

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-6-2 「年齢」と「結婚相手の条件」とのクロス（女性）

	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
性格・人柄がよい	5	24	44	51	55	53	232
	100.0%	82.8%	78.6%	78.5%	75.3%	84.1%	79.7%
一緒にいると楽しい	4	25	36	43	43	30	181
	80.0%	86.2%	64.3%	66.2%	58.9%	47.6%	62.2%
趣味や価値観が合う	1	14	20	23	24	23	105
	20.0%	48.3%	35.7%	35.4%	32.9%	36.5%	36.1%
相手に対し自分がプラスになれる	1	5	6	7	6	1	26
	20.0%	17.2%	10.7%	10.8%	8.2%	1.6%	8.9%
年齢が若い	1	0	1	0	1	1	4
	20.0%	.0%	1.8%	.0%	1.4%	1.6%	1.4%
年齢が離れていない	0	4	5	1	5	5	20
	.0%	13.8%	8.9%	1.5%	6.8%	7.9%	6.9%
好みの容姿・ルックスである	1	3	16	11	9	4	44
	20.0%	10.3%	28.6%	16.9%	12.3%	6.3%	15.1%
健康である	1	1	9	14	13	12	50
	20.0%	3.4%	16.1%	21.5%	17.8%	19.0%	17.2%
学歴・教養がある	1	3	8	6	6	13	37
	20.0%	10.3%	14.3%	9.2%	8.2%	20.6%	12.7%
安定した仕事に就いている	0	9	23	18	38	23	111
	.0%	31.0%	41.1%	27.7%	52.1%	36.5%	38.1%
経済力がある	2	2	12	9	16	12	53
	40.0%	6.9%	21.4%	13.8%	21.9%	19.0%	18.2%
必要以上に束縛や干渉をしない	3	8	17	5	18	14	65
	60.0%	27.6%	30.4%	7.7%	24.7%	22.2%	22.3%
自分の親の賛成がある	2	2	6	9	16	10	45
	40.0%	6.9%	10.7%	13.8%	21.9%	15.9%	15.5%
自分の親を気遣ってくれる	3	6	10	8	12	7	46
	60.0%	20.7%	17.9%	12.3%	16.4%	11.1%	15.8%
相手の親が好意的である	1	4	8	6	10	8	37
	20.0%	13.8%	14.3%	9.2%	13.7%	12.7%	12.7%
自分の仕事に理解と協力がある	0	5	6	11	7	3	32
	.0%	17.2%	10.7%	16.9%	9.6%	4.8%	11.0%
家事・育児の能力や協力姿勢がある	3	9	13	11	9	6	51
	60.0%	31.0%	23.2%	16.9%	12.3%	9.5%	17.5%
その他	0	2	3	7	4	4	20
	.0%	6.9%	5.4%	10.8%	5.5%	6.3%	6.9%
	5	29	56	65	73	63	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-6-3 「結婚した年齢」と「結婚相手の条件」とのクロス（男性）

		結婚した年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		
男性	性格・人柄がよい	19 63.3%	57 74.0%	21 70.0%	9 90.0%	1 50.0%	107 71.8%	
	一緒にいると楽しい	22 73.3%	51 66.2%	21 70.0%	5 50.0%	2 100.0%	101 67.8%	
	趣味や価値観が合う	10 33.3%	30 39.0%	14 46.7%	8 80.0%	2 100.0%	64 43.0%	
	相手に対し自分がプラスになれる	4 13.3%	10 13.0%	5 16.7%	1 10.0%	0 .0%	20 13.4%	
	年齢が若い	0 .0%	4 5.2%	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	5 3.4%	
	年齢が離れていない	4 13.3%	10 13.0%	5 16.7%	1 10.0%	0 .0%	20 13.4%	
	好みの容姿・ルックスである	11 36.7%	28 36.4%	7 23.3%	7 70.0%	1 50.0%	54 36.2%	
	健康である	3 10.0%	17 22.1%	9 30.0%	2 20.0%	1 50.0%	32 21.5%	
	学歴・教養がある	2 6.7%	2 2.6%	3 10.0%	2 20.0%	0 .0%	9 6.0%	
	安定した仕事に就いている	0 .0%	8 10.4%	2 6.7%	0 .0%	0 .0%	10 6.7%	
	経済力がある	0 .0%	4 5.2%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	5 3.4%	
	必要以上に束縛や干渉をしない	4 13.3%	15 19.5%	7 23.3%	1 10.0%	0 .0%	27 18.1%	
	自分の親の賛成がある	3 10.0%	5 6.5%	5 16.7%	1 10.0%	0 .0%	14 9.4%	
	自分の親を気遣ってくれる	2 6.7%	10 13.0%	5 16.7%	2 20.0%	0 .0%	19 12.8%	
	相手の親が好意的である	2 6.7%	10 13.0%	3 10.0%	2 20.0%	0 .0%	17 11.4%	
	自分の仕事に理解と協力がある	6 20.0%	10 13.0%	10 33.3%	4 40.0%	0 .0%	30 20.1%	
	家事・育児の能力や協力姿勢がある	3 10.0%	9 11.7%	4 13.3%	1 10.0%	0 .0%	17 11.4%	
	その他	2 6.7%	2 2.6%	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	5 3.4%	
			30	77	30	10	2	149

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-6-4 「結婚した年齢」と「結婚相手の条件」とのクロス（女性）

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
女性	性格・人柄がよい	2 50.0%	95 79.2%	99 79.2%	22 84.6%	10 90.9%	4 80.0%	232 79.7%
	一緒にいると楽しい	2 50.0%	78 65.0%	78 62.4%	13 50.0%	9 81.8%	1 20.0%	181 62.2%
	趣味や価値観が合う	2 50.0%	40 33.3%	47 37.6%	9 34.6%	6 54.5%	1 20.0%	105 36.1%
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	12 10.0%	9 7.2%	3 11.5%	2 18.2%	0 .0%	26 8.9%
	年齢が若い	0 .0%	3 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	4 1.4%
	年齢が離れていない	1 25.0%	5 4.2%	11 8.8%	1 3.8%	2 18.2%	0 .0%	20 6.9%
	好みの容姿・ルックスである	0 .0%	17 14.2%	22 17.6%	3 11.5%	2 18.2%	0 .0%	44 15.1%
	健康である	0 .0%	22 18.3%	20 16.0%	3 11.5%	4 36.4%	1 20.0%	50 17.2%
	学歴・教養がある	0 .0%	15 12.5%	16 12.8%	4 15.4%	2 18.2%	0 .0%	37 12.7%
	安定した仕事に就いている	0 .0%	51 42.5%	47 37.6%	8 30.8%	3 27.3%	2 40.0%	111 38.1%
	経済力がある	0 .0%	19 15.8%	22 17.6%	7 26.9%	5 45.5%	0 .0%	53 18.2%
	必要以上に束縛や干渉をしない	0 .0%	25 20.8%	29 23.2%	9 34.6%	2 18.2%	0 .0%	65 22.3%
	自分の親の賛成がある	0 .0%	18 15.0%	20 16.0%	5 19.2%	1 9.1%	1 20.0%	45 15.5%
	自分の親を気遣ってくれる	1 25.0%	17 14.2%	19 15.2%	4 15.4%	4 36.4%	1 20.0%	46 15.8%
	相手の親が好意的である	0 .0%	15 12.5%	19 15.2%	1 3.8%	1 9.1%	1 20.0%	37 12.7%
	自分の仕事に理解と協力がある	0 .0%	9 7.5%	17 13.6%	4 15.4%	2 18.2%	0 .0%	32 11.0%
	家事・育児の能力や協力姿勢がある	1 25.0%	17 14.2%	21 16.8%	7 26.9%	2 18.2%	3 60.0%	51 17.5%
	その他	0 .0%	7 5.8%	9 7.2%	1 3.8%	1 9.1%	2 40.0%	20 6.9%
		4	120	125	26	11	5	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-6-5 「結婚した年代」と「結婚相手の条件」とのクロス（男性）

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	性格・人柄がよい	12 85.7%	20 54.1%	19 70.4%	18 69.2%	38 84.4%	107 71.8%
	一緒にいると楽しい	6 42.9%	22 59.5%	18 66.7%	18 69.2%	37 82.2%	101 67.8%
	趣味や価値観が合う	2 14.3%	9 24.3%	14 51.9%	11 42.3%	28 62.2%	64 43.0%
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	2 5.4%	6 22.2%	6 23.1%	6 13.3%	20 13.4%
	年齢が若い	0 .0%	2 5.4%	0 .0%	2 7.7%	1 2.2%	5 3.4%
	年齢が離れていない	1 7.1%	7 18.9%	3 11.1%	5 19.2%	4 8.9%	20 13.4%
	好みの容姿・ルックスである	6 42.9%	10 27.0%	14 51.9%	7 26.9%	17 37.8%	54 36.2%
	健康である	5 35.7%	6 16.2%	6 22.2%	6 23.1%	9 20.0%	32 21.5%
	学歴・教養がある	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.8%	6 13.3%	9 6.0%
	安定した仕事に就いている	0 .0%	3 8.1%	4 14.8%	1 3.8%	2 4.4%	10 6.7%
	経済力がある	0 .0%	1 2.7%	2 7.4%	0 .0%	2 4.4%	5 3.4%
	必要以上に束縛や干渉をしない	1 7.1%	5 13.5%	7 25.9%	5 19.2%	9 20.0%	27 18.1%
	自分の親の賛成がある	2 14.3%	1 2.7%	1 3.7%	2 7.7%	8 17.8%	14 9.4%
	自分の親を気遣ってくれる	0 .0%	4 10.8%	1 3.7%	3 11.5%	11 24.4%	19 12.8%
	相手の親が好意的である	2 14.3%	3 8.1%	2 7.4%	2 7.7%	8 17.8%	17 11.4%
	自分の仕事に理解と協力がある	2 14.3%	5 13.5%	4 14.8%	6 23.1%	13 28.9%	30 20.1%
	家事・育児の能力や協力姿勢がある	1 7.1%	3 8.1%	1 3.7%	3 11.5%	9 20.0%	17 11.4%
	その他	1 7.1%	3 8.1%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	5 3.4%
		14	37	27	26	45	149

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表3-6-6 「結婚した年代」と「結婚相手の条件」とのクロス（女性）

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
女性	性格・人柄がよい	43 82.7%	43 78.2%	38 71.7%	45 76.3%	63 87.5%	232 79.7%
	一緒にいると楽しい	31 59.6%	29 52.7%	31 58.5%	38 64.4%	52 72.2%	181 62.2%
	趣味や価値観が合う	16 30.8%	19 34.5%	24 45.3%	17 28.8%	29 40.3%	105 36.1%
	相手に対し自分がプラスになれる	3 5.8%	2 3.6%	4 7.5%	7 11.9%	10 13.9%	26 8.9%
	年齢が若い	0 .0%	1 1.8%	1 1.9%	1 1.7%	1 1.4%	4 1.4%
	年齢が離れていない	4 7.7%	3 5.5%	3 5.7%	3 5.1%	7 9.7%	20 6.9%
	好みの容姿・ルックスである	4 7.7%	7 12.7%	5 9.4%	14 23.7%	14 19.4%	44 15.1%
	健康である	12 23.1%	9 16.4%	8 15.1%	10 16.9%	11 15.3%	50 17.2%
	学歴・教養がある	9 17.3%	7 12.7%	7 13.2%	5 8.5%	9 12.5%	37 12.7%
	安定した仕事に就いている	23 44.2%	25 45.5%	17 32.1%	18 30.5%	28 38.9%	111 38.1%
	経済力がある	10 19.2%	12 21.8%	10 18.9%	4 6.8%	17 23.6%	53 18.2%
	必要以上に束縛や干渉をしない	10 19.2%	13 23.6%	6 11.3%	14 23.7%	22 30.6%	65 22.3%
	自分の親の賛成がある	8 15.4%	10 18.2%	12 22.6%	6 10.2%	9 12.5%	45 15.5%
	自分の親を気遣ってくれる	9 17.3%	5 9.1%	6 11.3%	11 18.6%	15 20.8%	46 15.8%
	相手の親が好意的である	7 13.5%	6 10.9%	7 13.2%	8 13.6%	9 12.5%	37 12.7%
	自分の仕事に理解と協力がある	3 5.8%	6 10.9%	4 7.5%	7 11.9%	12 16.7%	32 11.0%
	家事・育児の能力や協力姿勢がある	5 9.6%	5 9.1%	5 9.4%	9 15.3%	27 37.5%	51 17.5%
	その他	3 5.8%	4 7.3%	3 5.7%	3 5.1%	7 9.7%	20 6.9%
		52	55	53	59	72	291

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

7. 結婚を決めたときに「これは外せない」と考えた要素

それでは結婚を決めたときに決め手となった要素はどのようなものだろうか。これを探るため、我々は先の質問で選択した要素について「これは外せない」と考えた要素は何かと尋ね、順位付けて3つを選んでもらった。

表 3-7-1 は回答者の「年齢」と「これは外せないと考えた最大の要素」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに「性格・人柄がよい」を選択した者がもっとも多い。2番目に選択率が高い要素も男女共通であり、「一緒にいると楽しい」である。しかし、3番目に選択率が高い要素では男女に相違があり、男性の場合では「趣味や価値観が合う」であるのに対し、女性の場合では「安定した仕事に就いている」であった。

表 3-7-2 は「結婚した年齢」と「これは外せないと考えた最大の要素」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年齢に関係なく「性格・人柄がよい」がもっとも高い選択率を示していることが分かる。ただ結婚した年齢によってその他の要素の順位に若干の相違がある。たとえば、男性の場合では20-24歳で結婚した者では「一緒にいると楽しい」が「性格・人柄がよい」と同率で第1位である。また35-39歳で結婚した者では「趣味や価値観が合う」が第2位になっている。これに対し、2番目に選択率が高い要素は30-34歳で結婚した者を除いて「一緒にいると楽しい」である。30-34歳で結婚した者では「安定した仕事に就いている」が第2位の要素になっている。

表 3-7-3 は「結婚した年代」と「これは外せないと考えた最大の要素」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年代に関係なく「性格・人柄がよい」がもっとも高い選択率を示していることが分かる。すでにみた表 3-7-2 の結果と併せて考えると、「これは外せないと考えた最大の要素」としては、結婚した年齢や年代に関係なく、男女ともに「性格・人柄がよい」がもっとも選択率が高い要素になっている。

表 3-7-4 は「結婚した年代」と「これは外せないと考えた第二の要素」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに「一緒にいると楽しい」がもっとも選択率が高い。結婚した年代別でも男女ともにいずれの年代でも、それはおおむねもっとも選択率が高い要素になっている。

表 3-7-5 は「結婚した年代」と「これは外せないと考えた第三の要素」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、第三の要素については男女ともに拡散した回答になっている。たとえば、男女ともにもっとも選択率が高い要素は「趣味や価値観が合う」であるが、それは男性では12.7%、女性では9.9%の割合にとどまっている。その中で女性の場合には、「安定した仕事に就いている」が8.9%であり、「経済力がある」の3.8%と合計すると12.7%になることが注目される。

表3-7-1 「年齢」と「これは外せないと考えた最大の要素」とのクロス

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	性格・人柄がよい	0 .0%	6 50.0%	17 70.8%	14 40.0%	12 27.3%	18 56.3%	67 44.7%	
	一緒にいると楽しい	1 33.3%	4 33.3%	2 8.3%	8 22.9%	13 29.5%	2 6.3%	30 20.0%	
	趣味や価値観が合う	1 33.3%	1 8.3%	3 12.5%	6 17.1%	3 6.8%	3 9.4%	17 11.3%	
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	年齢が離れていない	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	1 2.3%	1 3.1%	3 2.0%	
	好みの容姿・ルックスである	1 33.3%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	2 4.5%	3 9.4%	7 4.7%	
	健康である	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	1 .7%	
	学歴や教養がある	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%	
	経済力がある	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 4.5%	0 .0%	2 1.3%	
	必要以上に束縛や干渉をしない	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 5.7%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	自分の親の賛成	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%	
	自分の親を気遣ってくれる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	自分の仕事を理解し協力	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.9%	3 6.8%	1 3.1%	5 3.3%	
	家事・育児の能力や協力的な姿勢	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 4.5%	0 .0%	2 1.3%	
	その他	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	1 2.9%	2 4.5%	0 .0%	4 2.7%	
	無回答	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	2 4.5%	3 9.4%	6 4.0%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	女性	性格・人柄がよい	4 80.0%	14 48.3%	21 37.5%	33 50.0%	30 41.1%	40 63.5%	142 48.6%
		一緒にいると楽しい	0 .0%	7 24.1%	11 19.6%	12 18.2%	17 23.3%	6 9.5%	53 18.2%
		趣味や価値観が合う	1 20.0%	2 6.9%	7 12.5%	2 3.0%	2 2.7%	3 4.8%	17 5.8%
相手に対し自分がプラスになれる		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	2 3.0%	1 1.4%	1 1.6%	5 1.7%	
好みの容姿・ルックスである		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	4 1.4%	
健康である		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%	0 .0%	2 .7%	
学歴や教養がある		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%	
安定した仕事に就いている		0 .0%	0 .0%	5 8.9%	3 4.5%	7 9.6%	4 6.3%	19 6.5%	
経済力がある		0 .0%	0 .0%	3 5.4%	2 3.0%	3 4.1%	1 1.6%	9 3.1%	
必要以上に束縛や干渉をしない		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	1 1.5%	4 5.5%	2 3.2%	10 3.4%	
自分の親の賛成		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%	
自分の親を気遣ってくれる		0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
自分の仕事を理解し協力		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	4 6.1%	1 1.4%	0 .0%	6 2.1%	
家事・育児の能力や協力的な姿勢		0 .0%	1 3.4%	0 .0%	1 1.5%	1 1.4%	0 .0%	3 1.0%	
その他		0 .0%	2 6.9%	2 3.6%	4 6.1%	2 2.7%	4 6.3%	14 4.8%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.0%	2 2.7%	0 .0%	4 1.4%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	

表3-7-2 「結婚した年齢」と「これは外せないと考えた最大の要素」とのクロス

		結婚した年齢						合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		
男性	性格・人柄がよい		8 26.7%	37 48.1%	18 58.1%	4 40.0%	0 .0%	67 44.7%	
	一緒にいると楽しい		8 26.7%	18 23.4%	3 9.7%	1 10.0%	0 .0%	30 20.0%	
	趣味や価値観が合う		4 13.3%	6 7.8%	2 6.5%	3 30.0%	2 100.0%	17 11.3%	
	相手に対し自分がプラスになれる		0 .0%	0 .0%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	年齢が離れていない		1 3.3%	1 1.3%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	3 2.0%	
	好みの容姿・ルックスである		1 3.3%	5 6.5%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	7 4.7%	
	健康である		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	学歴や教養がある		1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	経済力がある		0 .0%	2 2.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	必要以上に束縛や干渉をしない		0 .0%	0 .0%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	自分の親の賛成		1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	自分の親を気遣ってくれる		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	自分の仕事を理解し協力		1 3.3%	1 1.3%	2 6.5%	1 10.0%	0 .0%	5 3.3%	
	家事・育児の能力や協力的な姿勢		1 3.3%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	その他		2 6.7%	1 1.3%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%	
	無回答		2 6.7%	3 3.9%	1 3.2%	0 .0%	0 .0%	6 4.0%	
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%	
	女性	性格・人柄がよい	2 50.0%	61 50.8%	58 46.0%	12 46.2%	6 54.5%	3 60.0%	142 48.6%
		一緒にいると楽しい	1 25.0%	24 20.0%	22 17.5%	2 7.7%	3 27.3%	1 20.0%	53 18.2%
		趣味や価値観が合う	0 .0%	3 2.5%	12 9.5%	2 7.7%	0 .0%	0 .0%	17 5.8%
相手に対し自分がプラスになれる		0 .0%	2 1.7%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 1.7%	
好みの容姿・ルックスである		0 .0%	0 .0%	3 2.4%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	4 1.4%	
健康である		0 .0%	1 .8%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
学歴や教養がある		0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
安定した仕事に就いている		0 .0%	10 8.3%	6 4.8%	3 11.5%	0 .0%	0 .0%	19 6.5%	
経済力がある		0 .0%	4 3.3%	4 3.2%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	9 3.1%	
必要以上に束縛や干渉をしない		0 .0%	3 2.5%	4 3.2%	2 7.7%	1 9.1%	0 .0%	10 3.4%	
自分の親の賛成		0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
自分の親を気遣ってくれる		0 .0%	1 .8%	0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
自分の仕事を理解し協力		0 .0%	3 2.5%	2 1.6%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	6 2.1%	
家事・育児の能力や協力的な姿勢		1 25.0%	1 .8%	0 .0%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%	
その他		0 .0%	6 5.0%	6 4.8%	1 3.8%	0 .0%	1 20.0%	14 4.8%	
無回答		0 .0%	1 .8%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 1.4%	
合計		4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%	

表3-7-3 「結婚した年代」と「これは外せないと考えた最大の要素」とのクロス

		結婚した年代					合計	
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降		
男性	性格・人柄がよい	8 57.1%	12 32.4%	10 37.0%	14 51.9%	23 51.1%	67 44.7%	
	一緒にいると楽しい	0 .0%	11 29.7%	7 25.9%	4 14.8%	8 17.8%	30 20.0%	
	趣味や価値観が合う	1 7.1%	1 2.7%	4 14.8%	3 11.1%	8 17.8%	17 11.3%	
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	1 .7%	
	年齢が離れていない	0 .0%	2 5.4%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%	
	好みの容姿・ルックスである	1 7.1%	2 5.4%	1 3.7%	1 3.7%	2 4.4%	7 4.7%	
	健康である	1 7.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	学歴や教養がある	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	経済力がある	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	必要以上に束縛や干渉をしない	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 7.4%	0 .0%	2 1.3%	
	自分の親の賛成	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	自分の親を気遣ってくれる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	1 .7%	
	自分の仕事を理解し協力	1 7.1%	0 .0%	2 7.4%	0 .0%	2 4.4%	5 3.3%	
	家事・育児の能力や協力的な姿勢	0 .0%	2 5.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	その他	0 .0%	3 8.1%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	4 2.7%	
	無回答	2 14.3%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.7%	1 2.2%	6 4.0%	
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%	
	女性	性格・人柄がよい	30 57.7%	27 49.1%	25 47.2%	23 38.3%	37 51.4%	142 48.6%
		一緒にいると楽しい	9 17.3%	8 14.5%	9 17.0%	16 26.7%	11 15.3%	53 18.2%
		趣味や価値観が合う	1 1.9%	3 5.5%	2 3.8%	4 6.7%	7 9.7%	17 5.8%
相手に対し自分がプラスになれる		2 3.8%	0 .0%	1 1.9%	2 3.3%	0 .0%	5 1.7%	
好みの容姿・ルックスである		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	3 4.2%	4 1.4%	
健康である		1 1.9%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
学歴や教養がある		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
安定した仕事に就いている		5 9.6%	3 5.5%	4 7.5%	3 5.0%	4 5.6%	19 6.5%	
経済力がある		0 .0%	2 3.6%	4 7.5%	2 3.3%	1 1.4%	9 3.1%	
必要以上に束縛や干渉をしない		1 1.9%	2 3.6%	2 3.8%	2 3.3%	3 4.2%	10 3.4%	
自分の親の賛成		1 1.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
自分の親を気遣ってくれる		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	1 1.4%	2 .7%	
自分の仕事を理解し協力		0 .0%	1 1.8%	2 3.8%	2 3.3%	1 1.4%	6 2.1%	
家事・育児の能力や協力的な姿勢		0 .0%	1 1.8%	1 1.9%	1 1.7%	0 .0%	3 1.0%	
その他		2 3.8%	3 5.5%	2 3.8%	3 5.0%	4 5.6%	14 4.8%	
無回答		0 .0%	2 3.6%	1 1.9%	1 1.7%	0 .0%	4 1.4%	
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%	

表3-7-4 「結婚した年代」と「これは外せないと考えた第二の要素」とのクロス

		結婚した年代					合計	
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降		
男性	性格・人柄がよい	2 14.3%	8 21.6%	2 7.4%	2 7.4%	9 20.0%	23 15.3%	
	一緒にいると楽しい	6 42.9%	7 18.9%	8 29.6%	10 37.0%	15 33.3%	46 30.7%	
	趣味や価値観が合う	0 .0%	5 13.5%	4 14.8%	3 11.1%	9 20.0%	21 14.0%	
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	1 3.7%	1 2.2%	3 2.0%	
	年齢が離れていない	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	好みの容姿・ルックスである	1 7.1%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	2 1.3%	
	健康である	1 7.1%	4 10.8%	6 22.2%	1 3.7%	1 2.2%	13 8.7%	
	経済力がある	1 7.1%	2 5.4%	1 3.7%	2 7.4%	1 2.2%	7 4.7%	
	必要以上に束縛や干渉をしない	0 .0%	2 5.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%	
	自分の親の賛成	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	自分の親を気遣ってくれる	0 .0%	1 2.7%	2 7.4%	1 3.7%	1 2.2%	5 3.3%	
	相手の親が好意的である	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 1.3%	
	自分の仕事を理解し協力	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	2 7.4%	2 4.4%	5 3.3%	
	家事・育児の能力や協力的な姿勢	0 .0%	3 8.1%	0 .0%	1 3.7%	1 2.2%	5 3.3%	
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	2 4.4%	3 2.0%	
	無回答	3 21.4%	2 5.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 4.4%	11 7.3%	
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%	
	女性	性格・人柄がよい	9 17.3%	6 10.9%	7 13.2%	8 13.3%	6 8.3%	36 12.3%
		一緒にいると楽しい	14 26.9%	9 16.4%	11 20.8%	11 18.3%	24 33.3%	69 23.6%
		趣味や価値観が合う	2 3.8%	6 10.9%	8 15.1%	8 13.3%	10 13.9%	34 11.6%
相手に対し自分がプラスになれる		1 1.9%	2 3.6%	0 .0%	2 3.3%	0 .0%	5 1.7%	
年齢が離れていない		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	1 1.7%	0 .0%	2 .7%	
好みの容姿・ルックスである		1 1.9%	1 1.8%	1 1.9%	3 5.0%	1 1.4%	7 2.4%	
健康である		3 5.8%	3 5.5%	3 5.7%	2 3.3%	2 2.8%	13 4.5%	
学歴や教養がある		0 .0%	0 .0%	1 1.9%	1 1.7%	1 1.4%	3 1.0%	
安定した仕事に就いている		10 19.2%	10 18.2%	5 9.4%	9 15.0%	5 6.9%	39 13.4%	
経済力がある		3 5.8%	2 3.6%	2 3.8%	0 .0%	3 4.2%	10 3.4%	
必要以上に束縛や干渉をしない		2 3.8%	3 5.5%	1 1.9%	3 5.0%	1 1.4%	10 3.4%	
自分の親の賛成		1 1.9%	1 1.8%	2 3.8%	2 3.3%	1 1.4%	7 2.4%	
自分の親を気遣ってくれる		1 1.9%	0 .0%	1 1.9%	2 3.3%	3 4.2%	7 2.4%	
相手の親が好意的である		1 1.9%	0 .0%	2 3.8%	1 1.7%	0 .0%	4 1.4%	
自分の仕事を理解し協力		0 .0%	1 1.8%	1 1.9%	2 3.3%	3 4.2%	7 2.4%	
家事・育児の能力や協力的な姿勢		1 1.9%	1 1.8%	1 1.9%	0 .0%	5 6.9%	8 2.7%	
その他		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	3 4.2%	4 1.4%	
無回答		3 5.8%	9 16.4%	6 11.3%	5 8.3%	4 5.6%	27 9.2%	
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%	

表3-7-5 「結婚した年代」と「これは外せないと考えた第三の要素」とのクロス

		結婚した年代					合計	
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降		
男性	性格・人柄がよい	1 7.1%	0 .0%	8 29.6%	2 7.4%	4 8.9%	15 10.0%	
	一緒にいると楽しい	1 7.1%	3 8.1%	3 11.1%	4 14.8%	6 13.3%	17 11.3%	
	趣味や価値観が合う	0 .0%	5 13.5%	2 7.4%	4 14.8%	8 17.8%	19 12.7%	
	相手に対し自分がプラスになれる	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.7%	1 2.2%	4 2.7%	
	年齢が若い	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	年齢が離れていない	1 7.1%	4 10.8%	0 .0%	2 7.4%	1 2.2%	8 5.3%	
	好みの容姿・ルックスである	3 21.4%	3 8.1%	2 7.4%	3 11.1%	2 4.4%	13 8.7%	
	健康である	2 14.3%	1 2.7%	2 7.4%	2 7.4%	2 4.4%	9 6.0%	
	経済力がある	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 2.2%	1 .7%	
	必要以上に束縛や干渉をしない	0 0%	0 0%	2 7.4%	0 0%	0 0%	2 1.3%	
	自分の親の賛成	0 .0%	2 5.4%	1 3.7%	1 3.7%	2 4.4%	6 4.0%	
	自分の親を気遣ってくれる	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 7.4%	1 2.2%	3 2.0%	
	相手の親が好意的である	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	1 3.7%	3 6.7%	6 4.0%	
	自分の仕事を理解し協力	0 0%	1 2.7%	0 0%	0 0%	0 0%	1 .7%	
	家事・育児の能力や協力的な姿勢	1 7.1%	2 5.4%	1 3.7%	1 3.7%	5 11.1%	10 6.7%	
	その他	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	1 3.7%	1 2.2%	3 2.0%	
	無回答	5 35.7%	12 32.4%	4 14.8%	3 11.1%	8 17.8%	32 21.3%	
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%	
	女性	性格・人柄がよい	3 5.8%	3 5.5%	4 7.5%	7 11.7%	8 11.1%	25 8.6%
		一緒にいると楽しい	5 9.6%	5 9.1%	7 13.2%	5 8.3%	5 6.9%	27 9.2%
趣味や価値観が合う		9 17.3%	6 10.9%	4 7.5%	5 8.3%	5 6.9%	29 9.9%	
相手に対し自分がプラスになれる		0 .0%	0 .0%	2 3.8%	1 1.7%	2 2.8%	5 1.7%	
年齢が若い		0 0%	1 1.8%	0 0%	0 0%	0 0%	1 .3%	
年齢が離れていない		2 3.8%	0 0%	1 1.9%	1 1.7%	1 1.4%	5 1.7%	
好みの容姿・ルックスである		0 .0%	1 1.8%	1 1.9%	2 3.3%	1 1.4%	5 1.7%	
健康である		0 .0%	2 3.6%	0 0%	5 8.3%	2 2.8%	9 3.1%	
学歴や教養がある		3 5.8%	1 1.8%	3 5.7%	0 .0%	3 4.2%	10 3.4%	
安定した仕事に就いている		5 9.6%	7 12.7%	5 9.4%	0 .0%	9 12.5%	26 8.9%	
経済力がある		2 3.8%	2 3.6%	2 3.8%	0 .0%	5 6.9%	11 3.8%	
必要以上に束縛や干渉をしない		2 3.8%	2 3.6%	1 1.9%	6 10.0%	6 8.3%	17 5.8%	
自分の親の賛成		2 3.8%	2 3.6%	4 7.5%	1 1.7%	0 .0%	9 3.1%	
自分の親を気遣ってくれる		4 7.7%	2 3.6%	2 3.8%	4 6.7%	3 4.2%	15 5.1%	
相手の親が好意的である		1 1.9%	1 1.8%	4 7.5%	2 3.3%	1 1.4%	9 3.1%	
自分の仕事を理解し協力		2 3.8%	1 1.8%	0 0%	2 3.3%	3 4.2%	8 2.7%	
家事・育児の能力や協力的な姿勢		2 3.8%	1 1.8%	0 0%	5 8.3%	9 12.5%	17 5.8%	
その他		1 1.9%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 .3%	
無回答		9 17.3%	18 32.7%	13 24.5%	14 23.3%	9 12.5%	63 21.6%	
合計		52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%	

8. 「性格や人柄がよい」と答えた者がその中身として具体的に考える要素

以上で明らかになったように、結婚を決めたときに重視した要素としてもっとも選択率が高い要素は男女ともに「性格・人柄がよい」であり、これは外せないと考えた最大の要素でもまた「性格・人柄がよい」がもっとも割合の大きな要素になっている。しかし、これは当然の結果であろう。結婚とは男女が相互に相手を信頼して結ぶ特別の関係であるから、相手の「性格・人柄がよい」ことは不可欠の要素だと考えてよいからである。だが、「性格・人柄がよい」はかなり漠然とした言葉である。それはより具体的にはどのような性格や態度を指すのであろうか。このような問題はその他の類似の調査研究でも調べられていない。そこで、我々はこれを探る質問を調査票に設定した。すなわち、結婚相手の条件として「性格・人柄がよい」を選択した人に対してそれは具体的にはどのようなものかと尋ね、相手に感じた魅力を順位付けて3つ選んでもらった。

表 3-8-1 は「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた人が結婚相手に感じた最大の要素を性別・年齢別に集計した結果である。これによると、男女ともにその回答はやや拡散的であり、40%を超える選択率の要素は見当たらなかった。その中で選択率が10%を超えた要素を割合の大きなものから順に列挙すると、男性の場合には、①「正直である」(27.3%)、②「よく気が利く」(13.0%)、③「まじめである」(12.0%)、④「かわいげがある」(11.2%)、④「愛きょうがある」(11.2%)となった。女性の場合には、①「まじめである」(34.2%)、②「心が広く大きい」(20.9%)、③「正直である」(13.2%)が10%を超える選択率の要素であった。これらの結果をまとめれば、「性格・人柄がよい」という言葉の中身としては、次のようなものになるのかもしれない。すなわち、まず共通の要素として男女ともに相手に対して正直さとまじめさを求め、その上で男性は気遣いや可愛さを望み、女性は優しきや包容力を期待していることである。

表 3-8-2 は「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた人が結婚相手に感じた最大の要素を性別・結婚した年齢別に集計した結果である。これをみると、男性の場合では結婚した年齢に関係なく、どの年齢層でも「正直である」がもっとも大きな割合を示している。女性の場合では、35-39歳と40-44歳で結婚したものを除いてどの年齢層でも「まじめである」がもっとも大きな割合を示している。女性の場合には35-39歳で結婚した者では「心が広く大きい」が第1位であり、40-44歳では「正直である」がもっとも大きな割合の要素である。

表 3-8-3 は「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた人が結婚相手に感じた最大の要素を性別・結婚した年代別に集計した結果である。これをみると、結婚した年代によって選択率の高い要素には若干の相違がある。たとえば、男性全体でもっとも選択率が高い「正直である」は1990-1994年に結婚した者と2005年以降に結婚した者の間では第1位にランクされる要素であるが、その他の結婚年代では第2位の要素になっている。これに対し、女性の場合にはどの結婚年代でも「まじめである」はもっとも大きな割合を示している。

表 3-8-4 は「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた人が結婚相手に感じた第二の要素を性別・結婚した年代別に集計した結果である。これをみると、男女ともにその回答は拡散的であり、20%を超える選択率の要素は一つもみられなかった。その中で主要な要素を列挙すると、男性の場合では、①「まじめである」(16.7%)、②「かわいげがある」(12.0%)、③「愛きょうがある」(11.1%)、④「よく気が利く」(10.2%)、⑤「正直である」(8.3%)であった。年代別では大きな相違はないが、2005年以降に

結婚した者では上位の3要素の割合が半数近く（47.5%）を占めるようになっている。女性の場合では主要な要素は、①「心が広く大きい」（13.2%）、②「まじめである」（11.1%）、③「正直である」（9.8%）、④責任感がある（8.1%）、⑤「行動力がある」（7.7%）であった。

表 3-8-5 は性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた人が結婚相手に感じた第三の要素を性別・結婚した年代別に集計した結果である。これをみると、男女ともにその回答はいっそう拡散的になっている。とくに女性の場合には、選択率が10%を超えた要素は一つだけであった。その中で主要な要素を列挙すると、男性の場合には、①「よく気が利く」（12.1%）、②「かわいげがある」（11.2%）、③「素直である」（10.3%）、④「責任感が強い」（8.4%）、⑤「礼儀正しい」（8.4%）であった。女性の場合では、主要な要素は、①「10.8%」、②「正直である」（6.9%）、②「まじめである」（6.9%）、②「めったにおこらない」（6.9%）、⑤「かしこさがある」（6.5%）であった。

表3-8-1 「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた者が結婚相手に感じた最大の要素

	年齢						合計		
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49			
男性	正直である	0 .0%	4 44.4%	3 15.0%	8 32.0%	6 23.1%	9 36.0%	30 27.8%	
	まじめである	0 .0%	0 .0%	3 15.0%	4 16.0%	5 19.2%	1 4.0%	13 12.0%	
	よく気が利く	1 33.3%	2 22.2%	2 10.0%	4 16.0%	3 11.5%	2 8.0%	14 13.0%	
	かしこさがある	0 .0%	0 .0%	2 10.0%	1 4.0%	1 3.8%	0 .0%	4 3.7%	
	かわいげがある	1 33.3%	0 .0%	5 25.0%	1 4.0%	4 15.4%	1 4.0%	12 11.1%	
	心が広く大きい	0 .0%	1 11.1%	1 5.0%	1 4.0%	1 3.8%	3 12.0%	7 6.5%	
	愛きょうがある	0 .0%	1 11.1%	1 5.0%	3 12.0%	3 11.5%	4 16.0%	12 11.1%	
	素直である	1 33.3%	0 .0%	1 5.0%	2 8.0%	2 7.7%	1 4.0%	7 6.5%	
	まめである	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.8%	1 4.0%	2 1.9%	
	細事にこだわらない	0 .0%	0 .0%	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	1 4.0%	2 1.9%	
	面倒見がよい	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	サービス精神がある	0 .0%	0 .0%	1 5.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	責任感が強い	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	行動力がある	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.0%	1 .9%	
	礼儀正しい	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 4.0%	1 .9%	
	合計	3 100.0%	9 100.0%	20 100.0%	25 100.0%	26 100.0%	25 100.0%	108 100.0%	
	女性	正直である	1 20.0%	3 12.5%	5 11.1%	7 13.5%	8 14.5%	7 13.2%	31 13.2%
		まじめである	2 40.0%	8 33.3%	12 26.7%	17 32.7%	22 40.0%	19 35.8%	80 34.2%
		よく気が利く	0 .0%	2 8.3%	3 6.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 2.1%
		かしこさがある	0 .0%	0 .0%	2 4.4%	2 3.8%	0 .0%	0 .0%	4 1.7%
かわいげがある		0 .0%	3 12.5%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	4 1.7%	
心が広く大きい		0 .0%	5 20.8%	7 15.6%	14 26.9%	14 25.5%	9 17.0%	49 20.9%	
愛きょうがある		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 3.8%	1 1.8%	2 3.8%	6 2.6%	
素直である		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	1 1.9%	0 .0%	3 5.7%	5 2.1%	
まめである		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.9%	0 .0%	2 3.8%	3 1.3%	
めったに怒らない		1 20.0%	0 .0%	4 8.9%	2 3.8%	1 1.8%	3 5.7%	11 4.7%	
細事にこだわらない		0 .0%	0 .0%	2 4.4%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	3 1.3%	
人の話をよく聞く		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.9%	1 1.8%	1 1.9%	3 1.3%	
面倒見がよい		0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .4%	
責任感が強い		1 20.0%	1 4.2%	3 6.7%	1 1.9%	4 7.3%	3 5.7%	13 5.6%	
行動力がある		0 .0%	1 4.2%	0 .0%	4 7.7%	1 1.8%	3 5.7%	9 3.8%	
礼儀正しい		0 .0%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	2 .9%	
無回答		0 .0%	0 .0%	4 8.9%	0 .0%	0 .0%	1 1.9%	5 2.1%	
合計		5 100.0%	24 100.0%	45 100.0%	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	234 100.0%	

表3-8-2「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた者が結婚相手に感じた最大の要素

		結婚した年齢						合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		
男性	正直である		5 26.3%	12 21.4%	7 31.8%	5 50.0%	1 100.0%	30 27.8%	
	まじめである		3 15.8%	6 10.7%	3 13.6%	1 10.0%	0 .0%	13 12.0%	
	よく気が利く		4 21.1%	6 10.7%	4 18.2%	0 .0%	0 .0%	14 13.0%	
	かしこさがある		0 .0%	2 3.6%	1 4.5%	1 10.0%	0 .0%	4 3.7%	
	かわいげがある		2 10.5%	9 16.1%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	12 11.1%	
	心が広く大きい		1 5.3%	3 5.4%	2 9.1%	1 10.0%	0 .0%	7 6.5%	
	愛きょうがある		1 5.3%	8 14.3%	3 13.6%	0 .0%	0 .0%	12 11.1%	
	素直である		2 10.5%	5 8.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	7 6.5%	
	まめである		1 5.3%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.9%	
	細事にこだわらない		0 .0%	1 1.8%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	2 1.9%	
	面倒見がよい		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	サービス精神がある		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	責任感が強い		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	1 .9%	
	行動力がある		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	1 .9%	
	礼儀正しい		0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	合計		19 100.0%	56 100.0%	22 100.0%	10 100.0%	1 100.0%	108 100.0%	
	女性	正直である	0 .0%	15 15.5%	11 11.0%	2 9.5%	1 10.0%	2 50.0%	31 13.2%
		まじめである	1 50.0%	40 41.2%	26 26.0%	9 42.9%	4 40.0%	0 .0%	80 34.2%
		よく気が利く	0 .0%	1 1.0%	4 4.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 2.1%
かしこさがある		0 .0%	2 2.1%	2 2.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 1.7%	
かわいげがある		0 .0%	2 2.1%	2 2.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 1.7%	
心が広く大きい		0 .0%	18 18.6%	23 23.0%	2 9.5%	5 50.0%	1 25.0%	49 20.9%	
愛きょうがある		0 .0%	2 2.1%	2 2.0%	2 9.5%	0 .0%	0 .0%	6 2.6%	
素直である		0 .0%	1 1.0%	4 4.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 2.1%	
まめである		1 50.0%	0 .0%	1 1.0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	3 1.3%	
めったに怒らない		0 .0%	3 3.1%	7 7.0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	11 4.7%	
細事にこだわらない		0 .0%	0 .0%	2 2.0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	3 1.3%	
人の話をよく聞く		0 .0%	2 2.1%	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	3 1.3%	
面倒見がよい		0 .0%	1 1.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .4%	
責任感が強い		0 .0%	6 6.2%	6 6.0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	13 5.6%	
行動力がある		0 .0%	3 3.1%	4 4.0%	2 9.5%	0 .0%	0 .0%	9 3.8%	
礼儀正しい		0 .0%	1 1.0%	1 1.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .9%	
無回答		0 .0%	0 .0%	5 5.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 2.1%	
合計		2 100.0%	97 100.0%	100 100.0%	21 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	234 100.0%	

表3-8-3 「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた者が結婚相手に感じた最大の要素

	結婚した年代					合計		
	1989年以	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以			
男性	正直である	2 16.7%	9 42.9%	4 21.1%	3 16.7%	12 31.6%	30 27.8%	
	まじめである	2 16.7%	0 .0%	6 31.6%	2 11.1%	3 7.9%	13 12.0%	
	よく気が利く	0 .0%	4 19.0%	2 10.5%	3 16.7%	5 13.2%	14 13.0%	
	かしこさがある	0 .0%	0 .0%	1 5.3%	0 .0%	3 7.9%	4 3.7%	
	かわいげがある	0 .0%	2 9.5%	2 10.5%	4 22.2%	4 10.5%	12 11.1%	
	心が広く大きい	1 8.3%	1 4.8%	1 5.3%	0 .0%	4 10.5%	7 6.5%	
	愛きょうがある	3 25.0%	2 9.5%	2 10.5%	3 16.7%	2 5.3%	12 11.1%	
	素直である	1 8.3%	2 9.5%	0 .0%	2 11.1%	2 5.3%	7 6.5%	
	まめである	1 8.3%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.9%	
	細事にこだわらない	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.6%	2 1.9%	
	面倒見がよい	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.6%	1 .9%	
	サービス精神がある	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	1 .9%	
	責任感が強い	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.6%	1 .9%	
	行動力がある	0 .0%	0 .0%	1 5.3%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	礼儀正しい	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%	
	合計	12 100.0%	21 100.0%	19 100.0%	18 100.0%	38 100.0%	108 100.0%	
	女性	正直である	6 13.6%	5 11.6%	4 10.5%	7 15.2%	9 14.3%	31 13.2%
		まじめである	18 40.9%	14 32.6%	18 47.4%	10 21.7%	20 31.7%	80 34.2%
		よく気が利く	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 4.3%	3 4.8%	5 2.1%
		かしこさがある	0 .0%	0 .0%	2 5.3%	1 2.2%	1 1.6%	4 1.7%
かわいげがある		1 2.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 4.8%	4 1.7%	
心が広く大きい		7 15.9%	13 30.2%	7 18.4%	8 17.4%	14 22.2%	49 20.9%	
愛きょうがある		1 2.3%	0 .0%	3 7.9%	1 2.2%	1 1.6%	6 2.6%	
素直である		2 4.5%	1 2.3%	1 2.6%	1 2.2%	0 .0%	5 2.1%	
まめである		1 2.3%	1 2.3%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	3 1.3%	
めったに怒らない		1 2.3%	2 4.7%	1 2.6%	5 10.9%	2 3.2%	11 4.7%	
細事にこだわらない		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	2 3.2%	3 1.3%	
人の話をよく聞く		1 2.3%	0 .0%	1 2.6%	1 2.2%	0 .0%	3 1.3%	
面倒見がよい		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	1 .4%	
責任感が強い		3 6.8%	4 9.3%	0 .0%	3 6.5%	3 4.8%	13 5.6%	
行動力がある		2 4.5%	2 4.7%	1 2.6%	1 2.2%	3 4.8%	9 3.8%	
礼儀正しい		0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	2 .9%	
無回答		1 2.3%	0 .0%	0 .0%	3 6.5%	1 1.6%	5 2.1%	
合計		44 100.0%	43 100.0%	38 100.0%	46 100.0%	63 100.0%	234 100.0%	

表3-8-4 「性格・人柄がよい」を重視して結婚を決めた者が結婚相手に感じた第二の要素

	結婚した年代					合計	
	89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降		
男性	正直である	2 16.7%	1 4.8%	2 10.5%	2 11.1%	2 5.3%	9 8.3%
	まじめである	2 16.7%	3 14.3%	2 10.5%	3 16.7%	8 21.1%	18 16.7%
	よく気が利く	2 16.7%	1 4.8%	3 15.8%	0 .0%	5 13.2%	11 10.2%
	かしこさがある	0 .0%	2 9.5%	0 .0%	0 .0%	3 7.9%	5 4.6%
	かわいげがある	1 8.3%	2 9.5%	2 10.5%	3 16.7%	5 13.2%	13 12.0%
	心が広く大きい	0 .0%	2 9.5%	2 10.5%	1 5.6%	1 2.6%	6 5.6%
	愛きょうがある	2 16.7%	2 9.5%	0 .0%	5 27.8%	3 7.9%	12 11.1%
	素直である	0 .0%	1 4.8%	2 10.5%	1 5.6%	3 7.9%	7 6.5%
	控えめである	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .9%
	めったに怒らない	1 8.3%	0 .0%	1 5.3%	0 .0%	0 .0%	2 1.9%
	細事にこだわらない	0 .0%	2 9.5%	2 10.5%	1 5.6%	1 2.6%	6 5.6%
	人の話をよく聞く	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	2 1.9%
	面倒見がよい	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.6%	2 1.9%
	サービス精神がある	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	1 2.6%	2 1.9%
	責任感が強い	0 .0%	1 4.8%	1 5.3%	0 .0%	1 2.6%	3 2.8%
	行動力がある	1 8.3%	0 .0%	1 5.3%	0 .0%	3 7.9%	5 4.6%
	礼儀正しい	0 .0%	1 4.8%	1 5.3%	0 .0%	1 2.6%	3 2.8%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	1 .9%
	合計	12 100.0%	21 100.0%	19 100.0%	18 100.0%	38 100.0%	108 100.0%
	女性	正直である	9 20.5%	5 11.6%	2 5.3%	4 8.7%	3 4.8%
まじめである		6 13.6%	7 16.3%	3 7.9%	5 10.9%	5 7.9%	26 11.1%
よく気が利く		2 4.5%	2 4.7%	2 5.3%	3 6.5%	1 1.6%	10 4.3%
かしこさがある		2 4.5%	3 7.0%	4 10.5%	4 8.7%	4 6.3%	17 7.3%
かわいげがある		0 .0%	2 4.7%	0 .0%	0 .0%	3 4.8%	5 2.1%
心が広く大きい		7 15.9%	3 7.0%	4 10.5%	5 10.9%	12 19.0%	31 13.2%
愛きょうがある		2 4.5%	1 2.3%	0 .0%	0 .0%	3 4.8%	6 2.6%
素直である		0 .0%	1 2.3%	5 13.2%	1 2.2%	2 3.2%	9 3.8%
控えめである		0 .0%	1 2.3%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	2 .9%
まめである		4 9.1%	1 2.3%	1 2.6%	0 .0%	3 4.8%	9 3.8%
めったに怒らない		1 2.3%	3 7.0%	2 5.3%	5 10.9%	6 9.5%	17 7.3%
細事にこだわらない		2 4.5%	3 7.0%	5 13.2%	1 2.2%	3 4.8%	14 6.0%
人の話をよく聞く		1 2.3%	1 2.3%	1 2.6%	2 4.3%	0 .0%	5 2.1%
面倒見がよい		0 .0%	0 .0%	1 2.6%	1 2.2%	4 6.3%	6 2.6%
サービス精神がある		1 2.3%	0 .0%	0 .0%	2 4.3%	2 3.2%	5 2.1%
責任感が強い		2 4.5%	2 4.7%	4 10.5%	6 13.0%	5 7.9%	19 8.1%
行動力がある		4 9.1%	5 11.6%	3 7.9%	3 6.5%	3 4.8%	18 7.7%
礼儀正しい		0 .0%	3 7.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 1.3%
無回答		1 2.3%	0 .0%	1 2.6%	4 8.7%	3 4.8%	9 3.8%
合計		44 100.0%	43 100.0%	38 100.0%	46 100.0%	63 100.0%	234 100.0%

9. 結婚を決めたときに結婚相手に短所や欠点はあったか

人は誰でも通常、短所や欠点をもっている。完全無欠な人間はほとんどいないだろう。それでは結婚相手の短所や欠点を結婚した人はどのように考えていたのであろうか。配偶者選択の過程、とくに結婚の決断の過程はこのような観点からも検討できると我々は考える。そのような考えに基づいて我々はまず、結婚を決めたときに結婚相手に短所や欠点があったかどうかを尋ねた。

表3-9-1は回答を性別・年齢別に集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚相手に短所や欠点が「なかった」と回答した者は少なく、それぞれ1割以下である。興味深いのは男女ともに4分の1が「そのときにはなかった」と回答していることである。これは結婚後に結婚相手の短所や欠点に気づいたということであろう。しかし、ここで注目すべきことはやはり、男女ともに3分の2前後の者が結婚相手には短所や欠点が「あった」と回答したことである。言い換えれば、男女ともに大半の者が結婚を決めたときに結婚相手の短所や欠点に気がついていたことを調査の結果は示している。年齢別にみると、男性の場合では年齢が高くなるほど「あった」と回答した者は少なくなる傾向がある。女性の場合では35-39歳で「あった」はやや少なく、その代わりに「そのときはないと思った」がやや多くなっている。

表3-9-1 「年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	あった	3 100.0%	12 100.0%	17 70.8%	21 60.0%	25 56.8%	19 59.4%	97 64.7%
	なかった	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	2 5.7%	4 9.1%	6 18.8%	14 9.3%
	そのときはない と思った	0 .0%	0 .0%	5 20.8%	12 34.3%	14 31.8%	6 18.8%	37 24.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	2 1.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	あった	2 40.0%	23 79.3%	39 69.6%	34 51.5%	58 79.5%	47 74.6%	203 69.5%
	なかった	1 20.0%	2 6.9%	5 8.9%	8 12.1%	1 1.4%	3 4.8%	20 6.8%
	そのときはない と思った	2 40.0%	4 13.8%	11 19.6%	24 36.4%	14 19.2%	13 20.6%	68 23.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表 3-9-2 は同じ回答を性別・結婚した年齢別に集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年齢が高くなると「なかった」と回答した者がやや多くなる。とくに男女ともに 35-39 歳で結婚した者では「なかった」と回答した者が 2 割程度と、他の年齢で結婚した者に比べて比較的大きな割合を示している。

表3-9-2 「結婚した年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	あった		23 76.7%	45 58.4%	22 71.0%	6 60.0%	1 50.0%	97 64.7%
	なかった		2 6.7%	8 10.4%	1 3.2%	2 20.0%	1 50.0%	14 9.3%
	そのときはない と思った		4 13.3%	23 29.9%	8 25.8%	2 20.0%	0 .0%	37 24.7%
	無回答		1 3.3%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	あった	2 50.0%	80 66.7%	89 70.6%	19 73.1%	8 72.7%	5 100.0%	203 69.5%
	なかった	0 .0%	7 5.8%	10 7.9%	1 3.8%	2 18.2%	0 .0%	20 6.8%
	そのときはない と思った	2 50.0%	33 27.5%	26 20.6%	6 23.1%	1 9.1%	0 .0%	68 23.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表 3-9-3 は同じ回答を性別・結婚した年代別に集計した結果である。これによると、2005 年以降に結婚した者では男女ともに「あった」と回答した者がやや多く、8 割に近い割合である。

表3-9-3 「結婚した年代」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	あった	10	23	13	16	35	97
		71.4%	62.2%	48.1%	59.3%	77.8%	64.7%
	なかった	1	5	3	1	4	14
		7.1%	13.5%	11.1%	3.7%	8.9%	9.3%
	そのときはない と思った	2	9	10	10	6	37
14.3%		24.3%	37.0%	37.0%	13.3%	24.7%	
無回答	1	0	1	0	0	2	
	7.1%	.0%	3.7%	.0%	.0%	1.3%	
合計	14	37	27	27	45	150	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	あった	39	38	30	41	55	203
		75.0%	69.1%	56.6%	68.3%	76.4%	69.5%
	なかった	1	3	5	3	8	20
		1.9%	5.5%	9.4%	5.0%	11.1%	6.8%
	そのときはない と思った	12	14	18	15	9	68
23.1%		25.5%	34.0%	25.0%	12.5%	23.3%	
無回答	0	0	0	1	0	1	
	.0%	.0%	.0%	1.7%	.0%	.3%	
合計	52	55	53	60	72	292	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 3-9-4 は「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに「いずれ結婚するつもり」であった者では「あった」と回答した者がより大きな割合を示している。しかし、「一生結婚するつもりはない」と考えていた者では「なかった」と回答した者が多いわけではない。彼らの間では「そのときはないと思った」が比較的多い。つまり、結婚を決めたときには気づかなかったが、結婚後に結婚相手の短所や欠点に気づいた者が比較的多いということである。

表3-9-4 「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」とのクロス

		結婚の意欲		合計
		いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	
男性	あった	92	5	97
		66.7%	41.7%	64.7%
	なかった	13	1	14
		9.4%	8.3%	9.3%
	そのときはない と思った	32	5	37
		23.2%	41.7%	24.7%
無回答	1	1	2	
	.7%	8.3%	1.3%	
合計		138	12	150
		100.0%	100.0%	100.0%
女性	あった	186	17	203
		70.5%	60.7%	69.5%
	なかった	16	4	20
		6.1%	14.3%	6.8%
	そのときはない と思った	61	7	68
		23.1%	25.0%	23.3%
無回答	1	0	1	
	.4%	.0%	.3%	
合計		264	28	292
		100.0%	100.0%	100.0%

表 3-9-5 は「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに「ある程度の年齢までには結婚するつもり」であった者では、「理想的な相手が見つかるまでは結婚するつもりはない」と考えていた者の場合よりも「あった」と回答した者が多くなっている。しかし、この傾向は男性では顕著であるが、女性の場合にはそれほど顕著ではない。

表3-9-5 「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」と「結婚を決めたとき結婚相手に短所や欠点はあったか」とのクロス

		結婚に対する考え方		合計
		ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	
男性	あった	64	28	92
		70.3%	59.6%	66.7%
	なかった	7	6	13
		7.7%	12.8%	9.4%
	そのときはない と思った	20	12	32
22.0%		25.5%	23.2%	
無回答	0	1	1	
	.0%	2.1%	.7%	
	合計	91	47	138
		100.0%	100.0%	100.0%
女性	あった	132	54	186
		71.7%	67.5%	70.5%
	なかった	12	4	16
		6.5%	5.0%	6.1%
	そのときはない と思った	39	22	61
21.2%		27.5%	23.1%	
無回答	1	0	1	
	.5%	.0%	.4%	
	合計	184	80	264
		100.0%	100.0%	100.0%

10. 結婚を決めたときに結婚相手の短所や欠点をどのように思ったか

それでは結婚を決めたときに結婚相手に短所や欠点があったと答えた人は、それをどのように考えていたのでしょうか。我々は次にこれを尋ねた。

表 3-10-1 は回答者の「年齢」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに圧倒的多数の者は結婚相手の短所や欠点を許容していたことが分かる。明確な拒否反応である「気になるのでぜひ直してもらいたいと思った」は男女ともに1割以下にとどまっていた。結婚した人はおおむね結婚相手の短所や欠点に対して寛容な態度を示している。男性の場合には、「長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった」と「見方を変えれば短所は長所でもあると思った」を合計すると 51.9%であり、いわば「プラス思考」で相手の短所や欠点をみている者が過半数を超えている。ただ女性の場合では「プラス思考」の者は 41.8%であり、「気にはなったが、ある程度は我慢できると思った」が 47.8%とこれを上回っている。この点に若干の男女差を見出すことはできる。しかし、相手の短所や欠点に明確な拒否反応を示していた人は少ない点では結婚した男女は共通の特徴を見せている。これは重要な傾向だと我々は考える。

表3-10-1 「年齢」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	2 66.7%	4 33.3%	6 31.6%	6 28.6%	6 23.1%	10 43.5%	34 32.7%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	0 .0%	3 25.0%	4 21.1%	4 19.0%	7 26.9%	2 8.7%	20 19.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	1 33.3%	4 33.3%	6 31.6%	8 38.1%	11 42.3%	9 39.1%	39 37.5%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	0 .0%	1 8.3%	3 15.8%	3 14.3%	1 3.8%	0 .0%	8 7.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.8%	2 8.7%	3 2.9%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	19 100.0%	21 100.0%	26 100.0%	23 100.0%	104 100.0%
女性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	1 50.0%	7 30.4%	7 17.9%	9 26.5%	12 20.7%	12 25.5%	48 23.6%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	0 .0%	6 26.1%	8 20.5%	8 23.5%	8 13.8%	7 14.9%	37 18.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	0 .0%	6 26.1%	18 46.2%	14 41.2%	33 56.9%	26 55.3%	97 47.8%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	1 50.0%	4 17.4%	6 15.4%	3 8.8%	4 6.9%	2 4.3%	20 9.9%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	0 .0%	1 .5%
	合計	2 100.0%	23 100.0%	39 100.0%	34 100.0%	58 100.0%	47 100.0%	203 100.0%

表 3-10-2 は「結婚した年齢」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚した年齢によって回答の仕方に大きな相違はないようである。ただ「プラス思考」の者を見比べた場合、35-39 歳で結婚した者では男女の間で真逆の傾向がある。男性の場合には相手の短所や欠点を「プラス思考」で考える者は 42.9%とやや少ないのに対し、女性の場合にはそれは 62.5%とその他の年齢層で結婚した者に比べて顕著に多くなっている。

表3-10-2 「結婚した年齢」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった		8 33.3%	16 32.7%	9 39.1%	1 14.3%	0 .0%	34 32.7%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った		6 25.0%	9 18.4%	3 13.0%	2 28.6%	0 .0%	20 19.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った		9 37.5%	18 36.7%	9 39.1%	2 28.6%	1 100.0%	39 37.5%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った		0 .0%	5 10.2%	2 8.7%	1 14.3%	0 .0%	8 7.7%
	無回答		1 4.2%	1 2.0%	0 .0%	1 14.3%	0 .0%	3 2.9%
	合計		24 100.0%	49 100.0%	23 100.0%	7 100.0%	1 100.0%	104 100.0%
女性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	1 50.0%	20 25.0%	18 20.2%	6 31.6%	3 37.5%	0 .0%	48 23.6%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	0 .0%	15 18.8%	17 19.1%	3 15.8%	2 25.0%	0 .0%	37 18.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	1 50.0%	38 47.5%	44 49.4%	8 42.1%	2 25.0%	4 80.0%	97 47.8%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	0 .0%	7 8.8%	10 11.2%	2 10.5%	0 .0%	1 20.0%	20 9.9%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	1 .5%
	合計	2 100.0%	80 100.0%	89 100.0%	19 100.0%	8 100.0%	5 100.0%	203 100.0%

表 3-10-3 は「結婚した年代」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には「プラス思考」で相手の短所や欠点をみている者が 6 割近くであり、その他の年代で結婚した者に比べて多くなっている。女性の場合には結婚した年代によって回答の仕方に大きな相違はないようである。ただ 2005 年以降に結婚した者では「気にはなったが、ある程度は我慢できると思った」と回答した者がやや少なく、「気になるのでぜひ直してもらいたいと思った」と回答した者が比較的多くなっていることが目を引く点である。

表3-10-3 「結婚した年代」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	5 45.5%	8 32.0%	5 33.3%	2 11.8%	14 38.9%	34 32.7%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	0 .0%	9 36.0%	1 6.7%	3 17.6%	7 19.4%	20 19.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	5 45.5%	7 28.0%	7 46.7%	9 52.9%	11 30.6%	39 37.5%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	0 .0%	1 4.0%	0 .0%	3 17.6%	4 11.1%	8 7.7%
	無回答	1 9.1%	0 .0%	2 13.3%	0 .0%	0 .0%	3 2.9%
	合計	11 100.0%	25 100.0%	15 100.0%	17 100.0%	36 100.0%	104 100.0%
女性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	12 30.8%	8 21.1%	6 20.0%	8 19.5%	14 25.5%	48 23.6%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	6 15.4%	7 18.4%	3 10.0%	11 26.8%	10 18.2%	37 18.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	20 51.3%	21 55.3%	18 60.0%	18 43.9%	20 36.4%	97 47.8%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	1 2.6%	2 5.3%	3 10.0%	4 9.8%	10 18.2%	20 9.9%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 .5%
	合計	39 100.0%	38 100.0%	30 100.0%	41 100.0%	55 100.0%	203 100.0%

表 3-10-4 は「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚の意欲によって回答のしかたに大きな相違はないようである。ただ「一生結婚するつもりはない」と考えていた者をみると男性の場合には「長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった」が比較的多く、女性では「気になるのでぜひ直してもらいたいと思った」がやや多くなっている。

表3-10-4 「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」とのクロス

		結婚の意欲		合計
		いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	
男性	長所の方が短所や欠点を上回っている ので気にはならなかった	31 31.6%	3 50.0%	34 32.7%
	見方を変えれば、短所は長所でも あると思った	20 20.4%	0 .0%	20 19.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢 できると思った	37 37.8%	2 33.3%	39 37.5%
	気になるのでぜひ直してもらいた いと思った	8 8.2%	0 .0%	8 7.7%
	無回答	2 2.0%	1 16.7%	3 2.9%
	合計	98 100.0%	6 100.0%	104 100.0%
	女性	長所の方が短所や欠点を上回って いるので気にはならなかった	45 24.2%	3 17.6%
見方を変えれば、短所は長所でも あると思った		34 18.3%	3 17.6%	37 18.2%
気にはなったが、ある程度は我慢 できると思った		89 47.8%	8 47.1%	97 47.8%
気になるのでぜひ直してもらいた いと思った		17 9.1%	3 17.6%	20 9.9%
無回答		1 .5%	0 .0%	1 .5%
合計		186 100.0%	17 100.0%	203 100.0%

表3-10-5は「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合では、結婚に対する考え方によって回答の仕方に大きな相違はみられない。しかし、女性の場合には、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えていた者をみると、「長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった」ないし「見方を変えれば、短所は長所でもあると思った」と回答した者が比較的多く、両者を合計すると6割近い。つまり、かつて結婚に対して「理想重視派」の考えであった者は「年齢重視派」の考えであった者に比べて、「プラス思考」で相手の短所や欠点をみている者が多くなっている。これは意外な結果である。しかし、これは、かつて「理想重視派」で結婚した人の中には柔軟な発想で相手の短所や欠点をみることができた人が多いということかもしれない。

表3-10-5 結婚相手と交際する前の「結婚に対する考え方」と「結婚相手の短所や欠点をどう思ったか」とのクロス

		結婚に対する考え方		合計
		ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	
男性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	23 34.8%	8 25.0%	34 32.7%
	見方を変えれば、短所は長所でもあると思った	11 16.7%	9 28.1%	20 19.2%
	気にはなったが、ある程度は我慢できると思った	27 40.9%	10 31.3%	39 37.5%
	気になるのでぜひ直してもらいたいと思った	5 7.6%	3 9.4%	8 7.7%
	無回答	0 .0%	2 6.3%	3 2.9%
	合計	66 100.0%	32 100.0%	104 100.0%
	女性	長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった	26 19.7%	19 35.2%
見方を変えれば、短所は長所でもあると思った		22 16.7%	12 22.2%	37 18.2%
気にはなったが、ある程度は我慢できると思った		72 54.5%	17 31.5%	97 47.8%
気になるのでぜひ直してもらいたいと思った		12 9.1%	5 9.3%	20 9.9%
無回答		0 .0%	1 1.9%	1 .5%
合計		132 100.0%	54 100.0%	203 100.0%

11. 結婚を決めたときに結婚相手を自分にとってどのように考えていたか

結婚をした人は、相手との結婚を決めたときに結婚相手を自分にとってどのように考えていたのだろうか。この問題も結婚の決断の過程に関する重要な検討事項である。そこで我々は調査票の中に質問を用意し、結婚を決めたときに結婚相手を自分にとってどのように考えていたかを結婚した人に対して尋ねた。

この問題に関連して全国調査は、独身にとどまっている理由として、25-34歳の年齢層では男女ともに「適当な相手に巡り会わない」ことを挙げる者がもっとも多いことを明らかにしている。既婚者を対象とした我々の調査でも、結婚相手と交際する前に独身でいた最大の理由としては「適当な相手と巡り会わなかったから」という回答がもっとも大きな割合であった。したがって、独身の状態から脱して結婚をした人にはまさに「適当な相手」と巡り会った人が多いのだろうと想定できる。

しかし、そこでいう「適当な相手」とは一体どのような相手を指すのであろうか。よく考えると、「適当な相手」はかなり漠然とした言葉である。その理由は「適当」という言葉の意味が曖昧であるからである。この言葉は「過不足なく丁度よい」という意味で「理想に近い」というニュアンスを含んでいる一方で、「身の丈にあった」ないし「相応の」という意味で使用されることも多い。

そこで我々は思考をシンプルにするため、「適当な相手」という言葉をあえて使用せず、これを二つに分けて考えることにした。一つは「理想の相手である」という見方である。もう一つは「自分にとっては相応の相手」という意味で「似合いの相手である」という見方を設定した。「理想の相手」という場合にはまず自分が想定する理想や条件が基準として存在し、これにかなった相手であるというイメージが強くなる。これに対して「似合いの相手」という場合には、自分の性格や魅力・価値を顧みてそれに見合った相手であるというイメージが前面に出る。敷衍すれば「理想の相手」の場合には自分のこだわりを満たしてくれる相手という意味合いが強いが、「似合いの相手」という場合には「第三者的な観点」から自分にふさわしいと見なされる相手という意味合いが強くなる。

表 3-11-1 は回答者の「年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、「似合いの相手である」と回答した者が男性では70.7%、女性では76.0%であった。これに対して、「理想の相手である」と回答した者は男性で28.0%、女性で22.3%であった。男女ともに大半の者は結婚相手を自分にとって「似合いの相手」だと考えていた。年齢別にみても、どの年齢層でもほぼ同じ傾向を見出せる。ただ20-24歳では男女ともに「理想の相手である」が「似合いの相手である」を上回っている。

表 3-11-2 は「結婚した年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年齢層に関係なく「似合いの相手である」と回答した者が非常に多い。

表 3-11-3 は「結婚した年代」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年代に関係なく「似合いの相手である」と回答した者が非常に多い。

表 3-11-4 は結婚相手と交際する前の「結婚の意欲」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、「いずれ結婚するつもり」と考えていた者では、男女ともに「似合いの相手である」と回答した者が非常に多い。これは「一生結婚するつもりはない」と考えていた女性でも同じ傾向である。ただ「一生結婚するつもりはない」と考

えていた男性では、「似合いの相手である」と「理想の相手である」とは同率になっている。

表3-11-5は「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」に関係なく、「似合いの相手である」と回答する者が多い。ただ「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えていた男性では「理想の相手である」と回答した者が相対的に多くなっている。

表3-11-1「年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	「理想の相手」である	2 66.7%	4 33.3%	9 37.5%	9 25.7%	10 22.7%	8 25.0%	42 28.0%
	「似合いの相手」である	1 33.3%	8 66.7%	15 62.5%	26 74.3%	33 75.0%	23 71.9%	106 70.7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	2 1.3%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	「理想の相手」である	3 60.0%	4 13.8%	15 26.8%	17 25.8%	17 23.3%	9 14.3%	65 22.3%
	「似合いの相手」である	2 40.0%	25 86.2%	40 71.4%	48 72.7%	53 72.6%	54 85.7%	222 76.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 1.5%	3 4.1%	0 .0%	5 1.7%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表3-11-2「結婚した年齢」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	「理想の相手」である		9 30.0%	19 24.7%	10 32.3%	3 30.0%	1 50.0%	42 28.0%
	「似合いの相手」である		20 66.7%	57 74.0%	21 67.7%	7 70.0%	1 50.0%	106 70.7%
	無回答		1 3.3%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	「理想の相手」である	1 25.0%	23 19.2%	35 27.8%	4 15.4%	1 9.1%	1 20.0%	65 22.3%
	「似合いの相手」である	3 75.0%	95 79.2%	89 70.6%	21 80.8%	10 90.9%	4 80.0%	222 76.0%
	無回答	0 .0%	2 1.7%	2 1.6%	1 3.8%	0 .0%	0 .0%	5 1.7%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表3-11-3「結婚した年代」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		89年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	05年以降	
男性	「理想の相手」である	5 35.7%	7 18.9%	5 18.5%	6 22.2%	19 42.2%	42 28.0%
	「似合の相手」である	9 64.3%	29 78.4%	21 77.8%	21 77.8%	26 57.8%	106 70.7%
	無回答	0 .0%	1 2.7%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	2 1.3%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
女性	「理想の相手」である	7 13.5%	16 29.1%	11 20.8%	15 25.0%	16 22.2%	65 22.3%
	「似合の相手」である	45 86.5%	37 67.3%	42 79.2%	42 70.0%	56 77.8%	222 76.0%
	無回答	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	3 5.0%	0 .0%	5 1.7%
	合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

表3-11-4「結婚相手と交際する前の結婚の意欲」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」とのクロス

		結婚の意欲		合計
		いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	
男性	「理想の相手」である	36 26.1%	6 50.0%	42 28.0%
	「似合の相手」である	100 72.5%	6 50.0%	106 70.7%
	無回答	2 1.4%	0 .0%	2 1.3%
	合計	138 100.0%	12 100.0%	150 100.0%
女性	「理想の相手」である	59 22.3%	6 21.4%	65 22.3%
	「似合の相手」である	202 76.5%	20 71.4%	222 76.0%
	無回答	3 1.1%	2 7.1%	5 1.7%
	合計	264 100.0%	28 100.0%	292 100.0%

表3-11-5 「結婚相手と交際する前の結婚に対する考え方」と「結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか」とのクロス

		結婚に対する考え方		合計
		ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	
男性	「理想の相手」である	17 18.7%	19 40.4%	36 26.1%
	「似合の相手」である	73 80.2%	27 57.4%	100 72.5%
	無回答	1 1.1%	1 2.1%	2 1.4%
	合計	91 100.0%	47 100.0%	138 100.0%
女性	「理想の相手」である	37 20.1%	22 27.5%	59 22.3%
	「似合の相手」である	144 78.3%	58 72.5%	202 76.5%
	無回答	3 1.6%	0 .0%	3 1.1%
	合計	184 100.0%	80 100.0%	264 100.0%

12. 結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことはあるか。

結婚相手との交際の過程や結婚の決断に至る過程では、相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりすることはよくあることだと考えられる。結婚をした人はそのような状況をどのように乗り切ってきたのだろうか。このような問題を検討するために我々はいくつかの質問を設定し、結婚をした人にこれを尋ねた。最初に我々は、結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことはあるかを尋ねた。

表3-12-1は回答者の「年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことはあるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性では「ある」と回答した者と「ない」と回答した者がほぼ半々であるが、女性では「ある」と回答した者が「ない」と回答した者を大きく上回る結果になった。年齢別では男女ともに20-24歳では「ない」が100%であることと男性の45-49歳では「ない」と回答した者が「ある」と回答した者をやや上回っていることを除くと、あまり目立った特徴はない。

表3-12-1 「年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことがあるか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	ある	0 .0%	6 50.0%	13 54.2%	19 54.3%	22 50.0%	15 46.9%	75 50.0%
	ない	3 100.0%	6 50.0%	11 45.8%	16 45.7%	21 47.7%	17 53.1%	74 49.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
女性	ある	0 .0%	24 82.8%	34 60.7%	39 59.1%	52 71.2%	39 61.9%	188 64.4%
	ない	5 100.0%	5 17.2%	22 39.3%	26 39.4%	21 28.8%	24 38.1%	103 35.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表3-12-2は「結婚した年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことはあるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男女ともに若い年齢で結婚した者の間では「ない」と回答した者が比較的多い傾向がある。たとえば、男性の場合では20-24歳で結婚した者では「ない」と回答した者は56.7%であり、女性では16-19歳で結婚した者では「ない」は75.0%、20-24歳で結婚した者では「ない」は42.5%になっている。早婚者は悩むことなく結婚する者が多いということであろうか。

表3-12-2「結婚した年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったことがあるか」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	ある	12 40.0%	40 51.9%	18 58.1%	4 40.0%	1 50.0%	75 50.0%	
	ない	17 56.7%	37 48.1%	13 41.9%	6 60.0%	1 50.0%	74 49.3%	
	無回答	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	
	合計	30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%	
女性	ある	1 25.0%	69 57.5%	86 68.3%	18 69.2%	9 81.8%	5 100.0%	188 64.4%
	ない	3 75.0%	51 42.5%	39 31.0%	8 30.8%	2 18.2%	0 .0%	103 35.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表3-12-3は「結婚した年代」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことはあるか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、比較的近年に結婚した者は男女ともに「ある」と回答した者が多い。たとえば、2005年以降に結婚した者では、男性で55.6%、女性で77.8%が「ある」と回答している。

表3-12-3「結婚した年代」と「結婚前に相手との交際や結婚について迷ったことがあるか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	ある	7 50.0%	20 54.1%	9 33.3%	14 51.9%	25 55.6%	75 50.0%
	ない	7 50.0%	17 45.9%	17 63.0%	13 48.1%	20 44.4%	74 49.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
女性	ある	32 61.5%	33 60.0%	35 66.0%	32 53.3%	56 77.8%	188 64.4%
	ない	20 38.5%	22 40.0%	18 34.0%	27 45.0%	16 22.2%	103 35.3%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	0 .0%	1 .3%
	合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

13. 結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか

次に我々は、結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるかを尋ねた。

表 3-13-1 は回答者の「年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女で真逆の傾向が現れている。すなわち、男性の場合には相談をしたことが「ない」と回答した者が6割であるのに対し、女性の場合では逆に相談をしたことが「ある」と回答した者が6割に近い。前問の結果と併せると、男性の場合に比べて女性の場合には結婚前に相手との交際や結婚について迷ったり悩んだりしたことがある者がより多く、またこれを誰かに相談した者がより多いということになる。年齢別では、25-29歳の女性で「ある」と回答した者が非常に多くなっている。

表 3-13-2 は「結婚した年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、結婚した年齢と相談経験の有無の間には一貫した傾向を見出すことはできない。しかし、男性の場合には20-24歳から30-34歳で結婚した者では結婚した年齢が高くなると相談したことがある者は増えるようである。女性の場合には35-39歳で結婚した者を除いて相談したことがある者が相対的に多くなっている。

表 3-13-3 は「結婚した年代」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに比較的近年に結婚した者では相談をしたことがある者が比較的多くなっている。たとえば、2005年以降に結婚した者では、男性の場合には44.4%、女性の場合には73.6%が相談をしたことがあると回答している。

表3-13-1 「年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	ある	1	5	14	16	11	9	56
		33.3%	41.7%	58.3%	45.7%	25.0%	28.1%	37.3%
	ない	2	7	10	19	32	23	93
		66.7%	58.3%	41.7%	54.3%	72.7%	71.9%	62.0%
	無回答	0	0	0	0	1	0	1
	.0%	.0%	.0%	.0%	2.3%	.0%	.7%	
	合計	3	12	24	35	44	32	150
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	ある	2	21	37	37	42	32	171
		40.0%	72.4%	66.1%	56.1%	57.5%	50.8%	58.6%
	ない	3	8	19	28	31	31	120
		60.0%	27.6%	33.9%	42.4%	42.5%	49.2%	41.1%
	無回答	0	0	0	1	0	0	1
	.0%	.0%	.0%	1.5%	.0%	.0%	.3%	
	合計	5	29	56	66	73	63	292
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-13-2「結婚した年齢」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	ある		10 33.3%	31 40.3%	14 45.2%	0 .0%	1 50.0%	56 37.3%
	ない		19 63.3%	46 59.7%	17 54.8%	10 100.0%	1 50.0%	93 62.0%
	無回答		1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計		30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%
女性	ある	3 75.0%	62 51.7%	80 63.5%	17 65.4%	5 45.5%	4 80.0%	171 58.6%
	ない	1 25.0%	58 48.3%	45 35.7%	9 34.6%	6 54.5%	1 20.0%	120 41.1%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
	合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表3-13-3「結婚した年代」と「結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあるか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	ある	4 28.6%	12 32.4%	7 25.9%	13 48.1%	20 44.4%	56 37.3%
	ない	10 71.4%	25 67.6%	19 70.4%	14 51.9%	25 55.6%	93 62.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 3.7%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%
女性	ある	27 51.9%	28 50.9%	29 54.7%	34 56.7%	53 73.6%	171 58.6%
	ない	25 48.1%	27 49.1%	24 45.3%	25 41.7%	19 26.4%	120 41.1%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	0 .0%	1 .3%
	合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

14. 悩みや問題を誰に相談したか

それでは結婚前に相手との交際や結婚について誰かに相談したことがあると答えた人は、悩みや問題を誰に相談したのであろうか。次に我々はこれを複数回答で尋ねた。

表 3-14-1 はその回答の性別・年齢別に集計した結果である。これをみると、男女ともにもっとも選択率が高かった相談相手は「友人・知人」であり、男性の6割強、女性の7割が「友人・知人」を挙げている。2番目に多い相談相手は男女ともに「親」であり、男女ともに4割強が「親」を挙げている。3番目の相談相手は男女差で相違があり、男性では「職場の同僚や上司」であるのに対して、女性の場合には「兄弟姉妹」であった。

表3-14-1 悩みや問題を誰に相談したか（複数回答）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	友人・知人	1 100.0%	4 80.0%	11 78.6%	9 56.3%	3 27.3%	7 77.8%	35 62.5%
	職場の同僚や上司	1 100.0%	1 20.0%	3 21.4%	3 18.8%	3 27.3%	2 22.2%	13 23.2%
	兄弟姉妹	0 .0%	0 .0%	1 7.1%	2 12.5%	0 .0%	0 .0%	3 5.4%
	親	0 .0%	1 20.0%	7 50.0%	7 43.8%	6 54.5%	2 22.2%	23 41.1%
	その他の人	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	1 1.8%
	合計	1	5	14	16	11	9	56
	女性	友人・知人	2 100.0%	18 85.7%	26 70.3%	30 78.9%	27 64.3%	15 48.4%
職場の同僚や上司	0 .0%	5 23.8%	8 21.6%	4 10.5%	5 11.9%	7 22.6%	29 17.0%	
兄弟姉妹	0 .0%	6 28.6%	9 24.3%	7 18.4%	12 28.6%	5 16.1%	39 22.8%	
親	0 .0%	9 42.9%	20 54.1%	15 39.5%	17 40.5%	14 45.2%	75 43.9%	
その他の親族	0 .0%	1 4.8%	0 .0%	0 .0%	1 2.4%	3 9.7%	5 2.9%	
その他の人	0 .0%	0 .0%	1 2.7%	1 2.6%	1 2.4%	0 .0%	3 1.8%	
合計	2	21	37	38	42	31	171	

パーセンテージと合計は設問に対する応答者数を基に計算されている。

表 3-14-2 は同じ回答を結婚した年代でクロス集計した結果である。これをみると、1995-1999 年に結婚した男性を除いて、男女ともにどの年代で結婚した者でも「友人・知人」がもっとも選択率が高い相談相手になっている。1995-1999 年に結婚した男性では「親」がもっとも選択率が高い相談相手であった。また男女ともに比較的近年に結婚した者では「友人・知人」と相談した者の割合はとくに大きくなっている。たとえば、2005 年以降に結婚した者では、男女ともに4分の3が「友人・知人」と相談したと回答している。

表3-14-2 悩みや問題を誰に相談したか（複数回答）

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	友人・知人	3 75.0%	6 50.0%	1 14.3%	10 76.9%	15 75.0%	35 62.5%
	職場の同僚や 上司	1 25.0%	4 33.3%	1 14.3%	3 23.1%	4 20.0%	13 23.2%
	兄弟姉妹	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	1 7.7%	1 5.0%	3 5.4%
	親	1 25.0%	4 33.3%	5 71.4%	3 23.1%	10 50.0%	23 41.1%
	その他の人	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%
	合計	4	12	7	13	20	56
女性	友人・知人	13 50.0%	17 60.7%	22 73.3%	26 76.5%	40 75.5%	118 69.0%
	職場の同僚や 上司	6 23.1%	2 7.1%	6 20.0%	6 17.6%	9 17.0%	29 17.0%
	兄弟姉妹	5 19.2%	8 28.6%	6 20.0%	6 17.6%	14 26.4%	39 22.8%
	親	10 38.5%	11 39.3%	12 40.0%	17 50.0%	25 47.2%	75 43.9%
	その他の親族	3 11.5%	1 3.6%	0 .0%	0 .0%	1 1.9%	5 2.9%
	その他の人	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 5.9%	1 1.9%	3 1.8%
	合計	26	28	30	34	53	171

パーセンテージと合計は設問に対する応答者数を基に計算されている。

15. 相談相手の意見は結婚の決断に影響があったか

それでは相談相手の意見は結婚の決断に影響があったのだろうか。我々は次にこれを質問した。

表 3-15-1 はその回答の性別・年齢別に集計した結果である。これをみると、男女ともに相談相手の意見は結婚の決断に影響があったと回答した者が多い。男性では3分の2、女性では6割強が相談相手の意見は結婚の決断に影響があったと回答している。我々の調査ではどのように影響があったのかを明確に尋ねていない。しかし、我々は結婚をした人に対して質問をしているのであるから、結婚の決断を促す方向で影響があったと考えて差し支えないだろう。年齢別にみると、男女ともに20歳代の者では「なかった」と回答した者が多いが、30歳代以降の者では男女ともに「あった」が「なかった」を大きく上回っている。

表 3-15-2 は同じ回答を結婚した年齢と性別にクロス集計した結果である。これをみると、男性の場合には、20-24歳で結婚した者では「なかった」と回答した者が多く、25-29歳と30-34歳で結婚した者では「あった」と回答した者が多くなっている。女性の場合には、20歳代で結婚した者と30歳代で結婚した者では「あった」が「なかった」を大きく上回っている。したがって、男女ともに25歳以上で結婚した者では相談相手の意見は結婚の決断に影響があったことになる。

表 3-15-3 は「結婚した年代」と「相談相手の意見は結婚の決断に影響があったか」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚した年代でとくに大きな差はないようである。

表3-15-1 「年齢」と「相談相手の意見は結婚の決断に影響があったか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	あった	0 .0%	2 40.0%	10 71.4%	13 81.3%	7 58.3%	6 66.7%	38 66.7%
	なかった	1 100.0%	3 60.0%	4 28.6%	3 18.8%	4 33.3%	3 33.3%	18 31.6%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	1 1.8%
	合計	1 100.0%	5 100.0%	14 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	9 100.0%	57 100.0%
女性	あった	1 50.0%	10 47.6%	21 56.8%	25 65.8%	26 61.9%	22 68.8%	105 61.0%
	なかった	1 50.0%	11 52.4%	16 43.2%	13 34.2%	16 38.1%	10 31.3%	67 39.0%
	合計	2 100.0%	21 100.0%	37 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	32 100.0%	172 100.0%

表3-15-2 「結婚した年齢」と「相談相手の意見は結婚の決断に影響があったか」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	あった		3 27.3%	24 77.4%	10 71.4%		1 100.0%	38 66.7%
	なかった		7 63.6%	7 22.6%	4 28.6%		0 .0%	18 31.6%
	無回答		1 9.1%	0 .0%	0 .0%		0 .0%	1 1.8%
	合計		11 100.0%	31 100.0%	14 100.0%		1 100.0%	57 100.0%
女性	あった	1 33.3%	40 63.5%	45 56.3%	13 76.5%	5 100.0%	1 25.0%	105 61.0%
	なかった	2 66.7%	23 36.5%	35 43.8%	4 23.5%	0 .0%	3 75.0%	67 39.0%
	合計	3 100.0%	63 100.0%	80 100.0%	17 100.0%	5 100.0%	4 100.0%	172 100.0%

表3-15-3 「結婚した年代」と「相談相手の意見は結婚の決断に影響があったか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	あった	3 75.0%	6 50.0%	5 62.5%	11 84.6%	13 65.0%	38 66.7%
	なかった	1 25.0%	6 50.0%	2 25.0%	2 15.4%	7 35.0%	18 31.6%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%
	合計	4 100.0%	12 100.0%	8 100.0%	13 100.0%	20 100.0%	57 100.0%
女性	あった	20 74.1%	13 46.4%	21 70.0%	16 47.1%	35 66.0%	105 61.0%
	なかった	7 25.9%	15 53.6%	9 30.0%	18 52.9%	18 34.0%	67 39.0%
	合計	27 100.0%	28 100.0%	30 100.0%	34 100.0%	53 100.0%	172 100.0%

16. 現在の結婚生活に満足しているか

調査の対象者は現在の結婚生活に満足しているのだろうか。これは、我々がどのような人びとを調査対象にしてデータを得ているのかを分析するときに検討してよい項目である。そこで次に我々はこれを質問した。

表 3-16-1 は回答者の「年齢」と「現在の結婚生活に満足しているか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに大多数の者が「満足している」ないし「どちらかといえば満足」と回答している。この二つの回答を合計した割合は、男性の場合では 87.9%、女性の場合では 85.1%に達している。「どちらかといえば不満」と「不満である」は男女ともに少なく、男性の場合ではこの二つの合計は 9.4%、女性の場合では 13.9%である。したがって、我々のデータは主として現在の結婚生活に満足している者から得られていることになる。このことは調査結果の解釈の際には念頭に置いておくべきことである。

表3-16-1 「年齢」と「現在の結婚生活に満足しているか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	満足している	3	9	11	19	19	14	75
		100.0%	75.0%	45.8%	55.9%	43.2%	43.8%	50.3%
	どちらかといえば満足	0	3	9	12	18	14	56
		.0%	25.0%	37.5%	35.3%	40.9%	43.8%	37.6%
	どちらかといえば不満	0	0	3	3	4	4	14
		.0%	.0%	12.5%	8.8%	9.1%	12.5%	9.4%
	不満である	0	0	0	0	1	0	1
	.0%	.0%	.0%	.0%	2.3%	.0%	.7%	
無回答	0	0	1	0	2	0	3	
	.0%	.0%	4.2%	.0%	4.5%	.0%	2.0%	
合計	3	12	24	34	44	32	149	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	満足している	3	16	25	30	20	20	114
		60.0%	59.3%	44.6%	46.9%	29.0%	33.3%	40.6%
	どちらかといえば満足	1	8	22	25	34	35	125
		20.0%	29.6%	39.3%	39.1%	49.3%	58.3%	44.5%
	どちらかといえば不満	0	2	3	6	11	4	26
		.0%	7.4%	5.4%	9.4%	15.9%	6.7%	9.3%
	不満である	0	1	6	1	4	1	13
	.0%	3.7%	10.7%	1.6%	5.8%	1.7%	4.6%	
無回答	1	0	0	2	0	0	3	
	20.0%	.0%	.0%	3.1%	.0%	.0%	1.1%	
合計	5	27	56	64	69	60	281	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 3-16-2 は「結婚した年齢」と「現在の結婚生活に満足しているか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに結婚した年齢によって回答の仕方に大きな相違はないようである。男女ともに結婚した年齢に関係なく、大多数の者が現在の結婚生活に満足している。

表3-16-2 「結婚した年齢」と「現在の結婚生活に満足しているか」とのクロス

		結婚した年齢					合計	
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39		40-44
男性	満足している		13 44.8%	38 49.4%	14 45.2%	9 90.0%	1 50.0%	75 50.3%
	どちらかといえば満足		13 44.8%	30 39.0%	12 38.7%	0 .0%	1 50.0%	56 37.6%
	どちらかといえば不満		1 3.4%	7 9.1%	5 16.1%	1 10.0%	0 .0%	14 9.4%
	不満である		0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答		2 6.9%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%
	合計		29 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	149 100.0%
女性	満足している	1 50.0%	46 40.4%	48 38.7%	13 52.0%	5 45.5%	1 20.0%	114 40.6%
	どちらかといえば満足	1 50.0%	48 42.1%	61 49.2%	8 32.0%	4 36.4%	3 60.0%	125 44.5%
	どちらかといえば不満	0 .0%	12 10.5%	8 6.5%	3 12.0%	2 18.2%	1 20.0%	26 9.3%
	不満である	0 .0%	6 5.3%	6 4.8%	1 4.0%	0 .0%	0 .0%	13 4.6%
	無回答	0 .0%	2 1.8%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 1.1%
	合計	2 100.0%	114 100.0%	124 100.0%	25 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	281 100.0%

表 3-16-3 は「結婚した年代」と「現在の結婚生活に満足しているか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、比較的近年に結婚した者では男女ともに「満足している」と回答した者が多い。たとえば、2005 年以降に結婚した者では「満足している」と回答した者は、男性では 71.1%と非常に高く、女性でも 5 割を超える割合になっている。

表3-16-3 「結婚した年代」と「現在の結婚生活に満足しているか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	満足している	7 50.0%	13 35.1%	11 42.3%	12 44.4%	32 71.1%	75 50.3%
	どちらかといえば満足	5 35.7%	19 51.4%	9 34.6%	14 51.9%	9 20.0%	56 37.6%
	どちらかといえば不満	2 14.3%	3 8.1%	5 19.2%	0 .0%	4 8.9%	14 9.4%
	不満である	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答	0 .0%	1 2.7%	1 3.8%	1 3.7%	0 .0%	3 2.0%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	149 100.0%
	女性	満足している	17 34.0%	17 33.3%	19 38.8%	23 39.0%	38 52.8%
どちらかといえば満足	23 46.0%	29 56.9%	23 46.9%	28 47.5%	22 30.6%	125 44.5%	
どちらかといえば不満	6 12.0%	3 5.9%	6 12.2%	3 5.1%	8 11.1%	26 9.3%	
不満である	4 8.0%	2 3.9%	0 .0%	4 6.8%	3 4.2%	13 4.6%	
無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	1 1.7%	1 1.4%	3 1.1%	
合計	50 100.0%	51 100.0%	49 100.0%	59 100.0%	72 100.0%	281 100.0%	

17. 現在自分たち夫婦は幸せだと思うか

前問と似たような質問であるが、「現在、自分たち夫婦は幸せだと思うか」と我々は結婚した人びとに尋ねた。これも、我々がどのような人びとを調査対象にしてデータを得ているのかを分析するときを検討してよい項目である。

表3-17-1は回答者の「年齢」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、男女ともに大多数の者が自分たち夫婦はそれなりに幸せだと考えているようである。「幸せ」と「まあ幸せ」を合計した割合は、男性の場合では83.6%、女性の場合では82.9%であった。年齢別にみると、25-29歳の者ではこの割合はとくに大きく、「幸せ」と「まあ幸せ」を合計した割合は男女ともに9割に達している。「どちらともいえない」「あまり幸せでない」「幸せでない」は男女ともに30歳を過ぎた年齢層で一定の割合を示すようになる。とくにこの3つの割合は男性の30-34歳で25.0%、女性の40-44歳で27.5%とやや大きい。

表3-17-1 「年齢」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」とのクロス

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	幸せ	3 100.0%	9 75.0%	9 37.5%	18 52.9%	15 34.1%	11 34.4%	65 43.6%
	まあ幸せ	0 .0%	3 25.0%	8 33.3%	12 35.3%	22 50.0%	15 46.9%	60 40.3%
	どちらとも いえない	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	4 11.8%	3 6.8%	4 12.5%	13 8.7%
	あまり幸せ でない	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	0 .0%	2 4.5%	2 6.3%	7 4.7%
	幸せでない	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	2 4.5%	0 .0%	3 2.0%
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	34 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	149 100.0%
	女性	5 100.0%	17 63.0%	24 42.9%	32 50.0%	23 33.3%	22 36.7%	123 43.8%
まあ幸せ	0 .0%	7 25.9%	21 37.5%	23 35.9%	27 39.1%	32 53.3%	110 39.1%	
どちらとも いえない	0 .0%	2 7.4%	6 10.7%	4 6.3%	10 14.5%	5 8.3%	27 9.6%	
あまり幸せ でない	0 .0%	0 .0%	3 5.4%	3 4.7%	6 8.7%	0 .0%	12 4.3%	
幸せでない	0 .0%	1 3.7%	2 3.6%	0 .0%	3 4.3%	1 1.7%	7 2.5%	
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.1%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
合計	5 100.0%	27 100.0%	56 100.0%	64 100.0%	69 100.0%	60 100.0%	281 100.0%	

表 3-17-2 は「結婚した年齢」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、結婚した年齢によって回答の仕方に大きな相違はないようである。男女ともに結婚した年齢に関係なく、大多数の者が自分たち夫婦はそれなりに幸せだと考えている。

表 3-17-3 は「結婚した年代」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、結婚した年代によって回答に仕方に大きな相違はないようである。男女ともに結婚した年代に関係なく、大多数の者が自分たち夫婦はそれなりに幸せだと考えている。

表3-17-2 「結婚した年齢」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」とのクロス

		結婚した年齢						合計
		16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
男性	幸せ		14 48.3%	34 44.2%	9 29.0%	7 70.0%	1 50.0%	65 43.6%
	まあ幸せ		11 37.9%	32 41.6%	14 45.2%	2 20.0%	1 50.0%	60 40.3%
	どちらとも いえない		1 3.4%	7 9.1%	4 12.9%	1 10.0%	0 .0%	13 8.7%
	あまり幸せ でない		0 .0%	3 3.9%	4 12.9%	0 .0%	0 .0%	7 4.7%
	幸せでない		1 3.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答		2 6.9%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 2.0%
	合計		29 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	149 100.0%
	女性	幸せ	2 100.0%	45 39.5%	52 41.9%	15 60.0%	6 54.5%	3 60.0%
まあ幸せ	0 .0%	46 40.4%	53 42.7%	7 28.0%	3 27.3%	1 20.0%	110 39.1%	
どちらとも いえない	0 .0%	13 11.4%	10 8.1%	2 8.0%	1 9.1%	1 20.0%	27 9.6%	
あまり幸せ でない	0 .0%	5 4.4%	5 4.0%	1 4.0%	1 9.1%	0 .0%	12 4.3%	
幸せでない	0 .0%	4 3.5%	3 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	7 2.5%	
無回答	0 .0%	1 .9%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	
合計	2 100.0%	114 100.0%	124 100.0%	25 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	281 100.0%	

表3-17-3 「結婚した年代」と「現在自分たち夫婦は幸せだと思うか」とのクロス

		結婚した年代					合計
		1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
男性	幸せ	5 35.7%	14 37.8%	6 23.1%	9 33.3%	31 68.9%	65 43.6%
	まあ幸せ	6 42.9%	16 43.2%	15 57.7%	16 59.3%	7 15.6%	60 40.3%
	どちらともいえない	2 14.3%	3 8.1%	3 11.5%	1 3.7%	4 8.9%	13 8.7%
	あまり幸せでない	1 7.1%	2 5.4%	1 3.8%	0 .0%	3 6.7%	7 4.7%
	幸せでない	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答	0 .0%	1 2.7%	1 3.8%	1 3.7%	0 .0%	3 2.0%
	合計	14 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	149 100.0%
	女性	幸せ	18 36.0%	18 35.3%	22 44.9%	22 37.3%	43 59.7%
まあ幸せ	22 44.0%	27 52.9%	16 32.7%	25 42.4%	20 27.8%	110 39.1%	
どちらともいえない	5 10.0%	4 7.8%	7 14.3%	6 10.2%	5 6.9%	27 9.6%	
あまり幸せでない	2 4.0%	2 3.9%	2 4.1%	4 6.8%	2 2.8%	12 4.3%	
幸せでない	3 6.0%	0 .0%	1 2.0%	1 1.7%	2 2.8%	7 2.5%	
無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	1 1.7%	0 .0%	2 .7%	
合計	50 100.0%	51 100.0%	49 100.0%	59 100.0%	72 100.0%	281 100.0%	

18. 「結婚を決めたとき結婚相手をどのように考えていたか」とのクロス

表 3-18-1 は「結婚を決めたとき結婚相手をどのように考えていたか」と「現在の結婚生活に満足しているか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、興味深い傾向が現れている。それは、結婚を決めたときに結婚相手を「理想の相手である」と考えていた者では「似合いの相手である」と考えていた者よりも現在の結婚生活の満足度がより高いことである。たとえば、「理想の相手である」と考えていた男性では「満足している」と答えた者は 81.0%に達し、女性の場合でも 52.4%と過半数を超えている。もっとも、結婚を決めたときに結婚相手を「似合いの相手である」と考えていた者でも現在の結婚生活に不満である者は男女ともに少ない。彼らの間でも「満足している」と「どちらかといえば満足」を合計した割合は男性の場合では 84.7%、女性の場合では 84.4%と非常に高い。この点では彼らの結婚生活に対する満足度は結婚を決めたときに結婚相手を「理想の相手である」と考えていた者とまったく同程度である。しかし、結婚を決めたときに結婚相手を「似合いの相手である」と考えていた者の間では「どちらかといえば満足」と答えた者が相対的に多く、満足度の度合いは一段階低いと言える。

表3-18-1 「結婚を決めたとき結婚相手をどのように考えていたか」と「現在の結婚生活に満足しているか」とのクロス

		結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか			合計
		理想の相手である	似合いの相手である	無回答	
男性	満足している	34 81.0%	41 39.0%	0 .0%	75 50.3%
	どちらかといえば満足	7 16.7%	48 45.7%	1 50.0%	56 37.6%
	どちらかといえば不満	1 2.4%	13 12.4%	0 .0%	14 9.4%
	不満である	0 .0%	1 1.0%	0 .0%	1 .7%
	無回答	0 .0%	2 1.9%	1 50.0%	3 2.0%
	合計	42 100.0%	105 100.0%	2 100.0%	149 100.0%
女性	満足している	33 52.4%	80 37.7%	0 .0%	113 40.5%
	どちらかといえば満足	22 34.9%	99 46.7%	3 75.0%	124 44.4%
	どちらかといえば不満	4 6.3%	22 10.4%	0 .0%	26 9.3%
	不満である	3 4.8%	10 4.7%	0 .0%	13 4.7%
	無回答	1 1.6%	1 .5%	1 25.0%	3 1.1%
	合計	63 100.0%	212 100.0%	4 100.0%	279 100.0%

表3-18-2は「結婚を決めたとき結婚相手をどのように考えていたか」と「自分たち夫婦は幸せだと思うか」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、上述の傾向と同じ傾向をここでも見出すことができる。それは、結婚を決めたときに結婚相手を「理想の相手である」だと考えていた者では「似合いの相手である」と考えていた者よりも夫婦関係の幸福感がより大きいことである。たとえば、「理想の相手である」と考えていた男性では「幸せ」と答えた者は71.4%に達し、女性の場合でも54.0%と過半数を超えている。もっとも、結婚を決めたときに結婚相手を「似合いの相手である」と考えていた者でも「幸せ」と「まあ幸せ」を合計した割合は男性の場合では80.1%、女性の場合では81.6%と非常に高い。この点では彼らの幸福感は結婚を決めたときに結婚相手を「理想の相手である」と考えていた者と大きな差はない。しかし、結婚を決めたときに結婚相手を「似合いの相手である」と考えていた者の間では「まあ幸せ」と答えた者が相対的に多く、幸福感の度合いはそれだけ低いと言える。

表3-18-2 「結婚を決めたとき結婚相手をどのように考えていたか」と「自分たち夫婦は幸せだと思うか」とのクロス

		結婚を決めたとき結婚相手を自分にとってどのように考えていたか			合計
		理想の相手である	似合いの相手である	無回答	
男性	幸せ	30 71.4%	35 33.3%	0 .0%	65 43.6%
	まあ幸せ	10 23.8%	49 46.7%	1 50.0%	60 40.3%
	どちらともいえない	1 2.4%	12 11.4%	0 .0%	13 8.7%
	あまり幸せでない	0 .0%	7 6.7%	0 .0%	7 4.7%
	幸せでない	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
	無回答	0 .0%	2 1.9%	1 50.0%	3 2.0%
	合計	42 100.0%	105 100.0%	2 100.0%	149 100.0%
	女性	幸せ	34 54.0%	88 41.5%	0 .0%
まあ幸せ	22 34.9%	85 40.1%	2 50.0%	109 39.1%	
どちらともいえない	3 4.8%	23 10.8%	1 25.0%	27 9.7%	
あまり幸せでない	3 4.8%	9 4.2%	0 .0%	12 4.3%	
幸せでない	1 1.6%	6 2.8%	0 .0%	7 2.5%	
無回答	0 .0%	1 .5%	1 25.0%	2 .7%	
合計	63 100.0%	212 100.0%	4 100.0%	279 100.0%	

19. 結婚前に女性が考えていた理想のライフコース

未婚者を対象とした全国調査は未婚女性がどのようなライフコースを選択しようとしているのかを探ることを重要な課題としていた。ところが、夫婦世帯を対象とした全国調査では結婚前に女性がどのようなライフコースを選択しようとしているのかを調べていない。しかし、それは未婚女性の意識と既婚女性の意識を比較するために必要な調査項目であろう。このような関心から、我々は既婚女性が結婚前にどのようなライフコースを望み、また結婚後にどのようなライフコースが実現しようとしているのかを探ろうとした。

我々は未婚者を対象とする調査の部分では8つのライフコースを設定したが、ここでは既婚者を対象としているので、次の7つのライフコースを選択肢として提示することにした。①非婚就業コース＝結婚せず、仕事を一生続ける。②シングルマザー就業コース＝結婚せずに子どもをもち、仕事を続ける。③DINKS コース＝結婚するが子どもをもたず、仕事を一生続ける。④両立コース＝結婚し子どもをもつが、仕事も一生続ける。⑤再就職コース＝結婚し子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ。⑥専業主婦コース＝結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもたない。⑦無子専業主婦コース＝結婚するが子どもをもたず、結婚の機会に専業主婦になり、その後も仕事をもたない。

表 3-19-1 は回答者の「年齢」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的にはもっとも選択率が高かったライフコースは「再就職コース」の 38.7%であった。2番目に選択率が高かったコースは「専業主婦コース」の 26.4%であり、3番目は「両立コース」の 25.0%であった。その他のライフコースを結婚前に理想としていた者はいずれも非常に少数であった。年齢別にみてもほぼ同じような傾向であるが、30-34 歳では「両立コース」を結婚前に理想としていた者の割合がやや小さくなっている。

表 3-19-2 は「結婚した年齢」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚した年齢によって結婚前に理想としていたライフコースの割合に若干の相違がある。16-19 歳、20-24 歳、25-29 歳で結婚した者では「再就職コース」はもっとも大きな割合を占めるが、30-34 歳、35-39 歳、40-44 歳で結婚した者ではその割合はやや小さくなる。30-34 歳と 35-39 歳で結婚した者では「専業主婦コース」や「無子専業主婦コース」を結婚前に理想のライフコースと考えていた者の割合が比較的大きい。また 35-39 歳および 40-44 歳で結婚した者では「非婚就業コース」を結婚前に理想としていた者の割合も比較的大きい。

表 3-19-3 は「結婚した年代」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚前に理想としていたライフコースの割合は結婚した年代によっては大きな相違がないと言ってよい。しかし、2005 年以降に結婚した者では、主要な三コース以外のライフコースの割合が若干ではあるが増加し、「非婚就業コース」と「シングルマザー就業コース」を結婚前に理想としていた者の割合が 1 割を占める。それだけ多様なライフコースが選考されるようになったということであろう。

表3-19-1 「年齢」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」とのクロス

ライフコース	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
非婚就業コース	1	2	3	5	1	0	12
	20.0%	6.9%	5.4%	7.6%	1.4%	.0%	4.1%
シングルマザー 就業コース	0	0	2	0	1	1	4
	.0%	.0%	3.6%	.0%	1.4%	1.6%	1.4%
DINKSコース	0	0	3	1	2	0	6
	.0%	.0%	5.4%	1.5%	2.7%	.0%	2.1%
両立コース	1	9	9	21	18	15	73
	20.0%	31.0%	16.1%	31.8%	24.7%	23.8%	25.0%
再就職コース	1	11	26	21	28	26	113
	20.0%	37.9%	46.4%	31.8%	38.4%	41.3%	38.7%
専業主婦コース	2	7	12	18	20	18	77
	40.0%	24.1%	21.4%	27.3%	27.4%	28.6%	26.4%
無子専業主婦 コース	0	0	1	0	3	3	7
	.0%	.0%	1.8%	.0%	4.1%	4.8%	2.4%
合計	5	29	56	66	73	63	292
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-19-2 「結婚した年齢」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年齢						合計
	16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
非婚就業コース	1	5	3	0	2	1	12
	25.0%	4.2%	2.4%	.0%	18.2%	20.0%	4.1%
シングルマザー 就業コース	0	1	2	0	1	0	4
	.0%	.8%	1.6%	.0%	9.1%	.0%	1.4%
DINKSコース	0	2	2	2	0	0	6
	.0%	1.7%	1.6%	7.7%	.0%	.0%	2.1%
両立コース	0	31	30	7	3	2	73
	.0%	25.8%	23.8%	26.9%	27.3%	40.0%	25.0%
再就職コース	2	46	56	7	1	1	113
	50.0%	38.3%	44.4%	26.9%	9.1%	20.0%	38.7%
専業主婦コース	1	31	32	9	3	1	77
	25.0%	25.8%	25.4%	34.6%	27.3%	20.0%	26.4%
無子専業主婦 コース	0	4	1	1	1	0	7
	.0%	3.3%	.8%	3.8%	9.1%	.0%	2.4%
合計	4	120	126	26	11	5	292
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-19-3 「結婚した年代」と「結婚前に女性が考えていた理想のライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年代					合計
	1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
非婚就業コース	0 .0%	0 .0%	2 3.8%	5 8.3%	5 6.9%	12 4.1%
シングルマザー 就業コース	1 1.9%	0 .0%	1 1.9%	0 .0%	2 2.8%	4 1.4%
DINKSコース	1 1.9%	0 .0%	2 3.8%	0 .0%	3 4.2%	6 2.1%
両立コース	10 19.2%	17 30.9%	13 24.5%	13 21.7%	20 27.8%	73 25.0%
再就職コース	21 40.4%	27 49.1%	18 34.0%	24 40.0%	23 31.9%	113 38.7%
専業主婦コース	16 30.8%	10 18.2%	16 30.2%	16 26.7%	19 26.4%	77 26.4%
無子専業主婦 コース	3 5.8%	1 1.8%	1 1.9%	2 3.3%	0 .0%	7 2.4%
合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

20. 既婚女性の実際実現しそうなライフコース

以上は結婚前に女性が理想としていたライフコースであるが、それでは結婚後に実際に実現しそうな女性のライフコースはどのようなものであろうか。我々は次にこれを質問した。

表3-20-1は回答者の「年齢」と「既婚女性の実際実現しそうなライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的にはもっとも選択率が高かったコースは「再就職コース」であり、半数を超える回答者（52.4%）がこれを選択した。2番目に選択率が高かったコースは「両立コース」の26.7%であり、3番目は「専業主婦コース」の13.0%であった。結婚前に理想にしていたライフコースと比較すると「再就職コース」の割合が増加する一方で、「専業主婦コース」の割合は顕著に減少していることが分かる。年齢別では大きな相違はみられず、どの年齢層でも「再就職コース」の割合がもっとも大きい。ただ35-39歳では「再就職コース」はやや少なく、「両立コース」の割合がやや大きくなっている。

表3-20-2は「結婚した年齢」と「既婚女性の実際実現しそうなライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、結婚した年齢によって実際に実現しそうなライフコースの割合に若干の相違がある。16-19歳、20-24歳、25-29歳で結婚した者では「再就職コース」の選択率が高いが、30-34歳で結婚した者ではそれはやや減少する。35-39歳および40-44歳で結婚した者では「再就職コース」の割合は顕著に小さく、代わって「専業主婦コース」の割合が増えている。また30-34歳および35-39歳で結婚した者では「両立コース」の割合が比較的大きい。

表3-20-1 「年齢」と「既婚女性の実際の実現しようなライフコース」とのクロス

ライフコース	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
非婚就業コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 1.6%	2 .7%
シングルマザー 就業コース	0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
DINKSコース	0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	3 4.5%	4 5.5%	0 .0%	9 3.1%
両立コース	0 .0%	7 24.1%	14 25.0%	24 36.4%	20 27.4%	13 20.6%	78 26.7%
再就職コース	4 80.0%	19 65.5%	32 57.1%	30 45.5%	36 49.3%	32 50.8%	153 52.4%
専業主婦コース	1 20.0%	1 3.4%	7 12.5%	5 7.6%	8 11.0%	16 25.4%	38 13.0%
無子専業主婦 コース	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	2 3.0%	4 5.5%	1 1.6%	8 2.7%
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

表3-20-2 「結婚した年齢」と「既婚女性の実際の実現しようなライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年齢						合計
	16-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
非婚就業コース	0 .0%	1 .8%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%
シングルマザー 就業コース	1 25.0%	1 .8%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 1.0%
DINKSコース	0 .0%	4 3.3%	4 3.2%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	9 3.1%
両立コース	1 25.0%	25 20.8%	37 29.4%	11 42.3%	4 36.4%	0 .0%	78 26.7%
再就職コース	2 50.0%	71 59.2%	66 52.4%	11 42.3%	2 18.2%	1 20.0%	153 52.4%
専業主婦コース	0 .0%	14 11.7%	15 11.9%	3 11.5%	3 27.3%	3 60.0%	38 13.0%
無子専業主婦 コース	0 .0%	4 3.3%	1 .8%	1 3.8%	2 18.2%	0 .0%	8 2.7%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%
合計	4 100.0%	120 100.0%	126 100.0%	26 100.0%	11 100.0%	5 100.0%	292 100.0%

表 3-20-3 は「結婚した年代」と「既婚女性の実際に実現しそうなライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、2000 年以降に結婚した者では「両立コース」ないし「再就職コース」の割合が増加し、「専業主婦コース」の割合が減少する傾向がある。2005 年以降に結婚した者では「両立コース」と「再就職コース」を合計した割合は 85.1%に達している。これはそれだけ既婚女性の就業が進んでいることを意味している。これに対して、「専業主婦コース」は 2005 年以降に結婚した者では 1 割程度になっている。

表3-20-3 「結婚した年代」と「既婚女性の実際に実現しそうなライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年代					合計
	1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
非婚就業コース	1 1.9%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 .7%
シングルマザー就業コース	0 .0%	0 .0%	1 1.9%	1 1.7%	1 1.4%	3 1.0%
DINKSコース	0 .0%	1 1.8%	4 7.5%	3 5.0%	1 1.4%	9 3.1%
両立コース	12 23.1%	13 23.6%	17 32.1%	15 25.0%	21 29.2%	78 26.7%
再就職コース	27 51.9%	33 60.0%	20 37.7%	32 53.3%	41 56.9%	153 52.4%
専業主婦コース	11 21.2%	5 9.1%	8 15.1%	7 11.7%	7 9.7%	38 13.0%
無子専業主婦コース	1 1.9%	2 3.6%	3 5.7%	1 1.7%	1 1.4%	8 2.7%
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.7%	0 .0%	1 .3%
合計	52 100.0%	55 100.0%	53 100.0%	60 100.0%	72 100.0%	292 100.0%

21. 結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース

我々の調査では、男性の既婚者に対し、結婚前に妻となる女性にどのようなライフコースを望んでいたかを尋ねている。そのねらいは既婚女性の実際実現しそうなライフコースと比較することである。

表 3-21-1 は回答者の「年齢」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的には「再就職コース」がもっとも選択率が高く、46.0%であった。2番目に大きな割合であったのは「両立コース」の 22.7%であり、3番目は「専業主婦コース」の 19.3%であった。7割の男性が妻となる女性に就業を望んでいたことはやはり注目すべき結果であろう。逆に専業主婦になることを望んでいた男性は2割であった。年齢別では 40-44 歳で妻となる女性に就業を望む者が 8割と、他の年齢層に比べてとくに大きな割合である。

表3-21-1 「年齢」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」とのクロス

ライフコース	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
DINKSコース	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
両立コース	0 .0%	4 33.3%	7 29.2%	7 20.0%	11 25.0%	5 15.6%	34 22.7%
再就職コース	2 66.7%	4 33.3%	7 29.2%	17 48.6%	24 54.5%	15 46.9%	69 46.0%
専業主婦コース	0 .0%	3 25.0%	6 25.0%	7 20.0%	6 13.6%	7 21.9%	29 19.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.3%	0 .0%	1 .7%
無回答	1 33.3%	1 8.3%	3 12.5%	4 11.4%	2 4.5%	5 15.6%	16 10.7%
合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%

表 3-21-2 は「結婚した年齢」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、30-34 歳で結婚した男性では「再就職コース」を望んでいた者が 64.5%と、とくに大きな割合を示している。逆にこの年齢で結婚した者では「専業主婦コース」を望んでいた者は 9.7%に過ぎない。

表 3-21-3 は「結婚した年代」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性が妻となる女性に望んでいたライフコースは結婚した年代によって大きな相違があるとは言えない。ただ 2005 年以降に結婚した者では「専業主婦コース」を望んでいた者がやや多くなっている。

表3-21-2 「結婚した年齢」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年齢					合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
DINKSコース	0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
両立コース	5 16.7%	21 27.3%	6 19.4%	2 20.0%	0 .0%	34 22.7%
再就職コース	13 43.3%	30 39.0%	20 64.5%	4 40.0%	2 100.0%	69 46.0%
専業主婦コース	6 20.0%	16 20.8%	3 9.7%	4 40.0%	0 .0%	29 19.3%
無子専業主婦コース	1 3.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
無回答	5 16.7%	9 11.7%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	16 10.7%
合計	30 100.0%	77 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	150 100.0%

表3-21-3 「結婚した年代」と「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」とのクロス

ライフコース	結婚した年代					合計
	1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
DINKSコース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.2%	1 .7%
両立コース	3 21.4%	7 18.9%	5 18.5%	8 29.6%	11 24.4%	34 22.7%
再就職コース	7 50.0%	17 45.9%	12 44.4%	13 48.1%	20 44.4%	69 46.0%
専業主婦コース	3 21.4%	7 18.9%	5 18.5%	3 11.1%	11 24.4%	29 19.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	1 2.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
無回答	1 7.1%	5 13.5%	5 18.5%	3 11.1%	2 4.4%	16 10.7%
合計	14 100.0%	37 100.0%	27 100.0%	27 100.0%	45 100.0%	150 100.0%

22. 実際に実現しそうな妻のライフコース

以上は結婚前に男性が妻となる女性に望んでいたライフコースであるが、それでは結婚後に実際に実現しそうな妻のライフコースはどのようなものであろうか。我々は次にこれを質問した。

表 3-22-1 は回答者の「年齢」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、全体的には「再就職コース」がもっとも選択率が高く、53.1%であった。2番目に大きな割合であったのは「両立コース」の19.7%であり、3番目は「専業主婦コース」の14.3%であった。結婚前に妻となる女性にどのようなライフコースを望むかという質問では7割の男性が妻の就業を望んでいたが、実際に実現しそうな妻のライフコースを尋ねた場合でも7割を超える男性が妻の就業が実現しそうだと回答していることは注目すべき結果である。逆に専業主婦コースが実現しそうだと回答した男性は15%に過ぎない。年齢別では大きな相違はないが、25-29歳の男性は83.3%と、妻の就業が実現しそうだと回答した割合がとくに大きくなっている。

表3-22-1 「年齢」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」とのクロス

妻の実現ライフコース	年齢						合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
DINKSコース	0 .0%	0 .0%	2 8.7%	1 2.9%	1 2.3%	0 .0%	4 2.7%
両立コース	0 .0%	4 33.3%	5 21.7%	7 20.6%	8 18.6%	5 15.6%	29 19.7%
再就職コース	2 66.7%	6 50.0%	10 43.5%	20 58.8%	26 60.5%	14 43.8%	78 53.1%
専業主婦コース	0 .0%	1 8.3%	3 13.0%	4 11.8%	6 14.0%	7 21.9%	21 14.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	1 .7%
無回答	1 33.3%	1 8.3%	3 13.0%	2 5.9%	2 4.7%	5 15.6%	14 9.5%
合計	3 100.0%	12 100.0%	23 100.0%	34 100.0%	43 100.0%	32 100.0%	147 100.0%

表 3-22-2 は「結婚した年齢」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、40-44歳を除いて、結婚した年齢に関係なく妻の就業が実現しそうだと回答した男性の割合は大きい。

表 3-22-3 は「結婚した年代」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これによると、妻の就業が実現しそうだと回答した男性の割合には結婚した年代によって大きな違いは見られない。しかし、2005年以降に結婚した者では「再就職コース」が実現しそうだと回答

した男性の割合がそれ以前の年代で結婚した者の場合よりも大幅に増加する一方で、「専業主婦コース」が実現しそうだという回答した男性の割合が減少していることが注目される。

表3-22-2 「結婚した年齢」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」とのクロス

妻の実現ライフコース	結婚した年齢					合計
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	
DINKSコース	0 .0%	3 3.9%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	4 2.7%
両立コース	6 21.4%	18 23.7%	5 16.1%	0 .0%	0 .0%	29 19.7%
再就職コース	16 57.1%	38 50.0%	17 54.8%	7 70.0%	0 .0%	78 53.1%
専業主婦コース	2 7.1%	8 10.5%	7 22.6%	2 20.0%	2 100.0%	21 14.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	1 1.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
無回答	4 14.3%	8 10.5%	2 6.5%	0 .0%	0 .0%	14 9.5%
合計	28 100.0%	76 100.0%	31 100.0%	10 100.0%	2 100.0%	147 100.0%

表3-22-3 「結婚した年代」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」とのクロス

妻の実現ライフコース	結婚した年代					合計
	1989年以前	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005年以降	
DINKSコース	0 .0%	0 .0%	1 3.8%	1 3.8%	2 4.4%	4 2.7%
両立コース	1 7.1%	8 22.2%	6 23.1%	6 23.1%	8 17.8%	29 19.7%
再就職コース	9 64.3%	20 55.6%	11 42.3%	10 38.5%	28 62.2%	78 53.1%
専業主婦コース	3 21.4%	2 5.6%	5 19.2%	6 23.1%	5 11.1%	21 14.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%
無回答	1 7.1%	5 13.9%	3 11.5%	3 11.5%	2 4.4%	14 9.5%
合計	14 100.0%	36 100.0%	26 100.0%	26 100.0%	45 100.0%	147 100.0%

表 3-22-4 は「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」を性別にクロス集計した結果である。これを見ると、興味深い傾向を読み取ることができる。「DINKS コース」、「両立コース」、「再就職コース」など妻の就業を望んでいた者ではおおむね実際にも妻の就業が実現しそうだという見通しをもっている。たとえば、「再就職コース」を望んでいた男性では、実際に「再就職コース」が実現しそうだという回答した者が 73.9%であり、「DINKS コース」と「両立コース」を含めると 86.9%の者が実際に妻の就業が実現する見通しをもっている。しかし、「専業主婦コース」を妻となる女性に望んでいた者ではそれが実際に実現しそうだという見通しをもっている者は 3分の1程度である。つまり、我々の調査データでは、結婚前に男性が専業主婦コースを妻となる女性に望んだとしても、それを実際に実現できる者は少ないことが明らかになっている。このことは注目すべき結果である。

表3-22-4 「結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース」と「実際に実現しそうな妻のライフコース」とのクロス

妻の実現ライフコース	結婚前に妻となる女性に男性が望んでいたライフコース					合計
	DINKS	両立	再就職	専業主婦	無回答	
DINKSコース	0 .0%	2 5.9%	2 2.9%	0 .0%	0 .0%	4 2.7%
両立コース	1 100.0%	18 52.9%	7 10.1%	2 6.9%	1 7.1%	29 19.7%
再就職コース	0 .0%	10 29.4%	51 73.9%	17 58.6%	0 .0%	78 53.1%
専業主婦コース	0 .0%	3 8.8%	9 13.0%	9 31.0%	0 .0%	21 14.3%
無子専業主婦コース	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.4%	0 .0%	1 .7%
無回答	0 .0%	1 2.9%	0 .0%	0 .0%	13 92.9%	14 9.5%
合計	1 100.0%	34 100.0%	69 100.0%	29 100.0%	14 100.0%	147 100.0%

第4章 未婚者と既婚者の結婚観・家族観

1. 結婚、男女関係、家庭、子どもをもつことについての考え方

結婚、男女関係、家庭、子どもをもつことについては、いろいろな考えがある。それは、結婚難に対する対策を考える場合に考慮すべき事柄である。そこで、どのような人びとがどのような考えをもっているのかを探るため、我々は15の考え方を示して回答者の意見（賛否）を尋ねた。以下では性別、未婚者と既婚者の別、年齢の3つの変数をクロス集計した結果をみてゆきたい。

1-1. 「生涯を独身で過ごすことは望ましい生き方ではない」

表4-1-1によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では73.2%、女性では61.7%であった。結婚歴でみても男女ともに未婚者と既婚者の間で賛否の仕方に大きな相違はみられない。ただ女性の場合には未婚者では既婚者よりも賛成の度合いがやや強いようである。たとえば、未婚者では「まったく賛成」が25.9%、「どちらかといえば賛成」が35.8%であるが、既婚者では「まったく賛成」が15.8%、「どちらかといえば賛成」が45.9%である。年齢別でみても男女ともに各年齢層の間で目立った相違はみられない。

1-2. 「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもどちらでもよい」

表4-1-2によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では72.0%、女性では79.9%であった。結婚歴でみると、男女ともに未婚者は既婚者よりも賛成の度合いが若干大きい。たとえば、男性の場合には、未婚者では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は80.5%であるが、既婚者ではそれは67.4%である。女性の場合にはそれほど大きな差ではないが、「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では84.0%であり、既婚者では78.8%である。年齢別でみると、男女ともに20-24歳の未婚者でこの考えに賛成する者が多く、「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は9割を超えている。

1-3. 「結婚は年齢が高くなると難しくなるので早めにした方がよい」

表4-1-3によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では70.7%、女性では61.7%であった。結婚歴でみると、男性の場合には既婚者は未婚者よりも賛成の度合いが大きく、女性の場合には未婚者の方が既婚者よりも賛成の度合いが大きいという結果が示されている。たとえば、男性の場合には、既婚者では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は74.0%であるが、未婚者ではそれは68.3%である。女性の場合には「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では70.2%であり、既婚者では61.7%である。年齢別にみると、男性の場合には45-49歳で、女

性の場合では 40-44 歳でこの考えに賛成する割合が大きい。たとえば、「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性の 45-49 歳では未婚者の 100%、既婚者の 87.5%、女性の 40-44 歳では未婚者の 85.7%、既婚者の 69.9%となっている。

1-4 「結婚はできれば 30 歳くらいまでにするのが望ましい」

表 4-1-4 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 69.3%、女性では 61.7%であった。結婚歴でみると、男性の場合には未婚者と既婚者で大差はないが、女性の場合には既婚者よりも未婚者の方で賛成の割合が大きい。たとえば、男性の場合には、「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では 70.7%であり、既婚者でもそれは 68.6%と同じ程度である。これに対して、女性の場合には未婚者では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は 75.3%であるが、既婚者ではそれは 57.9%である。年齢別にみると、男女ともに特定の年齢層でこの考えに反対の考えがかなり強い。たとえば、「どちらかといえば反対」と「まったく反対」を合計した割合は、男性の場合には未婚者の 35-39 歳で 58.4%に達し、既婚者の 30-34 歳でも 50.0%である。女性の場合にはそれは未婚者の 30-34 歳で 66.7%、40-44 歳で 57.1%、既婚者の 30-34 歳で 59.0%、35-39 歳で 50.0%である。

1-5. 「結婚は年齢に関係なく、したいときにすればよい」

表 4-1-5 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 69.0%、女性では 67.8%であった。結婚歴でみると、男女ともに既婚者よりも未婚者の方で賛成の割合が大きい。たとえば、男性の場合では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では 74.4%であり、既婚者では 66.0%である。女性の場合ではそれは未婚者では 87.7%、既婚者では 75.0%である。年齢別では男女ともにとくに大きな差異はみられない。

1-6 「恋愛は結婚とは別であり、必ずしも結婚に結びつく必要はない」

表 4-1-6 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 73.7%、女性では 77.5%であった。結婚歴でみると、大差ではないが男女ともに未婚者よりも既婚者の方で賛成の割合がやや大きい。たとえば、男性の場合では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では 72.0%であり、既婚者では 74.6%である。女性の場合ではそれは未婚者では 74.1%、既婚者では 78.5%である。年齢別では男女ともにとくに大きな差異はみられない。

1-7. 「恋愛と結婚は別だが、結婚は恋愛の結果であるべきだ」

表 4-1-7 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 77.2%、女性では 76.4%であつ

た。結婚歴でみると、大差ではないが男女ともに既婚者よりも未婚者の方で賛成の度合いが大きい。たとえば、男性の場合では「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は未婚者では 79.2%、既婚者では 76.0%である。女性の場合ではそれは未婚者では 82.2%、既婚者では 74.6%である。年齢別では男女ともにとくに大きな差異はみられない。

1-8. 「結婚後は、夫は外で働き、妻は主婦業に専念すべきだ」

表 4-1-8 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に反対している。つまり、外での仕事と家庭での仕事の性別分業の考え方は支持されていない。「まったく反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合は、男性では 69.8%、女性では 75.9%であった。結婚歴でみると、男性の場合には既婚者の方で反対の度合いが大きく、女性の場合には未婚者の方で反対の度合いが大きい。たとえば、男性の場合には「まったく反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合は未婚者で 64.6%であり、既婚者では 72.6%である。逆に女性の場合にはそれは未婚者では 80.2%、既婚者では 74.7%である。年齢別では男女ともにとくに大きな差異はみられない。

1-9. 「今後は経済情勢の悪化に備えて、夫婦は共働きが望ましい」

表 4-1-9 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 73.7%、女性では 81.7%であった。男性よりも女性の方で賛成の度合いがやや大きいことは注目してよいことである。結婚歴でみると男女ともに大きな差異はみられない。年齢別でも男女ともに大きな差異はないが、女性の場合には反対の度合いが大きい年齢層が一つある。それは未婚者の 35-39 歳であり、「まったく反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合は 66.7%に達している。

1-10. 「安定した収入がない男性は結婚を考えるべきでない」

表 4-1-10 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合は、男性では 73.2%、女性では 61.7%であった。女性よりも男性の方にこの考えを支持する度合いが大きいことは注目してよいことである。結婚歴でみると、男女ともに差異はみられない。年齢別にみた場合、男女ともに 20-24 歳でこの考えに反対の度合いが比較的大きい。たとえば、「まったく反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合は男性の場合には未婚者の 20-24 歳で 40.9%、既婚者の 20-24 歳で 66.7%、女性の場合には未婚者の 20-24 歳 44.4%、既婚者の 20-24 歳で 80.0%である。

1-11. 「今後の社会では妻が家計を支える家庭が増えるべきだ」

表 4-1-11 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に反対している。つまり、女性が家計を支えるような家庭の増加は支持されていない。「まったく反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合は、男性では 64.2%、女性では 74.3%であった。結婚歴でみると、男性の場合には未婚者よりも既婚者の方で反対の度合いが大きい。たとえば、男性の場合では「まったく反対」と「ど

ちらかといえれば反対」を合計した割合は未婚者では 58.6%であるが、既婚者では 67.3%である。これに対して、女性の場合ではそれは未婚者では 75.3%、既婚者でも 75.3%とまったく同率である。年齢別でも男女ともに大きな差異はないが、男性の場合には賛成の割合が大きい年齢層が一つある。それは未婚者の 40-44 歳であり、「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は 70.0%に達している。

1-12. 「結婚したら、子どもはもつべきだ」

表 4-1-12 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は、男性では 87.9%、女性では 78.6%であった。結婚歴でみると、男女ともに大きな差異はみられない。年齢別でもとくに目立った差異はみられない。

1-13. 「子どもの数を増やすため、結婚をもっと増やす必要がある」

表 4-1-13 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は、男性では 75.0%、女性では 61.6%であった。結婚歴でみると、男女ともに差異はみられない。しかし、年齢別では一部に反対の割合が大きい特定の年齢層がある。たとえば、「まったく反対」と「どちらかといえれば反対」を合計した割合は男性の場合には未婚者の 35-39 歳で 50.0%、既婚者の 30-34 歳で 37.5%、女性の場合には未婚者の 30-34 歳で 66.6%、35-39 歳で 50.0%、既婚者の 30-34 歳で 48.2%となっている。

1-14. 「結婚するために積極的な活動（婚活）が必要な場合もある」

表 4-1-14 によると、我々の調査の回答者では男女ともに圧倒的多数の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は、男性では 85.8%、女性では 89.6%であった。この考えにまったく反対である者は男女ともにごくわずかである。結婚するために積極的な活動が必要な場合があるということ、すなわち、いわゆる婚活の必要性が広く認められるようになっていることが分かる。結婚歴でみると、男女ともに大きな差異はみられない。年齢別でもとくに目立った差異はみられない。

1-15. 「結婚難を緩和するためには、社会的な施策や支援が必要だ」

表 4-1-15 によると、我々の調査の回答者では男女ともに大半の者がこの考え方に賛成している。「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は、男性では 72.8%、女性では 77.0%であった。結婚歴でみると、男性の場合には既婚者よりも未婚者の方で賛成の割合が大きい。「まったく賛成」と「どちらかといえれば賛成」を合計した割合は、男性の場合には未婚者では 79.2%であるが、既婚者では 69.3%であった。女性の場合には未婚者では 79.0%、既婚者では 76.4%と大きな差異はない。年齢別ではとくに大きな差異はみられない。

表4-1-1 「生涯を独身で過ごすことは望ましい生き方ではない」

			年齢					合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	未婚	まったく賛成	3 13.6%	4 22.2%	2 12.5%	3 25.0%	3 30.0%	4 100.0%	19 23.2%
		どちらかといえば賛成	10 45.5%	11 61.1%	9 56.3%	6 50.0%	5 50.0%	0 .0%	41 50.0%
		どちらかといえば反対	7 31.8%	2 11.1%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	15 18.3%
		まったく反対	2 9.1%	1 5.6%	2 12.5%	1 8.3%	1 10.0%	0 .0%	7 8.5%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	1 33.3%	3 25.0%	6 25.0%	7 20.0%	10 22.7%	7 21.9%
	どちらかといえば賛成	0 .0%	7 58.3%	9 37.5%	22 62.9%	23 52.3%	15 46.9%	76 50.7%	
	どちらかといえば反対	2 66.7%	1 8.3%	5 20.8%	5 14.3%	7 15.9%	7 21.9%	27 18.0%	
	まったく反対	0 .0%	1 8.3%	3 12.5%	1 2.9%	4 9.1%	2 6.3%	11 7.3%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	4 16.0%	7 23.3%	8 20.0%	10 21.3%	13 24.1%	11 30.6%	53 22.8%
	どちらかといえば賛成	10 40.0%	18 60.0%	18 45.0%	28 59.6%	28 51.9%	15 41.7%	117 50.4%	
	どちらかといえば反対	9 36.0%	3 10.0%	8 20.0%	7 14.9%	8 14.8%	7 19.4%	42 18.1%	
	まったく反対	2 8.0%	2 6.7%	5 12.5%	2 4.3%	5 9.3%	2 5.6%	18 7.8%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%	
	合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	6 16.7%	9 34.6%	2 33.3%	1 16.7%	3 42.9%	
どちらかといえば賛成			14 38.9%	9 34.6%	2 33.3%	2 33.3%	2 28.6%		29 35.8%
どちらかといえば反対			11 30.6%	8 30.8%	1 16.7%	2 33.3%	2 28.6%		24 29.6%
まったく反対			5 13.9%	0 .0%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%		7 8.6%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚			まったく賛成	0 .0%	5 17.2%	8 14.3%	6 9.1%	17 23.3%	10 15.9%
どちらかといえば賛成		1 20.0%	11 37.9%	27 48.2%	30 45.5%	34 46.6%	31 49.2%	134 45.9%	
どちらかといえば反対		4 80.0%	8 27.6%	17 30.4%	23 34.8%	16 21.9%	21 33.3%	89 30.5%	
まったく反対		0 .0%	5 17.2%	3 5.4%	7 10.6%	6 8.2%	1 1.6%	22 7.5%	
無回答		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	6 14.6%	14 25.5%	10 16.1%	7 9.7%	20 25.0%	10 15.9%	67 18.0%
どちらかといえば賛成		15 36.6%	20 36.4%	29 46.8%	32 44.4%	36 45.0%	31 49.2%	163 43.7%	
どちらかといえば反対		15 36.6%	16 29.1%	18 29.0%	25 34.7%	18 22.5%	21 33.3%	113 30.3%	
まったく反対		5 12.2%	5 9.1%	4 6.5%	8 11.1%	6 7.5%	1 1.6%	29 7.8%	
無回答		0 .0%	0 .0%	1 1.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
合計		41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

表4-1-2 「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもどちらでもよい」

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	12 54.5%	6 33.3%	11 68.8%	2 16.7%	3 30.0%	0 .0%	34 41.5%
		どちらかといえば賛成	8 36.4%	8 44.4%	3 18.8%	7 58.3%	5 50.0%	1 25.0%	32 39.0%
		どちらかといえば反対	2 9.1%	3 16.7%	2 12.5%	1 8.3%	0 .0%	3 75.0%	11 13.4%
		まったく反対	0 .0%	1 5.6%	0 .0%	2 16.7%	2 20.0%	0 .0%	5 6.1%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	2 66.7%	4 33.3%	10 41.7%	10 28.6%	10 22.7%	4 12.5%
	どちらかといえば賛成		0 .0%	4 33.3%	9 37.5%	15 42.9%	19 43.2%	14 43.8%	61 40.7%
	どちらかといえば反対		1 33.3%	3 25.0%	4 16.7%	7 20.0%	13 29.5%	12 37.5%	40 26.7%
	まったく反対		0 .0%	1 8.3%	0 .0%	3 8.6%	2 4.5%	1 3.1%	7 4.7%
	無回答		0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
	合計		3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	合計	まったく賛成	14 56.0%	10 33.3%	21 52.5%	12 25.5%	13 24.1%	4 11.1%	74 31.9%
		どちらかといえば賛成	8 32.0%	12 40.0%	12 30.0%	22 46.8%	24 44.4%	15 41.7%	93 40.1%
		どちらかといえば反対	3 12.0%	6 20.0%	6 15.0%	8 17.0%	13 24.1%	15 41.7%	51 22.0%
		まったく反対	0 .0%	2 6.7%	0 .0%	5 10.6%	4 7.4%	1 2.8%	12 5.2%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
	女性	未婚	まったく賛成	21 58.3%	7 26.9%	3 50.0%	2 33.3%	1 14.3%	
どちらかといえば賛成			12 33.3%	12 46.2%	2 33.3%	3 50.0%	5 71.4%		34 42.0%
どちらかといえば反対			3 8.3%	7 26.9%	1 16.7%	1 16.7%	1 14.3%		13 16.0%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚		まったく賛成	4 80.0%	16 55.2%	21 37.5%	24 36.4%	23 31.5%	23 36.5%	111 38.0%
		どちらかといえば賛成	1 20.0%	11 37.9%	23 41.1%	31 47.0%	29 39.7%	24 38.1%	119 40.8%
		どちらかといえば反対	0 .0%	1 3.4%	10 17.9%	10 15.2%	19 26.0%	13 20.6%	53 18.2%
		まったく反対	0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	1 1.5%	2 2.7%	3 4.8%	9 3.1%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
合計		まったく賛成	25 61.0%	23 41.8%	24 38.7%	26 36.1%	24 30.0%	23 36.5%	145 38.9%
		どちらかといえば賛成	13 31.7%	23 41.8%	25 40.3%	34 47.2%	34 42.5%	24 38.1%	153 41.0%
		どちらかといえば反対	3 7.3%	8 14.5%	11 17.7%	11 15.3%	20 25.0%	13 20.6%	66 17.7%
		まったく反対	0 .0%	1 1.8%	2 3.2%	1 1.4%	2 2.5%	3 4.8%	9 2.4%
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

表4-1-3 「結婚は年齢が高くなると難しくなるので早めにした方がよい」

			年齢						合計
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	未婚	まったく賛成	5	2	8	3	4	2	24
			22.7%	11.1%	50.0%	25.0%	40.0%	50.0%	29.3%
		どちらかといえば賛成	9	10	4	4	3	2	32
			40.9%	55.6%	25.0%	33.3%	30.0%	50.0%	39.0%
		どちらかといえば反対	6	6	3	4	3	0	22
			27.3%	33.3%	18.8%	33.3%	30.0%	.0%	26.8%
	既婚	まったく反対	2	0	1	1	0	0	4
			9.1%	.0%	6.3%	8.3%	.0%	.0%	4.9%
		合計	22	18	16	12	10	4	82
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		まったく賛成	1	4	5	3	9	4	26
			33.3%	33.3%	20.8%	8.6%	20.5%	12.5%	17.3%
	合計	どちらかといえば賛成	1	5	8	24	20	24	82
			33.3%	41.7%	33.3%	68.6%	45.5%	75.0%	54.7%
		どちらかといえば反対	0	2	7	7	12	1	29
			.0%	16.7%	29.2%	20.0%	27.3%	3.1%	19.3%
		まったく反対	1	1	3	1	3	2	11
			33.3%	8.3%	12.5%	2.9%	6.8%	6.3%	7.3%
	合計	無回答	0	0	1	0	0	1	2
			.0%	.0%	4.2%	.0%	.0%	3.1%	1.3%
		合計	3	12	24	35	44	32	150
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
まったく賛成		6	6	13	6	13	6	50	
		24.0%	20.0%	32.5%	12.8%	24.1%	16.7%	21.6%	
合計	どちらかといえば賛成	10	15	12	28	23	26	114	
		40.0%	50.0%	30.0%	59.6%	42.6%	72.2%	49.1%	
	どちらかといえば反対	6	8	10	11	15	1	51	
		24.0%	26.7%	25.0%	23.4%	27.8%	2.8%	22.0%	
	まったく反対	3	1	4	2	3	2	15	
		12.0%	3.3%	10.0%	4.3%	5.6%	5.6%	6.5%	
合計	無回答	0	0	1	0	0	1	2	
		.0%	.0%	2.5%	.0%	.0%	2.8%	.9%	
	合計	25	30	40	47	54	36	232	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	まったく賛成	7	1	1	1	1		11	
		19.4%	3.8%	16.7%	16.7%	14.3%		13.6%	
未婚	どちらかといえば賛成	18	19	2	2	5		46	
		50.0%	73.1%	33.3%	33.3%	71.4%		56.8%	
	どちらかといえば反対	9	6	3	1	1		20	
		25.0%	23.1%	50.0%	16.7%	14.3%		24.7%	
	まったく反対	2	0	0	2	0		4	
		5.6%	.0%	.0%	33.3%	.0%		4.9%	
合計	無回答	36	26	6	6	7		81	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	
	まったく賛成	0	5	8	6	17	10	46	
		.0%	17.2%	14.3%	9.1%	23.3%	15.9%	15.8%	
	どちらかといえば賛成	1	11	27	30	34	31	134	
		20.0%	37.9%	48.2%	45.5%	46.6%	49.2%	45.9%	
既婚	どちらかといえば反対	4	8	17	23	16	21	89	
		80.0%	27.6%	30.4%	34.8%	21.9%	33.3%	30.5%	
	まったく反対	0	5	3	7	6	1	22	
		.0%	17.2%	5.4%	10.6%	8.2%	1.6%	7.5%	
	無回答	0	0	1	0	0	0	1	
		.0%	.0%	1.8%	.0%	.0%	.0%	.3%	
合計	合計	5	29	56	66	73	63	292	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	まったく賛成	6	14	10	7	20	10	67	
		14.6%	25.5%	16.1%	9.7%	25.0%	15.9%	18.0%	
	どちらかといえば賛成	15	20	29	32	36	31	163	
		36.6%	36.4%	46.8%	44.4%	45.0%	49.2%	43.7%	
合計	どちらかといえば反対	15	16	18	25	18	21	113	
		36.6%	29.1%	29.0%	34.7%	22.5%	33.3%	30.3%	
	まったく反対	5	5	4	8	6	1	29	
		12.2%	9.1%	6.5%	11.1%	7.5%	1.6%	7.8%	
	無回答	0	0	1	0	0	0	1	
		.0%	.0%	1.6%	.0%	.0%	.0%	.3%	
合計	合計	41	55	62	72	80	63	373	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4-1-4 「結婚はできれば30歳くらいまでにするのが望ましい」

			年齢						合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	6 27.3%	4 22.2%	3 18.8%	3 25.0%	4 40.0%	2 50.0%	22 26.8%	
		どちらかといえば賛成	9 40.9%	9 50.0%	11 68.8%	2 16.7%	3 30.0%	2 50.0%	36 43.9%	
		どちらかといえば反対	5 22.7%	3 16.7%	1 6.3%	5 41.7%	3 30.0%	0 .0%	17 20.7%	
		まったく反対	2 9.1%	2 11.1%	1 6.3%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	7 8.5%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
		既婚	まったく賛成	1 33.3%	2 16.7%	3 12.5%	7 20.0%	10 22.7%	6 18.8%	29 19.3%
	どちらかといえば賛成		1 33.3%	6 50.0%	8 33.3%	20 57.1%	21 47.7%	18 56.3%	74 49.3%	
	どちらかといえば反対		0 .0%	3 25.0%	7 29.2%	6 17.1%	13 29.5%	5 15.6%	34 22.7%	
	まったく反対		1 33.3%	1 8.3%	5 20.8%	2 5.7%	0 .0%	2 6.3%	11 7.3%	
	無回答		0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	合計		3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	7 28.0%	6 20.0%	6 15.0%	10 21.3%	14 25.9%	8 22.2%	51 22.0%	
		どちらかといえば賛成	10 40.0%	15 50.0%	19 47.5%	22 46.8%	24 44.4%	20 55.6%	110 47.4%	
		どちらかといえば反対	5 20.0%	6 20.0%	8 20.0%	11 23.4%	16 29.6%	5 13.9%	51 22.0%	
		まったく反対	3 12.0%	3 10.0%	6 15.0%	4 8.5%	0 .0%	2 5.6%	18 7.8%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%	
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	11 30.6%	3 11.5%	1 16.7%	1 16.7%	1 14.3%		17 21.0%
			どちらかといえば賛成	18 50.0%	20 76.9%	1 16.7%	3 50.0%	2 28.6%		44 54.3%
			どちらかといえば反対	5 13.9%	3 11.5%	4 66.7%	1 16.7%	4 57.1%		17 21.0%
			まったく反対	2 5.6%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		3 3.7%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%	
既婚			まったく賛成	2 40.0%	5 17.2%	3 5.4%	5 7.6%	17 23.3%	11 17.5%	43 14.7%
		どちらかといえば賛成	2 40.0%	11 37.9%	20 35.7%	27 40.9%	33 45.2%	33 52.4%	126 43.2%	
		どちらかといえば反対	0 .0%	10 34.5%	23 41.1%	25 37.9%	17 23.3%	17 27.0%	92 31.5%	
		まったく反対	1 20.0%	3 10.3%	10 17.9%	8 12.1%	6 8.2%	2 3.2%	30 10.3%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	13 31.7%	8 14.5%	4 6.5%	6 8.3%	18 22.5%	11 17.5%	60 16.1%	
		どちらかといえば賛成	20 48.8%	31 56.4%	21 33.9%	30 41.7%	35 43.8%	33 52.4%	170 45.6%	
		どちらかといえば反対	5 12.2%	13 23.6%	27 43.5%	26 36.1%	21 26.3%	17 27.0%	109 29.2%	
		まったく反対	3 7.3%	3 5.5%	10 16.1%	9 12.5%	6 7.5%	2 3.2%	33 8.8%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	0 .0%	1 .3%		
	合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%		

表4-1-5 「結婚は年齢に関係なく、したいときにすればよい」

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	9 40.9%	7 38.9%	7 43.8%	5 41.7%	3 30.0%	0 .0%	31 37.8%
		どちらかといえば賛成	8 36.4%	6 33.3%	6 37.5%	5 41.7%	4 40.0%	1 25.0%	30 36.6%
		どちらかといえば反対	3 13.6%	3 16.7%	2 12.5%	1 8.3%	2 20.0%	3 75.0%	14 17.1%
		まったく反対	2 9.1%	2 11.1%	1 6.3%	1 8.3%	1 10.0%	0 .0%	7 8.5%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	3 100.0%	3 25.0%	13 54.2%	10 28.6%	7 15.9%	7 21.9%
	どちらかといえば賛成		0 .0%	5 41.7%	6 25.0%	14 40.0%	21 47.7%	10 31.3%	56 37.3%
	どちらかといえば反対		0 .0%	3 25.0%	3 12.5%	10 28.6%	13 29.5%	14 43.8%	43 28.7%
	まったく反対		0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	1 2.9%	3 6.8%	0 .0%	6 4.0%
	無回答		0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
	合計		3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	合計	まったく賛成	12 48.0%	10 33.3%	20 50.0%	15 31.9%	10 18.5%	7 19.4%	74 31.9%
		どちらかといえば賛成	8 32.0%	11 36.7%	12 30.0%	19 40.4%	25 46.3%	11 30.6%	86 37.1%
		どちらかといえば反対	3 12.0%	6 20.0%	5 12.5%	11 23.4%	15 27.8%	17 47.2%	57 24.6%
		まったく反対	2 8.0%	3 10.0%	2 5.0%	2 4.3%	4 7.4%	0 .0%	13 5.6%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
	女性	未婚	まったく賛成	12 33.3%	8 30.8%	3 50.0%	2 33.3%	3 42.9%	
どちらかといえば賛成			19 52.8%	14 53.8%	3 50.0%	4 66.7%	3 42.9%		43 53.1%
どちらかといえば反対			5 13.9%	4 15.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		9 11.1%
まったく反対			0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%		1 1.2%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚			まったく賛成	3 60.0%	13 44.8%	29 51.8%	26 39.4%	24 32.9%	16 25.4%
		どちらかといえば賛成	1 20.0%	13 44.8%	17 30.4%	24 36.4%	27 37.0%	26 41.3%	108 37.0%
		どちらかといえば反対	1 20.0%	3 10.3%	9 16.1%	15 22.7%	18 24.7%	18 28.6%	64 21.9%
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 1.5%	4 5.5%	2 3.2%	8 2.7%
		無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
合計		まったく賛成	15 36.6%	21 38.2%	32 51.6%	28 38.9%	27 33.8%	16 25.4%	139 37.3%
		どちらかといえば賛成	20 48.8%	27 49.1%	20 32.3%	28 38.9%	30 37.5%	26 41.3%	151 40.5%
		どちらかといえば反対	6 14.6%	7 12.7%	9 14.5%	15 20.8%	18 22.5%	18 28.6%	73 19.6%
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 1.4%	5 6.3%	2 3.2%	9 2.4%
		無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

表4-1-6 「恋愛は結婚とは別であり、必ずしも結婚に結びつく必要はない」

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	9 40.9%	4 22.2%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	19 23.2%
		どちらかといえば賛成	6 27.3%	12 66.7%	8 50.0%	6 50.0%	6 60.0%	2 50.0%	40 48.8%
		どちらかといえば反対	4 18.2%	1 5.6%	4 25.0%	4 33.3%	2 20.0%	2 50.0%	17 20.7%
		まったく反対	3 13.6%	1 5.6%	1 6.3%	0 .0%	1 10.0%	0 .0%	6 7.3%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	1 33.3%	4 33.3%	11 45.8%	11 31.4%	10 22.7%	10 31.3%
	どちらかといえば賛成	0 .0%	3 25.0%	4 16.7%	20 57.1%	21 47.7%	17 53.1%	65 43.3%	
	どちらかといえば反対	2 66.7%	2 16.7%	7 29.2%	2 5.7%	12 27.3%	4 12.5%	29 19.3%	
	まったく反対	0 .0%	3 25.0%	1 4.2%	2 5.7%	0 .0%	0 .0%	6 4.0%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	3 2.0%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	10 40.0%	8 26.7%	14 35.0%	13 27.7%	11 20.4%	10 27.8%	66 28.4%
	どちらかといえば賛成	6 24.0%	15 50.0%	12 30.0%	26 55.3%	27 50.0%	19 52.8%	105 45.3%	
	どちらかといえば反対	6 24.0%	3 10.0%	11 27.5%	6 12.8%	14 25.9%	6 16.7%	46 19.8%	
	まったく反対	3 12.0%	4 13.3%	2 5.0%	2 4.3%	1 1.9%	0 .0%	12 5.2%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	1 1.9%	1 2.8%	3 1.3%	
	合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	14 38.9%	7 26.9%	1 16.7%	1 16.7%	2 28.6%	
どちらかといえば賛成			13 36.1%	14 53.8%	3 50.0%	2 33.3%	3 42.9%		35 43.2%
どちらかといえば反対			6 16.7%	5 19.2%	2 33.3%	2 33.3%	1 14.3%		16 19.8%
まったく反対			3 8.3%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	1 14.3%		5 6.2%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚			まったく賛成	3 60.0%	13 44.8%	32 57.1%	27 40.9%	20 27.4%	17 27.0%
どちらかといえば賛成		0 .0%	11 37.9%	17 30.4%	24 36.4%	31 42.5%	34 54.0%	117 40.1%	
どちらかといえば反対		2 40.0%	4 13.8%	5 8.9%	14 21.2%	18 24.7%	11 17.5%	54 18.5%	
まったく反対		0 .0%	1 3.4%	2 3.6%	1 1.5%	4 5.5%	0 .0%	8 2.7%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	17 41.5%	20 36.4%	33 53.2%	28 38.9%	22 27.5%	17 27.0%	137 36.7%
どちらかといえば賛成		13 31.7%	25 45.5%	20 32.3%	26 36.1%	34 42.5%	34 54.0%	152 40.8%	
どちらかといえば反対		8 19.5%	9 16.4%	7 11.3%	16 22.2%	19 23.8%	11 17.5%	70 18.8%	
まったく反対		3 7.3%	1 1.8%	2 3.2%	2 2.8%	5 6.3%	0 .0%	13 3.5%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%	
合計		41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

表4-1-7 「恋愛と結婚は別だが、結婚は恋愛の結果であるべきだ」

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	8 36.4%	5 27.8%	5 31.3%	1 8.3%	1 10.0%	2 50.0%	22 26.8%
		どちらかといえば賛成	5 22.7%	11 61.1%	8 50.0%	9 75.0%	8 80.0%	2 50.0%	43 52.4%
		どちらかといえば反対	6 27.3%	1 5.6%	2 12.5%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	12 14.6%
		まったく反対	3 13.6%	1 5.6%	1 6.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 6.1%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	既婚	まったく賛成	2 66.7%	3 25.0%	7 29.2%	9 25.7%	13 29.5%	2 6.3%	36 24.0%
		どちらかといえば賛成	0 .0%	8 66.7%	9 37.5%	18 51.4%	24 54.5%	19 59.4%	78 52.0%
		どちらかといえば反対	1 33.3%	0 .0%	5 20.8%	8 22.9%	4 9.1%	7 21.9%	25 16.7%
		まったく反対	0 .0%	1 8.3%	2 8.3%	0 .0%	3 6.8%	3 9.4%	9 6.0%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
		合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	合計	まったく賛成	10 40.0%	8 26.7%	12 30.0%	10 21.3%	14 25.9%	4 11.1%	58 25.0%
		どちらかといえば賛成	5 20.0%	19 63.3%	17 42.5%	27 57.4%	32 59.3%	21 58.3%	121 52.2%
		どちらかといえば反対	7 28.0%	1 3.3%	7 17.5%	10 21.3%	5 9.3%	7 19.4%	37 15.9%
		まったく反対	3 12.0%	2 6.7%	3 7.5%	0 .0%	3 5.6%	3 8.3%	14 6.0%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
	女性	未婚	まったく賛成	5 13.9%	6 23.1%	1 16.7%	0 .0%	1 14.3%	
どちらかといえば賛成			23 63.9%	15 57.7%	4 66.7%	6 100.0%	6 85.7%		54 66.7%
どちらかといえば反対			6 16.7%	5 19.2%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%		12 14.8%
まったく反対			2 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 2.5%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚		まったく賛成	3 60.0%	5 17.2%	11 19.6%	11 16.7%	24 32.9%	13 20.6%	67 22.9%
		どちらかといえば賛成	1 20.0%	16 55.2%	28 50.0%	33 50.0%	36 49.3%	37 58.7%	151 51.7%
		どちらかといえば反対	0 .0%	4 13.8%	10 17.9%	20 30.3%	9 12.3%	10 15.9%	53 18.2%
		まったく反対	1 20.0%	4 13.8%	7 12.5%	2 3.0%	3 4.1%	2 3.2%	19 6.5%
		無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	1 1.6%	2 .7%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
合計		まったく賛成	8 19.5%	11 20.0%	12 19.4%	11 15.3%	25 31.3%	13 20.6%	80 21.4%
	どちらかといえば賛成	24 58.5%	31 56.4%	32 51.6%	39 54.2%	42 52.5%	37 58.7%	205 55.0%	
	どちらかといえば反対	6 14.6%	9 16.4%	11 17.7%	20 27.8%	9 11.3%	10 15.9%	65 17.4%	
	まったく反対	3 7.3%	4 7.3%	7 11.3%	2 2.8%	3 3.8%	2 3.2%	21 5.6%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.3%	1 1.6%	2 .5%	
	合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

表4-1-8 「結婚後は夫は外で働き、妻は主婦業に専念すべきだ」

		年齢						合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	1 4.5%	1 5.6%	1 6.3%	1 8.3%	1 10.0%	1 25.0%	6 7.3%
		どちらかといえば賛成	5 22.7%	4 22.2%	7 43.8%	2 16.7%	4 40.0%	1 25.0%	23 28.0%
		どちらかといえば反対	8 36.4%	9 50.0%	4 25.0%	6 50.0%	3 30.0%	2 50.0%	32 39.0%
		まったく反対	8 36.4%	4 22.2%	4 25.0%	3 25.0%	2 20.0%	0 .0%	21 25.6%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	既婚	まったく賛成	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	4 11.4%	3 6.8%	0 .0%	9 6.0%
		どちらかといえば賛成	0 .0%	3 25.0%	2 8.3%	6 17.1%	10 22.7%	9 28.1%	30 20.0%
		どちらかといえば反対	2 66.7%	4 33.3%	9 37.5%	22 62.9%	24 54.5%	16 50.0%	77 51.3%
		まったく反対	1 33.3%	5 41.7%	10 41.7%	3 8.6%	7 15.9%	6 18.8%	32 21.3%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
		合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	合計	まったく賛成	1 4.0%	1 3.3%	3 7.5%	5 10.6%	4 7.4%	1 2.8%	15 6.5%
		どちらかといえば賛成	5 20.0%	7 23.3%	9 22.5%	8 17.0%	14 25.9%	10 27.8%	53 22.8%
		どちらかといえば反対	10 40.0%	13 43.3%	13 32.5%	28 59.6%	27 50.0%	18 50.0%	109 47.0%
		まったく反対	9 36.0%	9 30.0%	14 35.0%	6 12.8%	9 16.7%	6 16.7%	53 22.8%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
	女性	未婚	まったく賛成	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	1 1.2%
どちらかといえば賛成			6 16.7%	4 15.4%	1 16.7%	3 50.0%	1 14.3%	15 18.5%	
どちらかといえば反対			19 52.8%	16 61.5%	3 50.0%	1 16.7%	2 28.6%	41 50.6%	
まったく反対			11 30.6%	6 23.1%	2 33.3%	2 33.3%	3 42.9%	24 29.6%	
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	81 100.0%	
既婚		まったく賛成	0 .0%	0 .0%	2 3.6%	2 3.0%	3 4.1%	2 3.2%	9 3.1%
		どちらかといえば賛成	2 40.0%	7 24.1%	13 23.2%	11 16.7%	22 30.1%	10 15.9%	65 22.3%
		どちらかといえば反対	2 40.0%	11 37.9%	19 33.9%	30 45.5%	32 43.8%	40 63.5%	134 45.9%
		まったく反対	1 20.0%	11 37.9%	22 39.3%	23 34.8%	16 21.9%	11 17.5%	84 28.8%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
合計		まったく賛成	0 .0%	0 .0%	2 3.2%	2 2.8%	4 5.0%	2 3.2%	10 2.7%
		どちらかといえば賛成	8 19.5%	11 20.0%	14 22.6%	14 19.4%	23 28.8%	10 15.9%	80 21.4%
		どちらかといえば反対	21 51.2%	27 49.1%	22 35.5%	31 43.1%	34 42.5%	40 63.5%	175 46.9%
		まったく反対	12 29.3%	17 30.9%	24 38.7%	25 34.7%	19 23.8%	11 17.5%	108 29.0%
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

表4-1-9 「今後は経済情勢の悪化に備えて夫婦は共働きが望ましい」

			年齢						合計
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	未婚	まったく賛成	4 18.2%	2 11.1%	4 25.0%	1 8.3%	2 20.0%	0 .0%	13 15.9%
		どちらかといえば賛成	14 63.6%	11 61.1%	7 43.8%	9 75.0%	5 50.0%	3 75.0%	49 59.8%
		どちらかといえば反対	3 13.6%	4 22.2%	4 25.0%	1 8.3%	3 30.0%	1 25.0%	16 19.5%
		まったく反対	1 4.5%	1 5.6%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	4 4.9%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	0 .0%	0 .0%	8 33.3%	5 14.3%	6 13.6%	3 9.4%
	どちらかといえば賛成	3 100.0%	8 66.7%	8 33.3%	20 57.1%	27 61.4%	21 65.6%	87 58.0%	
	どちらかといえば反対	0 .0%	4 33.3%	6 25.0%	10 28.6%	11 25.0%	5 15.6%	36 24.0%	
	まったく反対	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	2 6.3%	3 2.0%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	4 16.0%	2 6.7%	12 30.0%	6 12.8%	8 14.8%	3 8.3%	35 15.1%
	どちらかといえば賛成	17 68.0%	19 63.3%	15 37.5%	29 61.7%	32 59.3%	24 66.7%	136 58.6%	
	どちらかといえば反対	3 12.0%	8 26.7%	10 25.0%	11 23.4%	14 25.9%	6 16.7%	52 22.4%	
	まったく反対	1 4.0%	1 3.3%	2 5.0%	1 2.1%	0 .0%	1 2.8%	6 2.6%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	2 5.6%	3 1.3%	
	合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	3 8.3%	5 19.2%	3 50.0%	0 .0%	2 28.6%	
どちらかといえば賛成			27 75.0%	16 61.5%	3 50.0%	2 33.3%	4 57.1%		52 64.2%
どちらかといえば反対			6 16.7%	4 15.4%	0 .0%	3 50.0%	1 14.3%		14 17.3%
まったく反対			0 .0%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		2 2.5%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚			まったく賛成	0 .0%	6 20.7%	12 21.4%	9 13.6%	11 15.1%	5 7.9%
どちらかといえば賛成		3 60.0%	15 51.7%	22 39.3%	38 57.6%	44 60.3%	44 69.8%	166 56.8%	
どちらかといえば反対		1 20.0%	7 24.1%	20 35.7%	15 22.7%	17 23.3%	13 20.6%	73 25.0%	
まったく反対		1 20.0%	1 3.4%	2 3.6%	3 4.5%	1 1.4%	0 .0%	8 2.7%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.5%	0 .0%	1 1.6%	2 .7%	
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	3 7.3%	11 20.0%	15 24.2%	9 12.5%	13 16.3%	5 7.9%	56 15.0%
どちらかといえば賛成		30 73.2%	31 56.4%	25 40.3%	40 55.6%	48 60.0%	44 69.8%	218 58.4%	
どちらかといえば反対		7 17.1%	11 20.0%	20 32.3%	18 25.0%	18 22.5%	13 20.6%	87 23.3%	
まったく反対		1 2.4%	2 3.6%	2 3.2%	4 5.6%	1 1.3%	0 .0%	10 2.7%	
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	1 1.6%	2 .5%	
合計		41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

表4-1-10 「安定した収入がない男性は結婚を考えるべきでない」

			年齢						合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	3 13.6%	4 22.2%	2 12.5%	3 25.0%	3 30.0%	4 100.0%	19 23.2%	
		どちらかといえば賛成	10 45.5%	11 61.1%	9 56.3%	6 50.0%	5 50.0%	0 .0%	41 50.0%	
		どちらかといえば反対	7 31.8%	2 11.1%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	15 18.3%	
		まったく反対	2 9.1%	1 5.6%	2 12.5%	1 8.3%	1 10.0%	0 .0%	7 8.5%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
		既婚	まったく賛成	1 33.3%	3 25.0%	6 25.0%	7 20.0%	10 22.7%	7 21.9%	34 22.7%
	どちらかといえば賛成	0 .0%	7 58.3%	9 37.5%	22 62.9%	23 52.3%	15 46.9%	76 50.7%		
	どちらかといえば反対	2 66.7%	1 8.3%	5 20.8%	5 14.3%	7 15.9%	7 21.9%	27 18.0%		
	まったく反対	0 .0%	1 8.3%	3 12.5%	1 2.9%	4 9.1%	2 6.3%	11 7.3%		
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%		
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%		
	合計	まったく賛成	4 16.0%	7 23.3%	8 20.0%	10 21.3%	13 24.1%	11 30.6%	53 22.8%	
	どちらかといえば賛成	10 40.0%	18 60.0%	18 45.0%	28 59.6%	28 51.9%	15 41.7%	117 50.4%		
	どちらかといえば反対	9 36.0%	3 10.0%	8 20.0%	7 14.9%	8 14.8%	7 19.4%	42 18.1%		
	まったく反対	2 8.0%	2 6.7%	5 12.5%	2 4.3%	5 9.3%	2 5.6%	18 7.8%		
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%		
	合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%		
	女性	未婚	まったく賛成	6 16.7%	9 34.6%	2 33.3%	1 16.7%	3 42.9%		21 25.9%
			どちらかといえば賛成	14 38.9%	9 34.6%	2 33.3%	2 33.3%	2 28.6%		29 35.8%
			どちらかといえば反対	11 30.6%	8 30.8%	1 16.7%	2 33.3%	2 28.6%		24 29.6%
			まったく反対	5 13.9%	0 .0%	1 16.7%	1 16.7%	0 .0%		7 8.6%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%	
既婚			まったく賛成	0 .0%	5 17.2%	8 14.3%	6 9.1%	17 23.3%	10 15.9%	46 15.8%
どちらかといえば賛成		1 20.0%	11 37.9%	27 48.2%	30 45.5%	34 46.6%	31 49.2%	134 45.9%		
どちらかといえば反対		4 80.0%	8 27.6%	17 30.4%	23 34.8%	16 21.9%	21 33.3%	89 30.5%		
まったく反対		0 .0%	5 17.2%	3 5.4%	7 10.6%	6 8.2%	1 1.6%	22 7.5%		
無回答		0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%		
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%		
合計		まったく賛成	6 14.6%	14 25.5%	10 16.1%	7 9.7%	20 25.0%	10 15.9%	67 18.0%	
どちらかといえば賛成		15 36.6%	20 36.4%	29 46.8%	32 44.4%	36 45.0%	31 49.2%	163 43.7%		
どちらかといえば反対		15 36.6%	16 29.1%	18 29.0%	25 34.7%	18 22.5%	21 33.3%	113 30.3%		
まったく反対		5 12.2%	5 9.1%	4 6.5%	8 11.1%	6 7.5%	1 1.6%	29 7.8%		
無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%			
合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%			

表4-1-11 「今後の社会では妻が家計を支える家庭が増えるべきだ」

			年齢						合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	3 13.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 20.0%	0 .0%	5 6.1%	
		どちらかといえば賛成	4 18.2%	5 27.8%	8 50.0%	5 41.7%	5 50.0%	2 50.0%	29 35.4%	
		どちらかといえば反対	11 50.0%	12 66.7%	5 31.3%	6 50.0%	3 30.0%	2 50.0%	39 47.6%	
		まったく反対	4 18.2%	1 5.6%	3 18.8%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	9 11.0%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
		既婚	まったく賛成	0 .0%	0 .0%	2 8.3%	3 8.6%	3 6.8%	0 .0%	8 5.3%
	どちらかといえば賛成	1 33.3%	3 25.0%	5 20.8%	9 25.7%	10 22.7%	8 25.0%	36 24.0%		
	どちらかといえば反対	2 66.7%	8 66.7%	12 50.0%	20 57.1%	29 65.9%	19 59.4%	90 60.0%		
	まったく反対	0 .0%	0 .0%	4 16.7%	2 5.7%	1 2.3%	4 12.5%	11 7.3%		
	無回答	0 .0%	1 8.3%	1 4.2%	1 2.9%	1 2.3%	1 3.1%	5 3.3%		
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%		
	合計	まったく賛成	3 12.0%	0 .0%	2 5.0%	3 6.4%	5 9.3%	0 .0%	13 5.6%	
	どちらかといえば賛成	5 20.0%	8 26.7%	13 32.5%	14 29.8%	15 27.8%	10 27.8%	65 28.0%		
	どちらかといえば反対	13 52.0%	20 66.7%	17 42.5%	26 55.3%	32 59.3%	21 58.3%	129 55.6%		
	まったく反対	4 16.0%	1 3.3%	7 17.5%	3 6.4%	1 1.9%	4 11.1%	20 8.6%		
	無回答	0 .0%	1 3.3%	1 2.5%	1 2.1%	1 1.9%	1 2.8%	5 2.2%		
	合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%		
	女性	未婚	まったく賛成	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%
			どちらかといえば賛成	9 25.0%	3 11.5%	2 33.3%	3 50.0%	2 28.6%	0 0.0%	19 23.5%
			どちらかといえば反対	23 63.9%	21 80.8%	3 50.0%	1 16.7%	5 71.4%	0 0.0%	53 65.4%
			まったく反対	3 8.3%	2 7.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 .0%	0 0.0%	8 9.9%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	81 100.0%	
既婚			まったく賛成	0 .0%	1 3.4%	6 10.7%	4 6.1%	3 4.1%	3 4.8%	17 5.8%
どちらかといえば賛成		2 40.0%	6 20.7%	9 16.1%	11 16.7%	17 23.3%	9 14.3%	54 18.5%		
どちらかといえば反対		2 40.0%	19 65.5%	30 53.6%	45 68.2%	42 57.5%	46 73.0%	184 63.0%		
まったく反対		1 20.0%	3 10.3%	11 19.6%	6 9.1%	11 15.1%	4 6.3%	36 12.3%		
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%		
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%		
合計		まったく賛成	1 2.4%	1 1.8%	6 9.7%	4 5.6%	3 3.8%	3 4.8%	18 4.8%	
どちらかといえば賛成		11 26.8%	9 16.4%	11 17.7%	14 19.4%	19 23.8%	9 14.3%	73 19.6%		
どちらかといえば反対		25 61.0%	40 72.7%	33 53.2%	46 63.9%	47 58.8%	46 73.0%	237 63.5%		
まったく反対		4 9.8%	5 9.1%	12 19.4%	8 11.1%	11 13.8%	4 6.3%	44 11.8%		
無回答		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 .3%		
合計		41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%		

表4-1-12 「結婚したら子どもはもつべきだ」

			年齢						合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	10 45.5%	6 33.3%	5 31.3%	4 33.3%	5 50.0%	2 50.0%	32 39.0%	
		どちらかといえば賛成	9 40.9%	10 55.6%	7 43.8%	6 50.0%	5 50.0%	2 50.0%	39 47.6%	
		どちらかといえば反対	3 13.6%	2 11.1%	2 12.5%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	8 9.8%	
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	2 2.4%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 6.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
	既婚	まったく賛成	2 66.7%	6 50.0%	9 37.5%	15 42.9%	15 34.1%	11 34.4%	58 38.7%	
		どちらかといえば賛成	1 33.3%	6 50.0%	10 41.7%	16 45.7%	25 56.8%	17 53.1%	75 50.0%	
		どちらかといえば反対	0 .0%	0 .0%	3 12.5%	4 11.4%	2 4.5%	1 3.1%	10 6.7%	
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	2 6.3%	4 2.7%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	1 2.3%	1 3.1%	3 2.0%	
		合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	12 48.0%	12 40.0%	14 35.0%	19 40.4%	20 37.0%	13 36.1%	90 38.8%	
		どちらかといえば賛成	10 40.0%	16 53.3%	17 42.5%	22 46.8%	30 55.6%	19 52.8%	114 49.1%	
		どちらかといえば反対	3 12.0%	2 6.7%	5 12.5%	5 10.6%	2 3.7%	1 2.8%	18 7.8%	
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	2 5.0%	1 2.1%	1 1.9%	2 5.6%	6 2.6%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	2 5.0%	0 .0%	1 1.9%	1 2.8%	4 1.7%	
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	10 27.8%	7 26.9%	1 16.7%	0 .0%	3 42.9%		21 25.9%
			どちらかといえば賛成	20 55.6%	17 65.4%	3 50.0%	4 66.7%	3 42.9%		47 58.0%
			どちらかといえば反対	2 5.6%	2 7.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 14.3%		8 9.9%
まったく反対			4 11.1%	0 .0%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		5 6.2%	
無回答			0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		0 0.0%	
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%	
既婚		まったく賛成	2 40.0%	5 17.2%	13 23.2%	11 16.7%	27 37.0%	13 20.6%	71 24.3%	
		どちらかといえば賛成	3 60.0%	15 51.7%	30 53.6%	36 54.5%	32 43.8%	38 60.3%	154 52.7%	
		どちらかといえば反対	0 .0%	7 24.1%	7 12.5%	14 21.2%	13 17.8%	12 19.0%	53 18.2%	
		まったく反対	0 .0%	2 6.9%	5 8.9%	5 7.6%	1 1.4%	0 .0%	13 4.5%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	12 29.3%	12 21.8%	14 22.6%	11 15.3%	30 37.5%	13 20.6%	92 24.7%	
		どちらかといえば賛成	23 56.1%	32 58.2%	33 53.2%	40 55.6%	35 43.8%	38 60.3%	201 53.9%	
		どちらかといえば反対	2 4.9%	9 16.4%	9 14.5%	15 20.8%	14 17.5%	12 19.0%	61 16.4%	
		まったく反対	4 9.8%	2 3.6%	5 8.1%	6 8.3%	1 1.3%	0 .0%	18 4.8%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

表4-1-13 「子どもの数を増やすため、結婚をもっと増やす必要がある」

			年齢						合計
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	未婚	まったく賛成	4 18.2%	4 22.2%	3 18.8%	2 16.7%	4 40.0%	2 50.0%	19 23.2%
		どちらかといえば賛成	11 50.0%	11 61.1%	7 43.8%	4 33.3%	5 50.0%	2 50.0%	40 48.8%
		どちらかといえば反対	5 22.7%	3 16.7%	4 25.0%	5 41.7%	1 10.0%	0 .0%	18 22.0%
		まったく反対	2 9.1%	0 .0%	2 12.5%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	5 6.1%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	既婚	まったく賛成	1 33.3%	3 25.0%	2 8.3%	7 20.0%	7 15.9%	5 15.6%	25 16.7%
		どちらかといえば賛成	2 66.7%	7 58.3%	12 50.0%	23 65.7%	27 61.4%	19 59.4%	90 60.0%
		どちらかといえば反対	0 .0%	2 16.7%	4 16.7%	5 14.3%	8 18.2%	4 12.5%	23 15.3%
		まったく反対	0 .0%	0 .0%	5 20.8%	0 .0%	2 4.5%	3 9.4%	10 6.7%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%
		合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%
	合計	まったく賛成	5 20.0%	7 23.3%	5 12.5%	9 19.1%	11 20.4%	7 19.4%	44 19.0%
		どちらかといえば賛成	13 52.0%	18 60.0%	19 47.5%	27 57.4%	32 59.3%	21 58.3%	130 56.0%
		どちらかといえば反対	5 20.0%	5 16.7%	8 20.0%	10 21.3%	9 16.7%	4 11.1%	41 17.7%
		まったく反対	2 8.0%	0 .0%	7 17.5%	1 2.1%	2 3.7%	3 8.3%	15 6.5%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
	女性	未婚	まったく賛成	5 13.9%	5 19.2%	1 16.7%	0 .0%	3 42.9%	
どちらかといえば賛成			15 41.7%	13 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	4 57.1%		36 44.4%
どちらかといえば反対			14 38.9%	7 26.9%	2 33.3%	2 33.3%	0 .0%		25 30.9%
まったく反対			2 5.6%	1 3.8%	2 33.3%	1 16.7%	0 .0%		6 7.4%
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚		まったく賛成	0 .0%	4 13.8%	7 12.5%	8 12.1%	17 23.3%	12 19.0%	48 16.4%
		どちらかといえば賛成	3 60.0%	14 48.3%	21 37.5%	27 40.9%	36 49.3%	31 49.2%	132 45.2%
		どちらかといえば反対	1 20.0%	10 34.5%	23 41.1%	26 39.4%	15 20.5%	17 27.0%	92 31.5%
		まったく反対	1 20.0%	1 3.4%	4 7.1%	4 6.1%	4 5.5%	0 .0%	14 4.8%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	1 1.5%	1 1.4%	3 4.8%	6 2.1%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
合計		まったく賛成	5 12.2%	9 16.4%	8 12.9%	8 11.1%	20 25.0%	12 19.0%	62 16.6%
		どちらかといえば賛成	18 43.9%	27 49.1%	22 35.5%	30 41.7%	40 50.0%	31 49.2%	168 45.0%
		どちらかといえば反対	15 36.6%	17 30.9%	25 40.3%	28 38.9%	15 18.8%	17 27.0%	117 31.4%
		まったく反対	3 7.3%	2 3.6%	6 9.7%	5 6.9%	4 5.0%	0 .0%	20 5.4%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	1 1.4%	1 1.3%	3 4.8%	6 1.6%
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

表4-1-14 「結婚するために積極的な活動（婚活）が必要な場合もある」

			年齢						合計	
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49		
男性	未婚	まったく賛成	5 22.7%	5 27.8%	5 31.3%	4 33.3%	4 40.0%	1 25.0%	24 29.3%	
		どちらかといえば賛成	14 63.6%	12 66.7%	10 62.5%	5 41.7%	4 40.0%	3 75.0%	48 58.5%	
		どちらかといえば反対	1 4.5%	1 5.6%	1 6.3%	2 16.7%	2 20.0%	0 .0%	7 8.5%	
		まったく反対	2 9.1%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	3 3.7%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
		既婚	まったく賛成	1 33.3%	3 25.0%	5 20.8%	5 14.3%	7 15.9%	5 15.6%	26 17.3%
	どちらかといえば賛成		2 66.7%	7 58.3%	11 45.8%	27 77.1%	31 70.5%	23 71.9%	101 67.3%	
	どちらかといえば反対		0 .0%	2 16.7%	7 29.2%	3 8.6%	6 13.6%	1 3.1%	19 12.7%	
	まったく反対		0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 6.3%	2 1.3%	
	無回答		0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	合計		3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	6 24.0%	8 26.7%	10 25.0%	9 19.1%	11 20.4%	6 16.7%	50 21.6%	
		どちらかといえば賛成	16 64.0%	19 63.3%	21 52.5%	32 68.1%	35 64.8%	26 72.2%	149 64.2%	
		どちらかといえば反対	1 4.0%	3 10.0%	8 20.0%	5 10.6%	8 14.8%	1 2.8%	26 11.2%	
		まったく反対	2 8.0%	0 .0%	0 .0%	1 2.1%	0 .0%	2 5.6%	5 2.2%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%	
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	まったく賛成	8 22.2%	10 38.5%	2 33.3%	2 33.3%	3 42.9%		25 30.9%
			どちらかといえば賛成	25 69.4%	15 57.7%	4 66.7%	3 50.0%	4 57.1%		51 63.0%
			どちらかといえば反対	3 8.3%	1 3.8%	0 .0%	1 16.7%	0 .0%		5 6.2%
			まったく反対							
合計			36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%	
既婚		まったく賛成	2 40.0%	7 24.1%	17 30.4%	17 25.8%	25 34.2%	12 19.0%	80 27.4%	
		どちらかといえば賛成	3 60.0%	20 69.0%	29 51.8%	41 62.1%	41 56.2%	44 69.8%	178 61.0%	
		どちらかといえば反対	0 .0%	1 3.4%	9 16.1%	8 12.1%	6 8.2%	5 7.9%	29 9.9%	
		まったく反対	0 .0%	1 3.4%	1 1.8%	0 .0%	1 1.4%	0 .0%	3 1.0%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%	2 .7%	
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		まったく賛成	10 24.4%	17 30.9%	19 30.6%	19 26.4%	28 35.0%	12 19.0%	105 28.2%	
		どちらかといえば賛成	28 68.3%	35 63.6%	33 53.2%	44 61.1%	45 56.3%	44 69.8%	229 61.4%	
		どちらかといえば反対	3 7.3%	2 3.6%	9 14.5%	9 12.5%	6 7.5%	5 7.9%	34 9.1%	
		まったく反対	0 .0%	1 1.8%	1 1.6%	0 .0%	1 1.3%	0 .0%	3 .8%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 3.2%	2 .5%		
	合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%		

表4-1-15 「結婚難を緩和するためには社会的な施策や支援が必要だ」

			年齢						合計
			20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	未婚	まったく賛成	11 50.0%	4 22.2%	7 43.8%	5 41.7%	5 50.0%	0 .0%	32 39.0%
		どちらかといえば賛成	7 31.8%	9 50.0%	5 31.3%	4 33.3%	4 40.0%	4 100.0%	33 40.2%
		どちらかといえば反対	2 9.1%	5 27.8%	1 6.3%	3 25.0%	1 10.0%	0 .0%	12 14.6%
		まったく反対	2 9.1%	0 .0%	3 18.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 6.1%
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
		既婚	まったく賛成	2 66.7%	1 8.3%	8 33.3%	11 31.4%	10 22.7%	7 21.9%
	どちらかといえば賛成	0 .0%	7 58.3%	8 33.3%	18 51.4%	18 40.9%	14 43.8%	65 43.3%	
	どちらかといえば反対	1 33.3%	4 33.3%	3 12.5%	6 17.1%	13 29.5%	8 25.0%	35 23.3%	
	まったく反対	0 .0%	0 .0%	4 16.7%	0 .0%	3 6.8%	2 6.3%	9 6.0%	
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
	合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	まったく賛成	13 52.0%	5 16.7%	15 37.5%	16 34.0%	15 27.8%	7 19.4%	71 30.6%
		どちらかといえば賛成	7 28.0%	16 53.3%	13 32.5%	22 46.8%	22 40.7%	18 50.0%	98 42.2%
		どちらかといえば反対	3 12.0%	9 30.0%	4 10.0%	9 19.1%	14 25.9%	8 22.2%	47 20.3%
		まったく反対	2 8.0%	0 .0%	7 17.5%	0 .0%	3 5.6%	2 5.6%	14 6.0%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%
		未婚	まったく賛成	15 41.7%	5 19.2%	0 .0%	2 33.3%	1 14.3%	1 27.0%
	どちらかといえば賛成	13 36.1%	15 57.7%	4 66.7%	4 66.7%	5 71.4%	5 15.9%	41 50.6%	
	どちらかといえば反対	7 19.4%	5 19.2%	1 16.7%	0 .0%	1 14.3%	1 3.1%	14 17.3%	
	まったく反対	1 2.8%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 3.7%	
合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	7 100.0%	81 100.0%		
女性	既婚	まったく賛成	2 40.0%	13 44.8%	16 28.6%	23 34.8%	20 27.4%	17 27.0%	91 31.2%
		どちらかといえば賛成	2 40.0%	6 20.7%	21 37.5%	25 37.9%	43 58.9%	35 55.6%	132 45.2%
		どちらかといえば反対	1 20.0%	9 31.0%	15 26.8%	15 22.7%	7 9.6%	10 15.9%	57 19.5%
		まったく反対	0 .0%	1 3.4%	3 5.4%	3 4.5%	2 2.7%	0 .0%	9 3.1%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	1 1.4%	1 1.6%	3 1.0%
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%
	合計	まったく賛成	17 41.5%	18 32.7%	16 25.8%	25 34.7%	21 26.3%	17 27.0%	114 30.6%
		どちらかといえば賛成	15 36.6%	21 38.2%	25 40.3%	29 40.3%	48 60.0%	35 55.6%	173 46.4%
		どちらかといえば反対	8 19.5%	14 25.5%	16 25.8%	15 20.8%	8 10.0%	10 15.9%	71 19.0%
		まったく反対	1 2.4%	2 3.6%	4 6.5%	3 4.2%	2 2.5%	0 .0%	12 3.2%
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	0 .0%	1 1.3%	1 1.6%	3 .8%
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

2. 結婚しない人が増えて少子化の原因になっていることをどう考えるか

日本の場合、子どもの出生のほとんどは結婚した夫婦の間で実現する。したがって、結婚しない人が増えると子どもを生むことができる人が減り、出生数の減少に直結する。日本の場合、未婚化が進行すると少子化が進むことになる。近年、結婚しない人が増えて少子化の原因になっていることは広く知られている。しかし、未婚化が少子化をもたらしていることを人びとはどのように考えているのだろうか。何らかの対策を講じる重要な問題だとみなしているのだろうか。それとも個人の判断の結果であるのでどうしようもないことだと考えているのだろうか。結婚を促進するような方策を立てることを我々は研究の目的としているが、そもそもそのような対策をとることは人びとによって支持されることなのであるか。このような疑問を抱いて、近年若年層の間で結婚しない人が増えて少子化の原因になっていることをどう考えるかと尋ねた。

表 4-2-1 はその集計結果である。これによると、我々の調査の回答者では男女ともに「何らかの対策を立てる必要のある重要な問題であると思う」と回答した者は男女ともに少数派にとどまることが分かる。それは男性の場合では 22.0%、女性の場合では 18.0%である。逆に言えば、男性の場合では 68.5%が「個人の判断であるのでどうしようもない」ないし「とくに問題を感じない」と回答している。女性の場合ではそれは 74%に達する。

結婚歴でみると、男性の場合には未婚者と既婚者はまったく同じような回答の仕方になっている。しかし、女性の場合には既婚者よりも未婚者の側で対策の必要性を感じている者が多い。「何らかの対策を立てる必要のある重要な問題であると思う」と回答した者は未婚者では 25.9%であるが、既婚者では 15.8%であり、未婚者の方が 1 割多い。逆に言えば、女性の場合には「個人の判断であるのでどうしようもない」ないし「とくに問題を感じない」と回答する者は未婚者よりも既婚者の方で大きな割合になっている。それは未婚者の場合で 65.4%、既婚者では 76.4%である。

年齢別にみると、全体的には回答の仕方に大きな相違はみられない。しかし、一部に対策の必要性を感じている者が多い年齢層がある。たとえば、男性の場合では未婚者の 45-49 歳では「何らかの対策を立てる必要のある重要な問題であると思う」と回答した者は 100%であり、女性の場合では未婚者の 40-44 歳ではそれは 42.9%と比較的大きな割合を示している。このことはやはり、結婚が遅れている者の中には対策の必要性を感じている者が比較的多いことを意味している。

表4-2-1 「結婚しない人が増えて少子化の原因になっていることをどう考えるか」

		年齢						合計		
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49			
男性	未婚	何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	3 13.6%	4 22.2%	2 12.5%	3 25.0%	3 30.0%	4 100.0%	19 23.2%	
		個人の判断の結果であるので、どうしようもない	10 45.5%	11 61.1%	9 56.3%	6 50.0%	5 50.0%	0 .0%	41 50.0%	
		とくに問題を感じない	7 31.8%	2 11.1%	3 18.8%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	15 18.3%	
		合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%	
	既婚	何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	1 33.3%	3 25.0%	6 25.0%	7 20.0%	10 22.7%	7 21.9%	34 22.7%	
		個人の判断の結果であるので、どうしようもない	0 .0%	7 58.3%	9 37.5%	22 62.9%	23 52.3%	15 46.9%	76 50.7%	
		とくに問題を感じない	2 66.7%	1 8.3%	5 20.8%	5 14.3%	7 15.9%	7 21.9%	27 18.0%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 4.2%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	2 1.3%	
		合計	3 100.0%	12 100.0%	24 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	32 100.0%	150 100.0%	
	合計	何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	4 16.0%	7 23.3%	8 20.0%	10 21.3%	13 24.1%	11 30.6%	53 22.8%	
		個人の判断の結果であるので、どうしようもない	10 40.0%	18 60.0%	18 45.0%	28 59.6%	28 51.9%	15 41.7%	117 50.4%	
		とくに問題を感じない	9 36.0%	3 10.0%	8 20.0%	7 14.9%	8 14.8%	7 19.4%	42 18.1%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 2.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	2 .9%	
		合計	25 100.0%	30 100.0%	40 100.0%	47 100.0%	54 100.0%	36 100.0%	232 100.0%	
	女性	未婚	何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	6 16.7%	9 34.6%	2 33.3%	1 16.7%	3 42.9%		21 25.9%
			個人の判断の結果であるので、どうしようもない	14 38.9%	9 34.6%	2 33.3%	2 33.3%	2 28.6%		29 35.8%
			とくに問題を感じない	11 30.6%	8 30.8%	1 16.7%	2 33.3%	2 28.6%		24 29.6%
			合計	36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%
既婚		何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	0 .0%	5 17.2%	8 14.3%	6 9.1%	17 23.3%	10 15.9%	46 15.8%	
		個人の判断の結果であるので、どうしようもない	1 20.0%	11 37.9%	27 48.2%	30 45.5%	34 46.6%	31 49.2%	134 45.9%	
		とくに問題を感じない	4 80.0%	8 27.6%	17 30.4%	23 34.8%	16 21.9%	21 33.3%	89 30.5%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
		合計	5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%	
合計		何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う	6 14.6%	14 25.5%	10 16.1%	7 9.7%	20 25.0%	10 15.9%	67 18.0%	
		個人の判断の結果であるので、どうしようもない	15 36.6%	20 36.4%	29 46.8%	32 44.4%	36 45.0%	31 49.2%	163 43.7%	
		とくに問題を感じない	15 36.6%	16 29.1%	18 29.0%	25 34.7%	18 22.5%	21 33.3%	113 30.3%	
		無回答	0 .0%	0 .0%	1 1.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 .3%	
		合計	41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%	

3. 結婚を増やすために試してよい施策

結婚を促進するような政策を講じるべきかどうかは慎重な検討を要する問題である。しかし、このことと切り離して、結婚を促進するためにはどのような方策を講じることが有効なのかを考えることができるし、思考実験としては考えてよいはずである。

それではもし結婚する人を増やそうとするならば、どのような施策を実施することが人びとの支持を得ることになるのだろうか。これを探るため、我々は選択肢を用意し、その中で「試してよい」と考えるものを複数回答で選んでもらった。

表 4-3-1 は性別・結婚歴別の集計結果である。これをみると、注目すべきことが二つある。第一に選択率の高い上位 4 つの項目が男女で共通していることである。それは、次のような順位と割合になっている。①「雇用の安定を法制化する」(男性 58.7%、女性 64.9%)、②「夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す」(男性 44.9%、女性 56.6%)、③「保育所の定員を増やす」(男性 38.2%、女性 54.2%)、④「最低賃金を引き上げる」(男性 34.7%、女性 33.2%)。第 5 位と第 6 位は男女で順位に違いはあるが、次の二つである点では共通している。すなわち、「労働時間の短縮を促進する」(男性 25.8%、女性 27.3%)と「新規雇用を創出する政策を国が打ち出す」(男性 30.2%、女性 22.3%)である。上記の項目はすべて雇用や仕事をめぐる問題であり、このことが第二に注目すべきことである。近年の日本で結婚が進まない主要な原因は雇用の不安定化や収入の伸び悩みにあるが、多くの人びとはそのことをよく認識していると言える。

表 4-3-1 をみると、「公共の結婚相談所を創設する」「結婚資金を国が貸与・補助する」「独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する」を選択した者は男女ともに少数にとどまっていることが分かる。これは男女の出会いや結婚に直接的に働きかけるような施策は支持されていないことを意味する。このような施策よりは「子ども手当を増やす」ことの方が男女ともに選択率は高い。

表 4-3-2 は回答者の「年齢」と「結婚を増やすために試してよい施策」を性別にクロス集計した結果である。これをみると、年齢によって回答の仕方に大きな差異はみられないが、雇用と収入に関する項目は 20-24 歳でより高い選択率になっているように思われる。なお「独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する」は、男性の場合には 25-29 歳で 25.6%、30-34 歳で 23.1%、45-49 歳で 29.4%、女性の場合には 25-29 歳で 21.8%、40-44 歳で 20.0%となっている。つまり、それほど大きくはないが、特定の年齢層では一定程度の支持があると言える。

表 4-3-3 は未婚者に限定し、「年齢」と「結婚を増やすために試してよい施策」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には選択率が高い項目は次のようになっている。①「雇用の安定を法制化する」(59.8%)、②「夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す」(47.6%) ③「最低賃金を引き上げる」(41.5%)、④「新規雇用を創出する政策を国が打ち出す」(34.1%)、⑤「保育所の定員を増やす」(32.9%)、⑥「労働時間の短縮を促進する」(26.8%)。これに対して、女性の場合には選択率が高い項目は次のようになっている。①「雇用の安定を法制化する」(59.3%)、②「保育所の定員を増やす」(58.0%)、③「夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す」(56.8)、④「最低賃金を引き上げる」(38.3%)、⑤「労働時間の短縮を促進する」(33.3%)。⑥「新規雇用を創出する政策を国が打ち出す」(24.7%)。男女で順位と割合に若干の相違はあるが、すべて雇用と仕事をめぐる問題を挙げている点で

は共通している。なお「独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する」は男女ともに第7位に入っており、男性25.6%、女性22.2%であった。

年齢別では年齢によって回答の仕方に大きな差異はみられないが、雇用と収入に関する項目は未婚男性の若年層でより高い選択率になっているように思われる。

表4-3-4は既婚者に限定し、「年齢」と「結婚を増やすために試してよい施策」を性別にクロス集計した結果である。これによると、男性の場合には選択率が高い項目は次のようになっている。①「雇用の安定を法制化する」(58.0%)、②「夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す」(43.4%)、③「保育所の定員を増やす」(41.3%)、④「最低賃金を引き上げる」(30.8%)、⑤「新規雇用を創出する政策を国が打ち出す」(28.0%)、⑥「子ども手当を増額する」(28.0%)。これに対して、女性の場合には選択率が高い項目は次のようになっている。①「雇用の安定を法制化する」(66.4%)、②「夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す」(56.5%)、③「保育所の定員を増やす」(53.4%)、④「最低賃金を引き上げる」(30.5%)、⑤「労働時間の短縮を促進する」(25.7%)、⑥「新規雇用を創出する政策を国が打ち出す」(21.6%)。男女で順位と割合に若干の相違はあるが、すべて雇用と仕事をめぐる問題を挙げている点では共通している。年齢別では目立った相違はみられない。

なお「独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する」は男女ともに少なく、男性では17.5%、女性では13.0%であった。男女の出会いや結婚に直接的に働きかけるような施策は未婚者の間ではこれを支持する者が一定程度いるが、既婚者の間ではこれを支持する者は少ない。このことも注目してよい点である。

表4-3-1 「結婚を増やすために試してよい施策(複数回答)」

		結婚歴		合計
		未婚	既婚	
男性	子ども手当を増額する	17 20.7%	40 28.0%	57 25.3%
	保育所の定員を増やす	27 32.9%	59 41.3%	86 38.2%
	雇用の安定を法制化する	49 59.8%	83 58.0%	83 58.7%
	労働時間の短縮を促進する	22 26.8%	36 25.2%	58 25.8%
	最低賃金を引き上げる	34 41.5%	44 30.8%	78 34.7%
	公共の結婚相談所を創設する	12 14.6%	14 9.8%	26 11.6%
	結婚資金を国が貸与・補助する	9 11.0%	11 7.7%	20 8.9%
	夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す	39 47.6%	62 43.4%	101 44.9%
	独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する	21 25.6%	25 17.5%	46 20.4%
	学校教育で家庭科の履修時間を増やす	1 1.2%	7 4.9%	8 3.6%
	新規雇用を創出する政策を国が打ち出す	28 34.1%	40 28.0%	68 30.2%
	その他	11 13.4%	14 9.8%	25 11.1%
	合計	82 100.0%	143 100.0%	225 100.0%
	女性	子ども手当を増額する	13 16.0%	61 20.9%
保育所の定員を増やす		47 58.0%	156 53.4%	203 54.4%
雇用の安定を法制化する		48 59.3%	194 66.4%	242 64.9%
労働時間の短縮を促進する		27 33.3%	75 25.7%	102 27.3%
最低賃金を引き上げる		31 38.3%	89 30.5%	120 32.2%
公共の結婚相談所を創設する		11 13.6%	33 11.3%	44 11.8%
結婚資金を国が貸与・補助する		11 13.6%	14 4.8%	25 6.7%
夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す		46 56.8%	165 56.5%	211 56.6%
独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する		18 22.2%	38 13.0%	56 15.0%
学校教育で家庭科の履修時間を増やす		5 6.2%	16 5.5%	21 5.6%
新規雇用を創出する政策を国が打ち出す		20 24.7%	63 21.6%	83 22.3%
その他		3 3.7%	29 9.9%	32 8.6%
合計		81 100.0%	292 100.0%	373 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表4-3-2 「結婚を増やすために試してよい施策（未婚者・既婚者計）」

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	子ども手当を増額する	5 20.0%	10 34.5%	15 38.5%	14 31.1%	10 18.9%	3 8.8%	57 25.3%
	保育所の定員を増やす	13 52.0%	9 31.0%	14 35.9%	21 46.7%	20 37.7%	9 26.5%	86 38.2%
	雇用の安定を法制化する	16 64.0%	17 58.6%	24 61.5%	24 53.3%	32 60.4%	19 55.9%	132 58.7%
	労働時間の短縮を促進する	12 48.0%	9 31.0%	13 33.3%	11 24.4%	11 20.8%	2 5.9%	58 25.8%
	最低賃金を引き上げる	10 40.0%	9 31.0%	18 46.2%	19 42.2%	16 30.2%	6 17.6%	78 34.7%
	公共の結婚相談所を創設する	2 8.0%	4 13.8%	4 10.3%	4 8.9%	7 13.2%	5 14.7%	26 11.6%
	結婚資金を国が貸与・補助する	6 24.0%	2 6.9%	4 10.3%	4 8.9%	3 5.7%	1 2.9%	20 8.9%
	夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す	13 52.0%	13 44.8%	21 53.8%	21 46.7%	20 37.7%	13 38.2%	101 44.9%
	独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する	3 12.0%	7 24.1%	9 23.1%	8 17.8%	9 17.0%	10 29.4%	46 20.4%
	学校教育で家庭科の履修時間を増やす	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 4.4%	2 3.8%	4 11.8%	8 3.6%
	新規雇用を創出する政策を国が打ち出す	10 40.0%	10 34.5%	10 25.6%	11 24.4%	17 32.1%	10 29.4%	68 30.2%
	その他	2 8.0%	2 6.9%	7 17.9%	7 15.6%	4 7.5%	3 8.8%	25 11.1%
	合計	25 100.0%	29 100.0%	39 100.0%	45 100.0%	53 100.0%	34 100.0%	225 100.0%
	女性	子ども手当を増額する	9 22.0%	15 27.3%	14 22.6%	15 20.8%	16 20.0%	5 7.9%
保育所の定員を増やす		23 56.1%	32 58.2%	30 48.4%	44 61.1%	39 48.8%	35 55.6%	203 54.4%
雇用の安定を法制化する		24 58.5%	36 65.5%	37 59.7%	51 70.8%	51 63.8%	43 68.3%	242 64.9%
労働時間の短縮を促進する		15 36.6%	19 34.5%	19 30.6%	16 22.2%	16 20.0%	17 27.0%	102 27.3%
最低賃金を引き上げる		19 46.3%	17 30.9%	18 29.0%	20 27.8%	27 33.8%	19 30.2%	120 32.2%
公共の結婚相談所を創設する		6 14.6%	8 14.5%	5 8.1%	10 13.9%	10 12.5%	5 7.9%	44 11.8%
結婚資金を国が貸与・補助する		7 17.1%	10 18.2%	2 3.2%	2 2.8%	3 3.8%	1 1.6%	25 6.7%
夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す		19 46.3%	33 60.0%	30 48.4%	44 61.1%	44 55.0%	41 65.1%	211 56.6%
独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する		5 12.2%	12 21.8%	9 14.5%	8 11.1%	16 20.0%	6 9.5%	56 15.0%
学校教育で家庭科の履修時間を増やす		4 9.8%	3 5.5%	5 8.1%	3 4.2%	2 2.5%	4 6.3%	21 5.6%
新規雇用を創出する政策を国が打ち出す		10 24.4%	14 25.5%	13 21.0%	10 13.9%	23 28.8%	13 20.6%	83 22.3%
その他		3 7.3%	2 3.6%	4 6.5%	9 12.5%	9 11.3%	5 7.9%	32 8.6%
合計		41 100.0%	55 100.0%	62 100.0%	72 100.0%	80 100.0%	63 100.0%	373 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表4-3-3 「結婚を増やすために試してよい施策（未婚者の回答）」

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	子ども手当を増額する	3 13.6%	7 38.9%	4 25.0%	2 16.7%	1 10.0%	0 .0%	17 20.7%
	保育所の定員を増やす	11 50.0%	6 33.3%	3 18.8%	4 33.3%	3 30.0%	0 .0%	27 32.9%
	雇用の安定を法制化する	13 59.1%	9 50.0%	11 68.8%	5 41.7%	7 70.0%	4 100.0%	49 59.8%
	労働時間の短縮を促進する	10 45.5%	4 22.2%	3 18.8%	3 25.0%	2 20.0%	0 .0%	22 26.8%
	最低賃金を引き上げる	7 31.8%	7 38.9%	8 50.0%	5 41.7%	6 60.0%	1 25.0%	34 41.5%
	公共の結婚相談所を創設する	1 4.5%	2 11.1%	3 18.8%	3 25.0%	2 20.0%	1 25.0%	12 14.6%
	結婚資金を国が貸与・補助する	4 18.2%	1 5.6%	2 12.5%	1 8.3%	1 10.0%	0 .0%	9 11.0%
	夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す	13 59.1%	9 50.0%	7 43.8%	6 50.0%	4 40.0%	0 .0%	39 47.6%
	独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する	2 9.1%	5 27.8%	7 43.8%	2 16.7%	3 30.0%	2 50.0%	21 25.6%
	学校教育で家庭科の履修時間を増やす	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	1 1.2%
	新規雇用を創出する政策を国が打ち出す	8 36.4%	7 38.9%	4 25.0%	3 25.0%	5 50.0%	1 25.0%	28 34.1%
	その他	2 9.1%	1 5.6%	4 25.0%	3 25.0%	1 10.0%	0 .0%	11 13.4%
	合計	22 100.0%	18 100.0%	16 100.0%	12 100.0%	10 100.0%	4 100.0%	82 100.0%
	女性	子ども手当を増額する	8 22.2%	5 19.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	
保育所の定員を増やす		20 55.6%	15 57.7%	3 50.0%	4 66.7%	5 71.4%		47 58.0%
雇用の安定を法制化する		21 58.3%	15 57.7%	3 50.0%	5 83.3%	4 57.1%		48 59.3%
労働時間の短縮を促進する		14 38.9%	9 34.6%	2 33.3%	0 .0%	2 28.6%		27 33.3%
最低賃金を引き上げる		15 41.7%	7 26.9%	2 33.3%	4 66.7%	3 42.9%		31 38.3%
公共の結婚相談所を創設する		4 11.1%	5 19.2%	0 .0%	1 16.7%	1 14.3%		11 13.6%
結婚資金を国が貸与・補助する		5 13.9%	5 19.2%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%		11 13.6%
夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す		18 50.0%	15 57.7%	2 33.3%	4 66.7%	7 100.0%		46 56.8%
独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する		5 13.9%	9 34.6%	1 16.7%	1 16.7%	2 28.6%		18 22.2%
学校教育で家庭科の履修時間を増やす		2 5.6%	1 3.8%	1 16.7%	0 .0%	1 14.3%		5 6.2%
新規雇用を創出する政策を国が打ち出す		9 25.0%	7 26.9%	2 33.3%	1 16.7%	1 14.3%		20 24.7%
その他		3 8.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		3 3.7%
合計		36 100.0%	26 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	7 100.0%		81 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

表4-3-4 「結婚を増やすために試してよい施策（既婚者の回答）」

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	子ども手当を増額する	2 66.7%	3 27.3%	11 47.8%	12 36.4%	9 20.9%	3 10.0%	40 28.0%
	保育所の定員を増やす	2 66.7%	3 27.3%	11 47.8%	17 51.5%	17 39.5%	9 30.0%	59 41.3%
	雇用の安定を法制化する	3 100.0%	8 72.7%	13 56.5%	19 57.6%	25 58.1%	15 50.0%	83 58.0%
	労働時間の短縮を促進する	2 66.7%	5 45.5%	10 43.5%	8 24.2%	9 20.9%	2 6.7%	36 25.2%
	最低賃金を引き上げる	3 100.0%	2 18.2%	10 43.5%	14 42.4%	10 23.3%	5 16.7%	44 30.8%
	公共の結婚相談所を創設する	1 33.3%	2 18.2%	1 4.3%	1 3.0%	5 11.6%	4 13.3%	14 9.8%
	結婚資金を国が貸与・補助する	2 66.7%	1 9.1%	2 8.7%	3 9.1%	2 4.7%	1 3.3%	11 7.7%
	夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す	0 .0%	4 36.4%	14 60.9%	15 45.5%	16 37.2%	13 43.3%	62 43.4%
	独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する	1 33.3%	2 18.2%	2 8.7%	6 18.2%	6 14.0%	8 26.7%	25 17.5%
	学校教育で家庭科の履修時間を増やす	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 3.0%	2 4.7%	4 13.3%	7 4.9%
	新規雇用を創出する政策を国が打ち出す	2 66.7%	3 27.3%	6 26.1%	8 24.2%	12 27.9%	9 30.0%	40 28.0%
	その他	0 .0%	1 9.1%	3 13.0%	4 12.1%	3 7.0%	3 10.0%	14 9.8%
	合計	3 100.0%	11 100.0%	23 100.0%	33 100.0%	43 100.0%	30 100.0%	143 100.0%
	女性	子ども手当を増額する	1 20.0%	10 34.5%	14 25.0%	15 22.7%	16 21.9%	5 7.9%
保育所の定員を増やす		3 60.0%	17 58.6%	27 48.2%	40 60.6%	34 46.6%	35 55.6%	156 53.4%
雇用の安定を法制化する		3 60.0%	21 72.4%	34 60.7%	46 69.7%	47 64.4%	43 68.3%	194 66.4%
労働時間の短縮を促進する		1 20.0%	10 34.5%	17 30.4%	16 24.2%	14 19.2%	17 27.0%	75 25.7%
最低賃金を引き上げる		4 80.0%	10 34.5%	16 28.6%	16 24.2%	24 32.9%	19 30.2%	89 30.5%
公共の結婚相談所を創設する		2 40.0%	3 10.3%	5 8.9%	9 13.6%	9 12.3%	5 7.9%	33 11.3%
結婚資金を国が貸与・補助する		2 40.0%	5 17.2%	2 3.6%	2 3.0%	2 2.7%	1 1.6%	14 4.8%
夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す		1 20.0%	18 62.1%	28 50.0%	40 60.6%	37 50.7%	41 65.1%	165 56.5%
独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する		0 .0%	3 10.3%	8 14.3%	7 10.6%	14 19.2%	6 9.5%	38 13.0%
学校教育で家庭科の履修時間を増やす		2 40.0%	2 6.9%	4 7.1%	3 4.5%	1 1.4%	4 6.3%	16 5.5%
新規雇用を創出する政策を国が打ち出す		1 20.0%	7 24.1%	11 19.6%	9 13.6%	22 30.1%	13 20.6%	63 21.6%
その他		0 .0%	2 6.9%	4 7.1%	9 13.6%	9 12.3%	5 7.9%	29 9.9%
合計		5 100.0%	29 100.0%	56 100.0%	66 100.0%	73 100.0%	63 100.0%	292 100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

回答者のプロフィール

1 婚歴・性別と年齢								
		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
未婚	男性	22	18	16	12	10	4	82
		26.8%	22.0%	19.5%	14.6%	12.2%	4.9%	100.0%
	女性	36	26	6	6	7	0	81
		44.4%	32.1%	7.4%	7.4%	8.6%	.0%	100.0%
合計	58	44	22	18	17	4	163	
		35.6%	27.0%	13.5%	11.0%	10.4%	2.5%	100.0%
既婚	男性	3	12	24	35	44	32	150
		2.0%	8.0%	16.0%	23.3%	29.3%	21.3%	100.0%
	女性	5	29	56	66	73	63	292
		1.7%	9.9%	19.2%	22.6%	25.0%	21.6%	100.0%
合計	8	41	80	101	117	95	442	
		1.8%	9.3%	18.1%	22.9%	26.5%	21.5%	100.0%
合計	男性	25	30	40	47	54	36	232
		10.8%	12.9%	17.2%	20.3%	23.3%	15.5%	100.0%
	女性	41	55	62	72	80	63	373
		11.0%	14.7%	16.6%	19.3%	21.4%	16.9%	100.0%
合計	66	85	102	119	134	99	605	
		10.9%	14.0%	16.9%	19.7%	22.1%	16.4%	100.0%

2 婚歴・性別と年齢								
		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	既婚・結婚	3	12	23	34	43	32	147
		100.0%	100.0%	95.8%	97.1%	97.7%	100.0%	98.0%
	既婚・離婚	0	0	1	1	1	0	3
		.0%	.0%	4.2%	2.9%	2.3%	.0%	2.0%
合計		3	12	24	35	44	32	150
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	既婚・結婚	5	26	53	63	69	60	276
		100.0%	89.7%	94.6%	95.5%	94.5%	95.2%	94.5%
	婚約中	0	1	1	0	0	0	2
		.0%	3.4%	1.8%	.0%	.0%	.0%	.7%
	既婚・離婚	0	2	2	3	4	2	13
		.0%	6.9%	3.6%	4.5%	5.5%	3.2%	4.5%
既婚・死別	0	0	0	0	0	1	1	
		.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.6%	.3%
合計		5	29	56	66	73	63	292
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3 婚歴・性別と学歴

		最後に卒業（在学中）の学校							合計	
		中学校	高校	専門学 校	高専	短大	大学	大学院		無回答
未婚	男性	7 8.5%	23 28.0%	5 6.1%	1 1.2%	1 1.2%	34 41.5%	11 13.4%		82 100.0%
	女性	1 1.2%	7 8.6%	10 12.3%	1 1.2%	11 13.6%	46 56.8%	5 6.2%		81 100.0%
	合計	8 4.9%	30 18.4%	15 9.2%	2 1.2%	12 7.4%	80 49.1%	16 9.8%		163 100.0%
既婚	男性	5 3.3%	41 27.3%	18 12.0%	6 4.0%	7 4.7%	57 38.0%	15 10.0%	1 .7%	150 100.0%
	女性	1 .3%	99 33.9%	50 17.1%	4 1.4%	71 24.3%	65 22.3%	1 .3%	1 .3%	292 100.0%
	合計	6 1.4%	140 31.7%	68 15.4%	10 2.3%	78 17.6%	122 27.6%	16 3.6%	2 .5%	442 100.0%
合計	男性	12 5.2%	64 27.6%	23 9.9%	7 3.0%	8 3.4%	91 39.2%	26 11.2%	1 .4%	232 100.0%
	女性	2 .5%	106 28.4%	60 16.1%	5 1.3%	82 22.0%	111 29.8%	6 1.6%	1 .3%	373 100.0%
	合計	14 2.3%	170 28.1%	83 13.7%	12 2.0%	90 14.9%	202 33.4%	32 5.3%	2 .3%	605 100.0%

4 婚歴・性別と職業

		職業									合計	
		労務・ 技能職	販売・ サービ ス職	事務職	専門職	管理職	専業主 婦	学生	無職	その他		無回 答
未婚	男性	21 25.6%	14 17.1%	2 2.4%	13 15.9%	1 1.2%		22 26.8%	8 9.8%	1 1.2%		82 100.0%
	女性	4 4.9%	14 17.3%	21 25.9%	19 23.5%	0 .0%		18 22.2%	5 6.2%	0 .0%		81 100.0%
	合計	25 15.3%	28 17.2%	23 14.1%	32 19.6%	1 .6%		40 24.5%	13 8.0%	1 .6%		163 100.0%
既婚	男性	42 28.2%	19 12.8%	20 13.4%	44 29.5%	14 9.4%	0 .0%	3 2.0%	1 .7%	5 3.4%	1 .7%	149 100.0%
	女性	24 8.2%	42 14.4%	51 17.5%	61 20.9%	3 1.0%	98 33.6%	1 .3%	5 1.7%	6 2.1%	1 .3%	292 100.0%
	合計	66 15.0%	61 13.8%	71 16.1%	105 23.8%	17 3.9%	98 22.2%	4 .9%	6 1.4%	11 2.5%	2 .5%	441 100.0%
合計	男性	63 27.3%	33 14.3%	22 9.5%	57 24.7%	15 6.5%	0 .0%	25 10.8%	9 3.9%	6 2.6%	1 .4%	231 100.0%
	女性	28 7.5%	56 15.0%	72 19.3%	80 21.4%	3 .8%	98 26.3%	19 5.1%	10 2.7%	6 1.6%	1 .3%	373 100.0%
	合計	91 15.1%	89 14.7%	94 15.6%	137 22.7%	18 3.0%	98 16.2%	44 7.3%	19 3.1%	12 2.0%	2 .3%	604 100.0%

5 配偶者の職業

	配偶者の職業											合計
	労務・技能職	販売・サービス職	事務職	専門職	管理職	農林漁業従事	専業主婦	学生	無職	その他	無回答	
男性	18	15	20	24	2	0	56	1	0	4	7	147
	12.2%	10.2%	13.6%	16.3%	1.4%	.0%	38.1%	.7%	.0%	2.7%	4.8%	100.0%
女性	81	47	29	65	36	3	0	1	3	6	6	277
	29.2%	17.0%	10.5%	23.5%	13.0%	1.1%	.0%	.4%	1.1%	2.2%	2.2%	100.0%
合計	99	62	49	89	38	3	56	2	3	10	13	424
	23.3%	14.6%	11.6%	21.0%	9.0%	.7%	13.2%	.5%	.7%	2.4%	3.1%	100.0%

6 婚歴・性別と就業形態

		就業形態								合計	
		常勤職	派遣・契約・嘱託	パート・アルバイト	自営業・家族従業員	内職・在宅勤務	その他	学生	無職		無回答
未婚	男性	40	5	8	3			22	4		82
		48.8%	6.1%	9.8%	3.7%			26.8%	4.9%		100.0%
	女性	39	10	12	2			14	4		81
		48.1%	12.3%	14.8%	2.5%			17.3%	4.9%		100.0%
合計		79	15	20	5			36	8		163
		48.5%	9.2%	12.3%	3.1%			22.1%	4.9%		100.0%
既婚	男性	130	2	4	12	0	0	0	1	1	150
		86.7%	1.3%	2.7%	8.0%	.0%	.0%	.0%	.7%	.7%	100.0%
	女性	75	25	89	7	8	4	1	83	0	292
		25.7%	8.6%	30.5%	2.4%	2.7%	1.4%	.3%	28.4%	.0%	100.0%
合計		205	27	93	19	8	4	1	84	1	442
		46.4%	6.1%	21.0%	4.3%	1.8%	.9%	.2%	19.0%	.2%	100.0%
合計	男性	170	7	12	15	0	0	22	5	1	232
		73.3%	3.0%	5.2%	6.5%	.0%	.0%	9.5%	2.2%	.4%	100.0%
	女性	114	35	101	9	8	4	15	87	0	373
		30.6%	9.4%	27.1%	2.4%	2.1%	1.1%	4.0%	23.3%	.0%	100.0%
合計		284	42	113	24	8	4	37	92	1	605
		46.9%	6.9%	18.7%	4.0%	1.3%	.7%	6.1%	15.2%	.2%	100.0%

7 婚歴・性別と就業形態

		就業形態							合計	
		常勤職	派遣・契約・嘱託	パート・アルバイト	自営業・家族従業員	内職・在宅勤務	その他	非就業		無回答
未婚	男性	40 48.8%	6 7.3%	21 25.6%	3 3.7%			12 14.6%		82 100.0%
	女性	39 48.1%	10 12.3%	18 22.2%	2 2.5%			12 14.8%		81 100.0%
	合計	79 48.5%	16 9.8%	39 23.9%	5 3.1%			24 14.7%		163 100.0%
既婚	男性	130 86.7%	2 1.3%	4 2.7%	12 8.0%	0 .0%	0 .0%	1 .7%	1 .7%	150 100.0%
	女性	75 25.7%	25 8.6%	92 31.5%	7 2.4%	8 2.7%	4 1.4%	81 27.7%	0 .0%	292 100.0%
	合計	205 46.4%	27 6.1%	96 21.7%	19 4.3%	8 1.8%	4 .9%	82 18.6%	1 .2%	442 100.0%
合計	男性	170 73.3%	8 3.4%	25 10.8%	15 6.5%	0 .0%	0 .0%	13 5.6%	1 .4%	232 100.0%
	女性	114 30.6%	35 9.4%	110 29.5%	9 2.4%	8 2.1%	4 1.1%	93 24.9%	0 .0%	373 100.0%
	合計	284 46.9%	43 7.1%	135 22.3%	24 4.0%	8 1.3%	4 .7%	106 17.5%	1 .2%	605 100.0%

8 配偶者の就業形態

		就業形態							合計
		常勤職	派遣・契約・嘱託	パート・アルバイト	自営業・家族従業員	内職・在宅勤務	その他	非就業	
男性	40 27.2%	6 4.1%	46 31.3%	4 2.7%	1 .7%	3 2.0%	45 30.6%	2 1.4%	147 100.0%
女性	239 86.3%	8 2.9%	2 .7%	24 8.7%	0 .0%	0 .0%	2 .7%	2 .7%	277 100.0%
合計	279 65.8%	14 3.3%	48 11.3%	28 6.6%	1 .2%	3 .7%	47 11.1%	4 .9%	424 100.0%

9 回答者の就業形態と配偶者の就業形態 とのクロス

性別・配偶者の就業形態		回答者の就業形態							合計	
		常勤職	派遣・契約・嘱託	パート・アルバイト	自営業・家族従業員	内職・在宅勤務	その他	非就業		無回答
男性	常勤職	35	1	2	1			1	0	40
		27.6%	50.0%	50.0%	8.3%			100.0%	.0%	27.2%
	派遣・契約・嘱託	6	0	0	0			0	0	6
		4.7%	.0%	.0%	.0%			.0%	.0%	4.1%
	パート・アルバイト	39	0	2	5			0	0	46
		30.7%	.0%	50.0%	41.7%			.0%	.0%	31.3%
	自営業・家族従業員	1	0	0	3			0	0	4
		.8%	.0%	.0%	25.0%			.0%	.0%	2.7%
	内職・在宅勤務	1	0	0	0			0	0	1
.8%		.0%	.0%	.0%			.0%	.0%	.7%	
その他	3	0	0	0			0	0	3	
	2.4%	.0%	.0%	.0%			.0%	.0%	2.0%	
非就業	42	1	0	2			0	0	45	
	33.1%	50.0%	.0%	16.7%			.0%	.0%	30.6%	
無回答	0	0	0	1			0	1	2	
	.0%	.0%	.0%	8.3%			.0%	100.0%	1.4%	
合計	127	2	4	12			1	1	147	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%	100.0%	
女性	常勤職	59	22	79	2	5	3	69		239
		89.4%	88.0%	89.8%	28.6%	62.5%	100.0%	86.3%		86.3%
	派遣・契約・嘱託	3	0	3	0	1	0	1		8
		4.5%	.0%	3.4%	.0%	12.5%	.0%	1.3%		2.9%
	パート・アルバイト	1	0	1	0	0	0	0		2
		1.5%	.0%	1.1%	.0%	.0%	.0%	.0%		.7%
	自営業・家族従業員	1	3	4	5	2	0	9		24
		1.5%	12.0%	4.5%	71.4%	25.0%	.0%	11.3%		8.7%
非就業	1	0	0	0	0	0	1		2	
	1.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.3%		.7%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0		2	
	1.5%	.0%	1.1%	.0%	.0%	.0%	.0%		.7%	
合計	66	25	88	7	8	3	80		277	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	

10 年齢・性別と昨年の年収（未婚者）

		年齢					合計	
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44		45-49
男性	～100万円	8	2	1	2	1	0	14
		36.4%	11.1%	6.3%	16.7%	10.0%	.0%	17.1%
	100～200万円	1	4	3	2	1	1	12
		4.5%	22.2%	18.8%	16.7%	10.0%	25.0%	14.6%
	200～400万円	4	9	6	5	2	2	28
		18.2%	50.0%	37.5%	41.7%	20.0%	50.0%	34.1%
	400～600万円	0	1	4	3	2	0	10
		.0%	5.6%	25.0%	25.0%	20.0%	.0%	12.2%
600～800万円	0	0	0	0	2	1	3	
	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	25.0%	3.7%	
800～1000万円	0	0	0	0	1	0	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	10.0%	.0%	1.2%	
個人の収入はない	9	2	2	0	1	0	14	
	40.9%	11.1%	12.5%	.0%	10.0%	.0%	17.1%	
合計	22	18	16	12	10	4	82	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	～100万円	12	1	0	1	0		14
		33.3%	3.8%	.0%	16.7%	.0%		17.3%
	100～200万円	6	9	0	1	2		18
		16.7%	34.6%	.0%	16.7%	28.6%		22.2%
	200～400万円	7	15	5	2	1		30
		19.4%	57.7%	83.3%	33.3%	14.3%		37.0%
	400～600万円	0	1	1	1	2		5
.0%		3.8%	16.7%	16.7%	28.6%		6.2%	
個人の収入はない	11	0	0	1	2		14	
	30.6%	.0%	.0%	16.7%	28.6%		17.3%	
合計	36	26	6	6	7		81	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	

11 年齢・性別と昨年の年収（既婚者）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	～100万円	1	0	2	1	0	0	4
		33.3%	.0%	8.3%	2.9%	.0%	.0%	2.7%
	100～200万円	0	0	1	1	2	1	5
		.0%	.0%	4.2%	2.9%	4.5%	3.1%	3.3%
	200～400万円	2	7	9	8	9	2	37
		66.7%	58.3%	37.5%	22.9%	20.5%	6.3%	24.7%
	400～600万円	0	5	9	21	20	13	68
		.0%	41.7%	37.5%	60.0%	45.5%	40.6%	45.3%
	600～800万円	0	0	2	2	8	8	20
		.0%	.0%	8.3%	5.7%	18.2%	25.0%	13.3%
	800～1000万円	0	0	1	2	3	6	12
		.0%	.0%	4.2%	5.7%	6.8%	18.8%	8.0%
1000～1200万円	0	0	0	0	1	0	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	2.3%	.0%	.7%	
1200～1500万円	0	0	0	0	1	0	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	2.3%	.0%	.7%	
1500万円以上	0	0	0	0	0	1	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	.7%	
無回答	0	0	0	0	0	1	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	.7%	
合計	3	12	24	35	44	32	150	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	～100万円	2	4	12	18	23	22	81
		40.0%	13.8%	21.4%	27.3%	31.5%	34.9%	27.7%
	100～200万円	1	3	5	10	19	12	50
		20.0%	10.3%	8.9%	15.2%	26.0%	19.0%	17.1%
	200～400万円	0	7	8	12	13	8	48
		.0%	24.1%	14.3%	18.2%	17.8%	12.7%	16.4%
	400～600万円	0	2	4	4	3	5	18
		.0%	6.9%	7.1%	6.1%	4.1%	7.9%	6.2%
	600～800万円	0	1	0	1	1	2	5
		.0%	3.4%	.0%	1.5%	1.4%	3.2%	1.7%
	1000～1200万円	0	0	0	0	1	0	1
		.0%	.0%	.0%	.0%	1.4%	.0%	.3%
1200～1500万円	0	0	0	0	0	1	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.6%	.3%	
個人の収入はない	2	11	26	21	13	13	86	
	40.0%	37.9%	46.4%	31.8%	17.8%	20.6%	29.5%	
無回答	0	1	1	0	0	0	2	
	.0%	3.4%	1.8%	.0%	.0%	.0%	.7%	
合計	5	29	56	66	73	63	292	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

12 年齢・性別と配偶者の昨年の年収（既婚者）

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	～100万円	1	1	6	9	10	13	40
		33.3%	8.3%	26.1%	26.5%	23.3%	40.6%	27.2%
	100～200万円	0	2	3	5	8	5	23
		.0%	16.7%	13.0%	14.7%	18.6%	15.6%	15.6%
	200～400万円	1	2	6	2	5	2	18
		33.3%	16.7%	26.1%	5.9%	11.6%	6.3%	12.2%
	400～600万円	0	2	1	3	4	3	13
		.0%	16.7%	4.3%	8.8%	9.3%	9.4%	8.8%
600～800万円	0	0	0	0	3	1	4	
	.0%	.0%	.0%	.0%	7.0%	3.1%	2.7%	
個人の収入はない	1	5	7	13	13	8	47	
	33.3%	41.7%	30.4%	38.2%	30.2%	25.0%	32.0%	
無回答	0	0	0	2	0	0	2	
	.0%	.0%	.0%	5.9%	.0%	.0%	1.4%	
合計	3	12	23	34	43	32	147	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	～100万円	0	0	2	0	0	1	3
		.0%	.0%	3.8%	.0%	.0%	1.7%	1.1%
	100～200万円	0	1	2	1	2	1	7
		.0%	3.7%	3.8%	1.6%	2.9%	1.7%	2.5%
	200～400万円	2	19	15	18	16	16	86
		40.0%	70.4%	28.3%	28.6%	23.2%	26.7%	31.0%
	400～600万円	2	5	23	31	29	11	101
		40.0%	18.5%	43.4%	49.2%	42.0%	18.3%	36.5%
	600～800万円	0	1	7	8	14	13	43
		.0%	3.7%	13.2%	12.7%	20.3%	21.7%	15.5%
	1000～1200万円	0	0	1	2	7	13	23
		.0%	.0%	1.9%	3.2%	10.1%	21.7%	8.3%
1200～1500万円	0	0	0	1	0	2	3	
	.0%	.0%	.0%	1.6%	.0%	3.3%	1.1%	
1500万円以上	0	0	0	1	0	1	2	
	.0%	.0%	.0%	1.6%	.0%	1.7%	.7%	
個人の収入はない	1	0	0	0	1	1	3	
	20.0%	.0%	.0%	.0%	1.4%	1.7%	1.1%	
無回答	0	1	3	1	0	1	6	
	.0%	3.7%	5.7%	1.6%	.0%	1.7%	2.2%	
合計	5	27	53	63	69	60	277	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

13 未婚者が同居している人(複数回答)

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	単身	10	8	7	0	4	0	29
		45.5%	44.4%	43.8%	.0%	40.0%	.0%	35.4%
	親	11	8	9	11	6	4	49
		50.0%	44.4%	56.3%	91.7%	60.0%	100.0%	59.8%
	祖父母	3	2	3	1	0	0	9
		13.6%	11.1%	18.8%	8.3%	.0%	.0%	11.0%
	兄弟姉妹	7	1	2	3	1	0	14
		31.8%	5.6%	12.5%	25.0%	10.0%	.0%	17.1%
恋人	2	1	0	0	0	0	3	
	9.1%	5.6%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.7%	
友人	0	0	0	1	0	0	1	
	.0%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	1.2%	
その他	0	1	1	0	0	0	2	
	.0%	5.6%	6.3%	.0%	.0%	.0%	2.4%	
合計	22	18	16	12	10	4	82	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
女性	単身	13	5	3	1	0		22
		37.1%	19.2%	50.0%	16.7%	.0%		27.5%
	親	21	21	2	4	7		55
		60.0%	80.8%	33.3%	66.7%	100.0%		68.8%
	祖父母	7	1	0	0	1		9
		20.0%	3.8%	.0%	.0%	14.3%		11.3%
	兄弟姉妹	11	3	0	2	0		16
31.4%		11.5%	.0%	33.3%	.0%		20.0%	
恋人	1	0	1	1	0		3	
	2.9%	.0%	16.7%	16.7%	.0%		3.8%	
合計	35	26	6	6	7		80	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

14 既婚者が同居している人(複数回答)

		年齢						合計
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
男性	配偶者	3	12	23	34	42	32	146
		100.0%	100.0%	95.8%	97.1%	95.5%	100.0%	97.3%
	子ども	2	8	14	31	38	28	121
		66.7%	66.7%	58.3%	88.6%	86.4%	87.5%	80.7%
	親	1	1	4	4	9	5	24
		33.3%	8.3%	16.7%	11.4%	20.5%	15.6%	16.0%
	兄弟姉妹	0	1	0	0	0	0	1
		.0%	8.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.7%
祖父母	0	1	0	0	1	0	2	
	.0%	8.3%	.0%	.0%	2.3%	.0%	1.3%	
その他	0	0	0	0	0	1	1	
	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	.7%	
合計		3	12	24	35	44	32	150
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性	配偶者	5	23	53	63	67	57	268
		100.0%	82.1%	96.4%	95.5%	91.8%	91.9%	92.7%
	子ども	2	19	48	58	64	52	243
		40.0%	67.9%	87.3%	87.9%	87.7%	83.9%	84.1%
	親	2	3	5	7	17	15	49
		40.0%	10.7%	9.1%	10.6%	23.3%	24.2%	17.0%
	兄弟姉妹	0	0	0	0	1	2	3
		.0%	.0%	.0%	.0%	1.4%	3.2%	1.0%
祖父母	1	1	3	1	1	0	7	
	20.0%	3.6%	5.5%	1.5%	1.4%	.0%	2.4%	
その他	0	0	0	0	1	1	2	
	.0%	.0%	.0%	.0%	1.4%	1.6%	.7%	
合計		5	28	55	66	73	62	289
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されている

聞き取り調査の記録

出生動向基本調査によれば、1950年代までに結婚した夫婦の半数以上が見合いによって知り合っていた。その後、見合い結婚は減少し、1960年代後半に結婚した夫婦の場合からは恋愛結婚が見合い結婚の割合を上回るようになった。見合い結婚はこの後も一貫して減少し、1995年以降の結婚では1割を大きく下回るようになってしまった。2000-05年に結婚した夫婦では見合い結婚は6.2%に過ぎない。これに対して圧倒的多数になったのは恋愛結婚であり、1985年以降に結婚した夫婦では8割以上の割合を占めている。

しかし、見合い結婚は消滅していくのかというと、そうとは考えられない。現在でも見合いで結婚する人びとは一定程度いる。人びとの中には結婚を望みながらも異性との自然な出会いがなく、配偶者選択の機会に恵まれない人も少なくないからである。とくに男女ともに年齢が高くなるとますます自然な出会いで配偶者選択をおこなうことが困難になる。こうした人びとに対する救済的な方法の1つとして見合い結婚は今後も存続していくと考えられる。

我々は、今日の地域社会の中で見合いがどのように存続しているのかを知るために、見合いの仲介をした経験のある3名の方に対し聞き取り調査を実施した。以下はそこで得られた「語りの記録」である。

第1回調査

日時：2011年1月22日（土）、13時－15時。

場所：広島市安佐北区倉掛1丁目、倉掛公民館会議室。

Aさん（女性、1940年生、専業主婦）

最初の見合いの仲介は今から15年前（1995年）です。私の友達から、自分の娘（短大卒業、当時26歳）が結婚適齢期になるので、いい人がいたら紹介してほしいと頼まれました。そこで、別の友達の息子（30歳）を紹介し、「写真交換」まで進みました。しかし、女性の方から「気が進まない」と断りの連絡がありました。その後、この女性には何回か別の話を持っていきましたが、よい返事は来ませんでした。結局、この女性は40歳を過ぎた昨年、結婚情報サービスを利用して出会った東京の方と結婚しました。現在は東京で暮らしています。

次の見合いの仲介は10年前（2000年）です。私が入っている趣味のサークル（ジョギングの会）に30歳過ぎの独身女性がいて、私の友達の息子との見合いを仲介しました。しかし、これは女性の方から断りがありました。この女性は信用金庫に勤め、管理職にまで昇進しました。結局、41歳になった3年前に別のジョギング・サークルの会員と結婚したと聞いています。

その後の仲介では、釣書を交わしたり、写真交換をしたりしたことはありますが、実際にお見合いするまで進んだケースはありません。

ところで、私の子どもは女の子2人です。長女は結婚紹介所に入会し、何回かお見合いをし、34歳で結婚しました。相手の方も同じ年齢でした。次女は京都で仕事をしていましたが、30歳前の時、同じサークルの友達から、息子の嫁にどうかとの話があり、写真を送りました。しかし、このときは「まだそんな気にならない」と断られました。ところがその2年後に同じ男性の話を持って行ったところ、今度はOKでした。広島でお見合いをし、その男性と結婚しました。次女も30歳を過ぎて、そろそろ結婚

したいと思ったようです。

最近の結婚事情をみていると、早いか遅いかの両極端ですね。縁談が成立するにはやはりその気がないと駄目ですね。女性の場合では、一人暮らしの方が気楽と考えている時に縁談の話をしてもうまくいきません。ポチポチ落ち着きたい、家庭に入りたいとその気になっているときに、縁談の話があるとうまくいくと思いますね。

B さん（女性、1946 年生、生命保険外交員）

私は生命保険の契約を仕事にしています。そのため、どうしても顧客のプライベートな情報に接することになり、相手が独身の方の場合には結婚の話に入ることがよくあります。その中で見合いの相手の紹介を頼まれることがあります。

最初の見合いの仲介は 15 年前（1995 年）です。私が出入りしていたホテルの受付の仕事をしている男性（当時 34 歳）から「よい人がいたら紹介して欲しい」と頼まれました。そこで私の職場の女性（27 歳か 28 歳）を紹介しました。この女性は少し訳ありの人で、過去に別の男性と同棲の経験がありました。また難病のお母さんがいました。しかし、とても性格のよい女性でした。この女性と男性は交際を続け、二人は結婚しました。彼の父親の方が彼女を気に入ったと聞いています。難病の母親の存在は結婚の障害とはならなかったようです。

次の仲介は 7 年前です（2003 年）。職場の同僚に 30 歳前の女性が二人いて、「誰かいい人を紹介してほしい」と頼まれていました。そこで、私が訪問している会社の男性（35 歳、離婚歴あり）に合コンをもちかけ、別の男性 1 人を加えて、男女 4 人の「合コン」を設定しました。私は食事後に退散しましたが、その後カラオケに行ったりして盛り上がったようでした。このあと私の同僚の 1 人は上記の男性と意気投合し、めでたく結婚退職しました。私のもう一人の同僚は別の男性と交際しましたが、その後別れてしまいました。現在も保険の外交員をしており、独身です。

その後、会社の同僚の独身男性や出入り先の会社の独身男性から女性を紹介してほしいと頼まれ、何回か独身男女の間で「食事会」や「合コン」を設定しました。しかし、いずれのケースでも結婚まで発展したカップルはできていません。

これまでの経験で断りの理由で多いのは、「お互いに引き合うものがない」とか「ピッタリしない」などです。やはり結婚するかどうかはフィーリングが一致するかどうかのようです。

私のやり方は依頼に応じて、適当と思われる独身の男女に「いい人がいるので会って見ない？」と声をかけるだけです。そのとき年齢と家族を知らせるぐらいです。男性は 30 歳半ばから 40 歳前、女性は 30 歳前の人からの依頼が一番多いです。引き合わせた後は何もしません。

結婚難の事情ですが、私が接する限りでは、男性の側は相変わらず若い女性を望む願望が強すぎるようです。話を聞いていると、40 歳から 50 歳前の男性でも若い女性でないと駄目だという人がたくさんいます。

女性の側では、少子化のせいで子どもが少ないせいか、親離れ、子離れがしていないケースがあるようです。親の近くで暮らしたい、遠くに行きたくないと条件を付けて縁談を断り、気がついたらもう 30 歳過ぎというケースが多いようです。

これは申し上げにくいことですが、男性は頭が禿げると絶対的に不利です。若くて人柄も良いのに頭髪が薄くなると女性か拒否反応を起こすのです。現在出入りしている職場に人柄はよいのにそのような外見でとても損をしている男性がいます。それから、男性も 40 歳前になると、老親の介護問題も結婚の障害となるかもしれません。

最後に、最近一つ思うことがあります。それは私たちの目線でよい男性だと思っても、若い女性の目線ではそのようには見えないことも多いのではないかということです。世代の違いでしょうか。いずれにせよ、これは若い女性に男性の相手を紹介してもうまくいかない原因の一つのように思います。

第2回調査

日時：2011年2月11日（金）、13時～15時

場所：広島市東区にあるCさんの自宅

Cさん（女性、1949年生、特別支援学校元教諭、現在は養護老人ホームの介護補助を担当）

最初の見合いの仲介は15年前（1995年）です。私の前の勤務先に当時30歳の男性教員がいました。この男性は女性との交際には消極的で、自分ではとても彼女を作れないように思いました。そこで、私の方から声をかけて、知人の女性（家業はお寺さん）の娘さんと見合いをさせました。相手の女性は男性のオットリしているところを気に入り、交際に発展しました。母性本能をくすぐったのかもしれませんが。ところが交際を続けものの、二人はなかなか結婚に踏み切りませんでした。私は男性の方にしつこく進行状況を尋ね、知人の女性はその娘の方にはっきりさせない催促し、見合いをしてから1年後ようやく結婚しました。

その次は5年前（2006年）です。その前年の年末に広島市内で仕事仲間の中でパーティがありました。このとき遅れてきた女性が私の横に座りました。初対面だったのですが色々と話をしていると、結婚したいと考えていることが分かりました。女性はこのとき33歳で、市内の特別支援学校の臨時教諭をしていました。その翌年の1月に私たち夫婦は友人夫婦らと海外旅行に行ったのですが、飛行機の中で私の横に座った友人の夫と話をしていた時、彼の息子の話題となりました。息子さんはこのとき42歳、工業高校を卒業後に建設会社に就職していました。ダムのメンテナンスの仕事をしていて、出張が多くそれも山の中に長期間滞在するので、女性とはまったく縁がないとのことでした。

そこで旅行から帰った後に、たまたま出張から帰った息子と養護教諭の女性との見合いを設定しました。私と彼女、知人の息子とその母親の4人で広島駅近くのレストランで夕食をしました。このとき二人はフィーリングが一致するところがあったようであり、その後も遠距離交際が続きました。男性の年齢は結婚の障害にはならなかったようです。2006年9月に正式に結納を交わし、2007年1月に瀬戸内海クルーズを借り切って盛大な結婚式を挙げました。相手の男性は広島市内にマンションを購入していますが、相変わらず出張に出ることが多いです。結婚後に女性にガンが見つかり、手術をしました。病気の完治後、女性は学校の仕事をやめ、夫の出張先に同行しています。子どもはできないようで、あきらめて2人で人生を楽しもうとスタンスを変えているようです。

ごく最近の仲介では、現在の勤務先である老人介護施設にいる35歳の男性職員と私の弟の32歳の娘を見合いさせました。私の目から見て男性は高齢者にとっても優しく、仕事熱心でしたが、男女関係には奥手のような感じでした。私の弟の娘もこれまで男性との交際経験はまったくなく、しかも初めて見合いをしたということであり、見合いの席で二人の話はまったく発展しました。後で女性の方に聞いたところでは、男性の喫煙が気になり、交際を続けるかどうかを迷っているということです。たぶんこれはうまくいかないような感じがします。

このほかにもいくつか見合いの設定をしたことがありますが、いずれもうまくいきませんでした。私が紹介したケースでは男性の側が断りを入れています。共通しているのは仕事にプライドをもち、やや高圧的で上からの目線で女性をみているような感じがします。このような男性には二度と相手を紹介す

ることはありません。

私は世話好きなのが知られているようで、「釣書」をもって来る人がよくいます。しかし、私は釣書を預からないことにしています。釣書を交わすということは、結婚の条件をあらかじめ確認するという意味で先入観をもって見合いに臨むということです。釣書を交わす場合には、多くの場合、親が前面に出ます。本人同士の話ではなく、家同士の話になってしまいます。このような見合いでは今の若い人の結婚はうまくいきません。典型的には親に言われて見合いの席に出てきた場合などがそうです。私はまず会ってみて本人同士の気が合うかどうかを重視します。だから、見合いの前に事前に伝えるのは年齢と仕事くらいです。

これまでの経験でいうと、結婚まで行くかどうかはお互いどれだけ人柄本意で相手を見ることができるとかということではないでしょうか。これまでうまくいったのは皆そのようなケースばかりです。逆にうまくいかなかったのは、変なこだわりが強かったり、プライドが高すぎたりするケースです。ある程度柔軟に相手を見ることができなければ結婚はできないのではないのでしょうか。

先ほど述べた見合いの例では、養護教諭の女性は大学卒であり、相手の男性の方は工業高校の卒業ですから、女性の方が相手の学歴にこだわりがあれば、結婚まで行かなかったと思います。しかし、この女性は人柄本意で相手を見ることができた人でした。相手の学歴や職業にまったくこだわりがありませんでした。だから、この男性が素敵な人であったことが結婚の決め手になったと思います。

ところで、2011年の1月にNHK総合放送の地域枠で広島県安芸高田市の婚活支援を取材した番組が放送されました¹。私も実は安芸高田市の出身ですので、山間部の地域での結婚難の事情はよく分かります。田舎では農作業（ないし家業）と夫の両親の介護がワンセットで付いてくるので、今時の女性はこのようなところに嫁ぎたがらないのです。そのため、農村部では40代、50代の独身男性がごろごろしている状況になっています。これに対して、私が見合いの仲介をしている都市部ではそのような心配はないです。

注

¹ 2011年1月14日放送、ふるさと発・「ふるさとに咲け！恋の花～広島 安芸高田市の婚活支援～」。広島県安芸高田市は人口の減少を少しでも食い止めようとして、2年前から若いカップルの結婚を支援する事業に乗り出している。具体的には、地元幅広い人脈を持つ自営業者や主婦など24人を「コーディネーター」に任命し、見合いの設定から交際・結婚までをサポートさせている。番組では期待と不安を抱きながら婚活を続ける若者とコーディネーターに密着し、町を挙げて婚活支援に取り組む地域の意気込みを伝えた。

(調査に使用した調査票)

○はじめにすべての方にかがいます。

問 1. 現在、あなたは、次の区分のうち、どれにあてはまりますか(○を一つ)。

1. 既婚・結婚している (内縁を含めて現在、配偶者がいる)
 2. 未婚・独身 (婚約中／結婚の具体的予定がある)
 3. 既婚・独身 (離婚)
 4. 既婚・独身 (死別)
 5. 未婚・独身 (結婚したことはなく、具体的予定もない)
- } → 4 頁の間 15 へ。
→ 問 2 へ。

●問 2 から問 12 は、「結婚したことはなく、具体的な結婚予定もない」独身の方への質問です。
既婚の方、具体的な結婚予定のある独身の方は 4 頁の間 15 にお進みください。

問 2. あなたには現在、交際している異性がありますか。下の文の中から、あてはまる番号に○をつけてください。
また異性の交際相手がいる方(2 または 3 に○をつけた方)は、右側に(最も親しい)交際相手との結婚希望について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)異性ととの交際の状況(○を一つ)

1. 交際している異性はいない→問 4 へ
2. 友人として交際している異性がいる
3. 恋人として交際している異性がいる

(2)交際相手との結婚の希望(○を一つ)

1. 結婚したいと思っている
2. 結婚は考えていない

★異性の交際相手がいる方にかがいます。いない方は問 4 へお進みください。

問 3(最も親しい)交際相手とは、どのようなきっかけで知り合いましたか。下の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 学校で
2. 学校以外のサークル活動・習い事で
3. 幼なじみ・隣人関係
4. 職場や仕事の関係で
5. アルバイト先で
6. 街中や旅先の出会いで
7. 友人・知人の紹介で
8. 兄弟姉妹の紹介で
9. 合コンで
10. お見合いで (親や親族・上司の紹介を含む)
11. 結婚相談所や結婚情報サービスで
12. お見合いパーティで
13. インターネットや携帯のサイトで
14. その他 ()

★異性の交際相手がいない方にかがいます。いる方は問 5 へお進みください。

問 4. その「最大の理由」を次の中から選ぶとすれば、どれになりますか。下の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 異性との出会いがない
2. 異性との出会いはあるが、適当な相手に巡り会わない
3. 異性との出会いはあるが、異性との会話や交際が苦手である
4. 時間的余裕がない (異性との出会いや交際のために使う時間がない)
5. 経済的余裕がない (異性との出会いや交際のために使うお金がない)
6. 異性との交際に興味がない
7. その他 ()

問 10. 結婚相手に求める条件をうかがいます。あなたが結婚の条件として重視する要素は何でしょうか。次の中から、重視するものの番号を選び、○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | | |
|----------------------|--------------------------|--------------------|
| 1. 性格・人柄がよい | 2. 一緒にいると楽しい | 3. 趣味や価値観が合う |
| 4. 相手に対し自分がプラスになれる | 5. 年齢が若い | 6. 年齢が離れていない |
| 7. 好みの容姿・ルックスである | 8. 健康である | 9. 学歴や教養がある |
| 10. 安定した仕事に就いている | 11. 経済力がある | 12. 必要以上に束縛や干渉をしない |
| 13. 自分の親の賛成 | 14. 自分の親を気遣ってくれる | 15. 相手の親が好意的である |
| 16. 自分の仕事を理解し協力してくれる | 17. 家事や育児の能力ないし協力的な姿勢がある | |
| 18. その他(具体的に) | | |

問 11. 結婚の条件として、上で○をつけたものの中で、「これは外せない」と考える要素を選ぶとしたら、どれになりますか。下のかっこ内に番号を記入してください。

回答:最大の要素(番号:) 第二の要素(番号:) 第三の要素(番号:)

☆再び具体的な結婚予定のないすべての未婚者の方にうかがいます。

問 12. 最近1年間に交際相手を見つけるため、あなたは何か積極的な活動をしましたか(○を一つ)。

1. した→問 13 と問 14 へ 2. しなかった→問 14 へ

問 13. 活動をした方には活動内容と効果をうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。

a.活動内容(○はいくつでも可)

- | | | |
|-----------------------|----------------|-----------------------|
| 1. 趣味の活動や習い事に参加 | 2. サークル活動に参加 | 3. ボランティア活動に参加 |
| 4. 街中や旅先で機会を探す | 5. 友人・知人に紹介を依頼 | 6. 兄弟姉妹に紹介を依頼 |
| 7. 同僚・上司に紹介を依頼 | 8. 合コンに参加 | 9. 親や親族に紹介を依頼 |
| 10. お見合いパーティに参加 | 11. お見合い | 12. 結婚相談所や結婚情報サービスを利用 |
| 13. インターネットや携帯のサイトを利用 | 14. その他() | |

b.活動の効果(○を一つ)

1. その活動による出会いで交際相手ができた(あるいは一度はできた)
2. その活動による出会いではないが、交際相手はできた(あるいは一度はできた)
3. 交際相手はできなかった

c.その活動によって交際相手をつくるのは難しいと感じましたか。どちらかに○をつけてください。

1. そう感じる 2. そうは感じない

問 14. 再びすべての未婚者の方にうかがいますが、もし異性との交際に関する悩みや問題を他の人に相談するとしたら、あなたが相談をできる人は誰でしょうか。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|------|-----------|
| 1. 友人・知人 | 2. 職場の同僚や上司 | 3. 兄弟姉妹 | 4. 親 | 5. その他の親族 |
| 6. その他の人(具体的に) | | 7. 相談できる人は誰もいない | | |

☆未婚者の方は9頁の「すべての対象者の方への質問」へ進んでください。

●ここからは既婚の方(結婚している方、結婚していた方)と婚約中の方への質問です。再婚の方は現在の配偶者との結婚を念頭に、結婚を再婚と読みかえて、お答えください。

問 15. あなたは何歳の時に何歳の人と結婚しましたか(婚約中の方は結婚の時期をお答えください)。

自分が () 歳のときに

相手は () 歳のときに結婚(再婚)した(かっこ内に年齢を記入してください)

問 16. あなたが相手と婚約した(結婚を約束した)のは、交際を始めてからどれだけ時間が経ってからですか。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 1ヶ月未満
2. 2-3ヶ月
3. 3-6ヶ月
4. 半年-1年
5. 1-2年
6. 2-3年
7. 3-5年
8. 5年以上

問 17. 結婚を決めた当時に思い出してお答えください。その当時のあなたにとって、結婚することにはどのような利点がありましたか。次の中から3つ選び、回答欄のかっこ内に番号を記入してください。

1. 経済的な安定が得られる
2. 社会的信用が得られる
3. 周囲と対等な意識をもてる
4. 精神的な安らぎの場をもてる
5. 好きな人と一緒に暮らせる
6. 自分の子どもや家族をもてる
7. 新しい人生を開始できる
8. 性的な充足が得られる
9. 生活の上で便利になる
10. 親から独立できる
11. 親や周囲を安心させる
12. 老後に孤独でなくなる
13. その他 ()

回答:最大の利点(番号:) 第二の利点(番号:) 第三の利点(番号:)

問 18. 結婚相手と交際する前を思い出してお答えください。その当時、一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次の中ではどれでしたか。最も近いものに○をつけてください(○は一つ)。

1. 「一生結婚(再婚)するつもりはない」と考えていた
2. 「ある程度の年齢までには結婚(再婚)するつもり」と考えていた
3. 「理想的な相手が見つかるまでは結婚(再婚)しなくてもかまわない」と考えていた

問 19. 結婚相手と交際する前に、あなたが独身でいた理由は、次の中から3つ選ぶとすればどれになりますか。最もあてはまると思われる理由を下から選び、回答欄のかっこ内に番号を記入してください。

1. 結婚するにはまだ若すぎたから
2. 結婚する必要性を感じなかったから
3. 仕事(または学業)に専念したかったから
4. 趣味や娯楽を楽しみたかったから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくなかったから
6. 適当な相手にめぐり会わなかったから
7. 異性とうまくつきあえなかったから
8. 経済力がなかったから
9. 生活レベルを落とすくなかったから
10. 親や周囲が結婚に同意しなかったから
11. その他 ()

回答:最大の理由(番号:) 第二の理由(番号:) 第三の理由(番号:)

問 20. **結婚相手と交際する前、あなたには異性の友人や恋人はいましたか。あてはまる番号に○をつけてください。また友人や恋人がいた方は、右の欄に(その中で最も親しかった)相手との結婚希望について、あてはまる番号に○をつけてください。**

(1)異性との交際の状況(○を一つ)

1. 交際している異性はいなかった→問 22 へ
2. 友人として交際している異性がいた
3. 恋人として交際している異性がいた

(2)交際相手との結婚の希望(○を一つ)

1. 結婚したいと思っていた
2. とくに結婚は考えていなかった

★結婚相手と交際する前に異性の友人や恋人がいた方にうかがいます。いなかった方は、問 22 へ進んでください。

問 21. **その中で(最も親しかった)交際相手とは、どのようなきっかけで知り合いましたか。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。**

1. 学校で
2. 学校以外のサークル活動・習い事で
3. 幼なじみ・隣人関係
4. 職場や仕事の関係で
5. アルバイト先で
6. 街中や旅先の出会いで
7. 友人・知人の紹介で
8. 兄弟姉妹の紹介で
9. 合コンで
10. お見合いで(親族・上司の紹介を含む)
11. 結婚相談所や結婚情報サービスで
12. お見合いパーティで
13. インターネットや携帯のサイトで
14. その他()

★結婚相手と交際する前に異性の友人や恋人がいなかった方にうかがいます。

問 22. **その「最大の理由」を次の中から選ぶとすれば、どれになりますか。あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。**

1. それまで異性との出会いがなかった
2. 異性との出会いはあったが、適当な相手に巡り会わなかった
3. 異性との出会いはあったが、異性との会話が苦手であった
4. 時間的余裕がなかった(異性との出会いや交際のために使う時間がなかった)
5. 経済的余裕がなかった(異性との出会いや交際のために使うお金がなかった)
6. 異性との交際に興味がなかった
7. その他()

★再びすべての方にうかがいます。

問 23. **交際相手を見つけるため、あなたは何か積極的な活動(いわゆる「婚活」)をしましたか。**

1. した
2. しなかった

問 24. **活動をした方には活動内容と効果をうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。しなかった方は問 25 へ進んでください。**

a.活動内容(○はいくつでも可)

1. 趣味の活動や習い事に参加
2. サークル活動に参加
3. ボランティア活動に参加
4. 街中や旅先で機会を探す
5. 友人・知人に紹介を依頼
6. 兄弟姉妹に紹介を依頼
7. 同僚・上司に紹介を依頼
8. 合コンに参加
9. 親や親族に紹介を依頼
10. お見合いパーティに参加
11. お見合い
12. 結婚相談所や結婚情報サービスを利用
13. インターネットや携帯のサイトを利用
14. その他()

b.活動の効果(○は一つ)

1. その活動による出会いによって交際相手ができる(あるいは一度はできた)
2. その活動による出会いではないが、交際相手はできた(あるいは一度はできた)
3. 交際相手はできなかった

c.その活動によって交際相手をつくるのは難しいと感じましたか。次のどちらかを、選んでください。

1. そう感じた
2. そうは感じなかった

☆ここからは結婚相手との関係をうかがいます(「再婚」の方は、現在の配偶者との関係についてお答えください)。

問 25. 結婚相手とはどのようなきっかけで知り合いましたか。また相手が最後に卒業した(在学中の)学校、相手のおつとめの状況について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

(1)知り合ったきっかけ

1. 学校で
2. 職場や仕事の関係で
3. 幼なじみ・隣人関係
4. 学校外のサークル活動・習い事で
5. 友人・知人の紹介で
6. 兄弟姉妹の紹介で
7. 見合いで(親戚・上司の紹介を含む)
8. 結婚相談所やお見合いパーティで
9. 街中や旅先の出会いで
10. アルバイト先で
11. インターネットや携帯のサイトで
12. その他()

(2)相手の卒業・在学中の学校

1. 中学校
2. 高校
3. 専門学校
4. 短大
5. 高専
6. 大学
7. 大学院
8. その他()

(3)相手の当時のおつとめの状況

1. 常勤(正規の職員・社員)
2. パート・アルバイト
3. 派遣・契約
4. 自営業・家族従業員
5. 無職
6. 学生

問 26. 相手との結婚を決めた当時のあなたのおつとめの状況は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 常勤(正規の職員・社員)
2. パート・アルバイト
3. 派遣・契約
4. 自営業・家族従業員
5. 無職
6. 学生
7. その他()

問 27. あなたが相手との結婚を決めたのはどのようなことがきっかけになったからですか。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○はいくつでも可)。

1. 自分の年齢を考えて
2. 相手の年齢を考えて
3. 交際期間の長さを考えて
4. 相手と一緒に暮らしたいと思ったので
5. ライバルが出現したので
6. この機会を逃したくないと思ったので
7. 家族・子どもが欲しくなったので
8. 友達や仲間の多くが結婚したので
9. 友人・知人に薦められて
10. 転勤・海外赴任が決まったので
11. 相手に結婚を迫られて
12. 親が心配しているの
13. 子どもができたので
14. 生活に変化が欲しくなったので
15. 経済的に楽になると思ったので
16. 生活が便利になると思ったので
17. 親の年齢や健康を考えて
18. その他(具体的に:)

問 28. 結婚を決めた当時、あなたは交際相手のどのような要素を重視して結婚を決めましたか。次の中から、重視したものの番号を選び、○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | | |
|----------------------|--------------------------|--------------------|
| 1. 性格・人柄がよい | 2. 一緒にいると楽しい | 3. 趣味や価値観が合う |
| 4. 自分が相手にとってプラスになれる | 5. 年齢が若い | 6. 年齢が離れていない |
| 7. 好みの容姿・ルックスである | 8. 健康である | 9. 学歴や教養がある |
| 10. 安定した仕事に就いている | 11. 経済力がある | 12. 必要以上に束縛や干渉をしない |
| 13. 自分の親の賛成 | 14. 自分の親を気遣ってくれる | 15. 相手の親が好意的である |
| 16. 自分の仕事を理解し協力してくれる | 17. 家事や育児の能力ないし協力的な姿勢がある | |
| 18. その他(具体的に |) | |

問 29. 上で○をつけたものの中で「これは外せない」と考えた要素を順位づけて選ぶとしたら、どうなりますか。下のかっこ内に番号を記入してください。

回答:第一の要素(番号:) 第二の要素(番号:) 第三の要素(番号:)

問 30. 問 28 で「性格や人柄がよい」に○をつけた方にかがいます。それは具体的にはどのようなものですか。次の中から、あなたが相手に対し最も魅力を感じたものを順位づけて3つ選び、下の回答欄のかっこ内に番号を記入してください。

- | | | | | |
|---------------|---------------|--------------|------------|------------|
| 1. 正直である | 2. まじめである | 3. よく気が利く | 4. かしこさがある | 5. かわいげがある |
| 6. 心が広く大きい | 7. 愛きょうがある | 8. 素直である | 9. 控えめである | 10. まめである |
| 11. めったに怒らない | 12. 細事にこだわらない | 13. 人の話をよく聞く | 14. 面倒見がよい | |
| 15. サービス精神がある | 16. 責任感が強い | 17. 行動力がある | 18. 礼儀正しい | |

回答:第一の要素(番号:) 第二の要素(番号:) 第三の要素(番号:)

問 31. すべての方にかがいますが、結婚を決めたとき、結婚相手には短所や欠点がありましたか。

- | | | |
|--------|---------|----------------|
| 1. あった | 2. なかった | 3. そのときはないと思った |
|--------|---------|----------------|

問 32. 上で結婚相手に短所や欠点が「あった」と答えた方にかがいます。あなたはそれをどう思いましたか。次の中から、あなたの考えに近いものに一つ○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 長所の方が短所や欠点を上回っているので気にはならなかった |
| 2. 見方を変えれば、短所は長所でもあると思った |
| 3. 気にはなったが、ある程度は我慢できると思った |
| 4. 気になるのでぜひ直してもらいたいと思った |

★以下では再びすべての方にかがいます。

問 33. 結婚を決めたとき、あなたは結婚相手を自分にとってどのように考えていましたか。次の中から、あなたの考えに近いものに一つ○をつけてください。

- | |
|--------------------|
| 1. 「理想の相手」である |
| 2. 「似合(にあい)の相手」である |

問 34. 結婚前に相手との交際や結婚について、あなたは迷ったり悩んだりしたことがありますか。

1. ある 2. ない

問 35. 結婚前に相手との交際や結婚について、あなたは誰かに相談をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

問 36. 相談をしたことがあると答えた方にうかがいます。誰に相談をしましたか。次の中から選んでください（○はいくつでも可）。

1. 友人・知人 2. 職場の同僚や上司 3. 兄弟姉妹 4. 親 5. その他の親族
6. その他の人（具体的に ）

問 37. その人の意見は結婚の決断に影響がありましたか。

1. あった 2. なかった

問 38. あなたは現在の結婚生活に満足していますか。次の中から選んでください（○は一つ）。

1. 満足している 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満である

問 39. 現在、自分たち夫婦は幸せだと思いますか。次の中から選んでください（○は一つ）。

1. 幸せ 2. まあ幸せ 3. どちらともいえない 4. あまり幸せでない 5. 幸せでない

問 40. 下の表に「女性の生き方のタイプ」がいくつか示してあります。

1. 結婚せず、仕事を続ける	2. 結婚せず子どもをもち、仕事を続ける
3. 結婚するが子どもをもち、仕事を続ける	
4. 結婚し子どもをもつが、仕事を続ける	
5. 結婚し子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会に専業主婦になり、子育て後に再び仕事をもつ	
6. 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に専業主婦になり、その後も仕事をもたない	
7. 結婚し子どもをもち、結婚の機会に専業主婦になり、その後も仕事をもたない	

以下の質問について、あてはまるタイプを上表から選び、右のかっこ内に番号を記入してください。

【女性の方への質問】

(1)結婚前にあなたが理想としていた人生はどのタイプですか。(回答: _____)(表から番号を一つ選択)

(2)実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。(回答: _____)(表から番号を一つ選択)

【男性の方への質問】

(1)結婚前に妻となる女性にはどのタイプの人生を望んでいましたか。(回答: _____)(表から番号を一つ選択)

(2)実際になりそうなあなたの妻の人生はどのタイプですか。(回答: _____)(表から番号を一つ選択)

すべての対象者の方への質問項目

●ここからは結婚しているかどうかに関係なく、すべての方への質問です。

問 41 結婚、男女関係、家庭、子どもをもつことについては、いろいろな考えがあります。以下に例として、いくつかの考え方を示しました。それぞれについて、あなたはどのように考えますか。右の欄の番号(1, 2, 3, 4)のうち、一つ〇をつけてください。

1 まったく賛成	2 どちらかといえ ば賛成	3 どちらかといえ ば反対	4 まったく反対
-------------	---------------------	---------------------	-------------

- | | | | | |
|---------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 生涯を独身で過ごすことは、望ましい生き方ではない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもどちらでもよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 結婚は年齢が高くなると難しくなるので早めにした方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 結婚はできれば30歳くらいまでにするのが望ましい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 結婚は年齢に関係なく、したいときにすればよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 恋愛は結婚とは別であり、必ずしも結婚に結びつく必要はない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 恋愛と結婚は別だが、結婚は恋愛の結果であるべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 結婚後は、夫は外で働き、妻は主婦業に専念すべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 今後は経済情勢の悪化に備えて、夫婦は共働きが望ましい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 安定した収入がない男性は結婚を考えるべきでない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 今後の社会では妻が家計を支える家庭が増えるべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 結婚したら、子どもはもつべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. 子どもの数を増やすため、結婚をもっと増やす必要がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. 結婚するために積極的な活動(婚活)が必要な場合もある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 15. 結婚難を緩和するためには、社会的な施策や支援が必要だ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 42. 若年層の間で結婚しない人が増え、少子化の原因となっています。あなたはこれをどのように考えますか。次の中から、あなたのお考えにあてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 何らかの対策を講じる必要のある重要な問題だと思う
2. 問題かもしれないが、個人の判断の結果であるので、どうしようもない
3. とくに問題を感じない

問 43. もし結婚する人を増やそうとするならば、どのような施策を実施することが有効だと思いますか。次の中から、試してみてよいとあなたが考えるものに○をつけてください(○はいくつでも可)。

1. 子ども手当を増額する
2. 保育所の定員を増やす
3. 雇用の安定を法制化する
4. 労働時間の短縮を促進する
5. 最低賃金を引き上げる
6. 公共の結婚相談所を創設する
7. 結婚資金を国が貸与ないし補助する
8. 夫婦が共に働ける職場環境の確立を促す
9. 独身男女の出会いの場を国や自治体が提供する
10. 学校教育で家庭科の履修時間を増やす
11. 新規雇用を創出する政策を国が打ち出す
12. その他 ()

問 44. 下のわく内で、あなたの性別に○をつけ、生年月・年齢を記入してください。結婚している方は配偶者についても、生年月・年齢を記入してください。

あなたの性別(どちらかに○)	あなたの生年月・年齢	配偶者の生年月・年齢
1 男性 2 女性	西暦19 年 月・満 歳	西暦19 年 月・満 歳

問 45. あなたが最後に卒業した(学生の方は在学中の)学校に○をつけてください。

1. 中学校
2. 高校
3. 各種学校・専門学校
4. 高等専門学校
5. 短大
6. 大学
7. 大学院
8. その他 ()

問 46. あなたのご職業をうかがいます。下のかっこ内に番号を記入してください。結婚している方は配偶者のご職業も右に記入してください。

回答:あなたの職業(下から番号を選択:) 配偶者の職業(下から番号を選択:)

1. 労務・技能職 (作業員、運転手、配達員など)
2. 販売・サービス職 (小売店主、飲食店主、販売員、理容師、営業員など)
3. 事務職
4. 専門職 (教員、医師、看護師、保育士、介護士、エンジニアなど)
5. 管理職 (課長級以上の役職、役員)
6. 農林漁業従事
7. 専業主婦
8. 学生
9. 無職
10. その他 ()

問 47. 上で選んだあなたのご職業について、就業形態を下の中から選び、かっこ内に番号を記入してください。配偶者のご職業をおもちの場合は、配偶者の方についても右に記入してください。

回答:あなたの就業形態(下から番号を選択:) 配偶者の就業形態(下から番号を選択:)

1. 常勤 (正社員・正職員)
2. 派遣・契約・嘱託
3. パート・アルバイト
4. 自営業・家族従業員
5. 内職・在宅勤務
6. その他 ()

*専業主婦の場合は空欄です。

問 48. 昨年の「あなた自身の年収」をうかがいます。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～400万円未満
4. 400～600万円未満
5. 600～800万円未満
6. 800～1000万円未満
7. 1000～1200万円未満
8. 1200～1500万円未満
9. 1500万円以上
10. 個人の収入はない

問 49. 結婚している方には、昨年の「配偶者の方の年収」をうかがいます。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください(○は一つ)。

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～400万円未満
4. 400～600万円未満
5. 600～800万円未満
6. 800～1000万円未満
7. 1000～1200万円未満
8. 1200～1500万円未満
9. 1500万円以上
10. 個人の収入はない

問 50. 現在、あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。次の中から、あなたの同居者として、あてはまる番号に○をつけてください(○はいくつでも可)。

(1)未婚の方

1. 単身
2. 親
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. 子ども
6. 恋人
7. 友人
8. その他 ()

(2)既婚の方(単身赴任の方は自宅のご家族についてお答えください)

1. 配偶者
2. 子ども
3. 自分または配偶者の親
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母
6. その他 ()

☆地方社会での結婚のあり方、結婚しない人や結婚できない人が増えている理由、結婚難の緩和策や結婚を促進する方法に関して、何かお考えがありましたら、下の欄に自由にお書きください。

ご協力頂き、まことにありがとうございました。

調査のメンバー

(「社会環境調査Ⅰ」・「社会環境調査Ⅱ」と報告書作成作業の参加者)

甲斐寛子	広島大学総合科学部総合科学科 3年
桑名正富	広島大学法学部法学科 3年
澤成都子	広島大学教育学部第五類（人間形成基礎系）3年
清水豊	広島大学法学部法学科 3年
野地加納子	広島大学法学部法学科 3年
材木和雄	広島大学大学院総合科学研究科准教授・専門社会調査士

発行日 2011年3月31日

発行者 広島大学総合科学部社会文化プログラム

住所 739-0751 東広島市鏡山1-7-1

広島大学大学院総合科学研究科社会文明研究講座